

岡屋敷遺跡

北関東自動車道（高崎～伊勢崎）地域
埋蔵文化財発掘調査報告書 第29集

2005

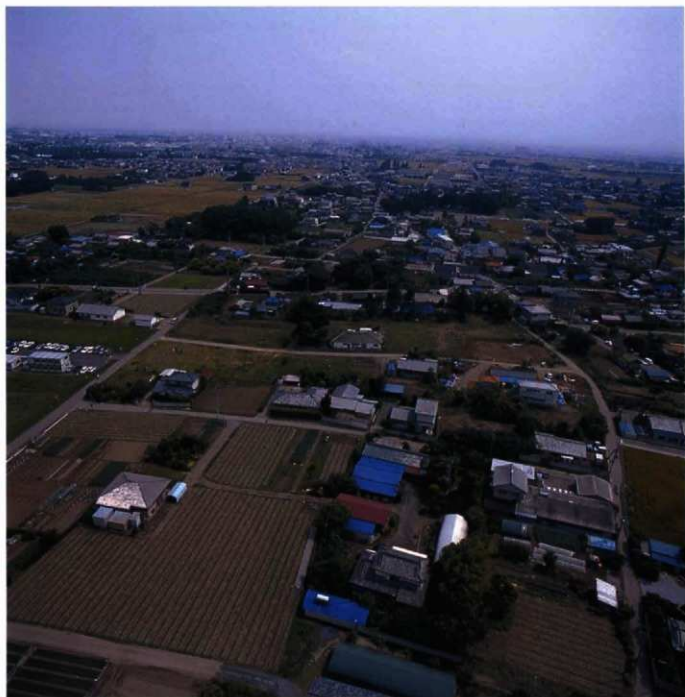
日 本 道 路 公 団
伊 勢 崎 市
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団

岡 屋 敷 遺 跡

北関東自動車道（高崎～伊勢崎）地域
埋蔵文化財発掘調査報告書 第29集

2 0 0 5

日 本 道 路 公 団
伊 勢 崎 市
財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団



岡屋敷遺跡全景（北上空より）

序

北関東自動車道は、本県高崎市において関越自動車道から分岐し、茨城県ひたちなか市に至る延長約150キロメートルの高速自動車道路であります。その間群馬県、栃木県、茨城県の主要都市及び東北自動車道・常磐自動車道を結び、地域社会の発展に大きな役割をはたすものと期待されております。

本北関東自動車道の高崎～伊勢崎間約15キロメートルの建設に先立って、平成7年6月から36の遺跡で発掘調査が開始されました。当事業団ではその内31遺跡の調査を実施いたしました。

さらに調査の終了した遺跡の整理作業は平成10年度から実施しており、ここに上梓いたします報告書第344集『岡屋敷遺跡』はその成果の一部として刊行するものであります。

本遺跡は伊勢崎市波志江町字岡屋敷に所在し、その名が示すように中世以降の屋敷・館が多く所在した土地柄であり、その字名が遺跡名となっております。発掘調査は平成10年11月から平成11年3月まで、整理作業は平成15年4月から平成17年3月まで実施してきました。その結果旧石器時代、古墳時代、奈良平安時代、中近世の遺構・遺物が多数検出されました。遺跡の主体は古墳時代後期を中心とする集落、小鍛冶遺構であり、同時期の土器製作に必要な粘土採掘坑も確認されました。本遺跡と同時期につくられた伊勢崎市内の大型古墳御富士山古墳とは2～3キロメートルほどの距離にあり、当時の社会背景や構造の解明の手掛かりとなる重要な遺跡であることが確認できました。

従って本書は考古学研究者、政治史、社会史研究者等多くの方々に大いに役立つものと期待しております。

最後になりましたが地元関係者の皆様を始め日本道路公団東京建設局、日本道路公団高崎工事事務所、群馬県教育委員会、伊勢崎市教育委員会には発掘調査から本報告書刊行まで終始ご協力を賜り、衷心より感謝の意を表すとともに、発掘をお手伝い下さった調査補助員、作業員のみなさまの労をねぎらい序といたします。

平成17年3月

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
理事長 小野 宇三郎

例 言

1. 本書は北関東自動車道(高崎～伊勢崎)地域建設に伴い事前調査された岡屋敷遺跡(遺跡略号KT-210)の発掘調査報告書である。
2. 岡屋敷遺跡は群馬県伊勢崎市波志江町二丁目176、179-1・2・3、195-1、197-1、198-1、198-7、199-2、199-5・6、201、202、204-2、205内に所在する。
3. 事業主体 日本道路公団東京建設局
4. 調査主体 伊勢崎市教育委員会 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
5. 調査期間・担当者

財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査

平成10年11月1日～平成11年3月31日

A・D区 今泉 晃 友廣哲也 綿貫邦男

C区 壁 伸明 勢藤暎美(旧姓瀧野) 谷藤保彦 長沼孝則 前田和昭 村上章義

平成11年4月1日～平成11年9月30日

A・B・C・D・B-1区 伊平 敬 今泉 晃 内田敬久 小林利夫 杉田茂俊

友廣哲也 間庭 稔 綿貫邦男

伊勢崎市教育委員会

平成11年10月14日～3月23日

A-1・2区、B-2区、早川隆弘 高木善行

6. 整理主体及び期間

整理事業は日本道路公団A、伊勢崎市教育委員会aの委託を群馬県教育委員会の調整の元に、発掘調査Aa分をあわせ財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が実施した。

平成15年4月1日～平成17年3月31日

7. 整理組織

事務担当 小野宇三郎 吉田 豊 住谷 永市 神保侑史 萩原利通 矢崎俊夫 植原恒夫 丸岡道雄

西田健彦 相京建史 竹内 宏 高橋房雄 吉田有光 須田朋子 佐藤聖行 阿久澤玄洋

栗原幸代 今井もと子 内山佳子 狩野真子 北原かおり 佐藤美佐子 本間久美子

若田 誠

整理担当 岩淵フミ子 木原幸子 小久保とし子 小暮芳枝 小菅優子 酒井史恵 島崎敏子

高柳哲子 田中穂子 田中のぶ子 土井洋子 友廣哲也 鎌田澄子 三浦 尚 山本千晶

遺構写真 今泉 晃 壁 伸明 勢藤暎美(旧姓瀧野) 谷藤保彦 友廣哲也

長沼孝則 前田和昭 間庭 稔 村上章義 綿貫邦男

遺物写真 佐藤元彦

保存処理 関 邦一 土橋まり子

8. 石器石材同定 飯島静夫(群馬県地質研究会)

9. 発掘調査資料及び報告書作成には以下の方々にご協力・ご指導をいただいた。記して感謝いたします。

伊勢崎市教育委員会 荒川正夫 小笠原良人 昆 彭生 佐々木幹雄 須長泰一 高木善行 早川隆弘 日野原園一

- | | |
|------------|--------------------|
| 10. 本書の編集 | 友廣哲也 |
| 11. 本書の執筆者 | |
| 第1章第1節 | 中東耕志（当事業団調査研究第1課長） |
| 第3章第10節 | 麻生敏隆（当事業団専門員） |
| 上記以外 | 友廣哲也 |

凡 例

1. 本報告書における調査区名称は便宜的に付けてあり、財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団の調査分はA・B・C・D・B-1区と分け調査時から区分していた。整理時は財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団が行い、伊勢崎市教育委員会が調査したA-1・2区、B-2区をあわせ報告した。
2. 本報告書の遺構図版中にある+印とそれに期されている3桁2種の数値は国家座標のX・Yの下3桁である。
3. 本報告書の遺構図と遺物図には比例値を冠していない。遺構図は60分の一、竈・炉は30分一、遺物は全て3分一だがそれ以外の縮尺のものは記載した。
4. 各遺構図版中の遺物図版、写真図版、遺物計測表の番号は全て同一である。
5. 土器実測図は基本的に四分制法を用いたが、残存率が2分一以下のものは180°回転して図上復元した。
6. 遺物の撮影及び展開は、断面は基本的に一角法で示した。
7. 土器の色調は農林水産技術会議事務局・財団法人日本色彩研究所監修『標準土色帳』（日本色研事業株式会社1967年発行）に準拠した。

目 次

序	
例 言	
凡 例	
目 次	
図版目次	
写真目次	

第1章 発掘調査の概要	1
第1節 調査に至る経緯	1
第2章 遺跡の立地と歴史環境	3
第1節 遺跡の立地	3
第2節 歴史環境	3
第3節 調査区の概要	5
第3章 検出された遺構と遺跡	10
第1節 竪穴住居跡	10
第2節 土坑	231
第3節 溝	302
第4節 井戸	317
第5節 土坑墓	343
第6節 掘立柱建物跡	360
第7節 竪穴状遺構	362
第8節 屋敷跡	366
第9節 C区3号土坑・鍛冶跡	371
第10節 岡屋敷遺跡（伊勢崎市波志江町）の旧石器の調査	373

写真図版
付図

挿 図 目 次

第 1 図	北関東自動車道開通連絡位置図	1	第 59 図	A区18号住居跡貯蔵穴・エレベーション	47
第 2 図	調査区設定図	2	第 60 図	A区18号住居跡掘り方	47
第 3 図	周辺道路位置図	6	第 61 図	A区18号住居跡掘り方エレベーション	48
第 4 図	A区1号住居跡	10	第 62 図	A区18号住居跡出土遺物(1)	48
第 5 図	A区1号住居跡出土遺物(1)	11	第 63 図	A区18号住居跡出土遺物(2)	49
第 6 図	A区1号住居跡出土遺物(2)	11	第 64 図	A区21号住居跡	49
第 7 図	A区2号住居跡・電	12	第 65 図	A区21号住居跡エレベーション	50
第 8 図	A区2号住居跡掘り方	13	第 66 図	A区21号住居跡出土遺物	50
第 9 図	A区2号住居跡出土遺物(1)	13	第 67 図	A区22号住居跡	51
第 10 図	A区2号住居跡出土遺物(2)	14	第 68 図	A区22号住居跡	51
第 11 図	A区3・16号住居跡	15	第 69 図	A区22号住居跡出土遺物(1)	51
第 12 図	A区3号住居跡出土遺物(1)	15	第 70 図	A区22号住居跡出土遺物(2)	52
第 13 図	A区3号住居跡出土遺物(2)	16	第 71 図	A区23号住居跡	52
第 14 図	A区4号住居跡・電	17	第 72 図	A区23号住居跡	53
第 15 図	A区4号住居跡出土遺物(1)	17	第 73 図	A区23号住居跡掘り方	53
第 16 図	A区4号住居跡出土遺物(2)	18	第 74 図	A区23号住居跡出土遺物	54
第 17 図	A区5号住居跡	19	第 75 図	A区24・29号住居跡	55
第 18 図	A区5号住居跡出土遺物(1)	19	第 76 図	A区24・29号住居跡掘り方	56
第 19 図	A区5号住居跡出土遺物(2)	20	第 77 図	A区24号住居跡出土遺物	57
第 20 図	A区5号住居跡出土遺物(3)	21	第 78 図	A区29号住居跡出土遺物	57
第 21 図	A区5号住居跡出土遺物(4)	22	第 79 図	A区25・26号住居跡	58
第 22 図	A区6号住居跡	22	第 80 図	A区25・26号住居跡	59
第 23 図	A区6号住居跡	23	第 81 図	A区25・26号住居跡掘り方	60
第 24 図	A区6号住居跡出土遺物	23	第 82 図	A区25号住居跡出土遺物	60
第 25 図	A区7号住居跡	23	第 83 図	A区26号住居跡出土遺物(1)	60
第 26 図	A区8・35号住居跡	24	第 84 図	A区26号住居跡出土遺物(2)	61
第 27 図	A区8号住居跡	25	第 85 図	A区27・37号住居跡	62
第 28 図	A区8号住居跡出土遺物	25	第 86 図	A区27号住居跡出土遺物	62
第 29 図	A区9号住居跡・貯蔵穴	25	第 87 図	A区37号住居跡出土遺物	62
第 30 図	A区9号住居跡出土遺物	26	第 88 図	A区28・30号住居跡	63
第 31 図	A区10・20号住居跡	27	第 89 図	A区30号住居跡	64
第 32 図	A区10・20号住居跡掘り方	28	第 90 図	A区28号住居跡出土遺物	64
第 33 図	A区10号住居跡出土遺物(1)	29	第 91 図	A区30号住居跡出土遺物(1)	65
第 34 図	A区10号住居跡出土遺物(2)	30	第 92 図	A区30号住居跡出土遺物(2)	66
第 35 図	A区20号住居跡出土遺物	30	第 93 図	A区31号住居跡	67
第 36 図	A区11号住居跡・貯蔵穴	31	第 94 図	A区31号住居跡出土遺物(1)	67
第 37 図	A区11号住居跡掘り方	32	第 95 図	A区31号住居跡出土遺物(2)	68
第 38 図	A区11号住居跡出土遺物(1)	33	第 96 図	A区32号住居跡	68
第 39 図	A区11号住居跡出土遺物(2)	34	第 97 図	A区32号住居跡出土遺物	68
第 40 図	A区12号住居跡	34	第 98 図	A区34号住居跡出土遺物	69
第 41 図	A区12号住居跡エレベーション	35	第 99 図	A区34号住居跡	69
第 42 図	A区12号住居跡	35	第100 図	A区36・38号住居跡	70
第 43 図	A区12号住居跡出土遺物	35	第101 図	A区36・38号住居跡掘り方	71
第 44 図	A区13号住居跡・電・貯蔵穴	36	第102 図	A区36号住居跡出土遺物(1)	71
第 45 図	A区13号住居跡掘り方	37	第103 図	A区36号住居跡出土遺物(2)	72
第 46 図	A区13号住居跡出土遺物(1)	37	第104 図	A区36号住居跡出土遺物(3)	73
第 47 図	A区13号住居跡出土遺物(2)	38	第105 図	A区36号住居跡出土遺物(4)	74
第 48 図	A区14号住居跡・電	39	第106 図	A区39・40号住居跡	75
第 49 図	A区14号住居跡掘り方	40	第107 図	A区41号住居跡	76
第 50 図	A区14号住居跡出土遺物	40	第108 図	A区41号住居跡出土遺物	77
第 51 図	A区15号住居跡	41	第109 図	B区1号住居跡	78
第 52 図	A区15号住居跡出土遺物(1)	41	第110 図	B区1号住居跡出土遺物(1)	78
第 53 図	A区15号住居跡出土遺物(2)	42	第111 図	B区1号住居跡出土遺物(2)	79
第 54 図	A区17・19号住居跡	43	第112 図	B区1号住居跡出土遺物(3)	80
第 55 図	A区19号住居跡掘り方	43	第113 図	B区2号住居跡	80
第 56 図	A区17号住居跡出土遺物	44	第114 図	B区2号住居跡内1号土坑	81
第 57 図	A区18号住居跡	45	第115 図	B区2号住居跡出土遺物	81
第 58 図	A区18号住居跡電1～3	46	第116 図	B区3～7号住居跡	83

第117回	B区4号住居跡	84	第178回	C区14号住居跡・竈	117
第118回	B区6号住居跡	84	第179回	C区15号住居跡・竈	117
第119回	B区3号住居跡出土遺物	84	第180回	C区16号住居跡	118
第120回	B区4号住居跡出土遺物(1)	84	第181回	C区16号住居跡出土遺物	118
第121回	B区4号住居跡出土遺物(2)	85	第182回	C区18号住居跡	119
第122回	B区5号住居跡出土遺物	85	第183回	C区18号住居跡掘り方	120
第123回	B区6号住居跡出土遺物(1)	85	第184回	C区18号住居跡出土遺物(1)	120
第124回	B区6号住居跡出土遺物(2)	86	第185回	C区18号住居跡出土遺物(2)	121
第125回	B-1区7号住居跡	86	第186回	C区18号住居跡出土遺物(3)	122
第126回	B-1区7号住居跡竈	87	第187回	C区18号住居跡出土遺物(4)	123
第127回	B-1区7号住居跡出土遺物	87	第188回	C区18号住居跡出土遺物(5)	124
第128回	B-1区1号住居跡	87	第189回	C区19・20号住居跡	125
第129回	B-1区1号住居跡出土遺物	88	第190回	C区19・20号住居跡竈	126
第130回	B-1区2号住居跡	88	第191回	C区19・20号住居跡掘り方	126
第131回	B-1区2号住居跡竈	89	第192回	C区19号住居跡出土遺物(1)	126
第132回	B-1区2号住居跡出土遺物	89	第193回	C区19号住居跡出土遺物(2)	127
第133回	C区1号住居跡・掘り方	90	第194回	C区20号住居跡出土遺物	127
第134回	C区1号住居跡出土遺物(1)	91	第195回	C区21号住居跡・竈	128
第135回	C区1号住居跡出土遺物(2)	92	第196回	C区21号住居跡出土遺物	128
第136回	C区2号住居跡・竈	93	第197回	C区22号住居跡・竈	129
第137回	C区2号住居跡掘り方	94	第198回	C区22号住居跡出土遺物(1)	129
第138回	C区2号住居跡出土遺物(1)	94	第199回	C区22号住居跡出土遺物(2)	130
第139回	C区2号住居跡出土遺物(2)	95	第200回	C区22号住居跡掘り方	130
第140回	C区2号住居跡出土遺物(3)	96	第201回	C区23・62号住居跡・竈	131
第141回	C区3号住居跡・竈・掘り方	97	第202回	C区23号住居跡出土遺物(1)	131
第142回	C区3号住居跡出土遺物	97	第203回	C区23号住居跡出土遺物(2)	132
第143回	C区4号住居跡・竈	98	第204回	C区23号住居跡出土遺物(3)	133
第144回	C区4号住居跡出土遺物	98	第205回	C区24～26号住居跡	135
第145回	C区5号住居跡・竈・掘り方	99	第206回	C区24～26号住居跡・24号住居跡竈	136
第146回	C区5号住居跡出土遺物(1)	100	第207回	C区24～26号住居跡竈・貯蔵穴・エレベーション	137
第147回	C区5号住居跡出土遺物(2)	101	第208回	C区24号住居跡出土遺物(1)	137
第148回	C区5・42号住居跡	102	第209回	C区24号住居跡出土遺物(2)	138
第149回	C区6号住居跡竈エレベーション 42号住居跡貯蔵穴・床下土坑	103	第210回	C区24号住居跡出土遺物(3)	139
第150回	C区6・42号住居跡掘り方	103	第211回	C区25号住居跡出土遺物(1)	139
第151回	C区6号住居跡掘り方エレベーション	104	第212回	C区25号住居跡出土遺物(2)	140
第152回	C区6号住居跡出土遺物	104	第213回	C区26号住居跡出土遺物(1)	140
第153回	C区42号住居跡出土遺物(1)	104	第214回	C区26号住居跡出土遺物(2)	141
第154回	C区42号住居跡出土遺物(2)	105	第215回	C区27号住居跡土坑出土遺物(1)	142
第155回	C区42号住居跡出土遺物(3)	106	第216回	C区27号住居跡	143
第156回	C区7号住居跡	106	第217回	C区27号住居跡土坑出土遺物(2)	143
第157回	C区7号住居跡竈	107	第218回	C区27号住居跡土坑出土遺物(3)	144
第158回	C区7号住居跡出土遺物	107	第219回	C区28～30号住居跡	145
第159回	C区8号住居跡	108	第220回	C区28号住居跡出土遺物	146
第160回	C区8号住居跡竈	108	第221回	C区29号住居跡出土遺物	147
第161回	C区12号住居跡掘り方	108	第222回	C区30号住居跡出土遺物	147
第162回	C区17号住居跡・竈	109	第223回	C区31号住居跡・竈	148
第163回	C区8・17号住居跡掘り方	109	第224回	C区31号住居跡出土遺物	148
第164回	C区8号住居跡出土遺物	110	第225回	C区32・54号住居跡	149
第165回	C区12号住居跡出土遺物	110	第226回	C区32号住居跡出土遺物(1)	149
第166回	C区17号住居跡出土遺物	110	第227回	C区32号住居跡出土遺物(2)	150
第167回	C区9号住居跡	111	第228回	C区54号住居跡出土遺物	150
第168回	C区9号住居跡出土遺物	111	第229回	C区33・34号住居跡	151
第169回	C区10号住居跡	111	第230回	C区33・34号住居跡・竈・床下土坑	152
第170回	C区10号住居跡竈	112	第231回	C区33号住居跡出土遺物(1)	152
第171回	C区10号住居跡出土遺物	112	第232回	C区33号住居跡出土遺物(2)	153
第172回	C区11号住居跡	112	第233回	C区33号住居跡出土遺物(3)	154
第173回	C区11号住居跡竈	113	第234回	C区33号住居跡出土遺物(4)	155
第174回	C区11号住居跡出土遺物	113	第235回	C区34号住居跡出土遺物(1)	155
第175回	C区13号住居跡・竈	114	第236回	C区34号住居跡出土遺物(2)	156
第176回	C区13号住居跡出土遺物(1)	115	第237回	C区35号住居跡・竈	157
第177回	C区13号住居跡出土遺物(2)	116	第238回	C区35号住居跡出土遺物	158
			第239回	C区36号住居跡・竈	159

第240例	C区36号住居跡掘り方	160
第241例	C区36号住居跡出土遺物(1)	160
第242例	C区36号住居跡出土遺物(2)	161
第243例	C区36号住居跡出土遺物(3)	162
第244例	C区36号住居跡出土遺物(4)	163
第245例	C区37号住居跡	164
第246例	C区37号住居跡出土遺物	164
第247例	C区38号住居跡・竈	164
第248例	C区38号住居跡出土遺物	165
第249例	C区39号住居跡	165
第250例	C区39号住居跡床下土塊	166
第251例	C区39号住居跡出土遺物(1)	166
第252例	C区39号住居跡出土遺物(2)	167
第253例	C区41号住居跡・竈	167
第254例	C区41号住居跡出土遺物	168
第255例	C区44号住居跡	168
第256例	C区44号住居跡出土遺物	168
第257例	C区50・51号住居跡	169
第258例	C区50号住居跡出土遺物(1)	170
第259例	C区50号住居跡出土遺物(2)	171
第260例	C区51号住居跡出土遺物	171
第261例	C区53号住居跡・貯蔵穴・床下土塊	172
第262例	C区53号住居跡出土遺物	172
第263例	C区55・59号住居跡	173
第264例	C区55号住居跡出土遺物	174
第265例	C区59号住居跡出土遺物	175
第266例	C区57号住居跡	175
第267例	C区57号住居跡出土遺物	175
第268例	C区60号住居跡	176
第269例	C区61号住居跡	176
第270例	C区61号住居跡出土遺物	177
第271例	D区1号住居跡	178
第272例	D区1号住居跡出土遺物	179
第273例	D区2号住居跡・竈	180
第274例	D区2号住居跡出土遺物	181
第275例	D区3号住居跡	181
第276例	D区3号住居跡掘り方	182
第277例	D区3号住居跡出土遺物(1)	183
第278例	D区3号住居跡出土遺物(2)	184
第279例	D区4号住居跡	184
第280例	D区4号住居跡出土遺物	185
第281例	D区6号住居跡	185
第282例	D区6号住居跡出土遺物	185
第283例	D区7号住居跡・竈	186
第284例	D区7号住居跡出土遺物(1)	186
第285例	D区7号住居跡出土遺物(2)	187
第286例	D区8号住居跡・竈・貯蔵穴	188
第287例	D区8号住居跡出土遺物(1)	188
第288例	D区8号住居跡出土遺物(2)	189
第289例	D区8号住居跡出土遺物(3)	190
第290例	D区8号住居跡出土遺物(4)	191
第291例	D区8号住居跡出土遺物(5)	192
第292例	D区8号住居跡出土遺物(6)	193
第293例	D区10号住居跡	194
第294例	D区10号住居跡出土遺物(1)	194
第295例	D区10号住居跡出土遺物(2)	195
第296例	D区11・12・32号住居跡	197
第297例	D区32号住居跡竈・貯蔵穴・12号住居跡貯蔵穴・竈	198
第298例	D区11号住居跡出土遺物	198
第299例	D区12号住居跡出土遺物(1)	198
第300例	D区12号住居跡出土遺物(2)	199
第301例	D区12号住居跡出土遺物(3)	200

第302例	D区32号住居跡	200
第303例	D区13号住居跡	202
第304例	D区14号住居跡竈・貯蔵穴	203
第305例	D区13号住居跡出土遺物(1)	203
第306例	D区13号住居跡出土遺物(2)	204
第307例	D区13号住居跡出土遺物(3)	205
第308例	D区14号住居跡出土遺物(1)	205
第309例	D区14号住居跡出土遺物(2)	206
第310例	D区15号住居跡出土遺物	206
第311例	D区17・18号住居跡	207
第312例	D区17号住居跡貯蔵穴	208
第313例	D区17号住居跡出土遺物(1)	208
第314例	D区17号住居跡出土遺物(2)	209
第315例	D区18号住居跡出土遺物	210
第316例	D区19・29号住居跡竈	210
第317例	D区19・29号住居跡	211
第318例	D区19号住居跡出土遺物(1)	212
第319例	D区19号住居跡出土遺物(2)	213
第320例	D区19号住居跡出土遺物(3)	214
第321例	D区29号住居跡出土遺物	214
第322例	D区20号住居跡	215
第323例	D区20号住居跡出土遺物	215
第324例	D区22・25・34・35号住居跡	217
第325例	D区22・25号住居跡・竈・貯蔵穴	218
第326例	D区22号住居跡出土遺物	219
第327例	D区23号住居跡出土遺物(1)	219
第328例	D区23号住居跡出土遺物(2)	220
第329例	D区24号住居跡出土遺物(1)	221
第330例	D区24号住居跡出土遺物(2)	222
第331例	D区25号住居跡出土遺物	222
第332例	D区26号住居跡	223
第333例	D区26号住居跡出土遺物	223
第334例	D区27号住居跡	224
第335例	D区30号住居跡・竈	224
第336例	D区30号住居跡出土遺物(1)	225
第337例	D区30号住居跡出土遺物(2)	226
第338例	D区31号住居跡・竈	227
第339例	D区31号住居跡出土遺物(1)	227
第340例	D区31号住居跡出土遺物(2)	228
第341例	D区33号住居跡	229
第342例	D区33号住居跡竈・貯蔵穴	230
第343例	D区33号住居跡出土遺物	230
第344例	D区37号住居跡	230
第345例	A区1・2号土塊	231
第346例	A区3号土塊	231
第347例	A区4号土塊	231
第348例	A区5号土塊	232
第349例	A区6号土塊	232
第350例	A区7号土塊	232
第351例	A区8号土塊	232
第352例	A区9号土塊	233
第353例	A区10号土塊	233
第354例	A区11号土塊	233
第355例	A区14号土塊	234
第356例	A区12号土塊	235
第357例	A区15号土塊	235
第358例	A区16-1号土塊	235
第359例	A区16-2号土塊	235
第360例	A区17-1号土塊	236
第361例	A区17-2号土塊	236
第362例	A区18号土塊	236
第363例	A区19号土塊	236

第364回	A区20号土壌	237	第426回	C区35-37・48・49号土壌	263
第365回	A区21号土壌	237	第427回	C区35-37・49号土壌	264
第366回	A区23号土壌	237	第428回	C区58号土壌	264
第367回	A区25号土壌	238	第429回	C区60号土壌	264
第368回	A区26号土壌	239	第430回	C区61・62号土壌	265
第369回	B区4号土壌	239	第431回	C区65号土壌	265
第370回	B区5号土壌	239	第432回	C区66号土壌	265
第371回	B区6号土壌	240	第433回	C区67号土壌	266
第372回	B区7号土壌	240	第434回	C区68号土壌	266
第373回	B区8号土壌	240	第435回	C区69号土壌	266
第374回	B区10号土壌	240	第436回	C区70号土壌	266
第375回	B区11号土壌	241	第437回	C区72号土壌	266
第376回	B区13・14号土壌	241	第438回	C区71号土壌	267
第377回	B区15号土壌	241	第439回	C区73号土壌	267
第378回	B区16号土壌	242	第440回	C区74号土壌	267
第379回	B区22・23号土壌	242	第441回	C区77号土壌	267
第380回	B区17-21号土壌	243	第442回	D区1号土壌	268
第381回	B区24号土壌	244	第443回	D区2号土壌	268
第382回	B区25号土壌	244	第444回	D区3号土壌	268
第383回	B区26号土壌	245	第445回	D区4号土壌	268
第384回	B区27・28号土壌	245	第446回	D区5号土壌	269
第385回	B区29号土壌	245	第447回	D区6号土壌	269
第386回	B区30号土壌	246	第448回	D区7号土壌	269
第387回	B区31・55号土壌	246	第449回	D区8号土壌	269
第388回	B区32号土壌	246	第450回	D区9号土壌	270
第389回	B区33-36号土壌	247	第451回	D区10号土壌	270
第390回	B区38号土壌	247	第452回	D区11号土壌	270
第391回	B区39号土壌	248	第453回	D区12号土壌	270
第392回	B区40・41号土壌	248	第454回	D区14号土壌	271
第393回	B区42号土壌	248	第455回	D区15号土壌	271
第394回	B区43-45号土壌	249	第456回	D区16号土壌	271
第395回	B区47号土壌	249	第457回	D区17号土壌	271
第396回	B区46・49号土壌37号土壌藪	250	第458回	D区18A・B号土壌	272
第397回	B区50号土壌	251	第459回	D区18C号土壌	272
第398回	B区51号土壌	251	第460回	D区19号土壌	272
第399回	B区52号土壌	251	第461回	D区20号土壌	272
第400回	B区53号土壌	251	第462回	D区21号土壌	273
第401回	B区54号土壌	252	第463回	D区22号土壌	273
第402回	B区56号土壌	252	第464回	D区25号土壌	273
第403回	B区57号土壌	252	第465回	D区26号土壌	273
第404回	B-2区57・58号土壌	252	第466回	D区27号土壌	274
第405回	C区1号土壌	253	第467回	A-1区1号土壌	274
第406回	C区2号土壌	253	第468回	A-1区4号土壌	274
第407回	C区4号土壌	254	第469回	A-1区5号土壌	274
第408回	C区7-9・53号土壌	254	第470回	A-1区2・3号土壌	275
第409回	C区25・50-54号土壌	255	第471回	A-1区6号土壌	276
第410回	C区15号土壌	256	第472回	A-1区7・8号土壌	276
第411回	C区16号土壌	256	第473回	A-1区9号土壌	276
第412回	C区17号土壌	256	第474回	A-1区10号土壌	277
第413回	C区20号土壌	257	第475回	A-1区11号土壌	277
第414回	C区21号土壌	257	第476回	A-1区12号土壌	277
第415回	C区26号土壌	257	第477回	A-1区13号土壌	278
第416回	C区22・23号土壌	258	第478回	A-1区14号土壌	278
第417回	C区22・23号土壌エレベーション	259	第479回	A-2区15号土壌	278
第418回	C区27号土壌	259	第480回	A-2区16号土壌	279
第419回	C区28号土壌	259	第481回	A-2区17号土壌	279
第420回	C区24・40-45号土壌	260	第482回	A-2区18号土壌	279
第421回	C区24・40-45号土壌エレベーション	261	第483回	A-2区19号土壌	279
第422回	C区29号土壌	261	第484回	A-2区20号土壌	279
第423回	C区30・31号土壌	262	第485回	A-2区21号土壌	280
第424回	C区32号土壌	262	第486回	A-2区22号土壌	280
第425回	C区47号土壌	262	第487回	A-2区23号土壌	280

第488图	A-2区24号土坑	280	第550图	B区4·5号井尸(3)	323
第489图	A-2区25号土坑	281	第551图	B区7号井尸	324
第490图	A-2区26号土坑	281	第552图	B区8号井尸	325
第491图	A-2区27号土坑	281	第553图	B区10号井尸	325
第492图	A-2区28号土坑	282	第554图	B区9号井尸	326
第493图	A-2区29号土坑	282	第555图	B区11号井尸(1)	326
第494图	A-2区30号土坑	282	第556图	B区11号井尸(2)	327
第495图	A-2区32号土坑	282	第557图	B区12号井尸	327
第496图	A-2区31号土坑	283	第558图	C区1号井尸(1)	328
第497图	A-2区33号土坑	283	第559图	C区1号井尸(2)	329
第498图	土坑出土遗物(1)	284	第560图	C区2号井尸	329
第499图	土坑出土遗物(2)	285	第561图	C区4号井尸	330
第500图	土坑出土遗物(3)	286	第562图	D区2号井尸	330
第501图	土坑出土遗物(4)	287	第563图	D区1号井尸	331
第502图	土坑出土遗物(5)	288	第564图	D区3号井尸	332
第503图	土坑出土遗物(6)	289	第565图	D区4号井尸	333
第504图	土坑出土遗物(7)	290	第566图	D区4-b号井尸	334
第505图	土坑出土遗物(8)	291	第567图	D区5号井尸	335
第506图	土坑出土遗物(9)	292	第568图	D区6号井尸(1)	335
第507图	土坑出土遗物(10)	293	第569图	D区6号井尸(2)	336
第508图	土坑出土遗物(11)	294	第570图	D区7号井尸(1)	336
第509图	土坑出土遗物(12)	295	第571图	D区7号井尸(2)	337
第510图	土坑出土遗物(13)	296	第572图	A-1区1号井尸	337
第511图	土坑出土遗物(14)	297	第573图	A-1区2号井尸	338
第512图	A区2·3号溝	302	第574图	A-2区3号井尸	338
第513图	B区1·2号溝	302	第575图	A-2区4号井尸	338
第514图	C区2号溝	303	第576图	A-2区5号井尸	339
第515图	D区1号溝	303	第577图	井尸出土遗物(1)	340
第516图	D区5·6号溝	303	第578图	井尸出土遗物(2)	341
第517图	D区10号溝	304	第579图	井尸出土遗物(3)	342
第518图	D区9号溝	304	第580图	A区1号土坑墓	343
第519图	D区11号溝	304	第581图	B区12号土坑墓	343
第520图	D区12号溝	305	第582图	B区37号土坑墓	344
第521图	D区13·17·18号溝	305	第583图	C区1号土坑墓	345
第522图	D区14·15号溝	305	第584图	C区2号土坑墓	345
第523图	D区21~23号溝	306	第585图	C区3号土坑墓	345
第524图	A-1区1·2号溝	307	第586图	C区4号土坑墓	346
第525图	A-1区3号溝	307	第587图	C区5号土坑墓	346
第526图	A-1区4号溝	307	第588图	C区6号土坑墓	346
第527图	A-1区5号溝	308	第589图	C区7号土坑墓	347
第528图	A-1区6·7号溝	308	第590图	D区1号土坑墓	347
第529图	A-2区8号溝	308	第591图	D区2号土坑墓	347
第530图	A-2区9号溝	308	第592图	A-1区1号土坑墓	348
第531图	A-2区10号溝	309	第593图	A-1区2号土坑墓	348
第532图	A-2区11号溝	309	第594图	A-1区3号土坑墓	348
第533图	A-2区12号溝	309	第595图	A-1区4号土坑墓	349
第534图	B-1区1号溝	309	第596图	A-1区5号土坑墓	349
第535图	B-1区2号溝	310	第597图	A-1区6号土坑墓	349
第536图	B-1区3号溝	310	第598图	A-1区7号土坑墓	350
第537图	溝出土遗物(1)	310	第599图	A-1区8号土坑墓	350
第538图	溝出土遗物(2)	311	第600图	A-1区9·10号土坑墓	350
第539图	溝出土遗物(3)	312	第601图	A-1区11号土坑墓	351
第540图	溝出土遗物(4)	313	第602图	A-1区12号土坑墓	351
第541图	溝出土遗物(5)	314	第603图	土坑墓出土遗物(1)	352
第542图	溝出土遗物(6)	315	第604图	土坑墓出土遗物(2)	353
第543图	A区1号井尸	317	第605图	土坑墓出土遗物(3)	354
第544图	A区2号井尸	318	第606图	土坑墓出土遗物(4)	355
第545图	B区1号井尸	318	第607图	土坑墓出土遗物(5)	356
第546图	B区2号井尸	319	第608图	土坑墓出土遗物(6)	357
第547图	B区3号井尸	320	第609图	土坑墓出土遗物(7)	358
第548图	B区4·5号井尸(1)	321	第610图	D区1号獨立柱建物跡	360
第549图	B区4·5号井尸(2)	322	第611图	D区2号獨立柱建物跡	361

第612図	D区3号窟立柱建物跡	361
第613図	B区1号壑穴状遺構	362
第614図	B区2号壑穴状遺構(1)	363
第615図	B区2号壑穴状遺構(2)	364
第616図	B区3・4号壑穴状遺構	364
第617図	B区2号壑穴状遺構出土遺物	365
第618図	D区屋敷掘り(1)	366
第619図	D区屋敷掘り(2)	367
第620図	D区屋敷掘り(3)	368
第621図	D区屋敷掘り(4)	369

第622図	D区屋敷掘り(5)	370
第623図	C区3号土坑	371
第624図	C区3号土坑鉄滓スケール出土範囲	372
第625図	C区3号土坑出土遺物	372
第626図	明屋敷遺跡内プレ試験坑配置図	374
第627図	A区1号礎礎出土石器	376
第628図	A区1号礎礎	378
第629図	A区2号礎礎	380
第630図	A区右器出土状況	382
第631図	A区1号礎礎拡大図	384

写真図版目次

P L 1

A区1号住居跡全景
A区1号住居跡遺物
A区1号住居跡掘り方遺物出土状況
A区1号住居跡掘り方全景
A区1号住居跡掘り方全景

P L 2

A区2号住居跡全景
A区2号住居跡遺物出土状況
A区2号住居跡遺物出土状況
A区2号住居跡遺物出土状況
A区2号住居跡遺物出土状況
A区2号住居跡遺物出土状況

P L 3

A区3・16号住居跡全景
A区3号住居跡全景
A区3号住居跡遺物出土状況
A区3・4・16号住居跡掘り方全景
A区3号住居跡・2号土坑全景

P L 4

A区4号住居跡全景
A区4号住居跡遺物
A区4号住居跡掘り方全景

P L 5

A区5号住居跡全景
A区5号住居跡遺物出土状況
A区5号住居跡遺物出土状況
A区5号住居跡遺物出土状況
A区5号住居跡遺物出土状況
A区5号住居跡遺物出土状況

P L 6

A区5号住居跡遺物出土状況
A区5号住居跡遺物出土状況
A区5号住居跡遺物出土状況
A区5号住居跡遺物出土状況
A区5号住居跡掘り方全景
A区5号住居跡掘り方全景

P L 7

A区6号住居跡全景
A区6号住居跡遺物出土状況
A区6号住居跡遺物出土状況
A区6号住居跡掘り方全景
A区6号住居跡掘り方全景

P L 8

A区7号住居跡全景

P L 9

A区8号住居跡全景
A区8号住居跡遺物出土状況
A区8号住居跡遺物出土状況
A区8号住居跡掘り方全景

A区8号住居跡掘り方全景

P L 10

A区9号住居跡全景
A区9号住居跡遺物出土状況
A区9号住居跡貯蔵穴遺物出土状況
A区9号住居跡貯蔵穴遺物出土状況
A区9号住居跡掘り方全景

P L 11

A区10号住居跡全景
A区10号住居跡全景
A区10号住居跡遺物
A区10号住居跡掘り方全景
A区10号住居跡貯蔵穴全景

P L 12

A区11号住居跡全景
A区11号住居跡遺物
A区11号住居跡貯蔵穴遺物出土状況
A区11号住居跡掘り方全景
A区11号住居跡掘り方全景(14号土坑含む)

P L 13

A区12号住居跡全景
A区12号住居跡遺物
A区12号住居跡掘り方全景

P L 14

A区13号住居跡全景

P L 15

A区14号住居跡全景
A区14号住居跡掘り方全景
A区14号住居跡掘り方全景

P L 16

A区15号住居跡全景
A区15号住居跡遺物出土状況

P L 17

A区17号住居跡全景
A区17号住居跡遺物
A区17号住居跡掘り方全景
A区17号住居跡掘り方全景
A区17号住居跡掘り方全景

P L 18

A区18号住居跡全景
A区18号住居跡遺物出土状況
A区18号住居跡遺物出土状況
A区18号住居跡遺物出土状況
A区18号住居跡遺物出土状況

P L 19

A区18号住居跡炉・竈1全景
A区18号住居跡炉全景
A区18号住居跡炉掘り方全景

- A区18号住居跡竪1全景
A区18号住居跡竪2全景
A区18号住居跡竪2掘り方全景
A区18号住居跡住居竪土坑（竪痕跡？）全景
A区18号住居跡掘り方全景
P L 20
A区20号住居跡全景
A区20号住居跡遺物出土状況
A区20号住居跡竪全景
P L 21
A区21号住居跡全景
A区21号住居跡遺物出土状況
A区21・22号住居跡掘り方全景
P L 22
A区22号住居跡全景
A区22号住居跡遺物出土状況
A区22号住居跡遺物出土状況
A区22号住居跡竪全景
A区22号住居跡掘り方全景
P L 23
A区23号住居跡掘り方全景
A区23号住居跡遺物出土状況
A区23号住居跡竪全景
P L 24
A区24号住居跡全景
A区24号住居跡貯蔵穴遺物出土状況
A区24号住居跡掘り方全景
P L 25
A区25号住居跡掘り方全景
A区25号住居跡竪掘り方全景
P L 26
A区26号住居跡遺物出土状況
A区26号住居跡竪全景
A区27号住居跡全景
P L 27
A区28号住居跡全景
A区28号住居跡遺物出土状況
A区28号住居跡遺物出土状況
A区28号住居跡竪全景
A区28号住居跡掘り方全景
P L 28
A区29号住居跡掘り方全景
A区29号住居跡遺物出土状況
P L 29
A区30号住居跡全景
A区30号住居跡遺物出土状況
A区30号住居跡遺物出土状況
A区30号住居跡遺物出土状況
A区30号住居跡遺物出土状況
A区30号住居跡貯蔵穴全景
P L 30
A区30号住居跡貯蔵穴遺物出土状況
A区30号住居跡貯蔵穴遺物出土状況
A区30号住居跡竪全景
A区30号住居跡掘り方全景
A区31号住居跡掘り方全景
P L 31
A区31号住居跡掘り方全景
A区32号住居跡全景
P L 32
A区34号住居跡全景
A区35号住居跡全景
P L 33
A区36号住居跡全景
A区36号住居跡遺物出土状況
A区36号住居跡掘り方全景
P L 34
A区37号住居跡全景
A区38号住居跡全景
P L 35
A区41号住居跡全景
A区41号住居跡遺物出土状況
A区41号住居跡遺物出土状況
A区41号住居跡貯蔵穴全景
A区41号住居跡内土塊焼土出土状況
P L 36
A区41号住居跡内炭化物出土状況
A区41号住居跡断面
（木の根により攪乱を受けている様子、床残存状態）
A区41号住居跡断面
（同前）
A区41号住居跡掘り方全景
P L 37
B区1号住居跡全景
B区1号住居跡竪全景
B区1号住居跡遺物出土状況
B区1号住居跡遺物出土状況
B区1号住居跡遺物出土状況
P L 38
B区2号住居跡掘り方全景
B区2号住居跡住居内小穴1・2
B区2号住居跡内小穴1
P L 39
B区3・4・5号住居跡全景
B区3・4・5・6・7・8号住居跡掘り方全景
P L 40
B区4号住居跡遺物出土状況
B区4号住居跡遺物出土状況
B区4号住居跡遺物出土状況
B区4号住居跡竪全景
B区6号住居跡全景
P L 41
B区6号住居跡遺物出土状況
B区6号住居跡遺物出土状況
B区6号住居跡竪全景
B区4・6号住居跡掘り方全景
P L 42
C区1号住居跡全景
C区1号住居跡遺物出土状況
C区1号住居跡掘り方全景
P L 43
C区2号住居跡全景
C区2号住居跡遺物出土状況
C区2号住居跡遺物出土状況
C区2号住居跡貯蔵穴全景
C区2号住居跡竪全景
P L 44
C区2号住居跡竪軸部遺物出土状況
C区2号住居跡竪軸部遺物出土状況
C区2号住居跡竪軸部遺物出土状況
C区2号住居跡掘り方全景
C区3号住居跡全景
P L 45
C区4号住居跡全景
C区5号住居跡全景

- P L 46
 C区5号住居跡遺物出土状況
 C区5号住居跡竈全景
 C区5・8・18号住居跡掘り方全景
- P L 47
 C区8・12号住居跡全景
 C区8・12号住居跡掘り方全景
- P L 48
 C区8号住居跡竈全景
 C区8号住居跡竈断面
 C区17号住居跡竈全景
 C区17号住居跡掘り方全景
 C区18号住居跡掘り方全景
- P L 49
 C区18号住居跡遺物出土状況
 C区18号住居跡遺物出土状況
 C区18号住居跡遺物出土状況
 C区18号住居跡遺物出土状況
 C区18号住居跡遺物出土状況
 C区18号住居跡遺物出土状況
 C区18号住居跡竈全景
 C区18号住居跡竈掘り方全景
- P L 50
 C区6号住居跡全景
 C区42号住居跡全景
- P L 51
 C区6号住居跡遺物出土状況
 C区6号住居跡竈全景
 C区6・42号住居跡掘り方全景
 C区42号住居跡掘り方全景
- P L 52
 C区7号住居跡全景
 C区7号住居跡竈全景
 C区7号住居跡掘り方全景
- P L 53
 C区10号住居跡全景
 C区10号住居跡掘り方全景
- P L 54
 C区11号住居跡全景
 C区11号住居跡掘り方全景
- P L 55
 C区13号住居跡掘り方全景
 C区13号住居跡遺物出土状況
 C区13号住居跡貯蔵穴全景
 C区13号住居跡1号床下土坑遺物出土状況
 C区13号住居跡1号床下土坑遺物出土状況
- P L 56
 C区14号住居跡全景
 C区15号住居跡全景
- P L 57
 C区16号住居跡全景
 C区16号住居跡竈全景
 C区16号住居跡竈掘り方全景
 C区16号住居跡掘り方全景
- P L 58
 C区19・20号住居跡全景
 C区19号住居跡竈全景
 C区20号住居跡竈全景
 C区19・20号住居跡掘り方全景
 C区20号住居跡掘り方全景
- P L 59
 C区21号住居跡全景
 C区36号住居跡全景
- P L 60
 C区21号住居跡竈全景
 C区36号住居跡竈全景
 C区21号住居跡掘り方全景
 C区21・36号住居跡掘り方全景
- P L 61
 C区22号住居跡全景
 C区22号住居跡竈全景
- P L 62
 C区23号住居跡全景
 C区23号住居跡竈全景
 C区23号住居跡掘り方全景
- P L 63
 C区24号住居跡全景
 C区24・25・26号住居跡全景
- P L 64
 C区24号住居跡全景
 C区24・25号住居跡全景
 C区24号住居跡竈全景
 C区24号住居跡竈遺物出土状況
 C区25号住居跡竈全景
 C区25号住居跡竈掘り方全景
 C区26号住居跡貯蔵穴全景
 C区26号住居跡竈全景
- P L 65
 C区27号住居跡全景
 C区28号住居跡全景
- P L 66
 C区30号住居跡掘り方全景
 C区30号住居跡竈全景
- P L 67
 C区31号住居跡掘り方全景
 C区31号住居跡全景
 C区31号住居跡竈全景
- P L 68
 C区32号住居跡全景
 C区32号住居跡遺物出土状況
 C区32号住居跡遺物出土状況
 C区32号住居跡遺物出土状況
 C区32号住居跡遺物出土状況
- P L 69
 C区32号住居跡竈石籠状況
 C区32号住居跡竈袖部遺物出土状況
- P L 70
 C区33号住居跡全景
 C区33号住居跡竈全景
 C区33号住居跡竈掘り方遺物出土状況
 C区33号住居跡掘り方遺物出土状況
 C区33号住居跡掘り方遺物出土状況
- P L 71
 C区34号住居跡全景
 C区34号住居跡竈掘り方全景
- P L 72
 C区35号住居跡全景
 C区35号住居跡竈全景
 C区35号住居跡竈袖部遺物出土状況
- P L 73
 C区37号住居跡全景
 C区37号住居跡掘り方全景
- P L 74

- C区38号住居跡全景
C区38号住居跡壘全景
- P L 75
C区39号住居跡全景
C区39号住居跡遺物出土状況
C区39号住居跡遺物出土状況
- P L 76
C区41号住居跡全景
C区41号住居跡壘全景
- P L 77
C区50・51号住居跡全景
C区50号住居跡遺物出土状況
C区50号住居跡遺物出土状況
C区50号住居跡遺物出土状況
C区50号住居跡遺物出土状況
C区50号住居跡遺物出土状況
- P L 78
C区50号住居跡遺物出土状況
C区50号住居跡掘り方遺物出土状況
C区50号住居跡掘り方遺物出土状況
C区50号住居跡掘り方遺物出土状況
C区51号住居跡遺物出土状況
C区51号住居跡遺物出土状況
- P L 79
C区53号住居跡全景
C区53号住居跡貯藏穴全景
C区53号住居跡掘り方全景
- P L 80
C区55・59号住居跡全景
C区55号住居跡貯藏穴全景
C区55号住居跡壘全景
C区55号住居跡掘り方全景
C区55・59号住居跡掘り方全景
- P L 81
C区60号住居跡全景
C区60号住居跡掘り方全景
- P L 82
C区61号住居跡・61・62・63号土坑全景
C区61号住居跡壘全景
C区61号住居跡貯藏穴全景
- P L 83
D区1号住居跡全景
D区1号住居跡遺物出土状況
D区1号住居跡壘全景
D区1号住居跡貯藏穴全景
D区1号住居跡掘り方全景
- P L 84
D区2号住居跡全景
D区2号住居跡貯藏穴全景
D区2号住居跡壘全景
- P L 85
D区3号住居跡全景
D区3号住居跡遺物出土状況
D区3号住居跡遺物出土状況
D区3号住居跡壘全景
D区3号住居跡複断面
- P L 86
D区3号住居跡壘・貯藏穴全景
D区3号住居跡掘り方全景
D区4号住居跡全景
- P L 87
D区6号住居跡全景
- P L 88
D区7号住居跡全景
D区7号住居跡掘り方全景
D区7号住居跡掘り方全景
- P L 89
D区8号住居跡全景
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡貯藏穴全景
- P L 90
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡遺物出土状況
D区8号住居跡貯藏穴全景
- P L 91
D区8号住居跡貯藏穴全景
D区8号住居跡貯藏穴全景
D区8号住居跡貯藏穴全景
D区8号住居跡壘全景
D区8号住居跡壘全景
D区8号住居跡掘り方全景
- P L 92
D区10号住居跡全景
D区10号住居跡全景
D区10号住居跡遺物出土状況
D区10号住居跡遺物出土状況
D区10号住居跡遺物出土状況
- P L 93
D区10号住居跡壘全景
D区10号住居跡壘・貯藏穴全景
D区10号住居跡壘支脚
D区10号住居跡壘支脚
D区10号住居跡壘支脚
D区10号住居跡掘り方全景
- P L 94
D区11・12号住居跡全景
D区11号住居跡遺物出土状況
D区11号住居跡遺物出土状況
D区11号住居跡遺物出土状況
D区11号住居跡遺物出土状況
- P L 95
D区12号住居跡全景
D区12号住居跡遺物出土状況
D区12号住居跡遺物出土状況
D区12号住居跡掘り方全景
- P L 96
D区13号住居跡全景
D区13号住居跡掘り方全景
D区13号住居跡掘り方全景・24号土坑全景
- P L 97
D区14号住居跡全景
D区14号住居跡壘全景
D区14号住居跡遺物出土状況
D区14号住居跡掘り方全景
D区14号住居跡掘り方全景
- P L 98
D区17号住居跡全景
D区17号住居跡貯藏穴遺物出土状況

- D区17号住居跡壘全景
D区17号住居跡壘掘り方全景
D区17・18号住居跡掘り方全景
- P L 99
D区18号住居跡全景
D区18号住居跡壘全景
D区18号住居跡壘掘り方全景
- P L 100
D区19・29号住居跡・25号土坑全景
D区19号住居跡遺物出土状況
D区19号住居跡遺物出土状況
D区19号住居跡遺物出土状況
D区19号住居跡貯蔵穴全景
- P L 101
D区29号住居跡遺物出土状況
D区29号住居跡遺物出土状況
D区29号住居跡貯蔵穴全景
D区19・29号住居跡掘り方全景
D区20号住居跡全景
- P L 102
D区22号住居跡全景
D区22号住居跡壘全景
D区22号住居跡壘全景
- P L 103
D区23・24・35号住居跡全景
D区23号住居跡1号炉罫り方全景
D区23号住居跡2号炉罫り方全景
- P L 104
D区24号住居跡全景
D区24号住居跡壘全景
D区24号住居跡掘り方全景
- P L 105
D区25号住居跡全景
D区25号住居跡壘全景
D区25号住居跡壘掘り方全景
- P L 106
D区26号住居跡全景
D区27号住居跡全景
- P L 107
D区28号住居跡全景
D区30号住居跡全景
- P L 108
D区30号住居跡壘全景
D区30号住居跡壘遺物出土状況
D区30号住居跡壘遺物出土状況
D区30号住居跡壘遺物出土状況
D区30号住居跡壘掘り方全景
D区30号住居跡掘り方全景
- P L 109
D区31号住居跡全景
D区31号住居跡壘全景
D区31号住居跡壘掘り方全景
- P L 110
D区32号住居跡全景
- P L 111
D区33号住居跡全景
D区33号住居跡壘全景
D区33号住居跡遺物出土状況
D区33号住居跡壘全景
D区33号住居跡掘り方全景
- P L 112
D区36号住居跡全景
- D区36号住居跡遺物出土状況
D区36号住居跡遺物出土状況
D区36号住居跡遺物出土状況
D区36号住居跡遺物出土状況
- P L 113
B-1区7号住居跡全景
B-1区7号住居跡遺物出土状況
B-1区7号住居跡壘全景
B-1区7号住居跡掘り方全景
B-1区7号住居跡掘り方全景
- P L 114
A区1・2号土坑全景
A区3号土坑全景
A区4号土坑全景
A区7号土坑全景
A区8号土坑全景
A区9号土坑全景
A区10号土坑全景
A区11号土坑全景
- P L 115
A区15号土坑全景
A区16号土坑全景
A区17号土坑全景
A区18・19号土坑全景
A区20号土坑全景
A区23号土坑全景
A区25号土坑全景
A区25号土坑遺物出土状況
- P L 116
A区26号土坑全景
B区5号土坑全景
B区6号土坑全景
B区6号土坑遺物出土状況
B区6号土坑遺物出土状況
B区7号土坑全景
B区8号土坑全景
B区10号土坑全景
- P L 117
B区11号土坑全景
B区12号土坑全景
B区12号土坑全景
B区13号土坑全景
B区14号土坑全景
B区15号土坑全景
B区15号土坑全景
B区16号土坑全景
- P L 118
B区24号土坑全景
B区25号土坑全景
B区26号土坑全景
B区27号土坑全景
B区28号土坑全景
B区30号土坑全景
B区32号土坑全景
B区36号土坑全景
- P L 119
B区38号土坑全景
B区39号土坑全景
B区41号土坑全景
B区42号土坑全景
B区43・44・45号土坑全景
B区47号土坑全景

- B区47号土坑全景
B区47号土坑遺物出土状况
- P L 120
B区47号土坑遺物出土状况
B区47号土坑遺物出土状况
B区47号土坑遺物出土状况
B区47号土坑遺物出土状况
B区47号土坑遺物出土状况
B区49号土坑全景
B区54号土坑全景
- P L 121
B区55号土坑全景
B区56号土坑全景
C区2号土坑全景
C区3号土坑全景
C区3号土坑全景
C区3号土坑遺物出土状况
C区3号土坑遺物出土状况
C区3号土坑遺物出土状况
- P L 122
C区3号土坑遺物出土状况
C区4号土坑全景
C区5号土坑全景
C区7号土坑全景
C区8号土坑全景
C区12、13号土坑全景
C区15号土坑全景
C区16号土坑全景
- P L 123
C区17号土坑全景
C区22、23号土坑全景
C区24号土坑全景
C区24、40~45号土坑全景
C区25号土坑全景
C区27号土坑全景
C区28号土坑全景
C区32号土坑全景
- P L 124
C区38号土坑全景
C区39号土坑全景
C区45号土坑全景
C区47号土坑全景
C区48号土坑全景
C区49号土坑全景
C区54号土坑全景
C区63号土坑全景
- P L 125
C区64号土坑全景
C区64号土坑遺物出土状况
C区65号土坑全景
C区68号土坑全景
C区69号土坑全景
C区72号土坑全景
C区74号土坑全景
C区75、76号土坑全景
- P L 126
C区77号土坑全景
D区1号土坑全景
D区2号土坑全景
D区3号土坑全景
D区5号土坑全景
D区6号土坑全景
- D区7号土坑全景
D区8号土坑全景
- P L 127
D区9号土坑全景
D区11号土坑全景
D区12号土坑全景 (古墳時代)
D区14号土坑全景
D区15号土坑全景
D区16号土坑全景
D区18号土坑全景
D区23号土坑全景 (11号住居跡内)
- P L 128
D区25号土坑全景
D区25号土坑遺物出土状况
D区25号土坑遺物出土状况
B区中殿土坑群全景
D区粘土探堀坑全景
A区2、3号溝全景
B区1、2、3号溝遺物出土状况
B区1、2、3号溝遺物出土状况
- P L 129
D区6号溝全景
D区10号溝全景
D区12、11、13号溝全景
D区12、11、13号溝全景
- P L 130
D区14号溝全景
D区16号溝 (土器下)
D区16号溝 (土器下)
D区16号溝 (土器下)、6号井戸
D区16号溝 (土器下)
- P L 131
D区20号溝全景
D区20号溝遺物出土状况
A区1号井戸全景
A区2号井戸全景
B区2号井戸全景
B区3号井戸全景
B区5号井戸石組全景
B区5号井戸石組全景
- P L 132
B区5号井戸石組、丸太
B区5号井戸石組、丸太
B区5号井戸石組断面
B区5号井戸石組丸太
B区5号井戸石組、木材出土状况
B区5号井戸石組、木材出土状况
B区6号井戸全景
- P L 133
B区7号井戸全景
B区8号井戸全景
B区9号井戸全景
B区10号井戸全景
B区11号井戸全景
D区1号井戸全景
D区2号井戸全景
D区3号井戸、10号土坑全景
- P L 134
D区4号井戸全景
D区5号井戸全景
D区7号土坑全景

- A区1号土坑墓全景
B区37号土坑墓·48·46号土坑全景
C区1号土坑墓全景
C区4号土坑墓全景
D区1号土坑墓全景
- P L 125
D区1号土坑墓遺物出土状況
D区2号土坑墓全景
D区1号獨立柱建物跡全景
B区1号壑穴状遺構全景
B区2号壑穴状遺構(中世)全景
B区2号壑穴状遺構(中世)全景
B区2号壑穴状遺構(中世)全景
B区2号壑穴状遺構(中世)全景
- P L 136
D区3・4号壑穴状遺構(中世)全景
D区屋敷跡北廓全景
- P L 137
D区屋敷跡北廓
D区屋敷跡内堀・土塁全景
- P L 138
D区屋敷跡内堀・土塁全景
D区屋敷跡内堀・土塁全景
- P L 139
D区屋敷跡外堀・土塁全景
D区屋敷跡外堀・土塁全景
- P L 140
D区屋敷跡外土塁断面
D区屋敷跡外土塁全景
- P L 141
D区屋敷跡外土塁断面No.1
D区屋敷跡外土塁断面No.2
- P L 142
D区屋敷跡外土塁断面No.3
D区屋敷跡外土塁断面No.4
- P L 143
D区屋敷跡外土塁断面No.4
D区屋敷跡外土塁断面No.4
- P L 144
D区屋敷跡外土塁断面No.6
D区東端外現道下屋敷掘りコーナー部
D区東端外現道下屋敷掘りコーナー部
A区西端旧石器遺物出土状況
- P L 145
A区西端拡張部旧石器遺物出土状況
A区西端拡張部旧石器遺物出土状況
A区西端拡張部旧石器遺物出土状況
A区西端拡張部旧石器遺物出土状況
A区西端拡張部旧石器遺物出土状況
A区西端拡張部旧石器遺物出土状況
A区1号集石
- P L 146
A区1号集石
A区1号集石
A区2号集石
A区2号集石
A区2号集石
A区2号集石
A区2号集石
A区965・055G遺物出土状況
A区965・055G遺物出土状況
- P L 147
A区965・055G遺物出土状況
- A区965・055G遺物出土状況
A区965・055G遺物出土状況
A区960・030G断面
- P L 148
B-1区1号住居跡全景
B-1区1号住居跡遺物出土状況
B-1区1号住居跡遺物出土状況
B-1区1号住居跡柱穴全景
B-1区1号住居跡全景
- P L 149
B-1区2号住居跡全景
B-1区2号住居跡遺物出土状況
B-1区2号住居跡全景
- P L 150
B-1区1号溝断面
B-1区2号溝断面
B-1区2号溝全景
B-1区3号溝断面
B-1区3号溝全景
B-1区全景
B-2区全景
B-2区全景
- P L 151
A-1区1号土坑断面
A-1区2・3号土坑断面
A-1区4号土坑断面
A-1区5号土坑断面
A-1区6号土坑・1・2号溝断面
A-1区6号土坑断面
A-1区7・8号土坑全景
- P L 152
A-1区9号土坑全景
A-1区10号土坑全景
A-1区11・12号土坑全景
A-1区13号土坑全景
A-1区14号土坑断面
A-1区14号土坑全景
A-1区14号土坑全景
A-2区15号土坑全景
- P L 153
A-2区16号土坑断面
A-2区17号土坑断面
A-2区18号土坑断面
A-2区19号土坑断面
A-2区20号土坑全景
A-2区21号土坑全景
A-2区22号土坑全景
A-2区23号土坑全景
- P L 154
A-2区24号土坑全景
A-2区25号土坑全景
A-2区26号土坑全景
A-2区27号土坑全景
A-2区27号土坑遺物出土状況
A-2区28号土坑全景
A-2区29号土坑全景
A-2区30号土坑全景
- P L 155
A-2区31号土坑全景
A-2区32号土坑全景
A-2区33号土坑全景
A-1区1・2号溝全景

- A-1区3号溝全景
P L 156
A-1区4号溝全景
A-1区6・7号溝全景
A-1区6・7号溝全景
A-2区8号溝全景
A-2区9号溝全景
P L 157
A-2区10号溝全景
A-2区11号溝全景
A-2区12号溝全景
A-1区1号井戸全景
A-2区3号井戸全景
P L 158
A-2区5号井戸全景
A-2区墓群全景
P L 159
A-1区全景
P L 160
A-1区全景
P L 161
A-1区全景
P L 162
A-2区全景
P L 163
A-2区全景
P L 164
A-2区全景 (西から)
P L 165
A区1・2号住居跡出土遺物
P L 166
A区2~5号住居跡出土遺物
P L 167
A区5~9号住居跡出土遺物
P L 168
A区9~13号住居跡出土遺物
P L 169
A区14~23号住居跡出土遺物
P L 170
A区23~28号住居跡出土遺物
P L 171
A区30~36号住居跡出土遺物
P L 172
A区36号住居跡出土遺物
P L 173
A区41・B区1~6号住居跡出土遺物
P L 174
B-1区1・2号・C区1号住居跡出土遺物
P L 175
C区1・2号住居跡出土遺物
P L 176
C区2~6号住居跡出土遺物
P L 177
C区7~17・42号住居跡出土遺物
P L 178
C区11~13号住居跡出土遺物
P L 179
C区13~18号住居跡出土遺物
P L 180
C区18号住居跡出土遺物
P L 181
C区19~23号住居跡出土遺物
P L 182
C区24号住居跡出土遺物
P L 183
C区24~26号住居跡出土遺物
P L 184
C区26~28号住居跡出土遺物
P L 185
C区30~34号住居跡出土遺物
P L 186
C区34~36号住居跡出土遺物
P L 187
C区36~39号住居跡出土遺物
P L 188
C区44~50号住居跡出土遺物
P L 189
C区50号・D区1~3号住居跡出土遺物
P L 190
D区4~8号住居跡出土遺物
P L 191
D区8号住居跡出土遺物
P L 192
D区8~10号住居跡出土遺物
P L 193
D区10~12号住居跡出土遺物
P L 194
D区12~17号住居跡出土遺物
P L 195
D区14・17号住居跡出土遺物
P L 196
D区14~22号住居跡出土遺物
P L 197
D区22~25号住居跡出土遺物
P L 198
D区30・31号住居跡出土遺物
P L 199
D区13~33号住居跡出土遺物
P L 200
A・C・D区住居跡出土鉄・石製品
P L 201
土坑出土遺物 (5~27)
P L 202
土坑出土遺物 (34~59)
P L 203
土坑出土遺物 (70~117)
P L 204
土坑出土遺物 (113~139)
P L 205
土坑出土遺物 (140~160)
P L 206
土坑出土遺物 (161~164)
P L 207
土坑出土遺物 (168~175)
P L 208
溝出土遺物 (1~58)
P L 209
溝出土遺物 (61~80)
P L 210
井戸出土遺物 (1~6)
P L 211
土坑墓出土遺物 (1~31)
P L 212
土坑墓出土遺物 (32~49)
P L 213
土坑墓出土遺物 (53~63)

第1章 発掘調査の経過と 方法

第1節 調査に至る経過

本遺跡の発掘調査は、平成10年4月1日付け県教育委員会と本事業団の間で締結された、「北関東自動車道（高崎～伊勢崎）地域埋蔵文化財発掘調査」についての委託契約に基づいて、高崎基点STA+25からSTA112+90付近、約165mの間を調査対象地として実施することになった。

当初、本遺跡の発掘調査対象9,447㎡であり、縄文時代の包含層や古墳時代から平安時代の集落、及び平安時代の畠、中近世の屋敷跡等、4面あまりの文化層が想定され、延べ11,098㎡の調査が計画された。特に、本遺跡は中世の屋敷跡の存在が指摘され、遺跡内には土塁状の高まりが残されていた。発掘調査開始以前の平成10年3月から10月にかけて日本道路公団高崎工事局と群馬県教育委員会文化財保護課（現文化課）、本事業団の三者定例会議に於いて、同年11月からの調査着手が計画された。なお、高崎起点STA112からSTA112+90付近の用地が解決していた部分とボックスカルバート建設に関連する地点の調査から着手した。平成11年3月28日に本遺跡の住居跡から出土した鏡片を新聞報道した。そして、同年9月30日で本遺跡の調査は終了した。しかし、本段階で一部用地の取去が残ってしまったため、引き続き同年10月から翌平成12年3月にかけて伊勢崎市教育委員会が調査を行った。

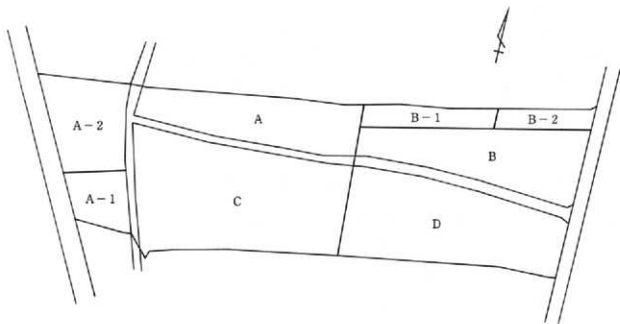


遺跡名称	遺跡名称
1 上堀五反田遺跡	30 藤原遺跡
2 上堀原町遺跡	31 新井丸田遺跡
3 新橋子三ツ谷田遺跡	32 上堀原町遺跡
4 高橋手遺跡	33 新橋子三ツ谷田遺跡
5 新橋子戸田遺跡	34 高橋手遺跡
6 新井丸田遺跡	35 新井丸田遺跡
7 林町遺跡	36 新井丸田遺跡
8 高崎遺跡	
9 堀心原遺跡	
10 堀心原遺跡	
11 堀心原遺跡	
12 堀心原遺跡	
13 中野村遺跡	
14 堀心原遺跡	
15 堀心原遺跡	
16 上堀原町遺跡	
17 下堀原町遺跡	
18 下堀原町遺跡	
19 堀心原遺跡	
20 新井丸田遺跡	
21 堀心原遺跡	
22 堀心原遺跡	
23 堀心原遺跡	
24 堀心原遺跡	
25 堀心原遺跡	
26 堀心原遺跡	
27 伊勢田遺跡	
28 堀心原遺跡	
29 堀心原遺跡	
30 堀心原遺跡	
31 堀心原遺跡	
32 堀心原遺跡	
33 堀心原遺跡	
34 堀心原遺跡	
35 堀心原遺跡	
36 堀心原遺跡	

第2節 調査の方法と経過

調査にあたっての方眼設定には、国家座標第Ⅱ系を用いた10mを基準とした。各方眼の名称は、南東隅の座標値で表し、 $X=359,980 \cdot Y=347,740$ のように表記した。本遺跡の調査は、複数年次、に渡ることが予測され、さらに当事業団と伊勢崎市教育委員会の複数組織による調査が予測された。このため事業団は対象地区を便宜的にA～D区に分けて実施した。後日事業団はB-1区の調査を行った。さらに伊勢崎市教育委員会調査区については調査時の区分であるA-1・2区B-2区をそのまま使用した。このためA～D区を分ける基準は特になく図面上の区画と調査の時間の差を示すのみで、区名の違いは何ら遺構の意味を示すものではない。

B-2区は低地部にあたり、遺構の検出はなかった。



第2図 調査区設定図

第2章 遺跡の立地と歴史環境

第1節 遺跡の立地

岡屋敷遺跡が所在する伊勢崎市波志江町周辺は赤城山南麓に位置する。波志江町は伊勢崎市街地の北西に位置し、赤城山が形成する大間々扇状地形の南西部に位置している。赤城山の火山活動に伴った扇状地の形成には20～30万年前の梨木泥流によるとされている。この梨木泥流とは大規模な岩屑なだれのことである。赤城山東麓から南東麓を覆っている。この時の泥流でできた丘は泥流丘（流れ山）と現在呼ばれ、伊勢崎市波志江町から豊城町を含む広い範囲に確認することができ、市内華蔵寺公園にある小山もこの泥流丘である。岡屋敷遺跡が存在する周辺はこのような数十万年以前からの赤城山の火山活動により形成されてきた。渡良瀬川が形成した大間々扇状地は一般的には現在の粕川以東を指し、粕川の西に所在する岡屋敷遺跡は厳密には大間々扇状地形上ではなく、赤城山が形成した別の扇状地上に存在している。周辺に確認される地形は小台地と小谷地が複雑に絡み合うような地形環境を構成する。岡屋敷遺跡が存在する波志江町周辺の地形環境は赤城山に源流を持つ河川が複数流下し、低湿地を望む小台地が点在している。岡屋敷遺跡の西に一つ谷を挟み波志江西屋敷遺跡、波志江中野面遺跡、東に小谷を挟み中屋敷遺跡、さらに谷を挟み中屋敷西等の遺跡が点在している。広い範囲で目を広げれば神沢川の西を流れる荒砥川等が扇状地内を南流し、低湿地を取り囲むように川が形成する河岸段丘やあるいは泥流丘上に遺跡が確認されている。このような地形構成は波志江地域や前橋市東部荒砥地域といった赤城山山麓南麓一体の広い範囲に認めることができる。また狸の養殖などが行われている沼も現在この地域一帯に多数存在している。このような扇状地の小谷を望む台地上に占地する遺跡は一般的にいわれる弥生時代以降の谷水田を意識するものであろうと考えられるだけでなく、はるか以前、旧石器時代や縄文時代以降必要な水を意識した立地といえる。

第2節 歴史的環境

このような環境の中、岡屋敷遺跡は古墳時代中期から後期にかけての集落跡、小鍛冶跡さらに中世以降の屋敷、土坑墓が確認されている。また縄文土器片から埴輪片、銅製鏡片などが出土する複合遺跡である。近隣にも多数の遺跡が確認でき、これらの遺跡群の総合的な理解が必要である。

旧石器時代

近年の日本考古学協会を巻き込んだ事件は群馬県内に所在する（とされた）遺跡の分布にも大きな陰を落とした。今まで認知された遺跡群の一部はペンディングというのが現実である。しかし学史上極めて重要な岩宿遺跡が否定されるわけではない。しかし岩宿遺跡より古いとされた伊勢崎市豊城町、権現山遺跡出土遺物の出土層位の確認に対する疑問が指摘されているのも現実である。近年の発掘調査により報告されている遺跡は書上本山・堀下八幡・舞台・三和工業団地・上植木光仙房（上武道路建設）・光仙房遺跡（北関東自動車道）等である。時期の問題を取り上げると、三和工業団地遺跡報告文によれば群馬の東部地域の暗色帯には上位・あるいは上層下位部分にA Tの極大部分が観察でき、さらに暗色帯下層上位にAg-KPやHr-HAが位置することからこの地域の暗色帯はおよそ3万年から2.5万年にかけて形成され、赤城山南麓地域ではこのようなA T下層のローム暗色帯部分に出土層位が求められる石器群が最も多い、としている。

縄文時代 赤城山南東に所在する伊勢崎市台地上に草創期の土器を出土した間之山遺跡があるが、遺跡の実態は不明である。早期の土器を出土した遺跡は波志江六反田・同権現山・山崎・高山・書上本山・八寸B遺跡があり、概ね小丘陵上、裾部に確認されている。前期になると遺跡は扇状地形内にある湧水地点に近い台地に集中する傾向を示す。遺跡名を上げると、波志江天神山・書上浄水場・天堤・下吉野寺遺跡等がある。この時期の集落は小規模なものが特徴である。三和工業団地遺跡では前期を中心とした100軒を越す集落を確認している。土器には草創期から後期に至るものも含んでいる。中期になっても前期同様湧水地点に近い場所やさらに小河川を望む広い台地上にうつる。赤堀町曲沢遺跡では中期を主体とした100軒を越す遺跡も確認され、赤城山南麓の有数の遺跡となっている。伊勢崎市内へ戻ると同時期の遺跡は無沼東・下海老・ネタンブチ・宮柴遺跡等が上げられる。後期から晩期にかけての遺跡は中期に比べ減少する傾向が窺える。広瀬川低地帯をのぞむ伊勢崎台地の西端の湧水地、小河川近辺に集中し以前に比べより低地へ占める傾向が看取される。伊勢崎市西部、荒砥川と神沢川の合流部の南西に所在する八坂遺跡では配石遺構、土製耳飾りを始め、イノシシ・シカ・ニホンザル・ツキノワグマ・キジ等の骨を含め広い範囲に遺物散布を確認している。

弥生時代 伊勢崎市が所在する赤城南麓及び大間々扇状地域は以前より弥生時代の遺跡は希薄である。しかし、弥生時代中期から後期の土器の出土報告例は以前より確認されていた。岡屋敷遺跡の北を南西流する神沢川は岡屋敷遺跡南西約2km前橋市から南流する荒砥川と合流する。合流点からさらに約1km強南下すると広瀬川と合流する。この広瀬川北側微高地に弥生時代の遺跡が確認されている。西太田・中組遺跡からは弥生時代中期から後期にかけての遺構が確認されている。荒砥川と神沢川の合流点の南側は伊勢崎市北側では前橋市になる。ここには弥生時代中期から古墳時代前期にかかる時期の遺跡が確認され、北原遺跡では方形周溝墓が検出されている。荒砥川流域の前橋市・伊勢崎市を含めた赤城山南麓地域に分布する弥生時代中期の遺跡からは在地栗林式土器に混じり、南東北系天王山式・川原町口式土器、南関東系宮ノ台式等他地域の土器を含んでいる。弥生時代後期になると粕川流域大道西遺跡・広瀬川流域にある合同庁舎北遺跡から弥生時代後期の遺跡が確認され、大道西遺跡からは茨城県製の十王台式土器、合同庁舎北遺跡からは栃木県二軒屋式土器の出土も確認され、弥生時代中期以降広い交流の事実を確認することができる。また赤城山南麓には弥生時代後期から古墳時代前期にかけ縄文を主体とした赤井戸式土器の存在もある。赤井戸式土器は弥生時代後期後半に樽式土器や外來土器と共存する事例は県内広い範囲に確認でき、県内南西部に位置する鍋川流域にも同様な現象がおきる。このため弥生時代後期後半に県内外との交流が活発になり、やがて古墳時代が成立したと考えることができる。

現在伊勢崎市を中心とした地域は弥生時代後期から古墳時代前期に水田を伴う農耕が広く波及したと考えられている。だが出土する弥生時代の土器の変遷から見れば弥生時代中期からの地域に開拓の手が入れられていたであろうことは想像に難くない。

古墳時代 伊勢崎市内では現在初期古墳とされる古墳は華蔵寺裏山古墳出土の土師器が4～5世紀に比定されているが出土状況等は明らかではない。当岡屋敷遺跡が所在する西約400m台地上には波志江中野面遺跡が所在する。この遺跡は弥生時代終末から古墳時代初頭期に継続する遺跡で住居跡、方形周溝墓が検出され外來系の北陸千種系、東海系の甕が出土している。従前より外來土師器の主体は東海系の土器とされていたが近年では複数他地域の土器が混在することが分かってきた。S字状口縁台付甕は県内広い地域に波及し、さらに畿内系・北陸系・新潟系の千種式土器も含まれることが分かってきた。岡屋敷遺跡北約1km神沢川右岸に荒砥二ノ堰遺跡は弥生時代終末から古墳時代前期の遺跡である。神沢川、荒砥川流域には弥生時代から古墳時代にかけての遺跡が多数確認できる。この時期に一気に開発の集落が構成されたことがその背景にあ

るものと理解できる。荒砥川と神沢川が合流した南には全長125mの前方後円墳の御富士古墳が存在する。長持形石棺を持つ5世紀中葉に比定される。岡屋敷遺跡の集落は古墳時代中期終末から後期にかかる時期である。この地域の中期大型古墳形成に伴う社会背景の一端を構成するものと理解すべきであろう。岡屋敷遺跡周辺には弥生時代終末から古墳時代前期・中期の遺跡が地域の中に継続していることが分かる。

古墳時代以降 岡屋敷遺跡には奈良・平安以降の住居跡は現在2～3軒が確認されているのみである。伊勢崎市市内には東西走する推定東山道、七堂伽藍を持つ上植木庵寺がある。三和町舞台遺跡、光仙房遺跡では9～10世紀の集落とともに須恵器窯が確認されている。

当遺跡の字名にある岡屋敷は中世屋敷の存在とされ、県内広い範囲を踏査された山崎一氏の地域伝承の研究によるものである。しかし実際の発掘調査では中世を示す遺物の出土はなく、近世の遺物を数点確認されたのみである。山崎氏の『群馬県古城址の研究』の岡屋敷全文を引用すると「190 岡屋敷 伊勢崎市波志江町字岡屋敷には中世のものと推定される屋敷の遺構があり、東西、南北共150mの広さを持ち、四周の掘と北部の土居とが遺っている。細井善平治家の屋敷と伝えられる。」

第3節 調査区の概要

岡屋敷遺跡は現在の主要道伊勢崎・大胡線に接する東側部分にあり、調査対象面積は16,000㎡である。岡屋敷遺跡が存在する伊勢崎市北東部地域は赤城山の南西麓に位置し、大間々扇状地形の南西端に存在する。

このような立地環境の中調査はA・B・C・D区東西両端から始め、B-1・2区・最後にA-1区・B-1・2区の調査となった。当遺跡周辺は中世以降の屋敷の存在が多く確認され、周辺には屋敷名が付く字名が多い。当遺跡の西には西屋敷遺跡、東には中屋敷遺跡等の字名が残されている。

西側のA・C区はローム台地の上にあり、ローム上端は削平されている。つまりC区はローム台地の一番高い部分であった。上半のソフトローム部分は現在存在していない。従って20～30cm掘りこむと簡単に暗色帯土を採掘することができる。これがC区に暗色帯採掘坑が集中している理由である。従って当遺跡集落が存在した時はすでにソフトローム層はなかったことが確認できる。またC区北西部は数年前まで沼があったことが周辺の聞き取り調査により分かっていた。沼は餌の養殖目的で人工的に掘られ、現在は埋められている。このため遺構はない。A区からB区へは台地が傾斜しB区の東半部は低湿地となり砂層の堆積が厚く認められた。またB-1・2区には台地が延び遺構が確認されるなどこの地域の地形の複雑さが窺える。

A区は南北に延びるローム台地上に所在し、現在も宅地が多い。このため家の庭木やゴミ穴等の攪乱が至る所であった。C区の西半部は竹林、東半部からD区にかけ建築資材等の解体焼却の作業所があった。このため掘り割りの北西部は壊されていた。また南北を分ける舗装道路が東西走し、C区のローム部分の削平が行われていた。さらに道路下には水道管等が付設され近代の攪乱等がかなり多かった。

遺跡内で確認された住居跡群は同一の集落を構成し、古墳時代後期を主体とし中期後半の住居跡が数軒混じっていた。中世になると土坑、土坑墓が各区で確認できたが、特にB区西部に集中して確認できた。D区南部に確認された掘り割りは岡屋敷の字名の元となった遺構であり、発掘以前より掘が確認されていた。出土遺物は皆無に近く、数点の陶磁器片が現代の遺物と共伴出土した。遺物の時期は最大遡っても18世紀後半である。A区北西部からは旧石器時代の遺物が確認され、主に礫群が主体である。



大宮市街地図

周辺遺跡一覧表

番号	遺跡名	遺跡の概要
1	岡屋敷遺跡	本書
2	波志江西屋敷遺跡	縄文時代後期の埋蔵1。古墳時代後期の竪穴住居跡1。奈良・平安時代の竪穴住居跡26、掘立柱建物跡12。中近世の掘立柱建物跡、井戸跡、溝、土坑等。
3	大室古墳群	国指定史跡3基の大形前方後円墳。6世紀前半から後半に築造された古墳である。前二子古墳（墳丘長94m）、中二子古墳（墳丘長111m）、後二子古墳（墳丘長85m）。
4	堤東遺跡	周溝墓3（2号周溝墓は前方後方形）、竪穴住居跡12、小竈遺構1、竪穴状遺構1。
5	柳久保遺跡群	旧石器時代の石器。縄文時代押型文、熱赤文、黒文土器、スタンプ形石器等。古墳時代竪穴住居跡30奈良時代の竪穴住居跡23、掘立柱建物跡25。
6	錦谷遺跡群	弥生時代の竪穴住居跡2。古墳時代前期～後期の竪穴住居跡104。奈良・平安時代の竪穴住居跡62。中世墓20。
7	荒砥上ノ坊遺跡	縄文時代前期の竪穴住居跡3・古墳時代の竪穴住居跡60、周溝墓6、土坑4。奈良時代の奈良時代の竪穴住居跡55、土坑15、溝1、鉄生産関連遺物・平安時代の竪穴住居跡120、掘立柱建物跡、馬具。中近世の掘立柱建物跡、井戸跡、溝、土坑、火葬墓。
8	荒砥寛子遺跡	古墳時代中期の堀と棚列を伴う居館。古墳時代中期の竪穴住居跡4、竪穴状遺構2、井戸跡1、土坑1、溝2。古墳時代の竪穴住居跡10。奈良時代の竪穴住居跡3。平安時代の竪穴住居跡3、溝14、土坑52、井戸跡2。
9	女塚	前橋市から佐波郡赤堀町を経て佐波郡東村西園定に及ぶ全長13km、幅15～30m、深さ3～4mの長大な中世初頭の用水路。1983年に国指定史跡となる。
10	荒砥大日塚遺跡	古墳時代の竪穴住居跡11（前期2・後期9）。奈良時代の竪穴住居跡14。平安時代の竪穴住居。
11	二本松遺跡	縄文時代中期の竪穴住居跡2（加曾利E式期）。古墳時代中期の竪穴住居跡6。奈良平安時代の竪穴住居跡84、掘立柱建物跡3。国指定史跡「女塚」220m分調査。
12	下触下寺遺跡	縄文時代前期～後期の遺物包含層。古墳時代後期の竪穴住居跡26。奈良・平安時代の竪穴住居跡21・掘立柱建物跡3。古墳と想定される周溝遺構5を検出。近世井戸跡5、大溝1。
13	荒砥上川久保遺跡	古墳時代前期の方形周溝墓6、古墳時代前期～平安時代の竪穴住居跡106、井戸跡4。集落は平安時代が主で小竈遺構もある。奈良時代の竈、平安時代の方形陶甕、鈿付甕等出土。
14	今井三騎堂遺跡	旧石器時代の3つの文化層より約6,500点の石器を検出。縄文時代の竪穴住居跡62（草創期、前期）、陥穴、集石。古墳時代の墳墓14、12号墳の前庭部から唐三彩陶杖の破片が出土。奈良・平安時代の竪穴住居跡17、炭室24、製鉄関連遺構3、火葬墓18。
15	今井見切塚遺跡	旧石器時代の3つの文化層より約5,000点の石器を検出。縄文時代の竪穴住居跡34（草創期、前期）、貯蔵穴、集石、陥穴。古墳時代の墳墓14。奈良・平安時代の竪穴住居跡9、炭室40、製鉄関連遺構6、火葬墓5。中近世の竪穴建物、掘井、溝、墓。
16	中畑遺跡	縄文時代前期、後期の包含層。古墳時代中・後期の竪穴住居跡35、掘立柱建物跡1、柱穴多数出土。
17	五日牛南組遺跡	縄文時代前期（花積下層式）の竪穴住居跡1、土坑37、埋葬2。弥生時代後期の再葬墓1。古墳時代の円墳5、竪穴式小石塚1。古代の木炭窯、鉄滓、銹型出土。近世、近代の屋敷の遺構群。
18	堀下八幡遺跡	旧石器時代の石器集中地点20。縄文時代前期の竪穴住居跡1、土坑4、遺物包含層より早期～後期の土器。奈良・平安時代の竪穴住居跡9、掘立柱建物跡1、墨書土器多し。
19	波志江天神山遺跡	縄文時代前期後半の土器がまをもって出土した包含層、陥穴5、土坑1。近世以降の掘立柱建物跡1、土坑32、井戸跡1。近代のサク状遺構。
20	祝堂古墳	墳丘の直径は30mの平地に築かれた円墳。2重の周溝、葺石を持つ、主体部は角閃石安山岩使用の横穴式両袖型石室。築造の時期は7世紀末と考えられる。
21	下触牛伏遺跡	旧石器時代の文化層を2層検出し、約3,000点の遺物を出土。縄文時代草創期の爪形文土器。前期の竪穴住居跡2、陥穴25、土坑18、集石3。古墳時代後期の竪穴住居跡13、古墳10（円墳方墳、横穴石室）平安時代の竪穴住居跡1
22	荒砥二之塚遺跡	縄文時代の竪穴住居跡35（前期8、中期18、後期9、柄杓形竪穴住居を含む）、土坑47。古墳時代の竪穴住居跡19（前期13、後期6）、方形・円形周溝墓10。古墳21、山寄せ構造の群衆墳で7世紀後半の築造と思われる。
23	飯土井二本松遺跡	旧石器時代後期の石器群。縄文時代早期～中期の遺構、遺物。古墳時代前期の竪穴住居跡1、奈良・平安時代の竪穴住居跡24。中近世の溝、土坑。
24	飯土井中央遺跡	旧石器時代の石器集中地点5。縄文時代草創期の爪形文・押型文土器、陥穴13。古墳時代後期の焼失住居跡1。平安時代の竪穴住居跡1。
25	二之宮宮東遺跡	平安時代の竪穴住居跡23、水田跡、水路、小竈遺構。中世の館跡、近世の屋敷跡、井戸跡、近世信仰遺物。
26	二之宮宮下東遺跡	縄文時代陥穴1。古墳時代後期～奈良・平安時代の集落、A・B水田跡、溝、掘井。中世の館跡、堀、竪穴状遺構、井戸跡、土坑。則天文字の「天」を記した墨書土器出土。
27	二之宮宮下西遺跡	旧石器時代の土坑。縄文時代の陥穴。古墳時代後期～平安時代の竪穴住居跡65、水田跡。中近世の館跡、堀、土橋状の掘り残し、墓塚、井戸跡、溝、土坑、ビット。

第2章 遺跡の立地と歴史環境

番号	遺跡名	遺跡の概要
28	二之宮千足遺跡	旧石器時代の文化層2。縄文時代の埋壘1、陥穴3、集石遺構7。古墳時代の5面の水田跡、水跡、甕井、木組遺構。奈良・平安時代の堅穴住居跡27、小竈遺構1、水田跡。中近世以降の井戸跡、土坑墓、濠井。
29	菟紙天之宮遺跡	古墳時代中期～平安時代の堅穴住居跡206、B区6号住居跡から畿内産の埴文土器出土。古代の濠井4、As-B下水田跡。
30	菟紙島原遺跡	弥生時代中期の堅穴住居跡2。古墳時代前期の堅穴住居跡8、方形周溝墓6。古墳時代中期～平安時代の堅穴住居跡56、As-B下水田跡、掘立柱建物跡1、土坑13、溝状遺構13。
31	下増田越渡遺跡	古墳時代前期の方形周溝墓3、水田跡、溝。奈良・平安時代の堅穴住居跡52、As-B下及び洪水層下の水田跡、溝。中近世の井戸跡、溝。
32	萩原遺跡	縄文時代の石廬、凹石。古墳時代～平安時代の堅穴住居跡59、掘立柱建物跡2、As-B下水田跡、溝15。近世の井戸跡4。近世以降の土坑、墓坑多数。
33	波志江中野面遺跡	縄文時代中期の堅穴住居跡10、土坑8、埋壘11。古墳時代前期の堅穴住居跡28、掘立柱建物跡2、方形周溝墓19、ハレススタイルの壘出土。奈良・平安時代堅穴住居跡52、掘立柱建物跡6、As-B下水田跡、溝。中近世土坑墓、井戸跡、溝、土坑。
34	赤石城址	【群馬原古城築城の研究】によると、本丸は高さ4mの土居を巡らし、南と北に虎口を開き、西側は谷地形で北辺、東辺、南辺の3方に堀があったという。調査は本丸に並列する南側の外側部分で、深さ約2m、上端幅約6mのV字状の堀、堀に平行して柱列を検出。
35	波志江中屋敷西遺跡	縄文時代～弥生時代のピット多数、土坑。古墳時代の水田跡、溝3。奈良・平安時代の堅穴住居跡5、溝45、鳥跡。中近世の館跡、堀、掘立柱建物跡、ピット、土坑、土坑墓、井戸跡。
36	波志江中屋敷東遺跡	縄文時代早期の堅穴住居跡2。古墳時代の水田跡。平安時代の堅穴住居跡2、井戸跡1、溝9、土坑・ピット多数。中近世の環濠屋敷跡、掘立柱建物跡13、井戸跡38、溝、土坑、ピット。
37	波志江中屋敷東遺跡	縄文時代前期の土坑。古墳時代前期の水田跡、溝、土坑。水田畦畔から、建築部材・農具・叩き板・容器等が出土。平安時代の水田跡、溝、土坑。近世の溝、土坑。
38	波志江西宿遺跡	旧石器時代の文化層2。縄文時代早期の土器、打製石斧、石礫。古墳時代前期の堅穴住居跡19、掘立柱建物跡2。中近世の溝、土坑、井戸跡、鳥跡作痕。
39	波志江中宿遺跡	旧石器時代の遺物。古墳時代前期の堅穴住居跡1、粘土採掘坑66。古墳時代の溝、As-C渾水田跡。As-B下水田跡。平安時代の溝。中近世の井戸跡、土坑、ピット、溝。
40	上西根遺跡	古墳時代の堅穴住居跡25(前期1・後期24)、方形周溝墓5・奈良時代の堅穴住居跡1。石礫1、溝15。中近世の井戸跡3。
41	八幡町遺跡	古墳時代の堅穴住居跡71(後期68)。井戸跡、溝、土坑、ピットも検出。遺物では石製模造品が多数出土。(B地区18号住居跡から勾玉形と剣形が出土)。
42	中堀遺跡	弥生時代中期の堅穴住居跡1。古墳時代の堅穴住居跡11(前期1・中期4・後期6)方形周溝墓1。奈良時代の堅穴住居跡18。平安時代の堅穴住居跡3、掘立柱建物跡1、溝1。
43	お富士山古墳	全長125mの前方後円墳、墳丘は3段に構築され、河原石積み葺の重石があり、円筒埴輪列が確認されている。幅約30mの盾形の周堀をもつ。後円部頂に長持形石棺がある。5世紀中葉の首長墓の可能性が高い。乳文鏡、滑石製石製模造品(刀子、斧型)、碧玉など出土。
44	西太田遺跡	弥生時代中期～平安時代にわたる堅穴住居跡209(弥生時代中期住居跡3・後期1。中期の住居から形石斧、扁片刀石斧、扁片刀石斧が出土)。奈良時代の砂鉄集積遺構、粘土集積遺構、掘立柱建物跡9、井戸跡17、溝8、ピット、土坑墓。
45	八坂遺跡	縄文時代後期中葉の配石遺構。遺物包含層から縄文中期～晩期にかけての土器片、石器、土偶、耳飾り、獣骨などが出土している。
46	筑紫原遺跡	縄文時代中期の堅穴住居跡14(加曾利E式期、敷石住居跡2を含む)、埋設土器1、土坑7。弥生時代の堅穴住居跡5(中期2、後期3)、堅穴状遺構3。古墳時代前期堅穴住居跡18、大型石礫、石剣、出土。築造時期不明の直径23mの円墳。

引用文献

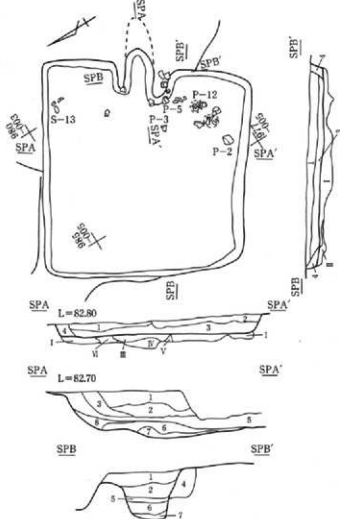
1. 『後二子古墳・小二子古墳』『前二子古墳』『中二子古墳・二子古墳』前橋市教育委員会 1992・1993・1995・1997
2. 『堤東遺跡』群馬県教育委員会 1985
3. 『柳久保遺跡群』Ⅰ・Ⅱ 前橋市埋蔵文化財調査団 1985・1988
4. 『鶴谷遺跡群』『鶴谷遺跡群』Ⅱ 前橋市教育委員会 1980・1931
5. 『荒砥上ノ坊遺跡』Ⅰ～Ⅳ 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1995・1996・1997・1998
6. 『荒砥荒子遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2000
7. 『女堀』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1984
8. 『荒砥大日塚遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994
9. 『前橋市文化財調査報告書』13前橋市教育委員会 1983
10. 『女堀』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1985
11. 『下触上寺遺跡及び磯十二所遺跡発掘調査概報』赤堀町教育委員会 1987
12. 『荒砥上川久保遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1982
13. 『多田山古墳群・今井三騎堂・今井見切塚遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2004
14. 『中畑遺跡女堀用水遺構発掘調査概報』赤堀町教育委員会 1986
15. 『五日牛南組遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992
16. 『堀下八幡遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1990
17. 『書上本山遺跡・波志江六反田遺跡・波志江天神山遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992
18. 『牛伏第1号墳・祝堂古墳・大沼上遺跡』伊勢崎市教育委員会 L982
19. 『下触牛伏遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1986
20. 『荒砥二之堰遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1985
21. 『飯土井二本松遺跡・下江田前遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1991
22. 『飯土井中央遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1991
23. 『二之宮宮東遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994
24. 『二之宮宮下東遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994
25. 『二之宮宮下西遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1994
26. 『二之宮千足遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1992
27. 『荒砥天之宮遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1988
28. 『荒砥高原遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1983
29. 『下増田越波遺跡』『年報117財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998
30. 『萩原遺跡』『年報』17・18 財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1998・1999
31. 『波志江中野面遺跡』(1)(2)財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001・2002
32. 『荒砥前原遺跡・赤石城址』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 1985
33. 『波志江中屋敷西遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2005
34. 『波志江中屋敷東遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2003
35. 『波志江中屋敷東遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002
36. 『波志江西宿遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2002
37. 『波志江中宿遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001
38. 『中組遺跡』伊勢崎市教育委員会 1982
39. 『中組遺跡』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団 2001
40. 『中組遺跡』群馬県教育委員会 1985
41. 山本良知『御富士山古墳発掘調査概報』1966
42. 『お富士山古墳範囲確認調査報告書』伊勢崎市教育委員会 1990
43. 『八坂遺跡』『伊勢崎市史1 通史編1 原始古代編』伊勢崎市 1987
44. 『上西根遺跡』伊勢崎市教育委員会 1985
45. 『八幡町遺跡(B地区)』『八幡町遺跡(D地区)』伊勢崎市教育委員会 1988・1990
46. 『西太田遺跡』伊勢崎市教育委員会 L983

第3章 検出された遺構と遺物

第1節 A区住居

A区1号住居跡 (第4～6図・P.L1・165)

遺跡内北部に位置し、976～980・002～006の範囲にある。他の遺構との関係は東部で2号住居跡と重複する。また遺構確認面では形を確定できなかったが、浅い溝が重複する。新旧関係は2号住居跡より新しく、溝より古い。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.42m、短軸3.20m、壁高は22～25cmを測る。主軸方位はN-32°-Eを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、柱穴、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。竈



A区1号住居跡竈

- | | |
|----------------------|-------------------|
| 1. 黒褐色土 C軽石、焼土粒多量含む。 | 6. 黒褐色土 灰、焼土粒含む。 |
| 2. 黒褐色土 焼土粒含む。 | 7. 黒褐色土 ローム粒多量含む。 |
| 3. 暗褐色土 C軽石含む。 | 8. 黒褐色土 黒色灰多量含む。 |
| 4. ロームブロック | |
| 5. 暗褐色土 焼土粒、黒色灰層。 | |

第4図 A区1号住居跡・竈

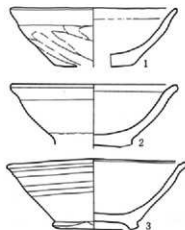
は東壁ほぼ中央に確認された。規模は長軸1.2m、軸幅30cmを測る。竈調査は掘り方調査でさらに延びることが判明し、土層断面図とともに平面図に点線で示した。遺物は竈右前南東隅に集中して確認された。須恵器甕、土師器甕、須恵器杯の中には判読できなかったが墨書、漆?の付着するもの、灰軸陶器が1点含まれる。土師器の杯も1点出土している。

A区1号住居跡

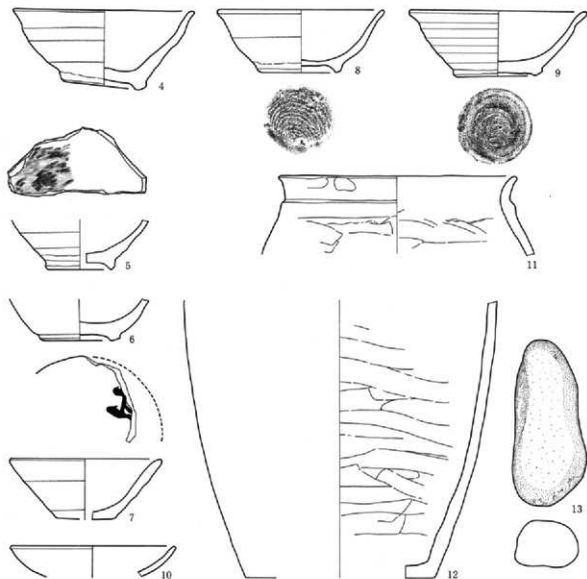
1. 黒褐色土 ロームブロック含む。(溝覆土)
2. 黒褐色土 C軽石含む。
3. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。
4. 黄褐色土 ローム混土。

掘り方

- I. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
- II. 黄褐色土 ローム粒少量含む。
- III. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
- IV. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
- V. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- VI. 暗褐色土 ローム粒多量含む。



第5図 A区1号住居跡出土遺物(1)



第6図 A区1号住居跡出土遺物(2)

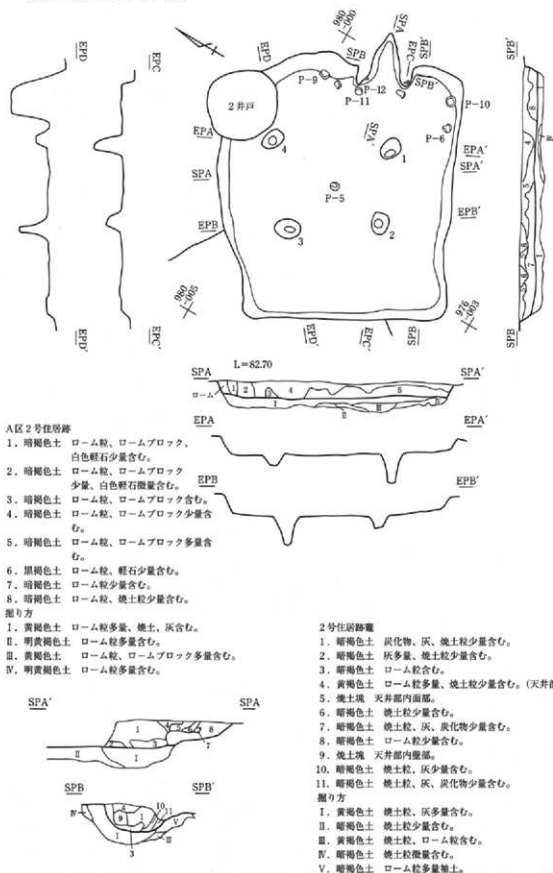
A区1号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	7	須恵器杯	12	4.8	4.7	5Y4/1灰	
1	土師器杯	13.2	6.2	4.5	2.5Y3/1黒褐			8	須恵器杯	13.2	5	6.6	2.5Y4/1黄灰
2	須恵器碗	13.2			2.5Y8/1灰白			9	須恵器碗	14	7	5.1	7.5YR7/6橙
3	土師器碗	14.2	6.8	5.5	10YR7/6明黄褐			10	灰胎陶器	13			2.5Y7/1灰白
4	土師器碗	14.3	6.7	6	7.5YR6/3に赤い黄			11	土師器甕	18.7			7.5YR6/6橙
5	須恵器碗		5		10YR6/4に赤い黄			12	須恵器甕		15		2.5Y4/1黄灰
6	須恵器碗		6.4		2.5Y6/3に赤い黄			13	石	径13.1	幅5.9	厚33.8	重3400g

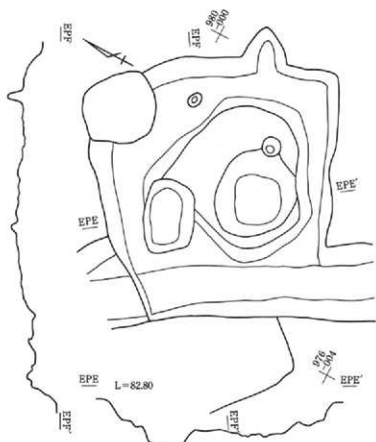
A区2号住居跡(第7~10図・P L 2・165・166)

遺跡内北部に位置し、976~980・999~004の範囲にある。他の遺構との関係は西部で1号住居跡、北部で2号井戸と重複している。新旧関係は1号住居跡、2号井戸より古い。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸4.12m、短軸3.7m、壁高は14~42cmを測る。主軸方位はN-64°-Eを指す。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴は検出されていない。柱穴は4基確認され規模は1、36×30cm、深さ48cm、2、36×28cm、深さ24cm、3、42×32cm、深さ46cm、4、36×28cm、深さ16cmを測る。竈は東壁に確認され、規模は焚き口幅50cm、長軸90cmを測る。出土遺物は土師器甕、土師器杯が主体である。

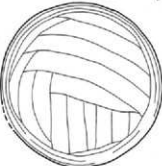
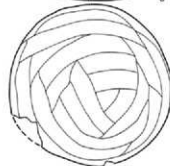
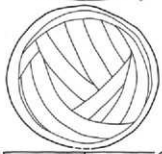
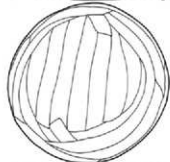
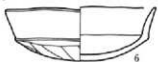
第3章 検出された遺構と遺物



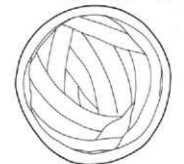
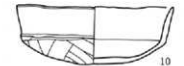
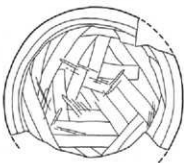
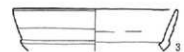
第7図 A区2号住居跡・竈



第8图 A区2号住居跡掘り方

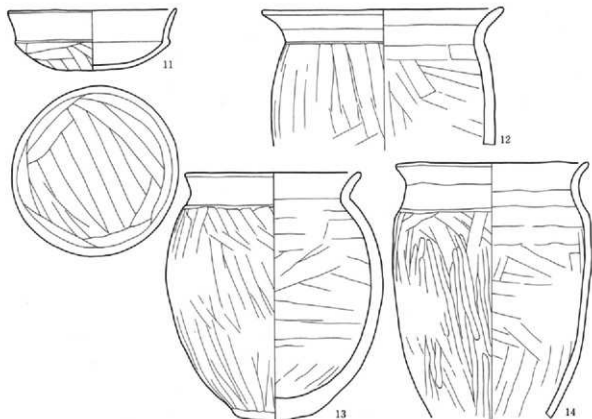


第1節 A区住居跡



第9图 A区2号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第10図 A区2号住居跡出土遺物(2)

A区2号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	8	土師器杯	12.8	11.2	4.4	5YR4/4に赤褐色
1	土師器杯	14			5YR6/4に赤褐色		9	土師器杯	12.3		3.9	5YR6/6褐色
2	土師器杯	14			7.5YR3/2黒褐色		10	土師器杯	12.2		4.6	5YR6/8褐色
3	土師器杯	13			7.5YR6/4に赤褐色		11	土師器杯	13.4		4.7	7.5YR7/6褐色
4	土師器杯	11.8		3.5	10YR6/4に赤黄褐色		12	土師器甕	19			7.5YR4/3褐色
5	土師器杯	12		4.3	5YR6/6褐色		13	土師器甕	14		19.5	5YR4/4に赤褐色
6	土師器杯	14		4.4	10YR4/2灰黄褐色		14	土師器甕	15.2			7.5YR5/4に赤褐色
7	土師器杯	11.8		4	10YR6/2灰黄褐色							

A区3号住居跡 (第11～13図・P.L.3・166)

遺跡内北部に位置し、982～985・996～998の範囲にある。他の遺構との関係は北部で4・5号土坑、西部で4・16号住居跡と重複している。新旧関係は3号住居跡が一番新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3m、短軸2.52m、壁高は9～12cmを測る。主軸方位はN-7°-Eを指す。

床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていないが、中央部南部に2基の住居跡内土坑を確認した。規模は1、60×57cm、深さ30cm、2、98×65cm、深さ30cmを測る。

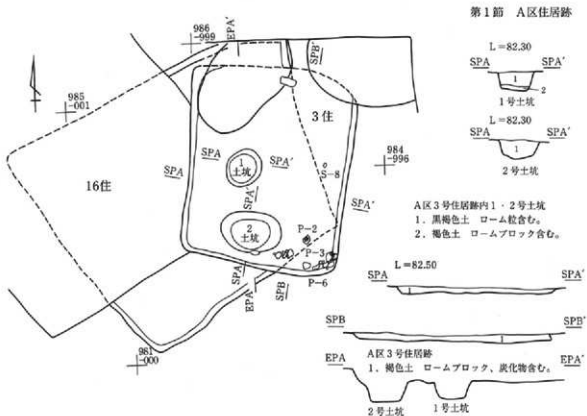
出土遺物は土師器杯、甕の他鉄器片等が出土している。

A区16号住居跡 (第11図・P.L.3)

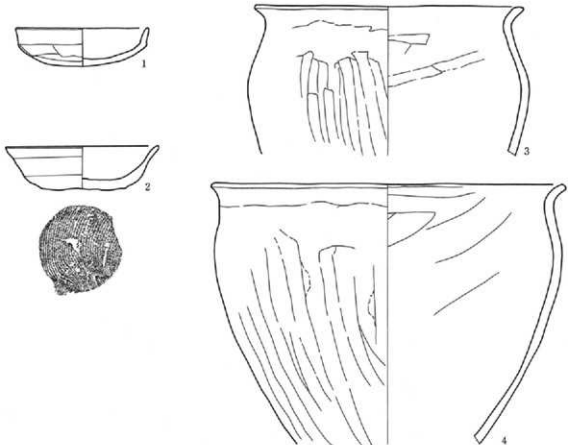
遺跡内北部に位置し、981～985・996～001の範囲にある。他の遺構との関係は西北部で4号住居跡、北部で4号土坑、東部で3号住居跡と重複している。新旧関係は16号住居跡が3・4号住居跡より古い。

平面形態はほぼ方形を呈し、規模は長軸2.3m、短軸1.3m、壁高は2～4cmを測る。主軸方位はN-33°-Wを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。

出土遺物はない。

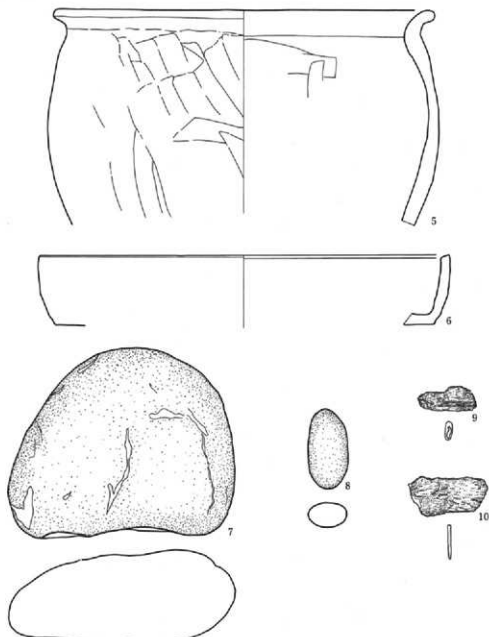


第11図 A区3・16号住居跡



第12図 A区3号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第13図 A区3号住居跡出土遺物(2)

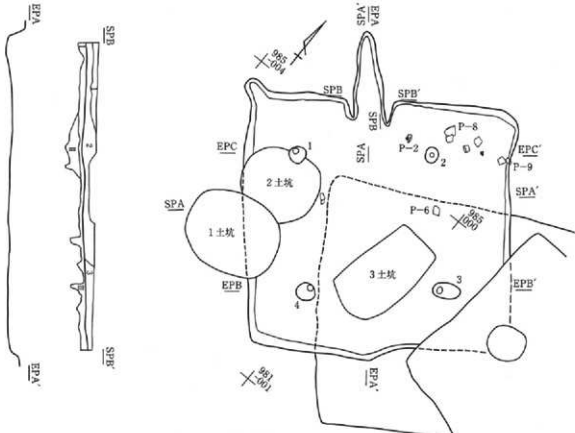
A区3号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	増設	32.4	29.8	5.5	10YR3/1黒黒	
1	土師器杯	10.5		3	5YR6/6靑		7	石	15	17.9	7.1	2600g	
2	須恵器杯	12	6.6	3.4	7.5YR7/4に白い粒		8	石	6.3	3.2	1.9	40g	
3	土師器甕	21.2			10YR2/1黒		9	鉄器	4.6	2.1	0.55		
4	土師器甕	28			7.5YR7/6靑		10	鉄器	6.2	3.2	0.25		
5	土師器甕	30.2			7.5YR7/6靑								

A区4号住居跡(第14~16図・P.L.4)

遺跡内北部に位置し、981~985・998~002の範囲にある。他の遺構との関係は南東部で3号・16号住居跡・3号土坑と南西部で1号・2号土坑と重複している。新旧関係は16号住居跡より新しく、3号住居跡より古い。1~3号土坑は4号住居跡より新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.41m、短軸4.38m、壁高は14~28cmを測る。主軸方位はN-53°-Eを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。柱穴は4基確認され、各々の規模は1、26×28cm、深さ28cm、2、24×20cm、深さ

30cm、3、44×27cm、深さ32cm、4、30×29cm、深さ30cmを測る。竈は東壁中央に確認され、規模は突き口幅50cm、長さ1.44mを測る。出土遺物は土師器模倣杯、土師器甕等が出土している。

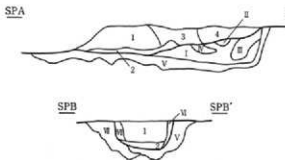
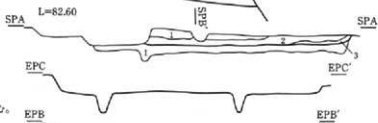


A区4号住居跡

- 1. 黄褐色土 ローム粒含む。
- 2. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
- 3. 黒褐色土 軽石、ローム粒含む。

掘り方

- I. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- II. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。
- III. 黄褐色土 ローム粒含む。



A区4号住居跡竈

- 1. 暗褐色土 雑土・粘土ブロック含む。
- 2. 黒色灰 炭土粒含む。
- 3. 暗褐色粘土 天井部の崩落土。
- 4. 暗褐色土 雑土粒含む。

掘り方

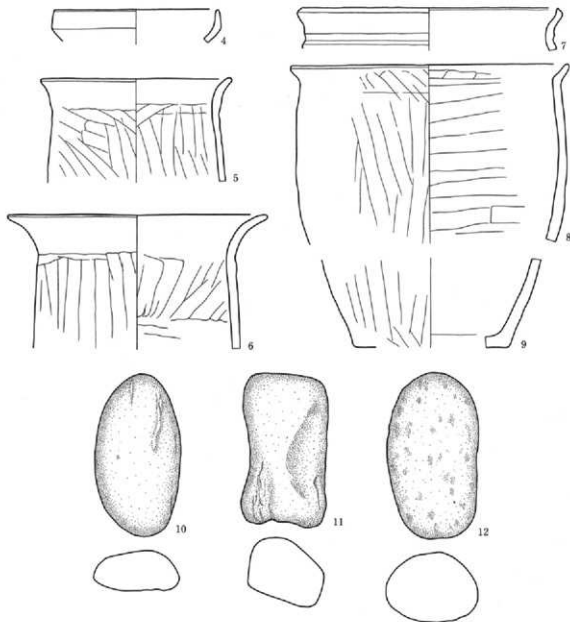
- I. 暗褐色土 粘土。
- II. ロームブロック
- III. 暗褐色土 ロームブロック混土。
- IV. 暗褐色土 ロームブロック、粘土含む。
- V. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。
- VI. 暗褐色土 壁体部粘土。
- VII. 暗褐色土 ローム粒含む。

第14図 A区4号住居跡・竈



第15図 A区4号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第16図 A区4号住居跡出土遺物(2)

A区4号住居跡出土遺物

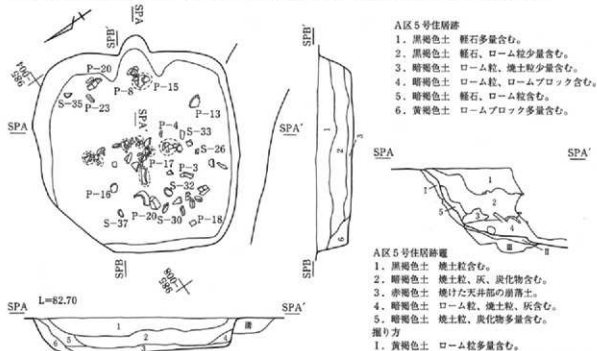
番号	部 種	口径	底径	器高	色 調	備考	7	土師器类	20	10YR3/2黒褐
1	土師器杯	13			7.5YR6/6橙		8	土師器类	22	10YR6/4にぶい黄橙
2	土師器杯	13			10YR5/3にぶい黄褐		9	土師器类	12	7.5YR6/4にぶい黄
3	土師器杯	14			7.5YR4/2灰褐		10	石	12.8	6.8 3.2 340g
4	土師器杯	13			7.5YR3/4暗褐		11	石	11.9	6.7 4.9 600g
5	土師器甕	15			7.5YR5/4にぶい黄		12	石	13.1	7.2 5.6 600g
6	土師器甕	20.4			10YR6/4にぶい黄橙					

A区5号住居跡(第17~21図・P L 5・6・166・167)

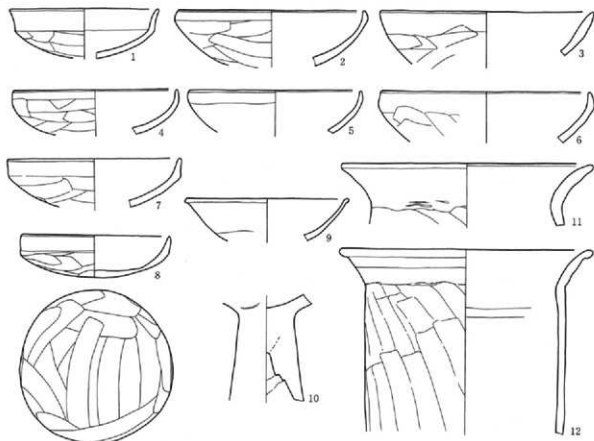
遺跡内北部に位置し、983~985・006~007の範囲にある。北東隅の一部は調査区域外にある。

他の遺構との重複関係はない。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.38m、短軸3.14m、壁高は44~58cmを測る。主軸方位はN-146°-Eを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は南東壁中央に検出され、規模は焚き口幅70cm、長さ68cmを測る。出土遺物は多数検出

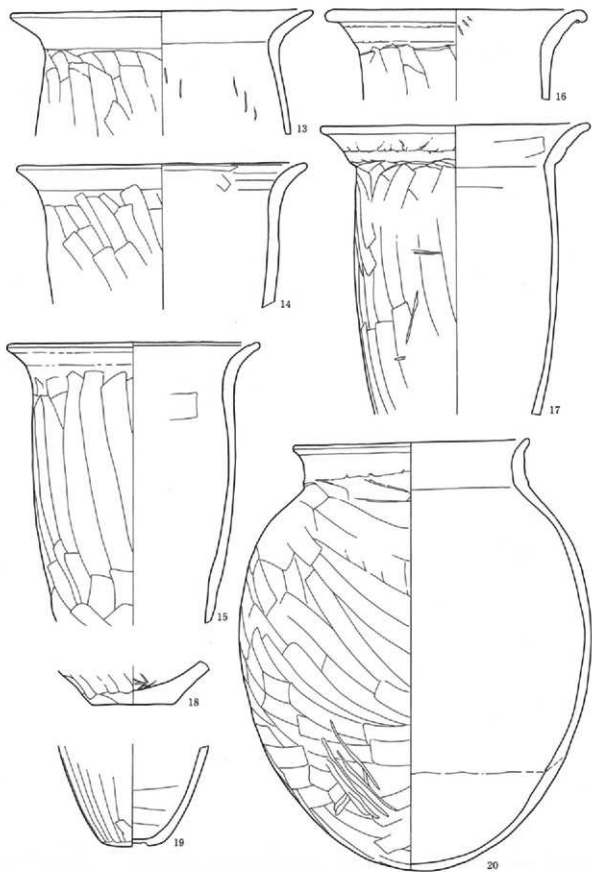
され、竈、住居跡中央部に集中している。土師器模倣杯、甕、こもあみ石、羽口が2点確認された。



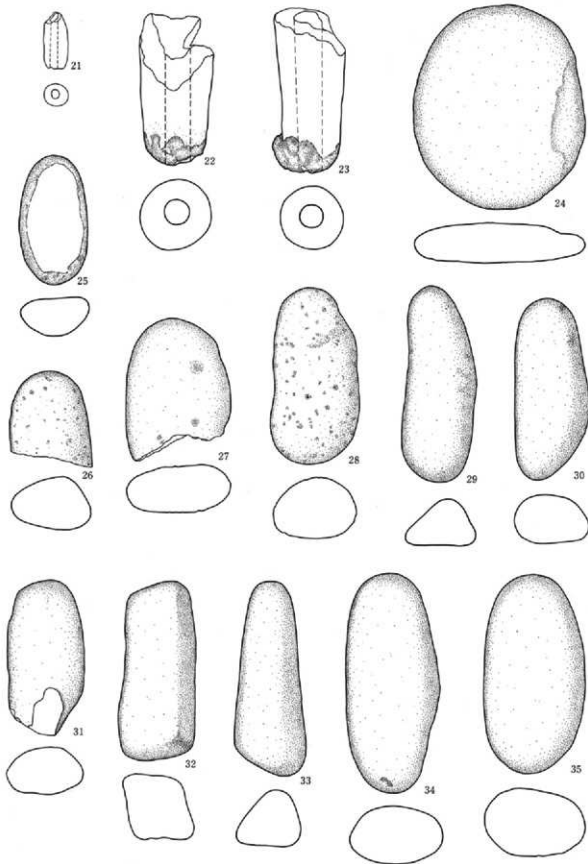
第17図 A区5号住居跡



第18図 A区5号住居跡出土遺物(1)

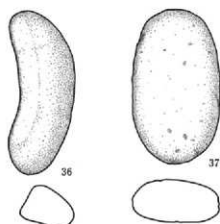


第19図 A区5号住居跡出土遺物(2)



第20图 A区5号住居跡出土遺物(3)

第3章 検出された遺構と遺物



第21図 A区5号住居跡出土遺物(4)

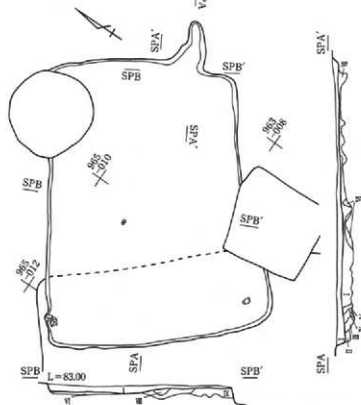
A区5号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	11.6			5YR6/6橙	
2	土師器杯	14.6			5YR5/6明赤褐色	
3	土師器杯	16.5			2.5YR6/8橙	
4	土師器杯	12.8			5YR6/6橙	
5	土師器杯	13.5			5YR5/6明赤褐色	
6	土師器杯	16.3			7.5YR6/4にふい橙	
7	土師器杯	13.5			5YR6/6橙	
8	土師器杯	11.5	3.3		5YR6/6橙	

9	灰釉陶器	12.5				2.5GY8/1灰白
10	土師器高杯					7.5YR6/6橙
11	土師器壺	19.2				5YR6/6橙
12	土師器壺	19.4				2.5YR6/6橙
13	土師器壺	23.5				5YR6/6橙
14	土師器壺	22.4				2.5YR7/1灰白
15	土師器壺	19.5				5YR6/6橙
16	土師器壺	19.2				2.5YR6/6橙
17	土師器壺	20.8				2.5YR6/8橙
18	土師器壺		6.5			5YR6/8橙
19	土師器壺		4.8			2.5YR5/6明赤褐色
20	土師器壺	18.4		33.5		2.5YR6/8橙
21	土師	4.5	径1.9	径0.7		
22	羽口	11.9			径5.5	
23	羽口	12.9			径4.9	
24	石	16.2	13.6	3.2	900g	
25	石	10.2	5.4	3.0	250g	
26	石	7.6	6.5	4.2	270g	
27	石	11.3	8.4	3.8	450g	
28	石	13.9	7	4.9	600g	
29	石	15.5	6	3.7	450g	
30	石	14.4	5.9	3.9	500g	
31	石	12.2	6.1	3.8	400g	
32	石	14.2	6.1	5.2	800g	
33	石	15.4	5.7	4.5	550g	
34	石	17.4	7.4	4.6	900g	
35	石	15.8	8.1	5.4	900g	
36	石	13	5.3	3.4	300g	
37	石	12.2	7	3.4	420g	

A区6号住居跡(第22~24図・P.L7)

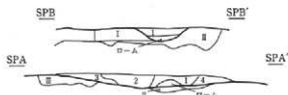
遺跡内北部に位置し、963~965・008~012の範囲にある。他の遺構との関係は西部で23号住居跡と重複している。新旧関係は6号住居跡が新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸4.54m、短軸3m、壁高は2~13cmを測る。主軸方位はN-55°-Eを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁南寄りに検出され、規模は焚き口幅38cm、長さ78cmを測る。出土遺物は少なく、土師器模倣杯が出土し、台石が出土している。



第22図 A区6号住居跡

遺跡内北部に位置し、963~965・008~012の範囲にある。他の遺構との関係は西部で23号住居跡と重複している。新旧関係は6号住居跡が新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸4.54m、短軸3m、壁高は2~13cmを測る。主軸方位はN-55°-Eを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁南寄りに検出され、規模は焚き口幅38cm、長さ78cmを測る。出土遺物は少なく、土師器模倣杯が出土し、台石が出土している。

- A区6号住居跡
- I. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
 - II. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
 - III. 暗褐色土 ローム粒含む。(貼床)
 - IV. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
 - V. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
 - VI. ロームブロック
 - VII. 黄褐色土 ローム混土。
 - VIII. 黄褐色土
 - IX. 黒褐色土 ローム粒少量含む。
 - X. 黄褐色土 ローム粒多量含む。



A区6号住居跡概観

1. 暗褐色土 焼土粒、炭化物少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、炭化物少量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒含む。
4. 暗褐色土 ローム粒含む。

掘り方

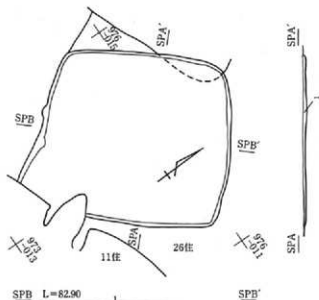
- I. 暗褐色土 ローム粒、軽石含む。
- II. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
- III. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。

第23図 A区6号住居跡概観

A区6号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	12.6		4.1	10YR7/4Lに多い黄緑	
2	石	14.5	14.3	3.5	1200g	

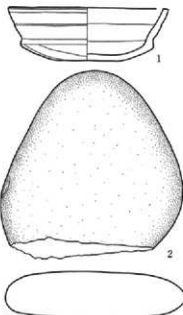
A区7号住居跡 (第25図・P L 8)



第25図 A区7号住居跡

A区8号住居跡 (第26～28図・P L 9・167)

遺跡内北部に位置し、963～969・011～016の範囲にある。他の遺構との関係は北部で35号住居跡、9号土坑と重複している。新旧関係は35号住居跡より新しく、9号土坑より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸5.5m、短軸4.42m、壁高は4～10cmを測る。主軸方位はN-35°-Eを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝は検出されていない。南東部に貯蔵穴が確認された。規模は106×78cm、深さ35.5cmを測る。柱穴は4基確認され規模は1、43×34cm、深さ74cm、2、径38cm、深さ70cm、3、40×37cm、深さ60cm、4、50×38cm、深さ74cmを測る。竈は東壁中央に検出され規模は焚き口幅58cm、長さ60cmを測る。出土遺物は



第24図 A区6号住居跡出土遺物

遺跡内北部に位置し、975～976・011～014の範囲にある。他の遺構との関係は西北部で25号住居跡、南部で11号住居跡、東部で26号住居跡と重複している。新旧関係は25・26号住居跡より新しく、11号住居跡より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.4m、短軸2.76m、壁高は3～8cmを測る。主軸方位はN-44°-Eを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物はない。

土層注記 A区7号住居跡

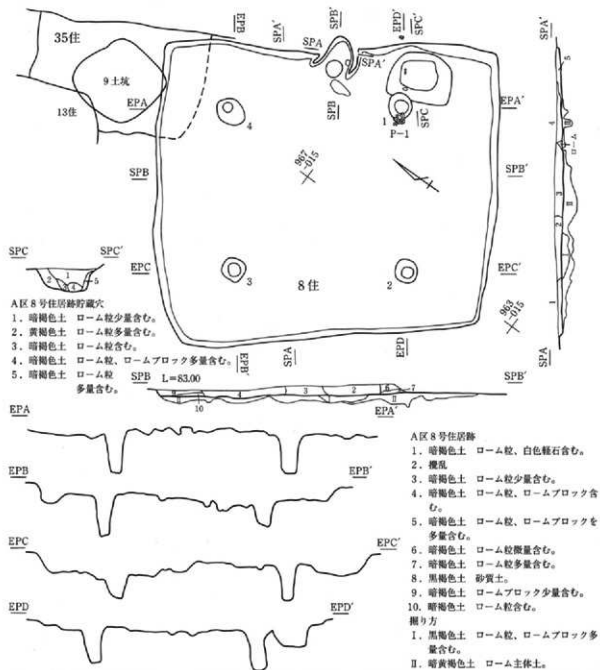
1. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。

第3章 検出された遺構と遺物

土師器甕、棒状の鉄を確認した。

A区35号住居跡 (第26図)

遺跡内北部に位置し、968～970・014～015の範囲にある。他の遺構との関係は西北部で13号住居跡、南部で8号住居跡、東部で11号住居跡、中央部で9号土坑と重複している。新旧関係は他の8・11・13号住居跡・9号土坑より古い。平面形態・壁高は不明で、規模は残存部で長軸2.7m、短軸1.7mを測る。主軸方位はN-23°-Wを指す。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、竈、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物はない。



第26図 A区8・35号住居跡

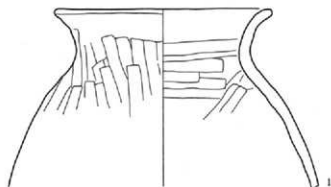
第1節 A区住居跡



第27図 A区8号住居跡

A区8号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒多量、灰少量含む。
2. 暗赤褐色土 焼土粒、灰を含む。
3. 黄褐色土 ローム土。(軸)
4. 暗褐色土 焼土粒、黒色灰少量含む。
5. 暗黄褐色土 ローム粒多量含む。



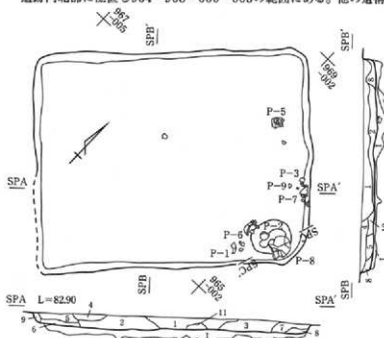
第28図 A区8号住居跡出土遺物

A区8号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	2	鉄器打?	4.5	0.8	0.6
1	土師器壺	17.2			7.5YR5/4Cに赤い帯						

A区9号住居跡 (第29・30図・P L 10・167・168・200)

遺跡内北部に位置し964~968・000~005の範囲にある。他の遺構との関係は南部で17号住居跡と接して



A区9号住居跡

1. 黒褐色土 ローム粒含む。
 2. 暗褐色土 ローム粒含む。
 3. 暗褐色土 ロームブロック含む。
 4. 黒褐色土 軽石含む。
 5. 暗褐色土 軽石、ローム粒含む。
 6. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。
 7. 黄褐色土 軽石、ロームブロック含む。
 8. 黄褐色土 ローム混土。
 9. 黒褐色土 ローム粒含む。
 10. 黄褐色土 ロームブロック含む。
 11. 黄褐色土 ローム粒微量含む。
- 掘り方
I. 黄褐色土 暗褐色土粒含む。
II. 黄褐色土 ローム粒多量含む。

第29図 A区9号住居跡・貯蔵穴

いるが重複関係にはない。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸4.42m、短軸3.5mを測る。主軸方位はN-43°-Eを指し、壁高は11~24cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、柱穴、竈等の諸施設は検出されていない。東部隅に貯蔵穴が検出された。規模は62×56cm、深さ66cmを測る。出土遺物は土師器杯、模倣杯、土師器壺、須恵器高杯の脚が出土している。

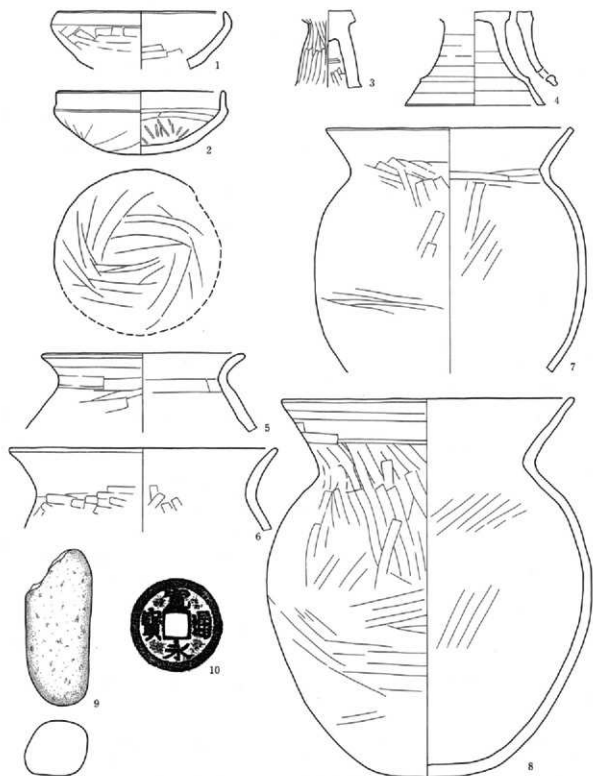
SPC L=82.90 SPC'



A区9号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
2. 黒褐色土 ローム粒含む。
3. 暗褐色土 暗色帯黒褐色土混入。

第3章 検出された遺構と遺物



第30図 A区9号住居跡出土遺物

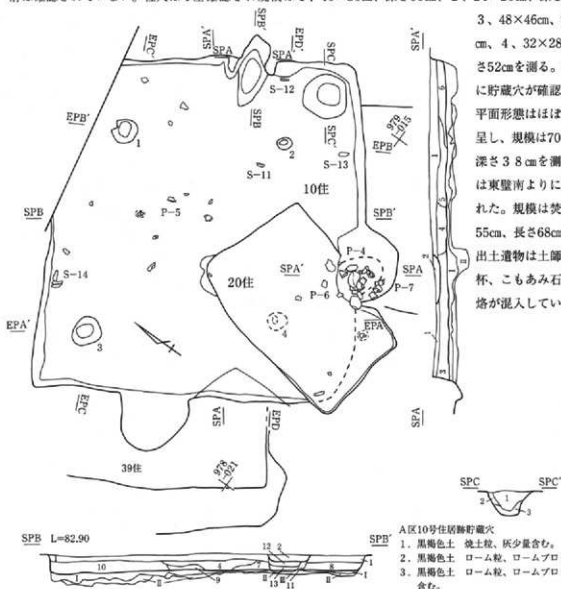
A区9号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	土師器甕	21.2		5YR5/8明赤褐	
1	土師器杯	13.3			5YR4/6赤褐		7	土師器甕	19.4		7.5YR5/4C・D・E・F	
2	土師器杯	13.4			5YR6/6赤		8	土師器甕	23.1	29.8	5YR4/8赤褐	
3	土師器高杯				5YR3/6暗赤褐		9	石	12.4	5.2	4.4	400g
4	須置器高杯		11		5Y5/1灰		10	瓦				
5	土師器甕	16			10YR7/4C・D・E・F・黄橙							

A区10号住居跡 (第31~34回・P.L11・168)

遺跡内西北部に位置し978~983・015~020の範囲にある。他の遺構との関係は南西部で20号住居跡、西部で39号住居跡と重複している。新旧関係は20号住居跡より古い。地表は攪乱が広がり39号住居跡との新旧関係は不明である。北部の一部は調査区域外へ延びている。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸5.42m、短軸4.52mを測る。主軸方位はN-54°-Eを指し、壁高は19~32cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝は確認されていない。柱穴は4基確認され規模は1、40×30cm、深さ60cm、2、24×20cm、深さ42cm、

3、48×46cm、深さ54cm、4、32×28cm、深さ52cmを測る。南東隅に貯蔵穴が確認された。平面形態はほぼ円形を呈し、規模は70×68cm、深さ38cmを測る。竈は東壁南よりに確認された。規模は焚き口幅55cm、長さ68cmを測る。出土遺物は土器器模倣椀、こもあみ石の他焙烙が混入している。



SPB L=82.90

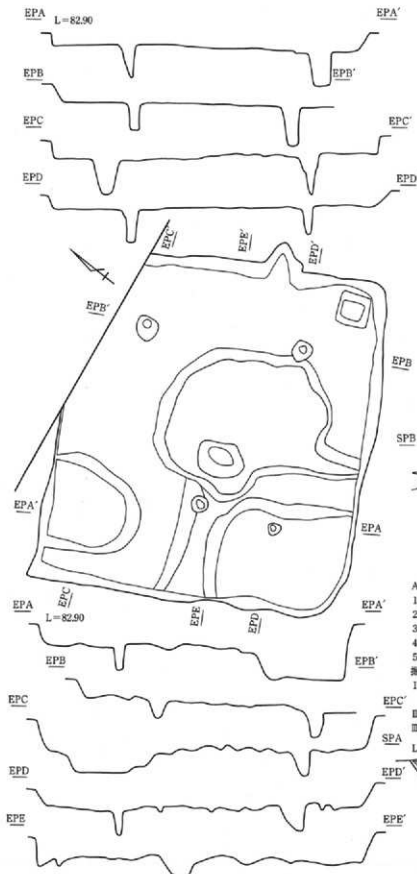
A区10号住居跡貯蔵穴

1. 黒褐色土 焼土粒、灰少量含む。
2. 黒褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
3. 黒褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

A区10・20号住居跡

1. 黒褐色土 ローム粒多量、焼土粒、軽石少量含む。
 2. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒少量含む。(20号住居跡覆土)
 3. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
 4. 黒褐色土 ローム粒、軽石含む。
 5. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
 6. 暗褐色土 ロームブロック含む。
 7. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
 8. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
 9. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
 10. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。
 11. 黄褐色土 ローム粒多量含む。(20号住居跡掘り方覆土)
 12. 暗褐色土 ローム粒少量含む。(20号住居跡掘り方覆土)
 13. 暗褐色土 ローム粒微量含む。(20号住居跡掘り方覆土)
- 掘り方
- I. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
 - II. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
 - III. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

第31回 A区10・20号住居跡

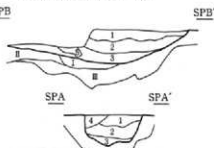


第32図 A区10・20号住居跡掘り方・竈

A区20号住居跡 (第31・32・35
図・P L 20・169)

遺跡内西北部に位置し977~979・016~017の範囲にある。他の遺構との関係はほぼ全体が10号住居跡の南西部と重複している。新旧関係は20号住居跡が新しい。

平面形態は長方形を呈し、地表土の擾乱がひどく壁は西北部の一部が確認された。規模は長軸3.1m、短軸1.72mを測る。主軸方位はN-104°-Eを指し、壁高は18~23cmを測る。竈は東壁中央に確認された。掘乱坑により壊されており、竈左側の壁が壊されている。規模は焚き口幅60cm、長さ72cmを測る。出土物は須恵器椀、土師器甕、羽釜等が出土している。



A区10号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土粒、ローム粒多量含む。
2. 暗褐色土 炭化物、焼土粒含む。
3. 暗褐色土 炭化物、焼土粒少量含む。
4. 焼土粒、炭化物少量含む灰層
5. ローム粒多量含む灰層

掘り方

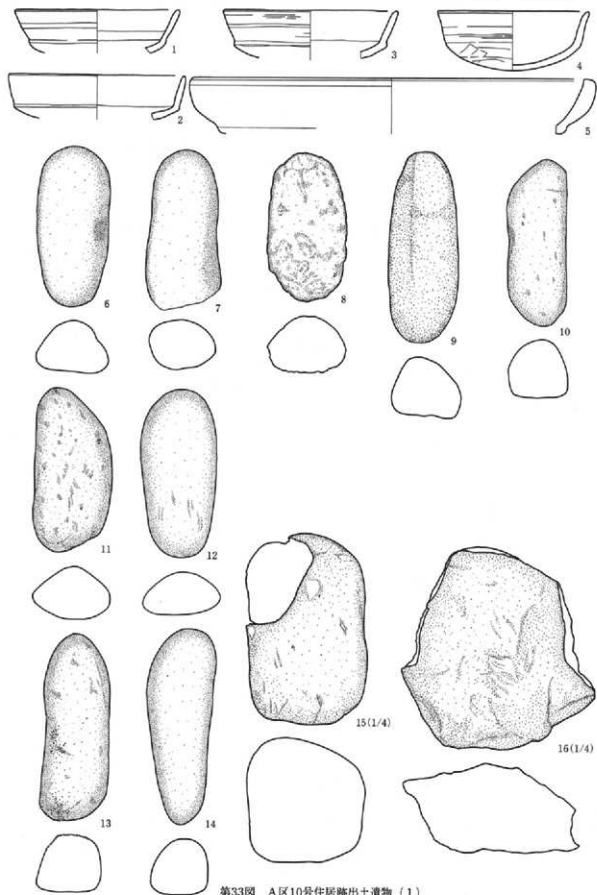
- I. 黄褐色土 ローム粒多量、炭化物、焼土粒少量含む。
- II. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
- III. 暗褐色土 ローム粒多量含む。

L=82.90



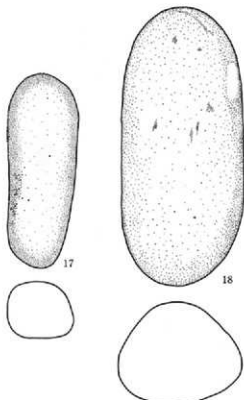
A区20号住居跡竈

1. 灰褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
3. 暗褐色土 焼土、灰層。
4. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
5. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒含む。



第33圖 A区10号住居跡出土遺物(1)

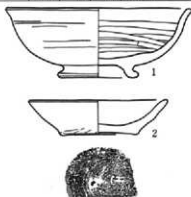
第3章 検出された遺構と遺物



第34図 A区10号住居跡出土遺物(2)

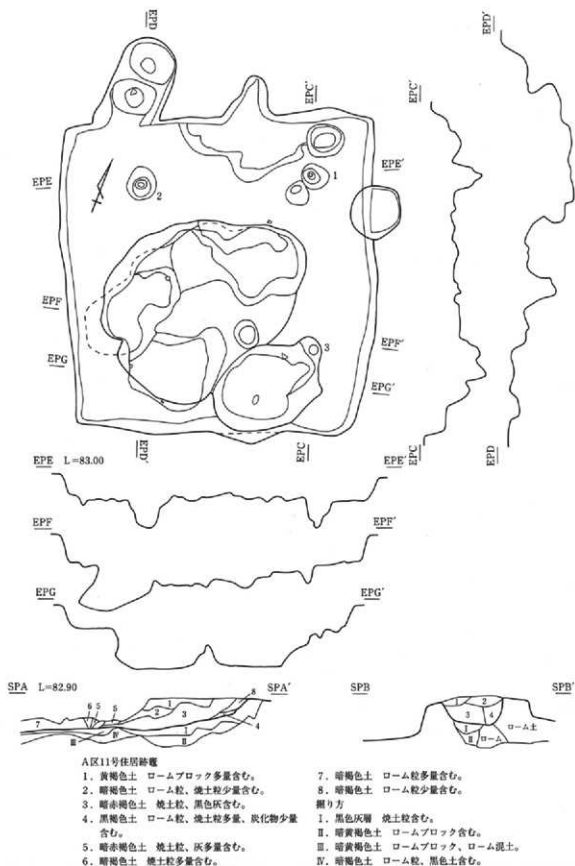
A区10号住居跡出土遺物

番号	形 種	口径	底径	器高	色 調	備 考
1	土師器杯	13			2.5YR4/4に赤い砂混	
2	土師器杯	13.9			5YR5/6明小濁	
3	土師器杯	13.8			7.5YR3/3暗濁	
4	土師器杯	11.9		4.7	7.5YR6/6微	
5	磁 造	31.6			10YR2/1黒	
6	石	12.7	5.8	4.2	490 g	
7	石	12.6	6	4	400 g	
8	石	11.2	6.3	4.4	490 g	
9	石	15	5.5	4.8	570 g	
10	石	13.2	4.6	4.5	400 g	
11	石	12.9	6.1	4.2	500 g	
12	石	13.3	6.1	3.4	400 g	
13	石	14.7	5.3	4.5	590 g	
14	石	15.3	5.2	4.5	500 g	
15	石	20.2	12.6	13.1	4500 g	
16	石	21.3	20.3	9.5	5100 g	
17	石	15.3	5.5	4.4	560 g	
18	石	21.9	9.8	7.9	2600 g	

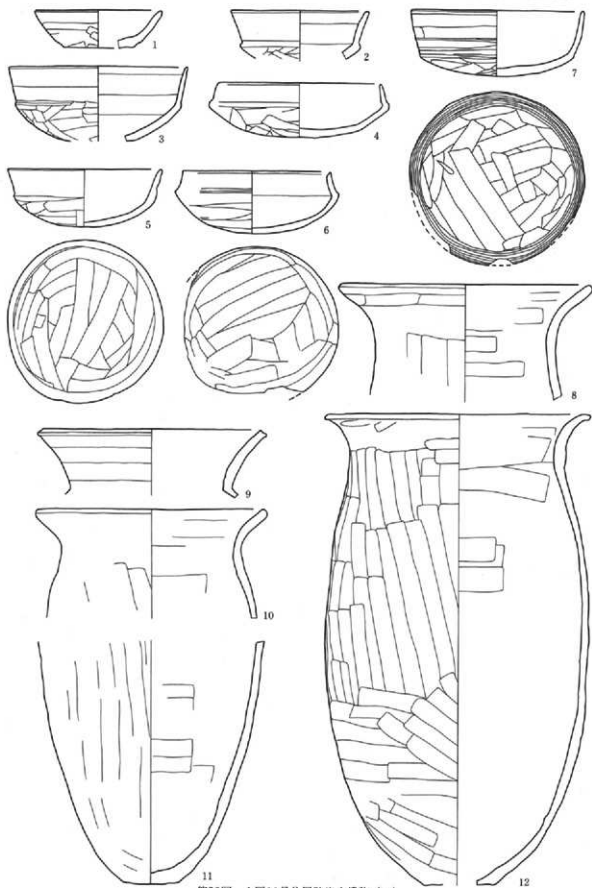


第35図 A区20号住居跡出土遺物

第3章 検出された遺構と遺物

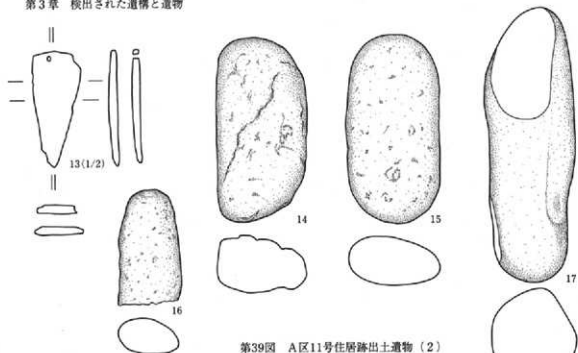


第37図 A区11号住居跡掘り方・概



第38図 A区11号住居跡出土遺物(1)

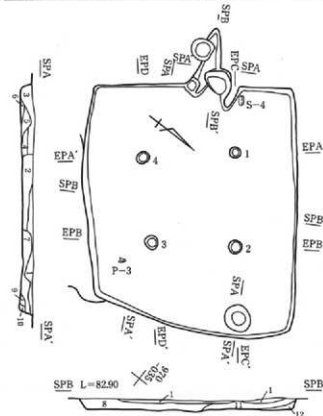
第3章 検出された遺構と遺物



第39図 A区11号住居跡出土遺物(2)

A区11号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	高さ	器高	色調	備考	9	土師器	18			
1	土師器杯	10	5.4	3	10YR8/3浅黄緑		10	土師器	17.8		5YR4/4に赤い赤地	
2	土師器杯	11			5YR6/6黄		11	土師器		4.4	10YR7/4に赤い黄地	
3	土師器杯	14			10YR7/4に赤い黄緑		12	土師器	21	5.6	2.5Y/2黄褐色	
4	土師器杯	13		4.8	5Y3/1オリーブ黒		13	石製品	6.1	2.6	0.5	12g
5	土師器杯	12.2		4.7	5YR6/6黄		14	石	14.5	7.2	4.6	710g
6	土師器杯	11.4		5	2.5Y3/1黒陶		15	石	14.9	7.4	3.9	650g
7	土師器杯	13.6		5.2	2.5Y6/3に赤い黄		16	石	9.2	5.1	2.8	160g
8	土師器	19.6			2.5Y6/4に赤い黄		17	石	21.1	7.1	6.3	1359g



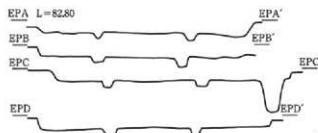
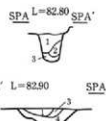
第40図 A区12号住居跡

A区12号住居跡 (第40~43図・P L13・168)

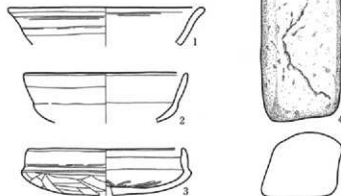
遺跡内西北部に位置し968~970・035~039の範囲にある。他の遺構との重複関係は確認されていないが竈の一部を後世のビットにより壊されている。平面形態は東部がやや歪む長方形を呈し、規模は長軸3.46m、短軸3.99mを測る。主軸方位はS-53°-Wを指し、壁高は9~20cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は確認されていない。柱穴は4基確認され規模は1、径18cm、深さ10cm、2、径21cm、深さ9cm、3、23×21cm、深さ11cm、4、22×20cm、深さ17cmを測る。貯藏穴は北壁寄りに確認された。平面形態はほぼ円形を呈し、規模は44×40cm、深さ44cmを測る。竈は南壁に確認された。規模は焚き口幅50cm、長さ118cmを測る。出土遺物は土師器杯・模倣杯片、こもあみ石等が出土している。

A区12号住居跡

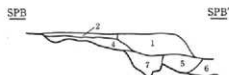
- | | |
|---------------------|-----------------------|
| 1. 暗褐色土 軽石少量含む。 | 7. 暗褐色土 ローム小ブロック含む。 |
| 2. 灰褐色土 黒色粘土ブロック含む。 | 8. 暗褐色土 ローム混土。 |
| 3. 暗褐色土 軽石含む。 | 9. 暗褐色土 ロームブロック含む。 |
| 4. 暗褐色土 ローム粒含む。 | 10. 黄褐色土 ローム粒多量含む。 |
| 5. 暗褐色土 ローム粒多量含む。 | 11. 暗褐色土 ローム粒含む。 |
| 6. ロームブロック | 12. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。 |



第41図 A区12号住居跡エレベーション



第43図 A区12号住居跡出土遺物



A区12号住居跡竈

1. 黒褐色土 ローム粒、焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
3. 赤褐色土 焼土。
4. 黒褐色土 焼土粒少量含む。
5. 暗褐色土 ロームブロック含む。
6. 黒褐色土 ローム小ブロック多量含む。
7. 暗褐色土 白色砂粒含む。

A区12号住居跡貯蔵穴

1. 黒褐色土 黒色灰を多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒含む。
3. 暗褐色土 ロームブロック含む。

第42図 A区12号住居跡竈・貯蔵穴

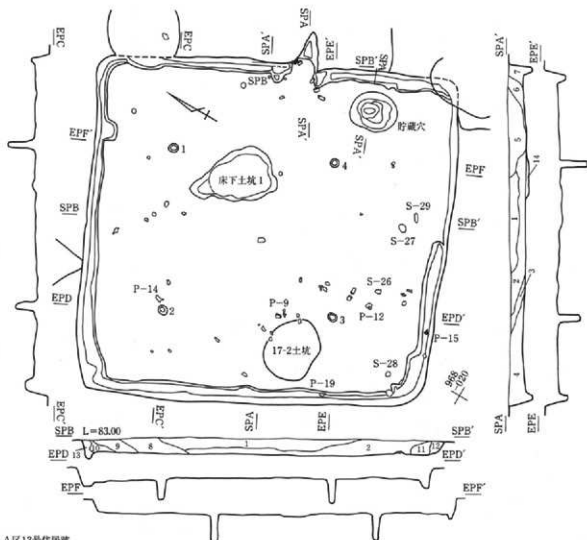
A区12号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	3	土師器杯	12.4		5YR6/6藍	
1	土師器杯	15.5			5YR6/6藍		4	石	13.4	6.5	5.1	700g
2	土師器杯	13			10YR7/2L黄							

A区13号住居跡 (第44~47図・P L 14・168)

A区遺跡内西北部に位置し968~975・016~021の範囲にある。他の遺構との関係は35・36・38号住居跡と重複し、9・10・17-2号土坑と重複している。新旧関係は35・36・38号住居跡より新しく、9・10・17-2号土坑より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸5.82m、短軸5.44mを測る。主軸方位はN-64°-Eを指し、壁高は19~30cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝はほぼ全周する。規模は幅14~39cm、深さ6~14cm、間仕切り溝等は確認されていない。柱穴は4基確認され、規模は1、14×13cm、深さ43cm、2、17×14cm、深さ34cm、3、16×12cm、深さ35cm、4、径13cm、深さ45cmを測る。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は74×61cm、深さ52cmを測る。竈は東壁中央に確認され、規模は焚き口幅34cm、長さ56cmを測る。掘り方面で床下土坑を2基確認し、ローム暗色帯土に掘りこんでいることから粘土探掘の跡と考えられる。床下土坑の規模は1、114×98cm、深さ38cm、2、106×68cm、深さ70cmを測る。出土遺物は土師器・須恵器杯、土師器甕、高杯等が出土している。

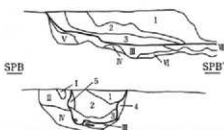
第3章 検出された遺構と遺物



A区13号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
2. 暗褐色土 白色軽石少量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒含む。
4. 暗褐色土 ロームブロック含む。
5. 黒褐色土 白色軽石含む。
6. 暗褐色土 ローム粒、ローム小ブロック含む。
7. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
8. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
9. 暗褐色土 ローム小ブロック含む。
10. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
11. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
12. 暗褐色土 ローム混土。

SPA L=83.10



第44図 A区13号住居跡・竈・貯蔵穴

13. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
14. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

掘り方

- I. 黄褐色土 焼土粒少量含む。
- II. 明黄褐色土 ローム粒多量含む。
- III. 黄褐色土 ローム粒、焼土粒含む。
- IV. 黄褐色土 暗褐色粘土多量含む。
- V. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
- VI. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
- VII. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
- VIII. 黄褐色土 ローム混土。

SPA'

A区13号住居跡竈

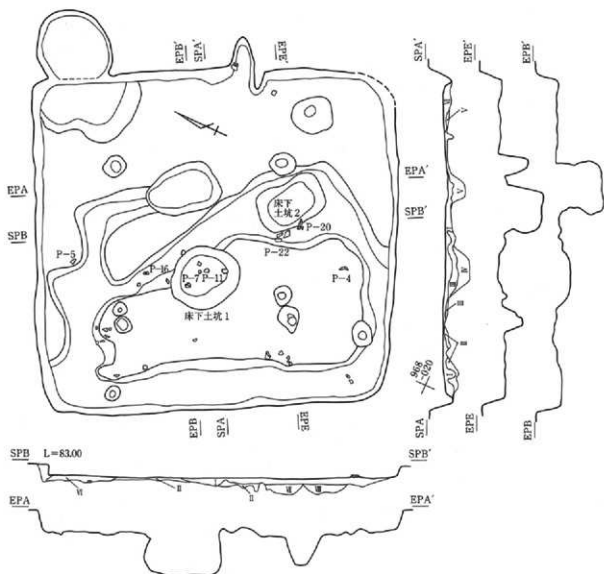
1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
 2. 暗褐色土 焼土小ブロック少量含む。
 3. 暗褐色土 焼土ブロック含む。(天井の崩落土?)
 4. 暗褐色土 焼土含む。
 5. 暗褐色土 黒色灰含む。
- 掘り方
- I. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。



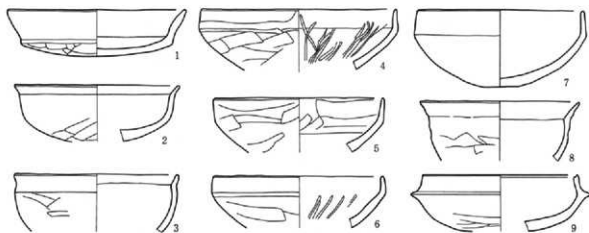
A区13号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
3. 黒褐色土 焼土粒少量含む。
4. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。

- II. 黒褐色土 焼土粒、黒色灰含む。
- III. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- IV. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
- V. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。
- VI. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
- VII. 黄褐色土 ローム混土。

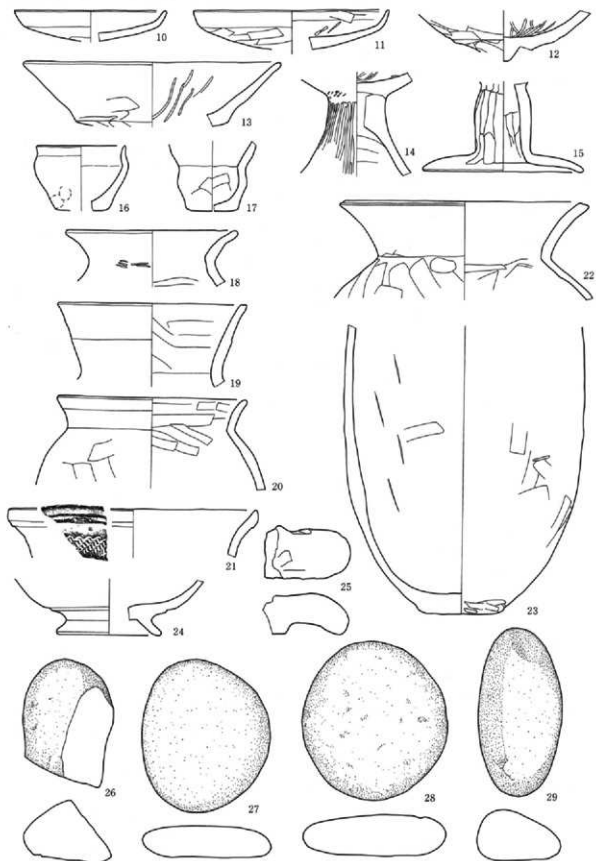


第45図 A区13号住居跡掘り方



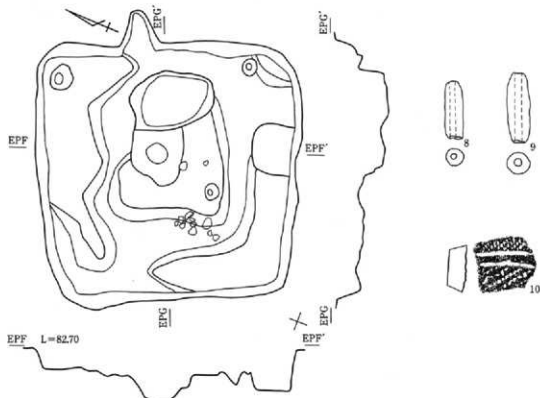
第46図 A区13号住居跡出土遺物 (1)

第3章 検出された遺構と遺物

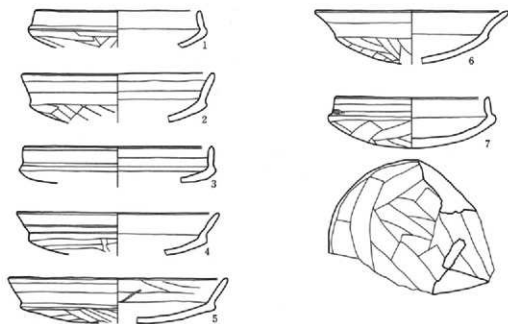


第47図 A区13号住居跡出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物



第49図 A区14号住居跡掘り方

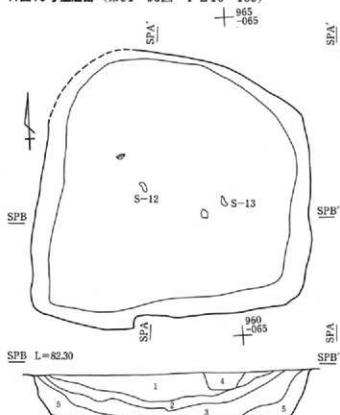


第50図 A区14号住居跡出土遺物

A区14号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	土師器杯	15.3		7.5YR4/4褐
1	土師器杯	13.1			7.5YR3/1黒褐		7	土師器杯	12.2	3.9	5YR5/6明赤褐
2	土師器杯	15.2			10YR2/2黒褐		8	土師	4.6	1.3	0.4
3	土師器杯	15			10YR2/3黒褐		9	土師	5.5	1.7	0.6
4	土師器杯	16			10YR7/4い・黄褐色		10	縄文			7.5YR5/3い・い・褐
5	土師器杯	17.3			7.5YR6/3い・い・褐						

A区15号住居跡 (第51-53図・P L16・169)

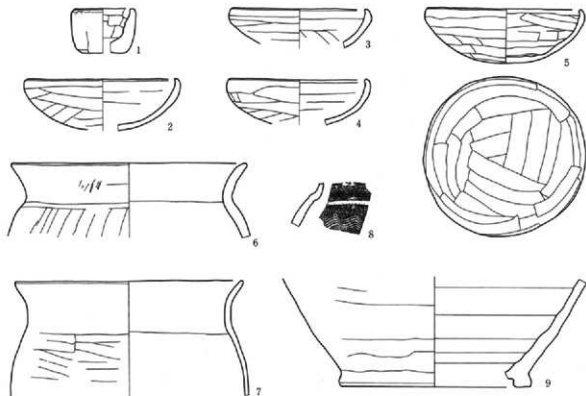


第51図 A区15号住居跡

遺跡内西部に位置し960-964・064-068の範囲にある。他の遺構との重複はない。平面形態は楕円状の方形を呈し、規模は長軸4.5m、短軸3.94mを測る。主軸方位はN-12°-Eを指し、壁高は64-86cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴を始め壁周溝、貯蔵穴、竈は検出されていない。

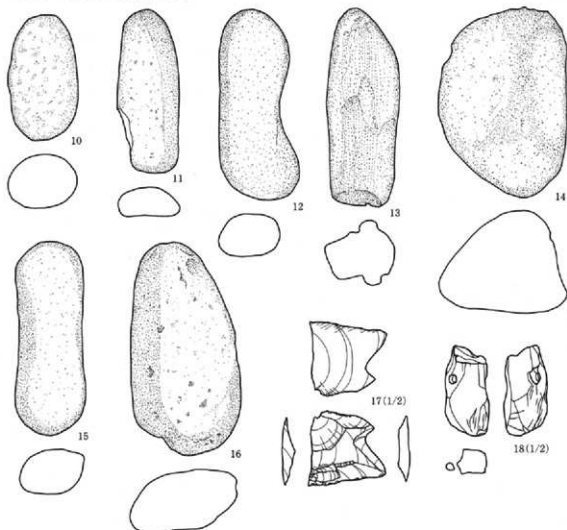
A区15号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
3. 黒褐色土 ローム粒含む。
4. 暗褐色土 焼土粒含む。
5. 黄褐色土 ローム混土。



第52図 A区15号住居跡出土遺物 (1)

第3章 検出された遺構と遺物



第53図 A区15号住居跡出土遺物(2)

A区15号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	10	石	9.9	5.5	4.2	280 g	
1	手捏	4.8		3.5	7.5YR6/6靑		11	石	12.9	4.9	2.3	200 g	
2	土師器杯	12			7.5YR6/6靑		12	石	15	5.3	3.3	450 g	
3	土師器杯	10.6			7.5YR6/6靑		13	石	15.5	5.8	5.1	600 g	
4	土師器杯	10.8			5YR6/4に赤+靑		14	石	15	10.2	8.1	1300 g	
5	土師器杯	12.2		4.3	7.5YR6/4に赤+靑		15	石	15.3	5.6	3.6	500 g	
6	土師器甕	18.4			10YR6/4に赤+靑		16	石	16.8	8.7	4.9	1050 g	
7	土師器甕	18			5YR5/6明赤褐		17	石器	4.1	4	0.7	12 g	
8	須恵器甕				10YR3/1黒褐		18	石製遺品	4.7	2.3	1.3	20 g	
9	須恵器甕		14.8		10YR5/3に赤+靑								

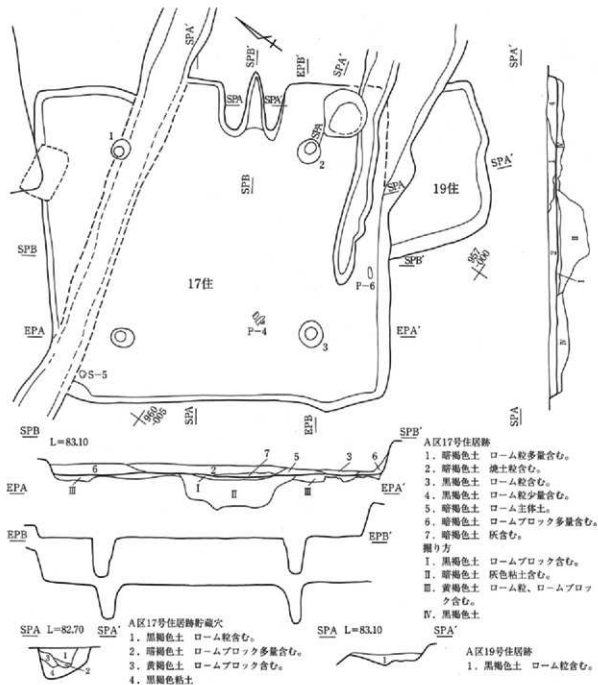
A区17号住居跡 (第54～56図・P L 17)

遺跡内北部に位置し957～963・004～008の範囲にある。他の遺構との関係は北部で4号溝南部で8号溝、南東部で19号住居跡と重複している。新旧関係は4・8号溝より旧く、19号住居跡より新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸5.52m、短軸5.42mを測る。主軸方位はN-39°-Eを指し、壁高は22～50cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は確認されていない。柱穴は4基確認され、規模は1、33×32cm、深さ58cm、2、38×37cm、深さ62cm、3、41×39cm、深さ57cm、4、36×30cm、深さ62cmを測る。貯蔵穴は北東隅に確認され、平面形態は円形を呈し、規模は84×76cm、深さ49cmを測る。竈は東壁やや南寄りに確認され、規模は焚き口幅54cm、長さ106cmを測る。掘り方面は床下から円形の土坑が確認された。規模は径120cm、深

さ50cmを測り、ローム黒色帯を掘りこむことから粘土採掘坑と考えられる。出土遺物は土師器杯、壺とこもあみ石等が出土している。

A区19号住居跡（第54・55図）

遺跡内北部に位置し958～959・998～001の範囲にある。他の遺構との関係は17号住居跡・8号溝と重複している。新旧関係は17号住居跡・8号溝より古い。平面形態は不明で、規模は残存部で長軸2.5m、短軸2mを測る。主軸方位、壁周溝、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。壁高は20～25cmを測る。出土遺物はない。



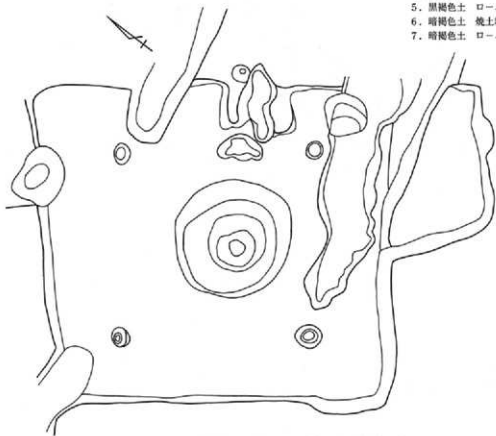
第54図 A区17・19号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物

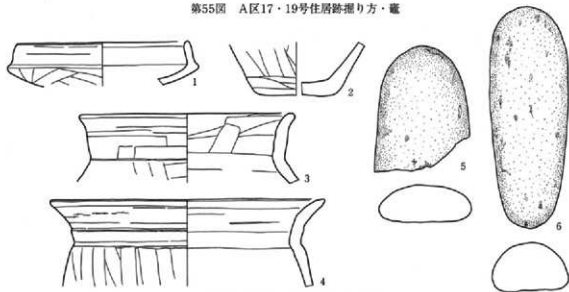


A区17号住居跡概

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、黒色灰少量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒、炭化物多量含む。
4. 黒色灰
5. 黒褐色土 ローム粒多量含む。
6. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
7. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。



第55図 A区17・19号住居跡掘り方・概



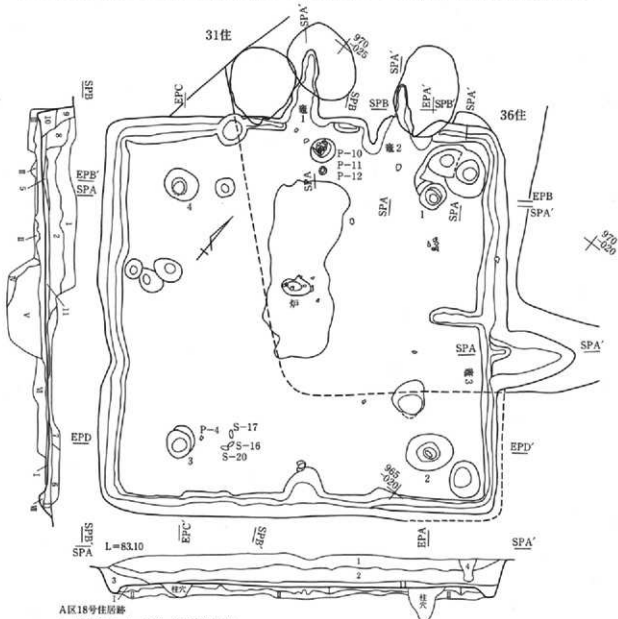
第56図 A区17号住居跡出土遺物

A区17号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	4	土師器表	21.6		10YR7/2に赤い黄斑	
1	土師器杯	13.6			10YR2/1黒		5	石	9.8	7.3	2.9	300 g
2	土師器壺		6		10YR7/3に赤い黄斑		6	石	17.5	6.2	4.3	600 g
3	土師器壺	17			10YR6/3に赤い黄斑							

A区18号住居跡 (第57~63図・P.L18・19・169・200)

遺跡内西北部に位置し964~970・019~025の範囲にある。他の遺構との関係は31・36号住居跡、7・15・16-2号土坑と重複している。新旧関係は31号・36号住居跡より18号住居跡が新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸6.34m、短軸6.3mを測る。主軸方位はN-43°-Eを指し、壁高は18~44cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝はほぼ全周する。規模は幅20~50cm、深さ10~60cmを測り、間仕切り溝は確認されている。



A区18号住居跡

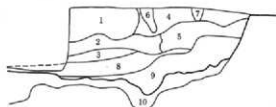
- | | | | |
|----------|-----------------------|------------|-------------------|
| 1. 暗褐色土 | ローム粒、焼土粒多量含む。 | 11. 黄褐色土 | 焼土、炭化物含む。(床面固) |
| 2. 暗褐色土 | ローム粒、ロームブロック、焼土粒多量含む。 | 掘り方 | |
| 3. 暗褐色土 | ローム粒多量含む。 | I. 黄褐色土 | 白色軽石少量含む。 |
| 4. 暗褐色土 | 白色軽石含む。 | II. 暗褐色土 | 粘土含む。 |
| 5. 暗褐色土 | 焼土粒、灰多量含む。(床面新) | III. 暗褐色土 | ローム粒含む。 |
| 6. 暗褐色土 | ローム粒含む。 | IV. 暗褐色土 | 地山褐色帯土。 |
| 7. 暗褐色土 | ローム粒、ロームブロック多量含む。 | V. 黄褐色土 | ローム粒多量、暗色帯粘土含む。 |
| 8. 黄褐色土 | ローム粒、焼土粒多量含む。 | VI. 黄褐色土 | ローム粒、ロームブロック多量含む。 |
| 9. 暗褐色土 | ローム粒、白色パミス多量含む。 | VII. 黄褐色土 | ローム混土。 |
| 10. 黄褐色土 | ローム粒多量含む。 | VIII. 黄褐色土 | ローム混土。 |

第57図 A区18号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物

ない。床面中央部には焼土が集中して検出された。規模は47×31cm、厚みが10cmある。柱穴は4基確認され、規模は1、42×34cm、深さ62cm、2、74×56cm、深さ76cm、3、43×36cm、深さ60cm、4、54×46cm、深さ66cmを測り、他に小穴が4基確認されている。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は74×64cm、深さ46cmを測る。竈は北壁に2基、東壁に1基確認された、各々の規模は1、焚き口幅50cm、長さ118cm、2、焚き口幅64cm、長さ106cm、3、焚き口幅70cm、長さ130cmを測る。掘り方面中央部に楕円形の床下土坑を確認し、ローム暗色帯土を採掘した坑と考えられる。規模は158×126cm、深さ72cmを測る。出土遺物は土師器杯、高杯、甕の他にもあみ石、鉄製の鎌の一部、土錘、石製玉が出土している。竈が複数確認できたこと、柱穴の外側に小穴が確認できたことから拡張の可能性が考えられる。断面図Bラインの8と9・10を分ける線は内側が竈を埋めてやや狭まり、竈3が当住居跡で一番新しいと考えられる。また竈1と2の関係は竈1の使用面下から床面が確認できたことから2が旧く、3基の順番は旧い方から2・1・3となる。さらに住居跡土層の11と5は床面と認められ、8層が11層を切ることから5層が新しい床面であることがわかる。この結果竈は3基あり、床面は2面確認できた事になるが拡張の段階と竈使用の時間的並行関係は明確に確認はできなかった。

SPA L=83.10



SPA L=83.00



A区18号住居跡竈1

1. 暗褐色土 焼土粒含む。
 2. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
 3. 黒褐色土 焼土、灰含む。
 4. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
 5. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
 6. 黒色土
 7. 黄褐色土
 8. 暗褐色土 焼土、灰多量含む。
 9. 暗褐色土 焼土、灰多量含む。
 10. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- 左下点線部は上の面の床、竈1の床面、其の下の線は旧い床面。

SPB



A区18号住居跡竈2

1. 黒褐色土 焼土粒、ローム粒少量含む。
2. 黒褐色土 ローム粒含む。
3. 暗褐色土 白色砂粒含む。
4. 暗褐色土 焼土粒含む。
5. 暗褐色土 暗色粘土塊。
6. 暗褐色土 焼土塊含む。
7. 暗褐色土 焼土粒、灰多量含む。
8. 赤褐色土 焼土塊。
9. 赤褐色土 焼土ブロック多量含む。
10. 暗褐色土 焼土粒、黒色灰多量含む。
11. 暗褐色土 焼土粒多量含む。

掘り方

- I. 黄褐色土 焼土粒、灰含む。
- II. 暗褐色土 灰多量含む。
- III. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- IV. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
- V. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒含む。

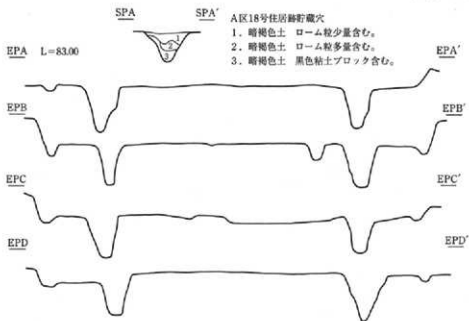
SPA L=82.70



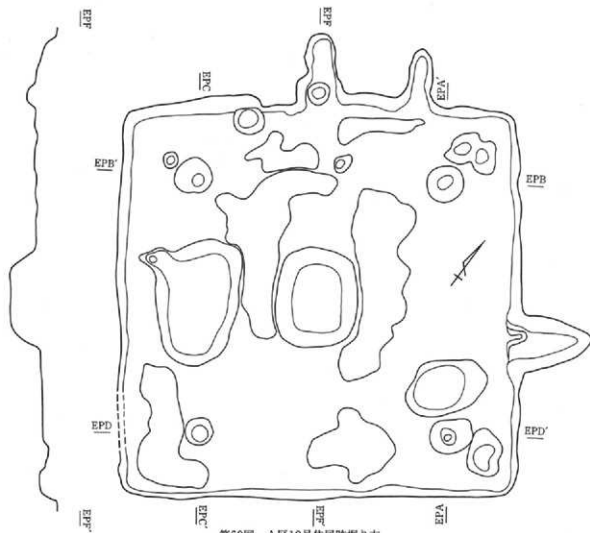
A区18号住居跡竈3

1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
3. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
4. 暗褐色土 ローム粒含む。
5. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
6. 赤褐色土 焼土粒多量含む。
7. 暗褐色土 褐色粘土塊含む。
8. 黄褐色土 ローム粒少量含む。
9. ロームブロック
10. 黒色灰

第58図 A区18号住居跡竈1～3

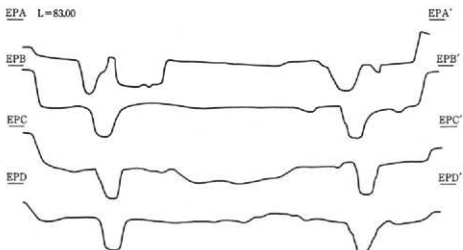


第59図 A区18号住居跡貯蔵穴・エレベーション

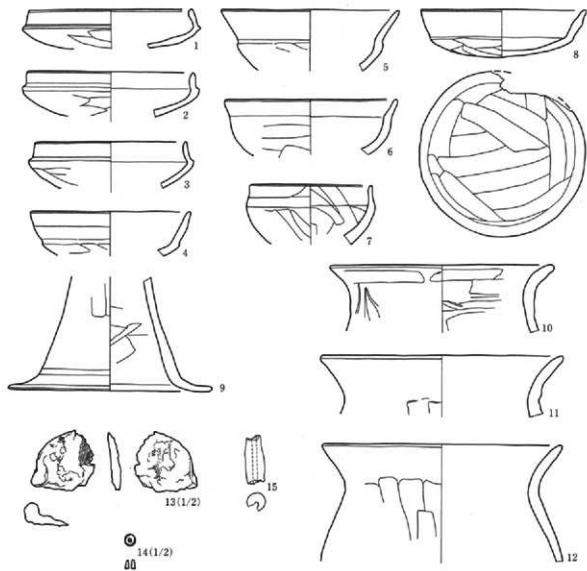


第60図 A区18号住居跡掘り方

第3章 検出された遺構と遺物



第61図 A区18号住居跡掘り方エレベーション



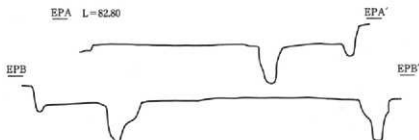
第62図 A区18号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物

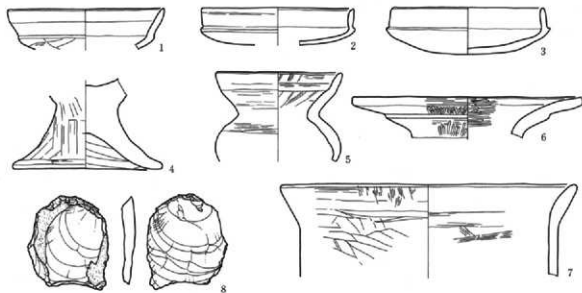
A区21号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
3. 黒褐色土 炭化物含む。
4. 黄褐色土 焼土粒、ローム粒含む。
5. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
6. 暗褐色土 焼土粒含む。
7. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
8. 黄褐色土 ロームブロック含む。
9. 黄褐色土 白色パミス含む。
10. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
11. 黄褐色土 白色パミス、ローム粒含む。
12. 暗褐色土 ローム粒含む。
13. 暗褐色土 ローム粒多量、ロームブロック少量含む。
14. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
15. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック、白色パミス含む。
16. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒含む。
17. 黄褐色土 ローム混土。

主軸方位は南壁でN-58°-Eを指し、壁高は20~32cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は残存壁で確認されている。規模は幅12~31cm、深さ10~18cmを測る。柱穴は2基確認され、規模は1、59×46cm、深さ51cm、柱痕径10cm、2、54×50cm、深さ65cm、柱痕径12cmを測る。竈、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土器器杯、壺、甕等が出土している。



第65図 A区21号住居跡エレベーション



第66図 A区21号住居跡出土遺物

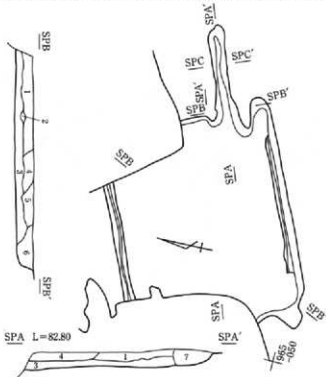
A区21号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	5	10	2.5YR3/4暗赤褐
1	土器器杯	12.4			10YR7/2に多い黄褐色	5 土器器小型壺			
2	土器器杯	12			7.5YR3/1黒褐色	6 土器器壺			2.5YR5/4に多い赤褐色
3	土器器杯	12			7.5YR3/1黒褐色	7 土器器壺			7.5YR3/4暗褐色
4	土器器高杯		11.7		7.5YR6/6暗	8 石器	7.4	6.3	1.1 50g

A区22号住居跡 (第67~70図・P.L.22・169)

遺跡内西北部に位置し965・968・045~050の範囲にある。他の遺構との関係は北東部で21号住居跡、西部で14号住居跡と重複している。新旧関係は14号・21住居跡より古い。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.7m、短軸1.47mを測る。主軸方位は

N-65°-Eを指し、壁高は20~26cmを測る。床面は平坦をなし、南・北壁の一部で壁周溝を確認した。規模は幅11~22cm、深さ8~12cmを測る。竈は東壁南よりに確認した。規模は焚き口幅33cm、長さ164cmを測り、煙道部幅は50cm、煙道部長は1mを測る。出土遺物は土師器杯、甕、中国銭、羽釜が混入している。



第67図 A区22号住居跡

A区22号住居跡

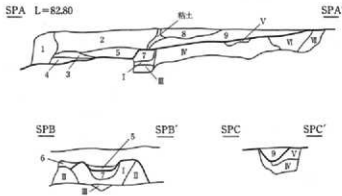
1. 明褐色土 ローム粒多量含む。
2. ロームブロック
3. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
4. 暗褐色土 ローム粒、白色パミス含む。
5. 黒褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
6. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
7. 黒褐色土 ロームブロック少量含む。

A区22号住居跡竈

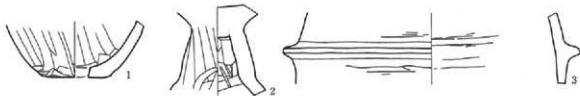
1. 黒褐色土
2. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
3. 赤褐色土 焼土ブロック。
4. 暗色粘土
5. 暗褐色土 焼土、ローム粒多量含む。
6. 暗褐色土 粘土多量含む。
7. 赤褐色土 粘土が焼けた土、壁体の崩落土。
8. 暗褐色土 焼土、灰少量含む。
9. 暗褐色土 灰多量、焼土少量含む。

掘り方

- I. 黄褐色土 焼土、灰含む。
- II. 暗褐色粘土 袖構築粘土。
- III. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- IV. 明黄褐色土 ローム粒多量含む。
- V. 黄褐色土
- VI. 暗褐色土 ローム混土。
- VII. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。

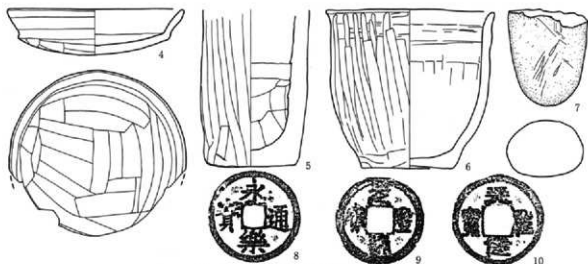


第68図 A区22号住居跡竈



第69図 A区22号住居跡出土遺物 (1)

第3章 検出された遺構と遺物

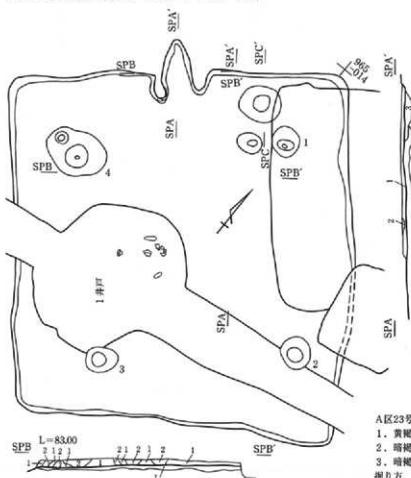


第70図 A区22号住居跡出土遺物(2)

A区22号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	土師器夾	13.2	7.1	12.5	7.5YR6/6模
1	土師器瓶		4.7	孔径2	7.5YR6/4に灰い粉		7	石	7.6	6.2	4.4	250g
2	土師器台付釜				2.5YR5/6明赤褐		8	鉄				
3	羽釜				10YR7/4に灰い黄粉		9	鉄				
4	土師器杯	14		3.6	7.5YR3/1黒褐		10	鉄				
5	土師器支脚		7		7.5YR5/4に灰い粉							

A区23号住居跡(第71~74図・P.L23・170)



第71図 A区23号住居跡

遺跡内西部に位置し958～964・009～015の範囲にある。他の遺構との関係は北東部で6号住居跡、南西部で1号井戸、4号溝と重複している。新旧関係は6号住居跡、1号井戸、4号溝より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸5.92m、短軸5.14mを測る。主軸方位はN-37°-Wを指し、壁高は6～26cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は確認されていない。柱穴は4基確認され、規模は1、50×44cm、深さ70cm、2、52×46cm、深さ70cm、3、52×40cm、深さ70cm、4、径38cm、深さ60cm

A区23号住居跡

1. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒含む。
3. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。掘り方
1. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。

SPA L=83.10 SPA'



SPB SPB'



SPC SPC'



A区23号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
3. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。

第72図 A区23号住居跡壺・貯蔵穴

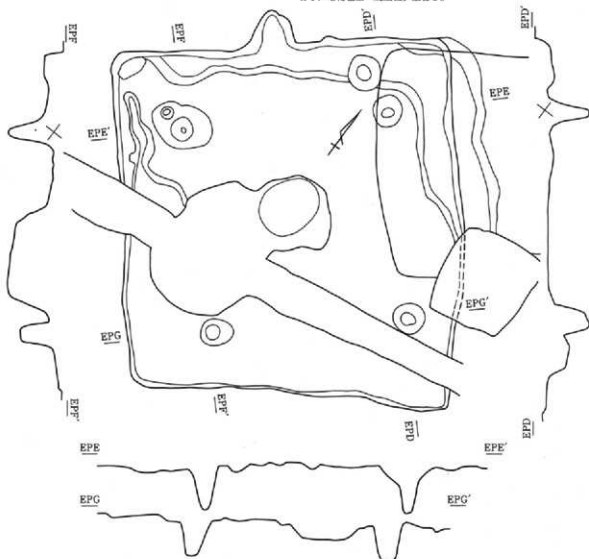
を測る。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は方形を呈し、規模は68×58cm、深さ32cmを測る。壺は東壁に確認され、規模は焚き口幅54cm、長さ96cmを測る。出土遺物は土師器杯、高杯、甕、羽口等が出土している。

A区23号住居跡壺

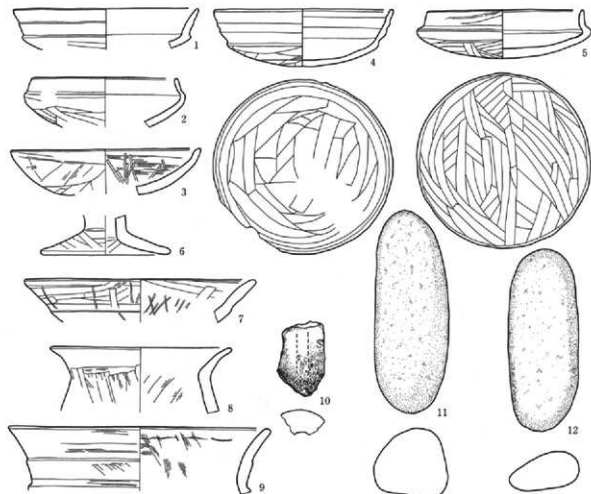
1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 赤褐色土 焼土粒多量、灰少量含む。
3. 暗黄褐色土 ロームブロック主体土。
4. 暗褐色土 ローム粒少量含む。

掘り方

- I. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
- II. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
- III. ロームブロック
- IV. 黒褐色土 ローム粒少量含む。
- V. 暗褐色粘土
- VI. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。
- VII. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- VIII. 黄褐色土 ローム混土。
- IX. 黒褐色土 ローム粒少量含む。
- X. 暗褐色土 袖材の粘土。
- XI. 暗褐色土 焼土粒少量含む。



第73図 A区23号住居跡掘り方



第74図 A区23号住居跡出土遺物

A区23号住居跡出土遺物

番号	品名	口径	底径	器高	色調	備考	7	土師器高杯	18.3		7.5YR7/6橙	
1	土師器杯	14.6			10YR7/3に濃い黄橙		8	土師器壺	14.3		5YR3/6暗赤褐	
2	土師器杯	11.5			5YR3/2暗赤褐		9	土師器壺	20.7		10YR8/2灰白	
3	土師器杯	15			10YR4/6赤		10	羽口	5.8	3.8	1.9	
4	土師器杯	14	4.5		7.5YR4/3黄灰		11	石	16	5.9	5.3	780 g
5	土師器杯	12.3	3.8		10YR4/2灰黄褐		12	石	14.4	5.6	3	390 g
6	土師器器台	10.3			5YR5/6明赤褐							

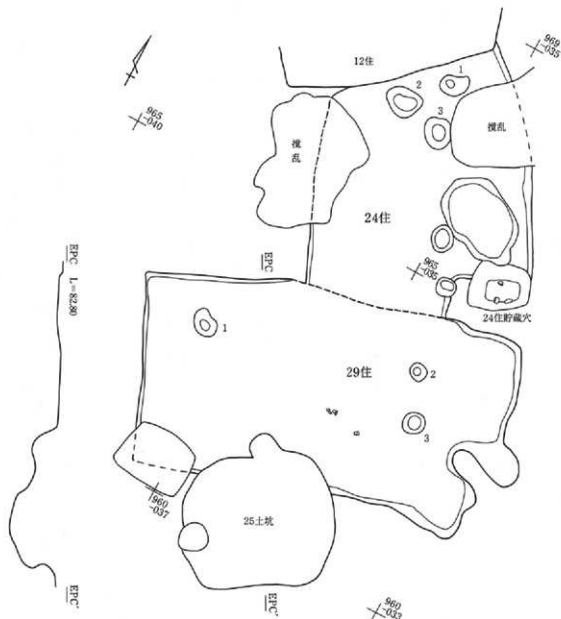
A区24号住居跡 (第75～77図・P L 24・170・200)

遺跡内西部に位置し964～968・033～036の範囲にある。他の遺構との関係は西北部で12号住居跡、南部で29号住居跡と重複している。新旧関係は24号住居跡が古い。また上面は攪乱がひどく、平面形態、規模等は不明である。攪乱土の下より床面、貯蔵穴、小穴等を確認した。小穴は6基確認し、規模は1、44×40cm、2、56×46cm、3、48×46cm、4、43×36cm、5、156×98cm、6、32×29cmを測り各々の深さは不明である。貯蔵穴は南東部に確認した。平面形態は隅丸方形を呈し、規模は96×74cm、深さは不明である。出土遺物は土師器の椀状の土器、壺等が出土している。

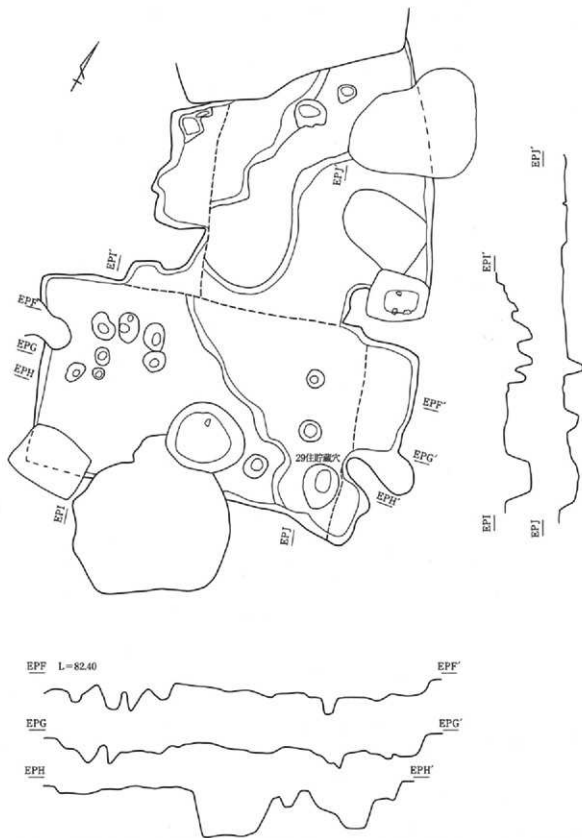
A区29号住居跡 (第75・76・78図・P L 28・170)

遺跡内西部に位置し960～965・033～039の範囲にある。他の遺構との関係は北部で24号住居跡、南部で25号土坑と重複している。新旧関係は24号住居跡より新しく、25号土坑より古い。当住居跡周辺は後世の攪乱がひどくゴミ穴が深く達しており、遺構の確認が困難であった。29号住居跡も床面の確認をし、住居跡と

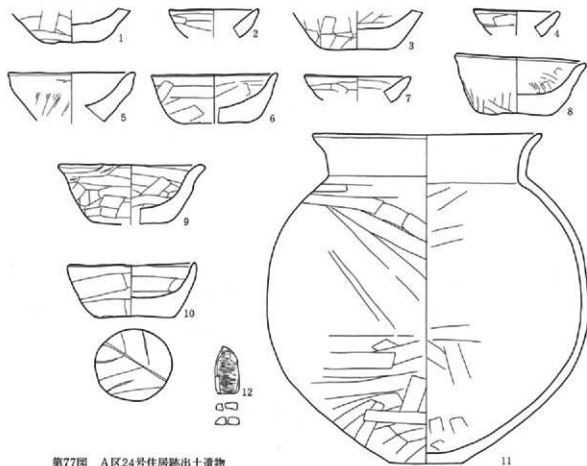
した。このため平面形態、主軸方位は不明で、規模は長軸6.17m、短軸残存2.92mを測る。壁周溝は検出されず、壁高は2～8cmを測る。床面は明確に硬い部分を確認したのみで柱穴は3基を確認した。規模は1、44×36cm、深さ80cm、2、30×29cm、深さ88cm、3、36×34cm、深さ82cmを測る。24号・29号住居跡はゴミ穴攪乱の中に確認したため、断面セクションをとったが明確な新旧関係や、覆土の堆積状況はほとんどが攪乱土であった。また25号土坑も29号住居跡床下の粘土採掘坑の可能性があるが南部が削平と攪乱がひどく明確ではない、従って土坑とした。出土遺物は土師器杯、高杯、甕等が出土している。



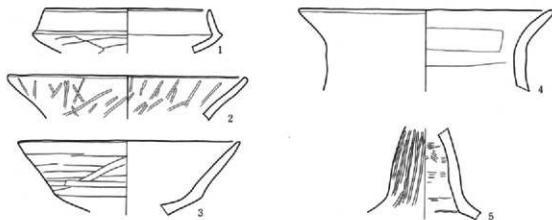
第75図 A区24・29号住居跡



第76図 A区24・29号住居跡掘り方



第77图 A区24号住居跡出土遺物



第78图 A区29号住居跡出土遺物

A区24号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	7	土師器手捏	11.2		7.5YR5/4Lc・赤褐色	
1	土師器手捏		4.7		5YR2/4・赤褐色		8	土師器手捏	10.4	6	5YR3/4暗赤褐色	
2	土師器手捏	9.5			5YR5/4Lc・赤褐色		9	土師器手捏	11.6	5.8	4.1	5YR4/4Lc・赤褐色
3	土師器手捏		6		5YR4/4Lc・赤褐色		10	土師器手捏	10.2	6	4.1	5YR3/4暗赤褐色
4	土師器手捏	9			7.5YR5/4Lc・赤褐色		11	土師器片	18	6	25.9	7.5YR3/4暗赤褐色
5	土師器手捏	10			2.5YR5/4Lc・赤褐色		12	石製模造品	3.6	1.9	0.6	8g
6	土師器手捏	10	5.8	3.8	5YR5/4Lc・赤褐色							

A区29号住居跡

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	3 <td>土師器高杯</td> <td>17.5</td> <td></td> <td>2.5YR4/4Lc・赤褐色</td>	土師器高杯	17.5		2.5YR4/4Lc・赤褐色
1	土師器杯	13.2			10YR6/3Lc・黄褐色		4	土師器片	20		5YR5/6明赤褐色
2	土師器高杯	18.9			2.5YR4/4Lc・赤褐色		5	土師器高杯			2.5YR3/6暗赤褐色

の関係は出土遺物からは25号住居跡が新しいが、土層堆積の判断と25号住居跡の平面形態等から10号住居跡が新しい。従って25号住居跡の須恵器口縁片は紛れ込みと考えられる。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.3m、短軸3.16mを測るが北部は10号住居跡により壊されている。主軸方位はN-66°-Eを指し、壁高は15~18cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されなかった。竈は南西隅に検出された。規模は焚き口幅65cm、長さ126cmを測る。出土遺物は管玉と須恵器の破片が一点紛れ込んでいる。

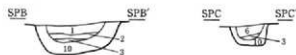
A区26号住居跡 (第79~84図・P L 26・170)

遺跡内北部に位置し974~980・008~015の範囲にある。他の遺構との関係は7・25・11・25号住居跡と重複している。新旧関係は11・25号住居跡より旧く、7号住居跡より新しい。平面形態は長方形を呈し南部の壁は重複と攪乱で明確ではない。規模は長軸7.87m、短軸5.86mを測り、壁高は6~12cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は確認できなかった。柱穴は平面で確認できず、掘り方面で4基を確認した。規模は1、38×17cm、深さ48cm、2、径20cm、深さ32cm、3、18×12cm、深さ28cm、4、22×20cm、深さ22cmを測る。北西隅に貯蔵穴を検出した。平面形態は楕円形を呈し、規模は88×78cm、深さ40cmを測る。竈は北壁に検出した。規模は焚き口幅56cm、長さ86cmを測る。出土遺物は土師器杯、甕、手捏土器、支脚、こもあみ石等が出土している。25・26号住居跡を検出した地点は調査以前現代住宅地隣接雑木林であった。このためゴミ穴や根による攪乱が細かく住居跡を壊している。



A区25号住居跡

1. 黄褐色土 ローム粒多量、焼土粒、灰含む。
2. 焼土
3. 黒色灰
4. 黄褐色土 焼土粒、ローム粒含む。
5. 黒褐色土 ローム粒含む。
6. 黒褐色土
7. 黄褐色土 ローム粒多量、焼土粒含む。
8. 黒褐色土 黒色灰、焼土含む。
9. 明黄褐色土 ローム混土。
10. 暗褐色土 焼土粒、ロームブロック含む。



A区26号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、灰多量含む。
3. 白色灰
4. 黒褐色土 砂含む。
5. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒多量含む。

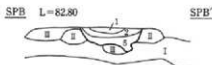
掘り方

- I. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- II. 暗褐色粘土 袖材。
- III. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
- IV. 黒褐色土 焼土粒多量含む。



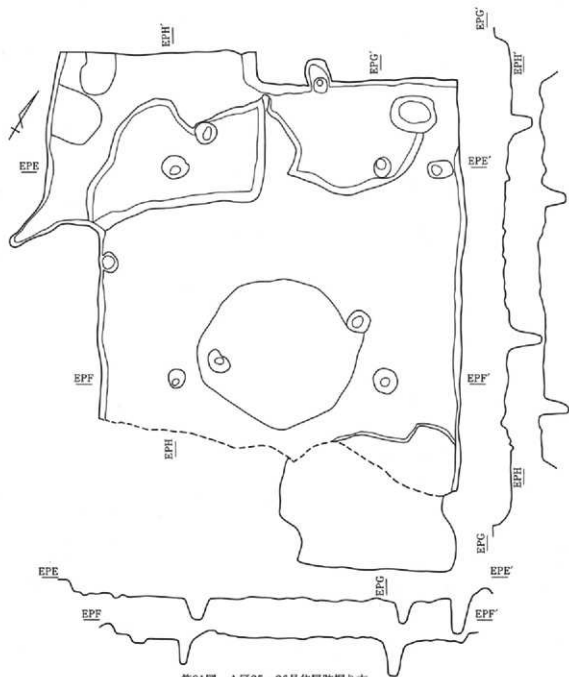
A区26号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒含む。
3. 黒褐色土 ローム粒少量含む。
4. 黒褐色土 ローム粒含む。
5. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。
6. 黄褐色土 ローム混土。

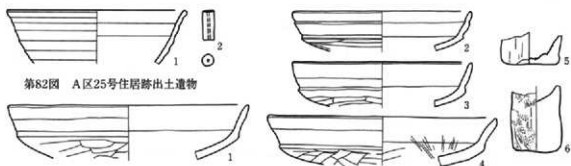


第80図 A区25・26号住居跡・貯蔵穴

第3章 検出された遺構と遺物

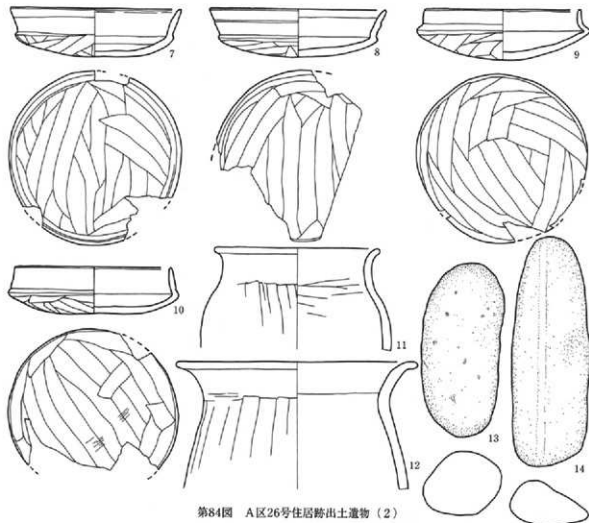


第81図 A区25・26号住居跡掘り方



第82図 A区25号住居跡出土遺物

第83図 A区26号住居跡出土遺物(1)



第84図 A区26号住居跡出土遺物(2)

A区25号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	2	管王	2.3	0.9	0.9
1	須恵器碗	14			5Y7/2灰白						

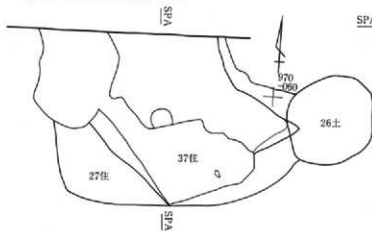
A区26号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	8	土師器杯	14	3.8	10YR6/3Cに赤い黄緑
1	土師器杯	18			7.5YR4/3褐		9	土師器杯	12.2	4	10YR5/3Cに赤い黄緑
2	土師器杯	14			7.5YR3/2黒褐		10	土師器杯	12.4	3.8	10YR6/3Cに赤い黄緑
3	土師器杯	14			10YR5/3Cに赤い黄緑		11	土師器甕	12.8		10YR6/4Cに赤い黄緑
4	土師器杯	18			10YR3/2黒褐		12	土師器甕	18.8		10YR7/4Cに赤い黄緑
5	手捏		4.2		7.5YR4/4褐		13	石	13.6	6.6	5 500g
6	土師器支脚	断面3.9			10YR3/2黒褐		14	石	18	6.2	3.5 600g
7	土師器杯	13.4		3.8	10YR5/3Cに赤い黄緑						

A区27・37号住居跡(第85~87図・P L 26・34)

遺跡内西北部に位置し968~970・059~064の範囲にある。他の遺構との関係は37号住居跡、26号土坑と重複している。新旧関係は26号土坑が新しい。27号住居跡と37号住居跡は1軒の可能性もあるが、遺構の大半が調査区域外にあるために全体の形態がつかめないこと、土層の堆積状態、床面の残りが狭い範囲であること等をあわせた結果2軒の判断をした。平面形態、主軸方位、規模等は確認できなかった。床面は一部を確認し、壁周溝、貯蔵穴、柱穴、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯、甕、円筒埴輪片等が出土している。

第3章 検出された遺構と遺物



SPA L=8250 SPA'



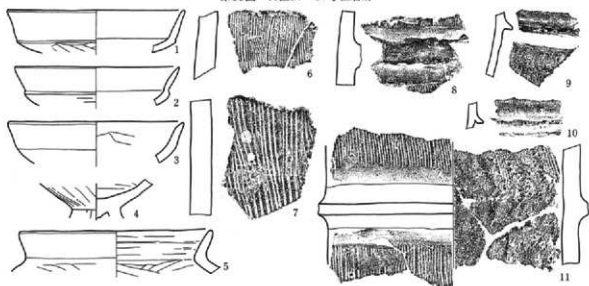
A区27・37号住居跡

1. 黒褐色土
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。

掘り方

- I. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。
- II. 暗褐色土 ローム粒含む。
- III. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
- IV. 黄褐色土 根残乱。
- V. 暗褐色土 ローム粒多量含む。

第85図 A区27・37号住居跡



第86図 A区27号住居跡出土遺物



第87図 A区37号住居跡出土遺物

A区27号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	7	8	9	10	11
1	土師器杯	14			5YR6/4L・R・橙							5YR5.6明赤褐
2	土師器杯	13			7.5YR3/3黒褐							5YR5.6明赤褐
3	土師器杯	14			7.5YR7/4L・R・橙							5YR4.6赤褐
4	土師器高杯				7.5YR6/6橙							7.5YR4.3褐
5	土師器壺	15			7.5YR6/4L・R・橙							7.5YR4.4褐

A区37号住居跡出土遺物

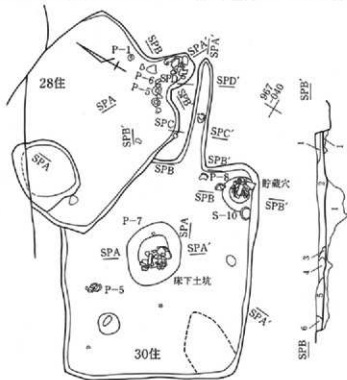
番号	部 種	口径	直径	高さ	色 調	備考	5	6	7.5YR4/4焼			
1	土師器埴				2.5YR5/9明赤褐		6	土師器埴	7	7.5YR4/6焼		
2	土師器高杯				2.5YR4/9赤褐		7	土師器埴	7	7.5YR5/4Cい焼		
3	土師器高杯	19			5YR4/3Cい赤褐		8	石	4.9	5.2	2.8	38g
4	土師器埴	17			7.5YR6/4Cい赤		9	たたき石	9.3	7.6	4.3	390g

A区28号住居跡 (第88～90図・P L 27・170)

遺跡内西北部に位置し967・969・040～043の範囲にある。他の遺構との関係は西部で21号住居跡、1号土坑墓、南部で30号住居跡と重複している。新旧関係は21・30号住居跡より新しく、1号土坑墓より古い。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3m、短軸2.4mを測る。主軸方位はN-103°-Eを指し、壁高は6～8cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、柱穴、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯、碗、甕、鉄片、台石等が出土している。

A区30号住居跡 (第88～92図・P L 29・171)

遺跡内西北部に位置し965～968・040～045の範囲にある。他の遺構との関係は北部で28号住居跡と重複している。新旧関係は28号住居跡が新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.44m、短軸2.8mを測る。主軸方位はN-65°-Eを指し、壁高は5～12cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝等は検出できなかった。柱穴は4基確認できなかったが西部隅に1基小穴を確認した。規模は径35cm、深さ15cmを測る。貯蔵穴は東部隅に確認され、規模は54×48cm、深さ42cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅34cm、長さ168cmをはかり、長い煙道を持つ。出土遺物は土師器模倣杯、甕、甕、瓶、こもあみ石等が出土している。



A区28・30号住居跡

1. 黒褐色土 ローム粒、白色軽石少量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
3. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
4. 暗褐色土 (摺瓦土)
5. 暗褐色土 ローム粒含む。
6. 黄褐色土 ローム混土。

掘り方

- I. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- II. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
- III. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。

A区28号住居跡

1. 暗褐色土 焼土、炭化物少量含む。
2. 暗褐色土 焼土、灰多量含む。
3. 焼土・灰層
4. 黒色灰層
5. 赤褐色焼土ブロック
6. 暗褐色土 焼土多量含む。
7. 暗褐色土 焼土、黒色灰多量含む。
8. 赤褐色焼土

掘り方

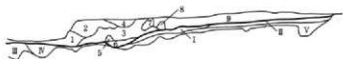
- I. 暗褐色土 ローム粒多量、焼土少量含む。
- II. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
- III. 暗褐色土 ローム粒多量、焼土、灰少量含む。



第88図 A区28・30号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物

SPA



SPB



SPB'



SPC



SPC'



SPD



SPD'



SPB



SPB'



SPA



SPA'



A区30号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 赤褐色土 ローム粒多量含む。
3. 暗褐色土 ローム混土。

A区30号住居跡床下土坑

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
4. 黄褐色土 ローム混土。

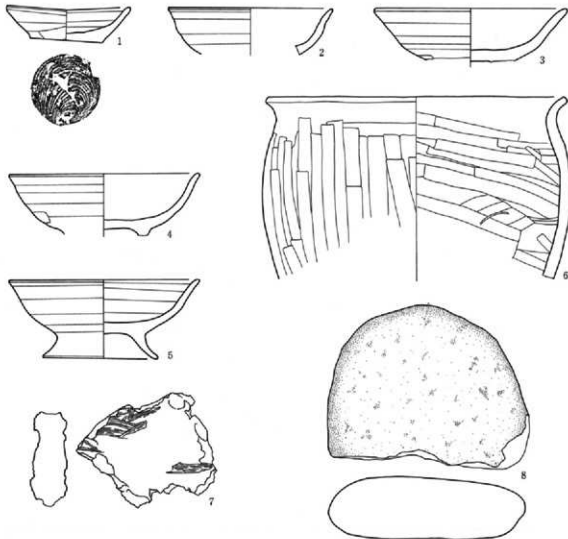
SPA' A区30号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土粒、灰少量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒少量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒、灰含む。
4. 暗褐色土 焼土粒、灰多量含む。
5. ロームブロック
6. 暗褐色土 ローム粒、焼土、灰を含む。
7. 暗褐色粘土
8. 赤褐色焼土 ローム加熱。
9. 黄褐色土 ローム粒多量、焼土、灰少量含む。
10. 暗褐色土

掘り方

- I. 黄褐色土 ローム粒多量、焼土、灰少量含む。
- II. 黄褐色土 ローム粒含む。
- III. 黄褐色土 ローム混土。
- IV. 暗褐色土 ローム粒多量、焼土、灰少量含む。
- V. 黄褐色土 ローム粒多量含む。

第89図 A区30号住居跡竈・貯蔵穴・床下土坑



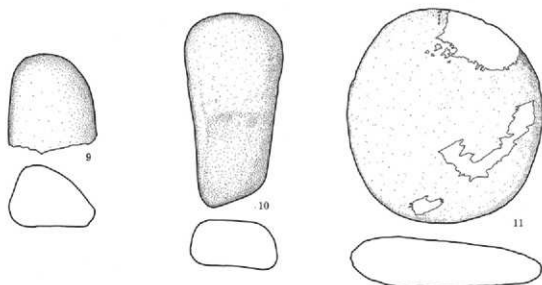
第90図 A区28号住居跡出土遺物

第1節 A区住居跡



第91圖 A区30号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第92図 A区30号住居跡出土遺物(2)

A区28号住居跡出土遺物

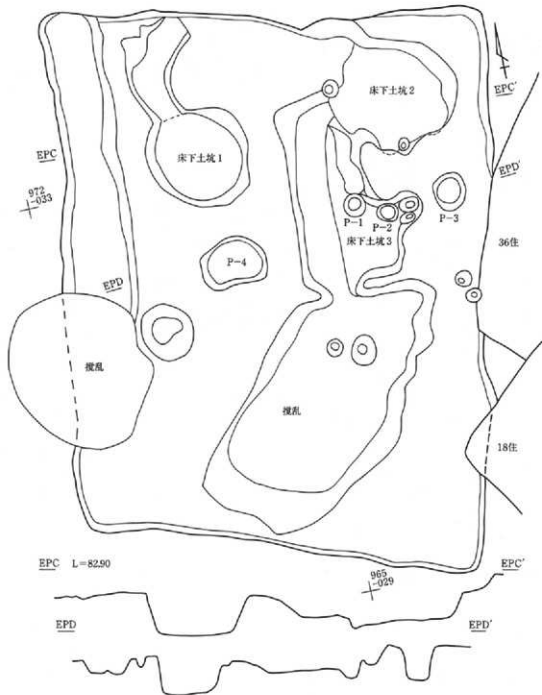
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	5	須恵器陶	15	9	6.1	10YR7/4に赤い黄緑
1	須恵器杯	9.8	5.8	2.8	5YR5/6明赤褐		6	土師器壺	23.4			7.5YR6/6橙
2	内黒碗	13			7.5YR6/6橙		7	鉄	11.1	9	2.9	
3	内黒碗	15			7.5YR6/6橙		8	石	12.9	15.9	5	1580g
4	内黒碗	15			5YR5/6明赤褐							

A区30号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	土師器小型壺	7.4	9.3		7.5YR5/4に赤い黄
1	土師器杯	12			7.5YR6/6橙		7	土師器瓶	22.2	9.4	27.5	2.5Y4/2暗灰黄
2	土師器杯	13.8			10YR6/4に赤い黄緑		8	土師器瓶	23			10YR6/4に赤い黄緑
3	土師器杯	12.2		4.6	10YR8/3淺黄橙		9	石	7.9	7	4.9	350g
4	土師器杯	11.7		4.5	10YR8/4淺黄橙		10	石	15.3	7.8	4	800g
5	土師器杯	13.7		4.5	10YR6/3に赤い黄緑		11	石	18.9	15.4	4	1100g

A区31号住居跡 (第93~95図・P.L.30・200)

調査区西北に位置し965~974・025~033の範囲にある。他の遺構との関係は東部で18・36号住居跡、18・19号土坑と重複している。新旧関係は36号住居跡より新しく、18・19号土坑・18号住居跡より古い。当住居跡は調査直前まで民家があった場所で、庭木の根や生活時のゴミ穴、さらには解体における攪乱が激しく18・36号住居跡の調査の進捗に伴い住居跡と確認をした。このため床面を確認し、住居跡を確認した。平面形態は方形を呈し、規模は長軸9.12m、短軸7.2mを測る。主軸方位はN-11°-Eを指し、壁高は0cmから最大で12cmを確認した。住居跡内外は攪乱が激しく、床面は明確ではなく壁間溝、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。住居跡周辺には床面に達する攪乱穴が複数あり、柱穴等の確認はできなかったが、小穴4基床下土坑3基を確認した。4基の小穴の規模は各々1、34×27cm、深さ52cm、2、31×24cm、深さ30cm、3、58×52cm、深さ58cm、4、106×75cm、深さ94cmを測る。3基の床下土坑の規模は各々1、160×157cm、深さ95cm、2、240×182cm、深さ64cm、3、145×123cm、深さ40cmを測る。出土遺物は土師器杯、甕、円筒埴輪、滑石製勾玉等が出土している。

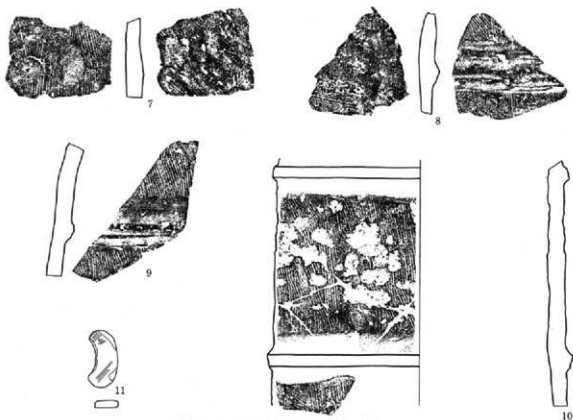


第93図 A区31号住居跡



第94図 A区31号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



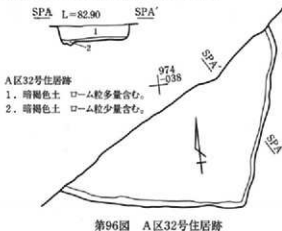
第95図 A区31号住居跡出土遺物(2)

A区31号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	土師器類	6.1	10YR6/4に灰黄褐色
1	土師器杯	11			5YR4/3に灰黄褐色					
2	土師器杯	12.1			2.5Y6/2灰黄		7	埴輪		5YR6/6粒
3	土師器杯	13			5YR6/6粒		8	埴輪		5YR6/6粒
4	土師器杯	13.5			5YR5/6明赤褐色		9	埴輪		7.5YR6/6粒
4	土師器杯				5YR5/6明赤褐色		10	埴輪		5YR6/6粒
5	土師器高杯		12.8		10YR3/2黒褐色		11	石製品	4.5	2.4 0.6 10g

A区32号住居跡(第96・97図・P L31)

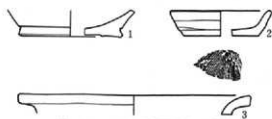
遺跡内西北部に位置し971-975・037-039の範囲にある。他の遺構との重複関係はない。住居跡は南半部のみを確認し、北半部は調査区域外に延びる。平面形態、規模は不明で、残存壁は東南壁ともに約9m残っている。床面は平坦をなし、壁周溝、柱穴、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土器、土師器、陶磁器片等が出土している。



第96図 A区32号住居跡

A区32号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。



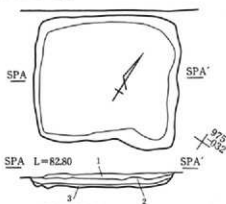
第97図 A区32号住居跡出土遺物

A区32号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	陶器碗		8		7.5YR6/2灰黄褐色	
2	土師器杯	8	6	2	10YR5/2灰黄褐色	
3	土師器類	18.2			7.5YR6/4に灰黄褐色	

A区34号住居跡 (第98・99図・P L32)

遺跡内西北部に位置し975～976・032～035の範囲にある。他の遺構との重複はない。平面形態は方形をなし、規模は長軸2.3m、短軸1.96mを測る。主軸方位は $N-56^{\circ}-E$ を指し、壁高は10～18cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器手捏土器が1点出土している。



A区34号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
3. 黄褐色土 ローム混土。

第99図 A区34号住居跡



第98図 A区34号住居跡出土遺物

A区34号住居跡出土遺物

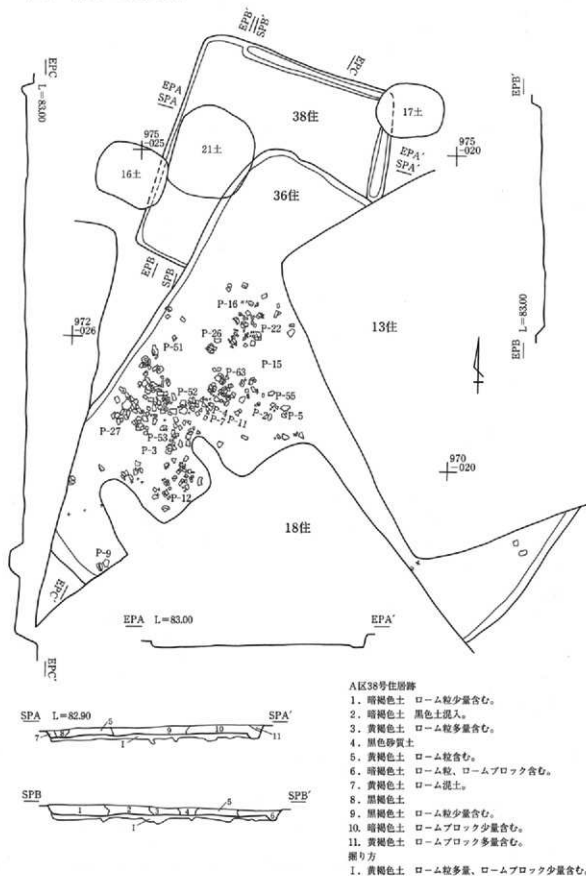
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器手捏		4.3		7.5YR6/4に近い壁	

A区36号住居跡 (第100～105図・P L33・171・172)

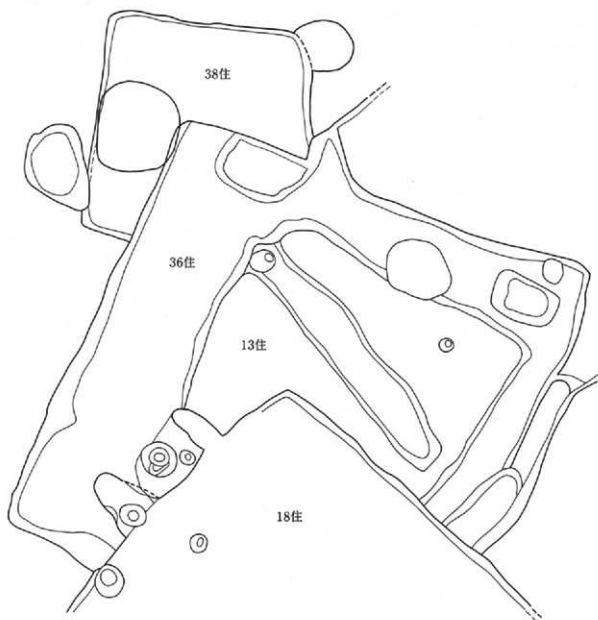
遺跡内北部に位置し968～974・018～025の範囲にある。他の遺構との関係は北部で38号住居跡、21号土坑、東部で13号住居跡、31号住居跡、南部で18号住居跡と重複する。新旧関係は38号住居跡より新しく、13号住居跡、18号住居跡、31号住居跡、21号土坑より古い。平面形態、規模は不明であるがほぼ方形を呈し、規模は長軸7.47m、短軸7.32mを測る。主軸方位は $N-18^{\circ}-E$ を指し、壁高は14～33cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、柱穴、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。当住居跡の床面は高く、18号住居跡の2基の竈がおおきく床面を壊している。出土遺物は西北部から多量に出土している。他の遺構による重複がなければさらに多量の遺物が検出されたものと考えられる。出土した土器はすべて床面に接して検出されている。遺物は土師器杯、高杯、甕、壺等が出土している。杯は内斜口縁、高杯は脚がエンタシス形の物も含まれ、石製の紡錘車が1点出土している。

A区38号住居跡 (第100・101図・P L34)

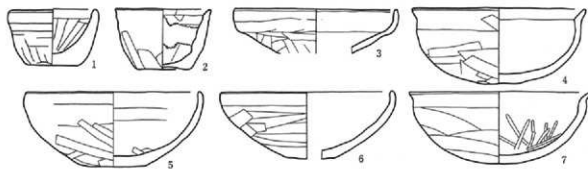
遺跡内北部に位置し973～975・020～024の範囲にある。他の遺構との関係は南部で36号住居跡、13号住居跡、西部で16・21号土坑、東部で17号土坑と重複している。新旧関係は他の遺構より当38号住居跡が古い。このため北東隅を17号土坑に、西壁の一部を16号土坑に壊されている。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.74m、短軸3.45mを測る。主軸方位は $N-18^{\circ}-E$ を指し、壁高は10～14cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、北・東壁に壁周溝が確認された。規模は幅18～28cm、深さ6cmを測る。住居跡内の竈、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。掘り方面は北・西壁に沿って低く掘りこまれている。出土遺物はない。



第100図 A区36・38号住居跡

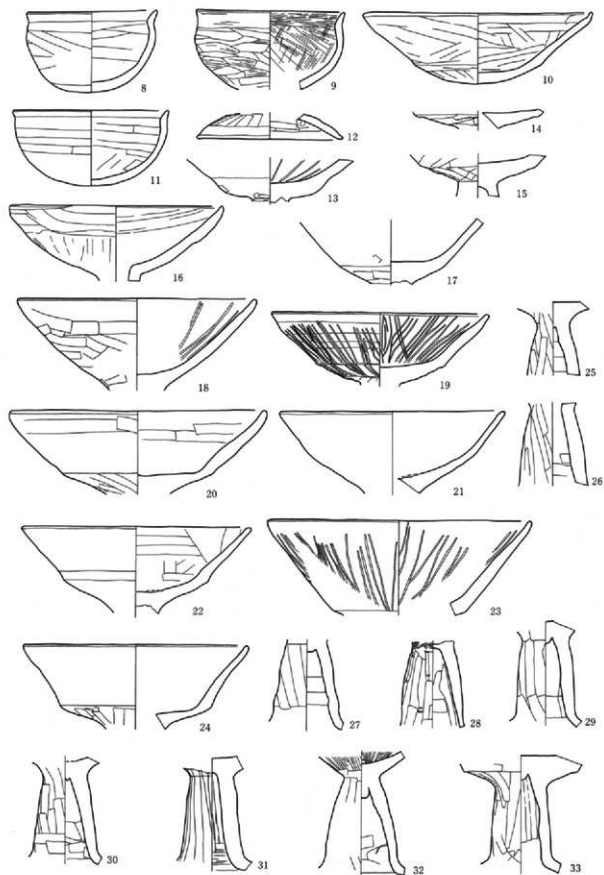


第101図 A区36・38号住居跡掘り方

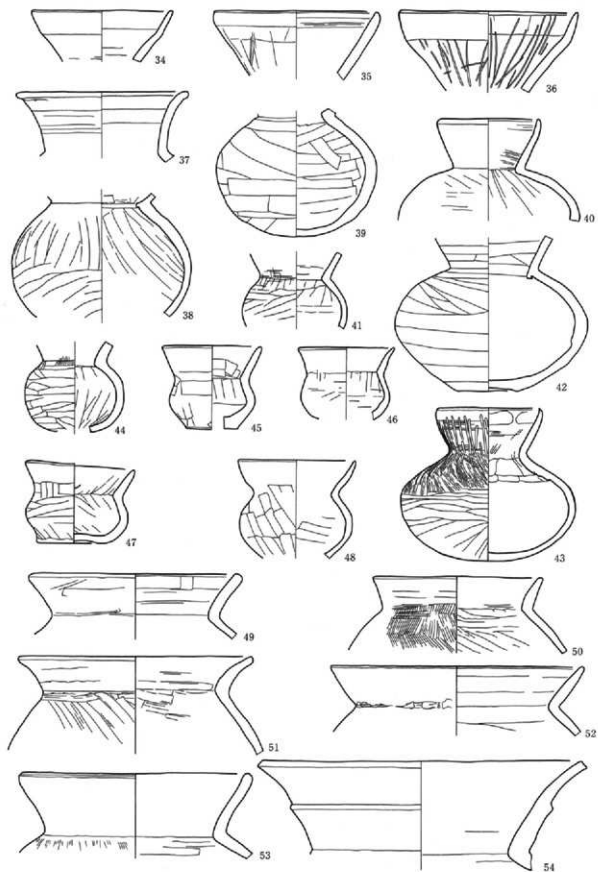


第102図 A区36号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物

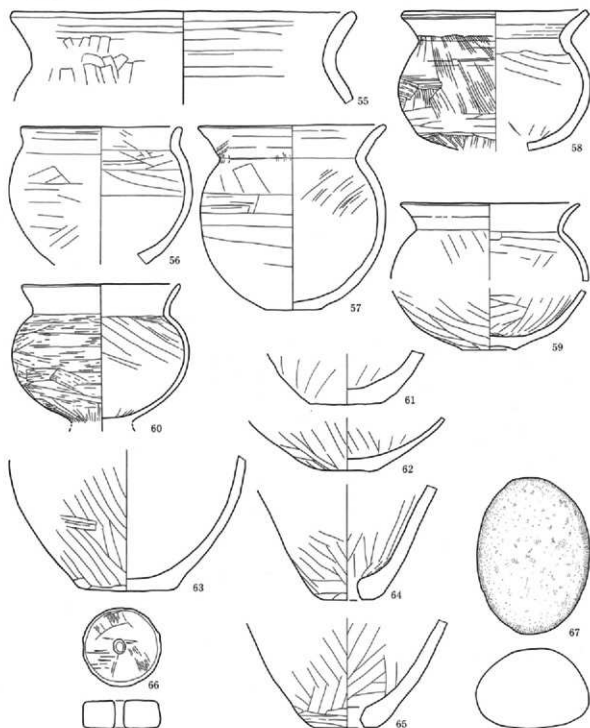


第103图 A区36号住居跡出土遺物(2)



第104图 A区36号住居跡出土遺物(3)

第3章 検出された遺構と遺物



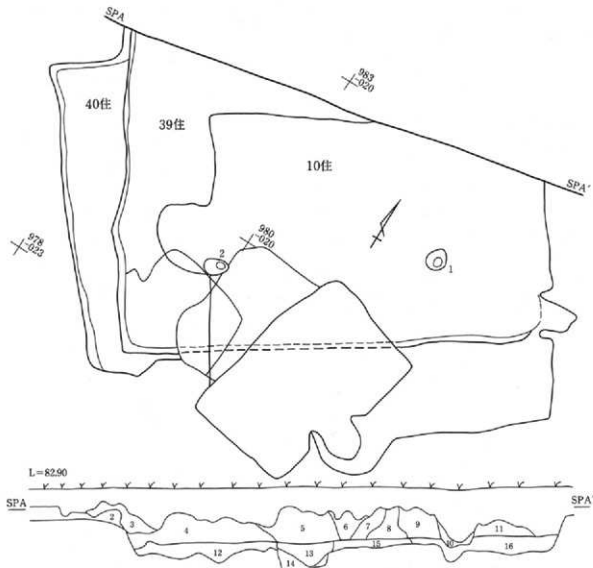
第105図 A区36号住居跡出土遺物(4)

A区36号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	10	土器器杯	17.8	5.6	5YR4/4に灰赤褐色
1	手捏	6.8		4.5	7.5YR6/4に灰赤褐色		11	土器器鉢	12.3	6	2.5YR5/6明赤褐色
2	手捏	7.5	4.3	4.7	2.5YR5/6明赤褐色		12	土器器高杯		11.4	5YR4/4に灰赤褐色
3	土器器杯	12.8			2.5YR5/6明赤褐色		13	土器器高杯			5YR6/6褐色
4	土器器鉢	13.5		5.9	7.5YR7/6褐色		14	土器器器台			2.5YR5/6明赤褐色
5	土器器鉢	13.7	5.2, 4	5.9	5YR6/6褐色		15	土器器高杯			7.5YR6/6褐色
6	土器器鉢	13.5			2.5YR5/8明赤褐色		16	土器器高杯	16.8		5YR5/6明赤褐色
7	土器器杯	14.2		7	5YR5/6明赤褐色		17	土器器高杯			2.5YR5/6明赤褐色
8	土器器小鉢	10.3		6.4	2.5YR3/4暗赤褐色		18	土器器高杯	18.7		5YR6/6褐色
9	土器器小鉢	11.6			2.5YR5/6明赤褐色		19	土器器高杯	17.2		2.5YR4/6赤褐色

第1節 A区住居跡

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	44	子径					
20	土師器高杯	20			5YR5/6明赤褐		44	子径	7.8	4	6.5	7.5YR6/4L赤・黄褐	
21	土師器高杯	17.6			2.5YR5/6明赤褐		45	子径	7.4			5YR5/6明赤褐	
22	土師器高杯	18			5YR6/6暗		46	子径	8.6	6.4		5YR5/6明赤褐	
23	土師器高杯	20.8			2.5YR5/6明赤褐		47	子径	9.2			5YR5/4L赤・黄褐	
24	土師器高杯	19.6			2.5YR5/6明赤褐		48	子径	16			10YR6/3L赤・黄褐	
25	土師器高杯				7.5YR6/6暗		49	土師器壺	13.2			7.5YR6/4L赤・黄褐	
26	土師器高杯				2.5YR4/6赤褐		50	土師器壺	18.4			7.5YR5/4L赤・黄褐	
27	土師器高杯				5YR6/6暗		51	土師器壺	19.8			10YR7/3L赤・黄褐	
28	土師器高杯				10YR6/6L赤・黄褐		52	土師器壺	18			10YR7/3L赤・黄褐	
29	土師器高杯				5YR6/6暗		53	土師器壺	25			10YR5/4L赤・黄褐	
30	土師器高杯				2.5YR5/6暗		54	土師器壺	27			10YR8/3L黄褐	
31	土師器高杯				5YR4/6赤褐		55	土師器壺	12.7			5YR5/6明赤褐	
32	土師器高杯				2.5YR4/6赤褐		56	土師器壺	14.8	4.2	14.5	5YR5/6明赤褐	
33	土師器高杯				7.5YR5/4L赤・黄褐		57	土師器小壺	14.4			7.5YR5/4L赤・黄褐	
34	土師器壺	11			5YR5/6明赤褐		58	土師器小壺	14			10YR4/3L赤・黄褐	
35	土師器壺	13.1			5YR5/6明赤褐		59	土師器小壺	12.5			7.5YR6/4L赤・黄褐	
36	土師器壺	14			5YR5/4L赤・黄褐		60	土師器小壺	5.8			5YR5/3L赤・黄褐	
37	土師器壺	13.6			7.5YR5/4L赤・黄褐		61	土師器壺	4.8			5YR4/6赤褐	
38	土師器壺				5YR4/6赤褐		62	土師器壺	7.6			10YR5/3L赤・黄褐	
39	土師器小壺	8			5YR5/6明赤褐		63	土師器壺	4.2	12.4		7.5YR6/6暗	
40	土師器小壺	8			2.5YR4/6赤褐		64	土師器壺	5	12.4		7.5YR5/6明褐	
41	手捏				2.5YR4/6赤褐		65	土質品	6.1	0.9	2.2	5YR3/6暗赤褐	
42	土師器小壺		5		5YR4/4L赤・黄褐		66	石	12.3	8.9	6.2	950g	
43	土師器小壺	8.2		12.1	10YR6/4L赤・黄褐		67						



第106図 A区39・40号住居跡

A区39号住居跡 (第106図)

遺跡内北部に位置し977~983・015~024の範囲にある。他の遺構との関係は10・20・40号住居跡と重複している。新旧関係は40号住居跡より新しく、10・20号住居跡より古い。当住居跡は調査以前宅地内にあり、ゴミ穴、植木等の攪乱をうけている。また北半部は調査区域外に延びている。このため平面形態は不明であるが方形を呈すると考えられる。規模は南壁で6.64mを測る。主軸方位は南壁でN-56°-Eを指し、壁高は20~26cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。掘り方面で柱穴を2基、床下土坑を1基確認した。柱穴の規模は1、39×32cm、深さ50cm、2、40×36cm、深さ30cmを測る。床下土坑の規模は210×160cm、深さ50cmを測る。暗色帯探掘坑と考えられる。出土遺物はない。

A区40号住居跡 (第106図)

遺跡内北部に位置し、976~980・020~024の範囲にある。他の遺構との関係は39号住居跡と重複している。新旧関係は39号住居跡より古い。このため西側の一部を確認し、大半は39号住居跡に壊されている。平面形態は不明で西壁は5m残存している。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、竈、柱穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物はない。

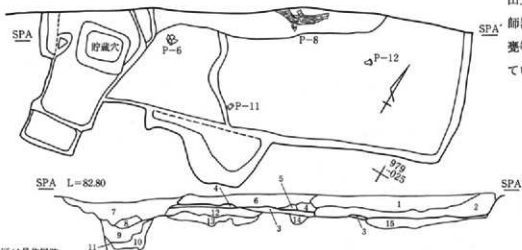
A区10・39号住居跡出土遺物

1. 黒褐色土 ローム少量含む。(表土)
2. ローム地山 (ソフトローム)
3. 暗褐色土 ローム少量含む。
4. 暗褐色土 焼土粒少量含む。(39住居土)
5. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒少量含む。(39住居土)
6. 暗褐色土 ローム粒少量含む。(39住居土)
7. 暗褐色土 ローム粒少量、焼土粒含む。(39住居土)
8. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。(39住居土)
9. 暗褐色土 ローム粒多量含む。(10住居土)
10. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。(10住居土)
11. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。(10住居土)
12. 黄褐色土 ローム混土。(39住居方)
13. 黄褐色土 ローム粒多量含む。(39住居方)
14. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。(39住居方)
15. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。(39住居方)
16. 黄褐色土 ローム粒、ローム大粒のブロック多量含む。(10住居方)

A区41号住居跡 (第107・108図・P L35・36・173)

遺跡内北部に位置し、978~982・024~028の範囲にある。他の遺構との重複関係はない。当住居跡が検出された北部は調査時まで宅地の庭にあたり、植木等の攪乱が多い。当住居跡の大半は北側調査区域外に延び、西北の約1/3は攪乱により壊されている。このため規模や主軸方位は不明であるが、南壁の長さは6.34mを測る。壁高は26cm~40cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、西側から北側は攪乱を受けている。南西隅に貯蔵穴と考えられる土坑を確認した。平面形態は隅丸方形を呈し、規模は80cm×67cm、深さ78cmを測る。

出土遺物は土師器杯、高杯、甕等が出土している。

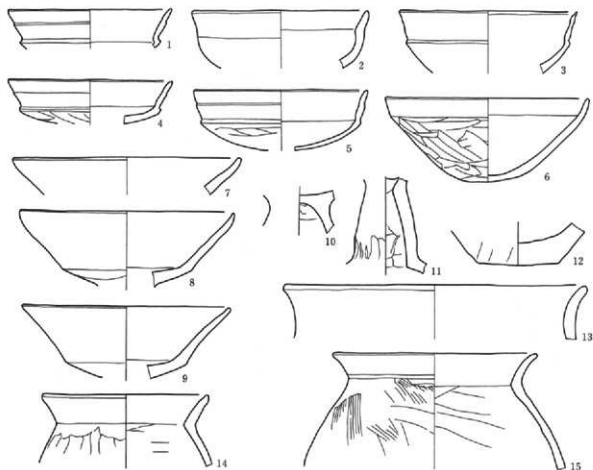


A区41号住居跡

1. 褐色土 ローム粒多量含む。
2. 褐色土 ロームブロック少量含む。
3. 黄褐色土 ローム混土床面の土。
4. 褐色土 ローム粒含む。
5. 褐色土 焼土粒多量含む。
6. 褐色土 白色パミス含む。
7. 現代攪乱
8. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒少量含む。
9. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
10. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
11. 暗褐色土 ローム粒多量、焼土粒少量含む。
12. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
13. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
14. 暗褐色土 ロームブロック含む。
15. 黄褐色土 ローム混土。

第107図 A区41号住居跡

第1節 B区住居跡



第108図 A区41号住居跡出土遺物

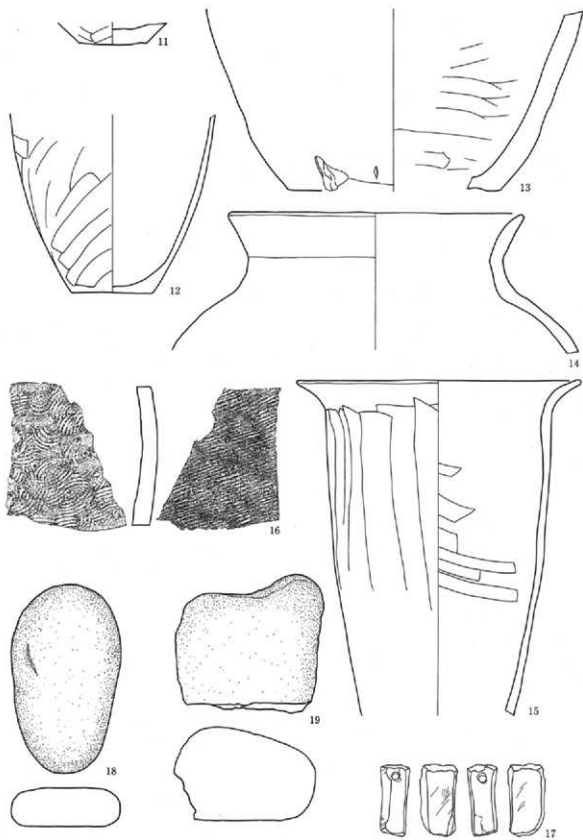
A区41号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	8	土師器高杯	16.8		2.5YR5/6明赤褐
1	土師器杯	12.9			2.5YR5/6明赤褐	9	土師器高杯	16.4			丹彩
2	土師器杯	14			5YR6/6橙	10	土師器高杯				7.5YR6/6橙
3	須恵器杯	14			N5/灰	11	土師器高杯				7.5YR6/6橙
4	土師器杯	13			5YR2/1黒褐	12	土師器壺		6.4		2.5Y3/1暗赤灰
5	土師器杯	13.7			5YR2/1黒褐	13	土師器壺	24			5YR6/4C-灰
6	土師器杯	16	6.6		2.5YR5/6明赤褐	14	土師器壺	13.2			7.5YR6/4C-灰
7	土師器高杯	18			2.5YR5/6明赤褐	15	土師器壺	16.1			7.5YR4/1褐灰

B区住居跡

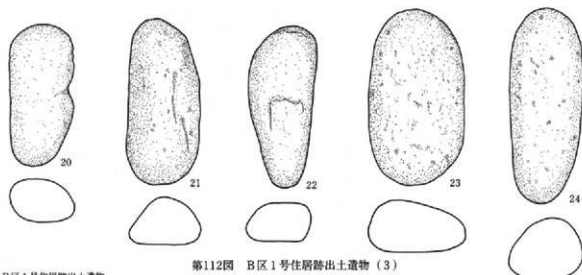
B区1号住居跡 (第109~112図・P.L37・173)

遺跡内中央部に位置し、964~968・973~977の範囲にある。他の遺構との関係は2号井戸、1・2・3・50号土坑と重複している。新旧関係は当住居跡が古い。当住居跡がある場所は調査以前道路に当たり、攪乱が激しく遺構の全てを確認できなかった。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.45m、短軸4.21mを測る。主軸方位はN-88°-Wを指し、壁高は10~12mを測る。後世の土坑や攪乱穴等により床面は中央に確認されたが柱穴、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。南西部に竈の痕跡と考えられる粘土や焼土が確認されている。出土遺物は住居跡内中央部に集中して検出された。土師器壺、横置杯、鉢、須恵器壺の破片等が出土している。



第111圖 B区1号住居跡出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物



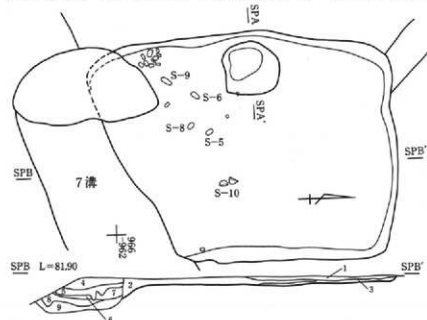
第112図 B区1号住居跡出土遺物(3)

B区1号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	13	土師器	16.8	5YR5/4(にぶい赤褐色)
1	土師器杯	12.5			7.5YR6/4(にぶい橙)		14	土師器	23.3	7.5YR7/4(にぶい橙)
2	土師器杯	13			5YR7/8橙		15	土師器	22.5	5YR7/8橙
3	土師器杯	11.2		3.7	5YR6/6橙		16	築造器		N4/灰
4	土師器杯	11.4			5YR6/6橙		17	礫石	5.7 2.8 2.3	52g
5	土師器鉢	23.5			2.5YR6/8橙		18	石	15 8.5 3	650g
6	土師器鉢	16.2		8.5	5YR6/8橙		19	石	10.8 11.7 7.3	1300g
7	土師器壺	28			7.5YR4/1赭灰		20	石	11.2 5.1 3.5	220g
8	土師器壺	22			7.5YR7/6橙		21	石	13.1 5.7 3.8	400g
9	土師器壺	23.5			10YR5/2灰赤褐色		22	石	12.8 5.1 3.1	300g
10	土師器壺	22			5YR5/4(にぶい赤褐色)		23	石	13.8 7.7 4.1	650g
11	土師器壺		5.4		5YR6/6橙		24	石	15.4 5.8 4.7	500g
12	土師器壺		6.4		7.5YR4/2灰褐色					

B区2号住居跡(第113~115図・P L38)

遺跡内北東部に位置し966~971・961~965の範囲にある。他の遺構との関係は南部で4号土坑、7号溝、西部で1号土坑と重複している。新旧関係は当住居跡が他の遺構より古い。平面形態は長方形を呈し、残存長で長軸4.8m、短軸で3.6mを測る。主軸方位はN-3°-Wを指し、壁高は9~10mを測る。床面は平坦を

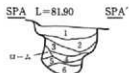


なし南部は7号溝により壊されている。壁周溝、貯蔵穴、柱穴、竈等の諸施設は検出されていない。住居跡内に1号土坑が確認された。規模は径85、深さ76cmを測る。

B区2号住居跡

1. 黒褐色土 軽石含む。
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
4. 黒褐色土 軽石含む。(7号溝)
5. 黒褐色土 軽石、ローム粒含む。(7号溝)
6. 黒褐色土 ロームブロック含む。(7号溝)
7. 黒褐色土 ロームブロック多量含む。(7号溝)
8. 黄褐色土 ローム混土。(7号溝)
9. 黄褐色土 (7号溝)

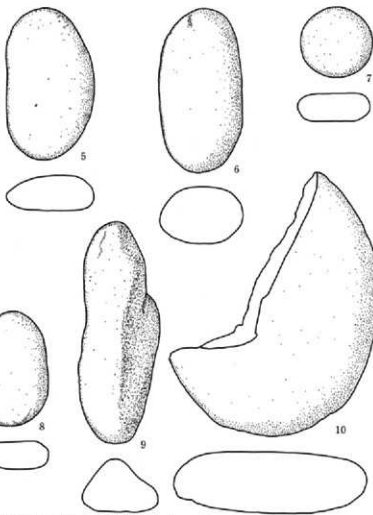
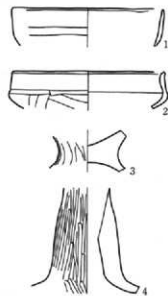
第113図 B区2号住居跡



B区2号住居内1号土坑

1. 黒褐色土 軽石多量含む。
2. 黒褐色土 軽石、ロームブロック少量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒含む。
4. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
5. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
6. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。

第114図 B区2号住居跡内1号土坑



第115図 B区2号住居跡出土遺物

B区2号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	石	13	6.6	4.5	580g
1	土師器杯	12			7.5YR6/3に多い地		7	石	5.6	5.7	2.4	100g
2	土師器杯	12			7.5YR7/6地		8	石	9.1	5.4	2.2	170g
3	土師器高杯				10YR6/3に多い黄褐色		9	石	17.5	6.5	4.2	600g
4	土師器高杯				2.5YR5/4に多い赤褐色		10	石	20.8	16.5	5	1700g
5	石	12	7	2.8	380g							

B区3～7号住居跡 (第116～127図・P L39～41)

当住居跡群が位置する部区東端は東に向かい約1m～1.2mほどの比高差を持ち急に下がっている。さらにB区東半部は低地となり、住居跡群はなくなる。この比高差は調査以前の地形にも現れていた。調査前当遺跡内は東西に調査区域の真ん中は道が走り、東から西に向かい当住居跡群の周辺は急な上り坂であった。このような地形は昔ながらのものと考えられ、さらにその後道を作るときや、宅地となる段階でさらに地業が行われ、段差は明確となったものと考えられる。従って3号住居跡の南側の攪乱はそのような土地利用の結果生じた傾斜面であったと考えられる。

B区3号住居跡 (第116・119図・P L39・173)

遺跡内北部に位置し975～977・994～996の範囲にある。他の遺構との関係は西部で7号住居跡と重複している。新旧関係は7号住居跡が新しい。また南側の大半は地形が南東部に向かい低くなりこの傾斜面と攪乱

第3章 検出された遺構と遺物

により削平されている。平面形態、規模は確認できないが、北壁が3.6m、西壁が1.67m残存している。主軸方位はN-59°-Wを指し、壁高は43~62cmを測る。床面の確認は狭い範囲で、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は西壁に確認されたが前面は土坑による攪乱を受けている。焚き口幅約56cm、長さ約50cmを測る。出土遺物は須恵器杯が完形で出土している。

B区4号住居跡（第116・117・120・121図・P L39・40・173）

遺跡内北部に位置し976~980・995~998の範囲にある。他の遺構との関係は6号住居跡と重なり、西部は7号住居跡、南部では3号住居跡、また南西部では31・54・55・57号土坑と重複している。新旧関係は6・7号住居跡より新しく、3号住居跡より古い。4基の土坑は4号住居跡より新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.9m、短軸3.5mを測る。主軸方位はN-12°-Wを指し、壁高は5~46cmを測る。床面はほぼ平坦をなし壁周溝、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。柱穴は2基が確認され、各々の規模は1、32×24cm、深さ39cm、2、28×19cm、深さ10cmを測る。竈は北壁に2基が確認され、規模は各々1、焚き口幅100cm、長さ66cm、2、焚き口幅56cm、長さ64cmを測る。竈は作り替えて2が旧く、1が後で作り替えられている。出土遺物は土師器杯、甕、羽口、土錘、鉄、石製紡錘車等が出土している

B区5号住居跡（第116・122図・P L39）

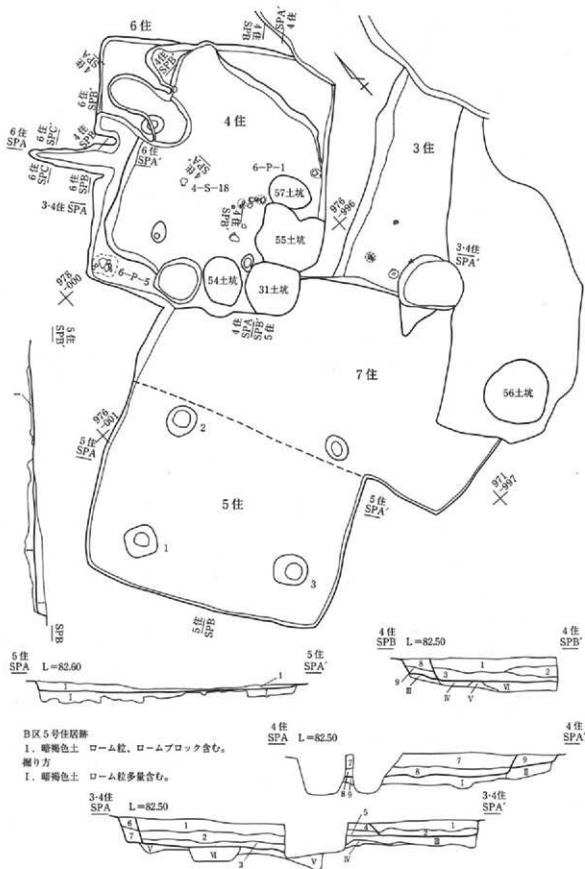
遺跡内北部に位置し972~977・997~002の範囲にある。他の遺構との関係は東部で7号住居跡と重複している。新旧関係は7号住居跡が新しい。平面形態は方形を呈し、長軸4.13m、短軸は残存で3.2mを測る。主軸方位はN-34°-Wを指し、壁高は18~46cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴は3基確認された。規模は1、51×49cm、深さ41cm、2、50×46cm、深さ24cm、3、53×48cm、深さ37cm、4、42×32cm、深さ12cmを測る。壁周溝、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯、甕、土錘等が出土している。

B区6号住居跡（第116・123・124図・P L39・40・41・173）

遺跡内北部に位置し976~980・994~999の範囲にある。他の遺構との関係は4・7号住居跡と重なっている。新旧関係は4・7号住居跡より古い。このため住居跡内の大半は4号住居跡に壊されている。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.3m、短軸3.7mを測る。主軸方位はN-44°-Wを指し、壁高は13~25cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は西北壁に確認され、規模は焚き口幅26cm、煙道の先端までの長さ136cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、鉢、甕等が出土している。

B区7号住居跡（第116図・P L39）

遺跡内北部に位置し971~977・966~000の範囲にある。他の遺構との関係は北東部では3・4・6号住居跡、西部で5号住居跡、北部では31・54・55号土坑と重複している。新旧関係は3・4号住居跡より旧く、他の住居跡より新しい。平面形態主軸方位は不明である。壁周溝、貯蔵穴、柱穴、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物はない。掘り方面には床下土坑が確認された。



第116図 B区3～7号住居跡

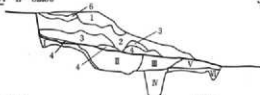
第3章 検出された遺構と遺物

B区3・4号住居跡

1. 黒褐色土 軽石、焼土粒多量含む。
2. 黒褐色土 軽石、焼土粒、ローム粒含む。
3. 暗褐色土 軽石、焼土粒含む。
4. 暗褐色土 焼土粒含む。
5. 暗褐色土 焼土粒、ローム粒含む。
6. 黒褐色土 焼土粒、含む。
7. 黒褐色土 ロームブロック含む。
8. 暗褐色土 ローム粒少量含む。

9. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
- 掘り方
- I. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
 - II. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
 - III. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
 - IV. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。
 - V. 暗褐色土 ローム粒含む。
 - VI. 黄褐色土 ローム混土。

SPA L=82.50



SPA'

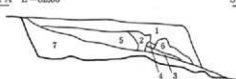


SPB

SPB'

第117図 B区4号住居跡

SPA L=82.60



SPA'



SPB

SPB'



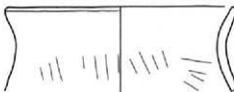
SPC

SPC'

第118図 B区6号住居跡



第119図 B区3号住居跡出土遺物



第120図 B区4号住居跡出土遺物(1)



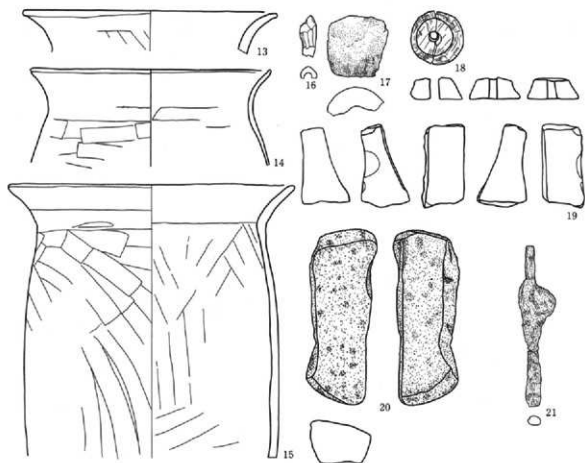
B区4号住居跡・堀

1. 暗褐色土 焼土粒、灰、炭化物多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒含む。
3. 暗褐色土 青灰色粘土ブロック含む。
4. 灰層
5. ローム地山(軸基部)
6. 焼土ブロック(天井崩落土)
7. 暗褐色土 焼土粒、炭化物少量含む。
8. 暗褐色土 焼土粒、炭化物、粘土ブロック含む。
9. 暗褐色土 焼土粒、灰、炭化物少量含む。
10. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。
11. 暗褐色土 焼土粒含む。
12. 黄褐色土 ローム粒、多量含む。
13. 暗褐色土 焼土粒、灰、炭化物少量含む。
14. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
15. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒少量含む。
16. 黄褐色土 軸材として貼ったローム土。

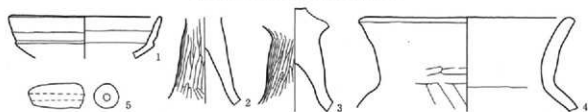
B区5号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、灰、炭化物多量含む。
3. 黒色灰層
4. 暗褐色土 焼土粒、灰、炭化物含む。
5. 暗褐色土 焼土粒含む。
6. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック含む。
7. 暗褐色土 焼土ブロック。

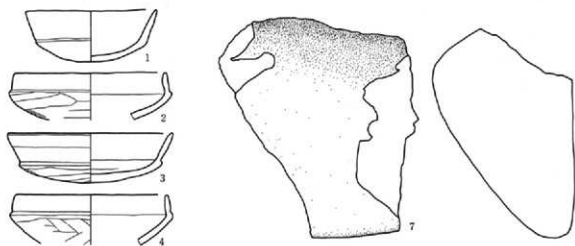
第1節 B区住居跡



第121图 B区4号住居跡出土遺物(2)



第122图 B区5号住居跡出土遺物



第123图 B区6号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第124図 B区6号住居跡出土遺物(2)

B区3号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	須恵器杯	13	7	3.7	2.5Y7/1灰白	

B区4号住居跡出土遺物

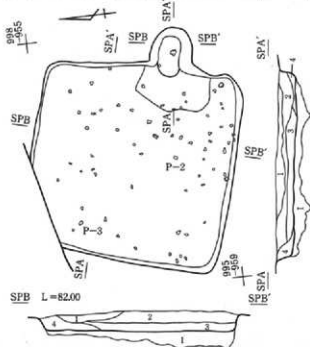
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	10		2.5	7.5YR6/3に灰+黄	11 土師器鉢 4 10YR6/4に灰+黄
2	土師器杯	11.4			5YR6/6橙	12 土師器鉢 18 10YR6/4に灰+黄
3	土師器杯	10.7		3.3	5YR5/4に灰+赤	13 土師器鉢 20 10YR7/4に灰+黄
4	土師器杯	10.8		3	5YR5/3に灰+赤	14 土師器鉢 19 5YR5/3に灰+赤
5	土師器杯	12			10YR6/3に灰+黄	15 土師器鉢 22.4 7.5YR6/4に灰+橙
6	土師器杯	12			7.5YR5/3に灰+黄	16 土師 3.3 1.3 0.6 10YR3/2黒
7	土師器杯	12.2		3.6	7.5YR5/4に灰+黄	17 羽口 4.8 4.8 2.2
8	土師器杯	12			7.5YR6/4に灰+黄	18 石製紡錘車 径4.1 孔径0.7 1.7
9	土師器杯	12.2			7.5YR6/4に灰+黄	19 磁石 6.5 3.3 3.8 92g
10	土師器杯	14.8			5YR7/4に灰+黄	20 石 13.8 4.6 3.5 400g
						21 鉄器 12.5 2.9 0.7

B区5号住居跡

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	12			10YR6/3に灰+黄	3 土師器高杯 2.5YR4/4に灰+黄
2	土師器高杯				7.5YR6/4に灰+黄	4 土師器鉢 16.6 10YR6/4に灰+黄
						5 土師 4.3 2 0.5 7.5YR5/4に灰+黄

B区6号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	10.2			2.5Y6/2灰黄	4 土師器杯 12 10YR5/2灰黄
2	土師器杯	12			10YR5/2灰黄	5 土師器鉢 20.4 11.7 10YR7/3に灰+黄
3	土師器杯	13			10YR7/3に灰+黄	6 土師器鉢 8 5YR6/6橙
						7 石 15.7 17.3 11 3100g



B-1区7号住居跡 (第125図・P L113)

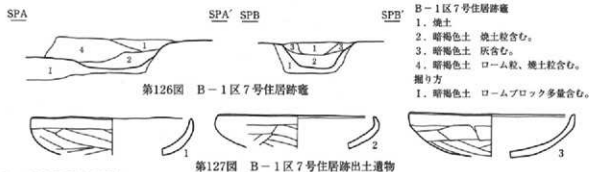
遺跡内北部に位置し994~997・995~959の範囲にある。他の遺構との重複はない。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.24m、短軸2.98mを測る。主軸方位はN-45°-Eを指し、壁高は9~16cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に検出された。規模は焚き口幅30cm、長さ72cmを測る。出土遺物は土師器杯が出土している。

B-1区7号住居跡

1. 黒褐色土 軽石含む。
 2. 暗褐色土 焼土粒含む。
 3. 黒褐色土 ロームブロック多量含む。
 4. 暗褐色土 ローム粒含む。
- 掘り方
1. 黄褐色土 ローム混土。

第125図 B-1区7号住居跡

第1節 B区住居跡



第126図 B-1区7号住居跡

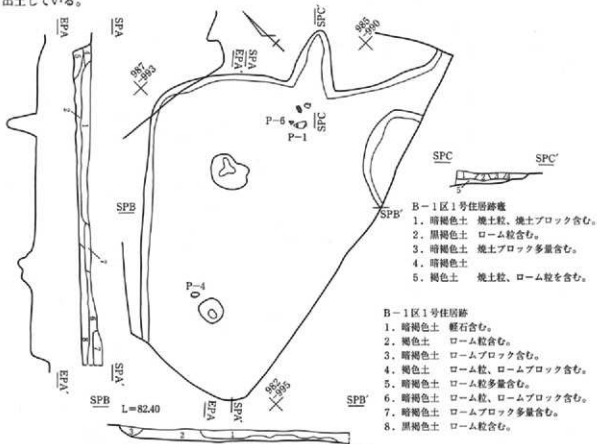
第127図 B-1区7号住居跡出土遺物

B-1区7号住居跡出土遺物

番号	形種	口径	底径	器高	色調	備考	2	土師器片	12.2		5YR6/4に多い
1	土師器片	12.6			7.5YR7/6橙		3	土師器片	13		7.5YR6/4に多い

B-1区1号住居跡 (第128・129図・P L148・174)

遺跡内北部に位置し994・990・989・996の範囲にある。他の遺構との関係は北部で2号住居跡と重複している。新旧関係は1号住居跡が古い。B-1区は本道部調査時には未買収で住人がいたために本道部の調査終了から約半年後に調査が行われた。このため調査区の接点は明確に調査できなかった。平面形態は不明だが残存部は長軸5.5m、短軸4.84mを測る。主軸方位はN-49°-Eを指し、壁高は16-28cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、柱穴が2基確認された。規模は1、径41cm、深さ48cm、2、63×49cm、深さ24cmを測る。この他に小穴が確認され、規模は160×59cm、深さ14cmを測る。壁周溝、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅60cm、長さ110cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕等が出土している。

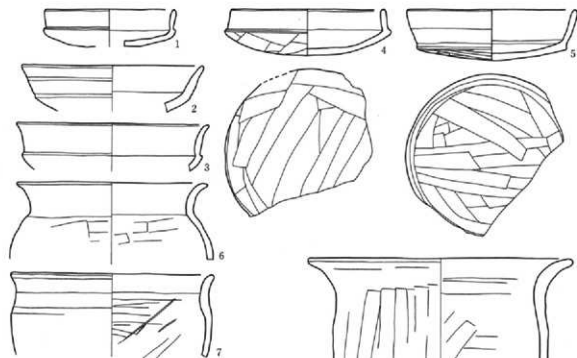


第128図 B-1区1号住居跡

- B-1区1号住居跡
1. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック含む。
 2. 黒褐色土 ローム粒含む。
 3. 暗褐色土 焼土ブロック多量含む。
 4. 暗褐色土
 5. 褐色土 焼土粒、ローム粒を含む。

- B-1区1号住居跡
1. 暗褐色土 軽石含む。
 2. 褐色土 ローム粒含む。
 3. 暗褐色土 ロームブロック含む。
 4. 褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
 5. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
 6. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
 7. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
 8. 黒褐色土 ローム粒含む。

第3章 検出された遺構と遺物



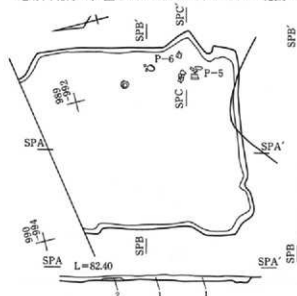
B-1区1号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	10.3			10YR5/3に灰・黄褐色	
2	土師器杯	14.4			10YR5/3に灰・黄褐色	
3	土師器杯	15.2			5YR4/6赤褐色	
4	土師器杯	12		3.6	10YR4/1褐色	
5	土師器杯	13.4		4	7.5YR6/6褐色	
6	土師器壺	15			7.5YR5/4に灰・褐色	
7	土師器壺	16			5YR6/6褐色	
8	土師器壺	20.8			10YR5/4に灰・黄褐色	

第129図 B-1区1号住居跡出土遺物

B-1区2号住居跡 (第130~132図・P L149・174)

遺跡内北部に位置し987~990・991~994の範囲にある。他の遺構との関係は南部で1号住居跡と重複している。新旧関係は2号住居跡が新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.5m、短軸3.2mを測る。主軸方位はN-13°-Eを指し、壁高は8~12cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅70cm、長さ40cmを測る。出土遺物は土師器杯、高台付き碗の高台部、壺、瓶、羽釜、灰釉陶器片等が出土している。



第130図 B-1区2号住居跡

B-1区2号住居跡

1. 黒褐色土 ローム粒少量含む。
2. 暗褐色土 ロームブロック含む。
3. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
4. 暗褐色土 軽石少量含む。

SPC L=82.40

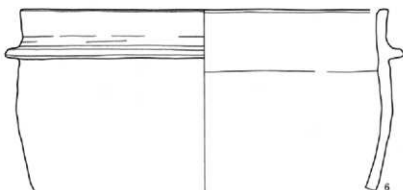
SPC



B-1区2号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土、焼土ブロック含む。

第131図 B-1区2号住居跡竈



第132図 B-1区2号住居跡出土遺物

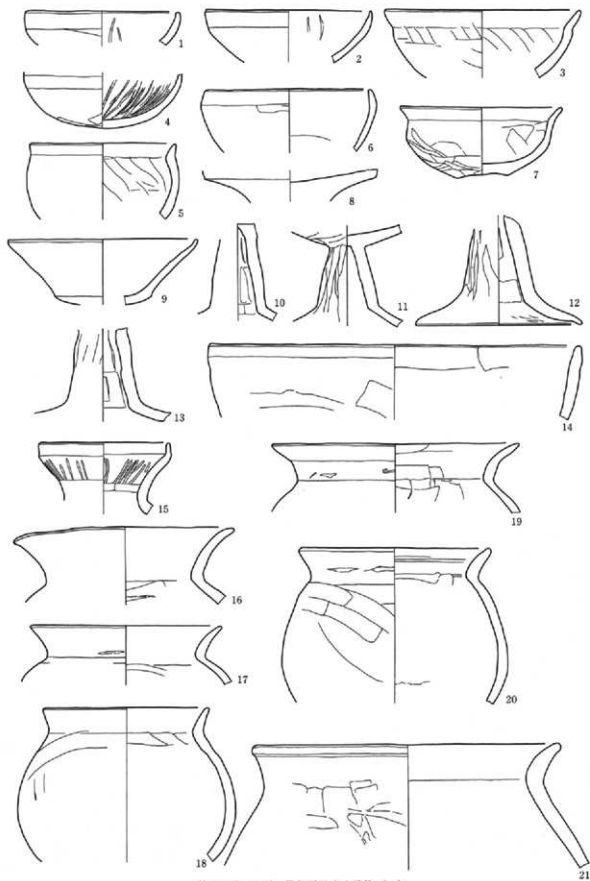
B-1区2号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	4	土師器类	11.2	7.5YR3/3暗褐
1	灰輪陶器皿		6.2		2.5Y7/1灰白			土師器類	23.8	5YR5/4に濃い赤褐
2	灰輪陶器輪		15		7.5YR6/4橙	足高高台	6	羽釜	29	7.5YR5/4に濃い褐
3	土師器杯	15			10YR6/4に濃い黄橙					

C区住居跡

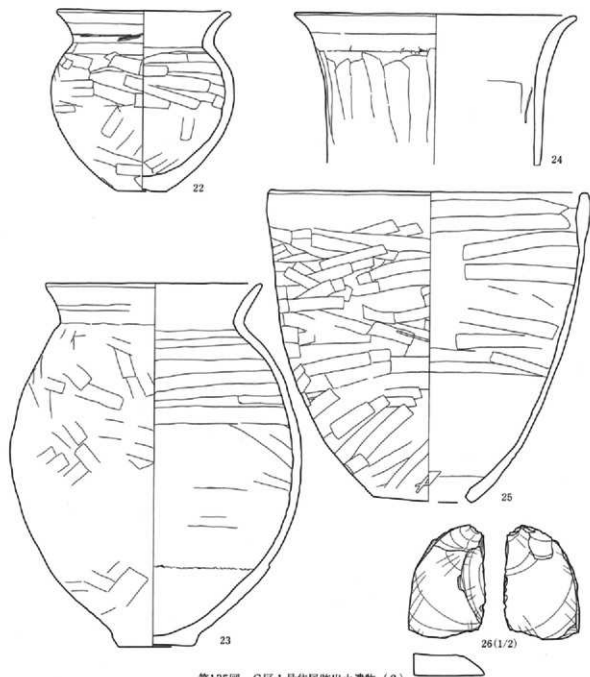
C区1号住居跡 (第133~135図・P.L.42・175)

C区西部に位置し919~925・056~063の範囲にある。他の遺構との重複関係はない。当住居跡の西は木の根が入り込み攪乱を受けている。このため北壁に溝状の攪乱、西側に大きな根による攪乱を確認した。平面形態は方形をなし、規模は長軸4.94m、短軸4.73mを測る。主軸方位はN-46°-Wを指し、壁高は20~35cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴は3基が確認された。各々の規模は1、36×32cm、深さ73cm、2、34×32cm、深さ50cm、3、36×30cm、深さ52cmを測る。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は65×62cm、深さは50cmを測る。また床下土坑が1基確認された。平面形態は方形を呈し、規模は185×164cm、深さ8~22cmを測る。床面からの深さは浅いが土坑上面には貼り床面を確認した。出土遺物は住居跡の北東部と西北部の2ヶ所に集中して検出された。土師器杯、高杯、壺、甕、甌の他石器が混入して出土している。



第134图 C区1号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



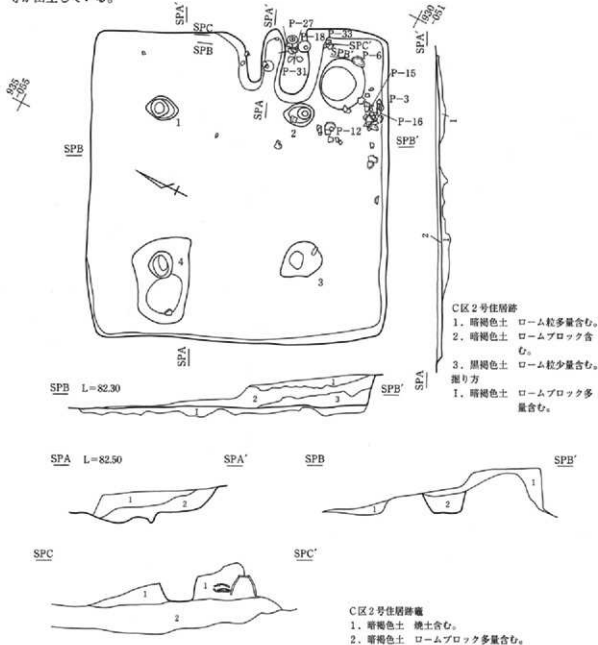
第135図 C区1号住居跡出土遺物(2)

C区1号住居跡出土遺物

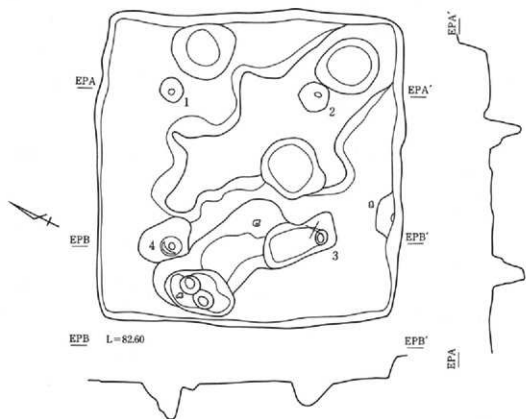
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	14	土師器鉢	28.8		2.5YR5/6明赤褐
1	土師器杯	12			2.5YR5/6明赤褐	備考	15	土師器帯	10.2		5YR4/6赤褐
2	土師器杯	13			2.5YR5/6明赤褐		16	土師器壺	17.3		10YR7/4に赤い黄帯
3	土師器杯	15.2			2.5YR5/4に赤い赤褐		17	土師器壺	14.8		2.5YR6/6橙
4	土師器杯				5YR6/6橙		18	土師器壺	12.9		2.5YR5/4に赤い赤褐
5	土師器杯	11.4			5YR6/6橙		19	土師器壺	19.2		5YR6/6橙
6	土師器杯	12.9			2.5YR5/8明赤褐		20	土師器壺	14.7		2.5YR5/6明赤褐
7	土師器杯	12.4			2.5YR5/8明赤褐		21	土師器壺	23.8		7.5YR6/6橙
8	土師器高杯				5YR5/6明赤褐		22	土師器小壺蓋	13.6	4	14.2 5YR6/6橙
9	土師器高杯	13.8			5YR5/6明赤褐		23	土師器壺	17	5.9	28.6 10YR8/4浅黄復
10	土師器高杯				5YR6/6橙		24	土師器壺	22		7.5YR5/3に赤い褐
11	土師器高杯				2.5YR5/8明赤褐		25	土師器瓶	25	7.8	24.4 5YR5/6明赤褐
12	土師器高杯		13.1		2.5YR5/6明赤褐		26	石器	6	4	1.2 38g
13	土師器高杯				5YR6/6橙						

C区2号住居跡 (第136~140図・P L43・44・175・176)

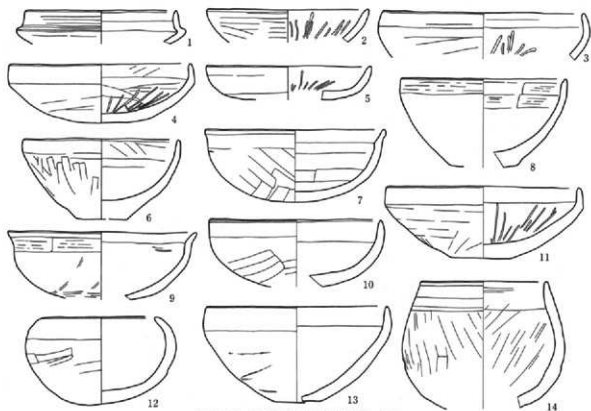
C区西部に位置し928~935・052~058の範囲にある。他の遺構との重複はない。平面形態は方形を呈し、規模は長軸5.03m、短軸4.75mを測る。主軸方位はN-67°-Eを指し、壁高は38~58cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴が4基確認された。規模は1、52×32cm、深さ48cm、2、50×48cm、深さ52cm、3、63×54cm、深さ40cm、4、44×38cm、深さ55cmを測る。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は80×72cm、深さ72cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は袖幅32cm、長さ120cmを測る。右袖部には袖材として土師器甕が設置された状態で出土した。出土遺物は土師器杯、鉢、高杯、壺、甕、瓶等が出土している。



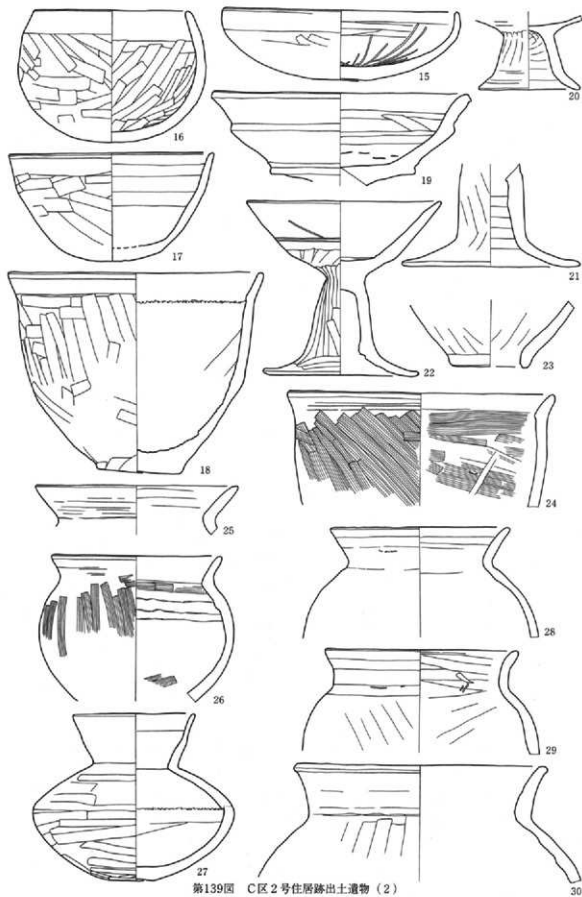
第136図 C区2号住居跡・竈



第137図 C区2号住居跡掘り方

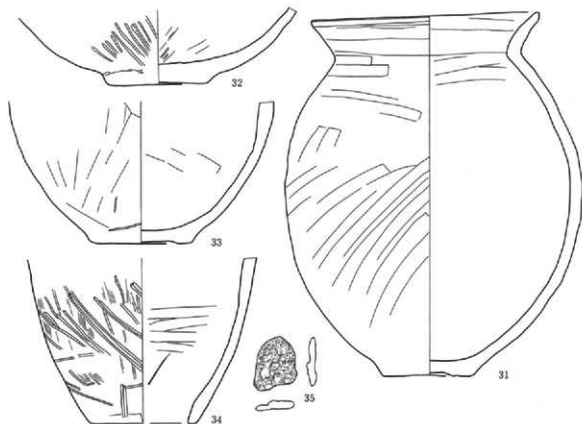


第138図 C区2号住居跡出土遺物 (1)



第139図 C区2号住居跡出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物



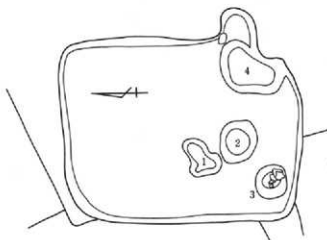
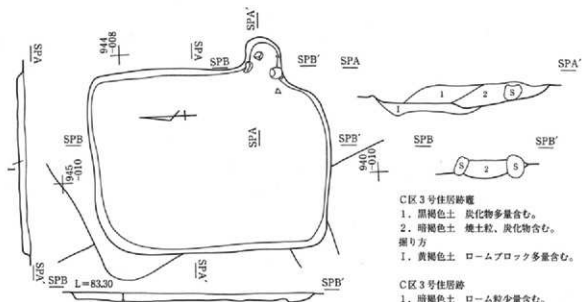
第140図 C区2号住居跡出土遺物(3)

C区2号住居跡出土遺物

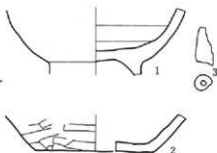
番号	部 種	口径	底径	器高	色 調	備 考	18	土師器鉢	20.1	6.5	15.8	10YR6/3に赤い貴橙
1	土師器杯	12			7.5YR4/3暗褐		19	土師器高杯	20.1			5YR5/6明赤褐
2	土師器杯	12.9			7.5YR6/4に赤い橙		20	土師器高杯		8		5YR5/6橙
3	土師器杯	15.9			5YR5/6明赤褐		21	土師器高杯		14		5YR4/6赤褐
4	土師器杯	14.3		4.6	5YR5/8明赤褐		22	土師器高杯	15.3	12.3	13.8	5YR6/6橙
5	土師器杯	13.1			5YR4/6赤褐		23	土師器瓶		6		5YR5/6明赤褐
6	土師器鉢	12.3		6.4	10YR6/4に赤い貴橙		24	土師器瓶	21			7.5YR5/4に赤い褐
7	土師器杯	14.2		5.8	5YR6/6橙		25	土師器甕	15.9			10YR7/4に赤い貴橙
8	土師器鉢	13.2			5YR5/4に赤い赤褐		26	土師器小型甕	13.4			5YR4/4に赤い赤褐
9	土師器杯	14.8			5YR5/6明赤褐		27	土師器壇	9.7	3.5	13.2	2.5YR5/6明赤褐
10	土師器杯	13.6			5YR5/6明赤褐		28	土師器甕	14			7.5YR4/3暗褐
11	土師器杯	15.2	4.7	5.6	5YR5/8明赤褐		29	土師器甕	15.2			5YR5/4に赤い赤褐
12	土師器小鉢	9		7	2.5YR5/6明赤褐		30	土師器甕	20			10YR7/4に赤い貴橙
13	土師器鉢	14.3	3.6	7.5	2.5YR5/6明赤褐		31	土師器甕	18	7.2	28.3	7.5YR7/4に赤い貴橙
14	土師器鉢	10			7.5YR6/6橙		32	土師器甕		7.8		10YR7/3に赤い貴橙
15	土師器杯	18.4		5.4	5YR4/6赤褐		33	土師器甕		8		7.5YR5/4に赤い褐
16	土師器鉢	12.2			2.5YR4/6赤褐		34	土師器瓶		8		5YR5/4に赤い赤褐
17	土師器鉢	16.2		8.5	5YR4/4に赤い赤褐		35	鉄器	4.3	3.3	0.8	

C区3号住居跡(第141・142図・P L 44)

C区中央部に位置し941~945・008-011の範囲にある。他の遺構との関係は25・26・42号住居跡と重複している。新旧関係は当3号住居跡が一番新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.85m、短軸2.93mを測る。主軸方位はN-92°-Eを指し、壁高は10~15cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。左右の軸には軸材に使用された石と燃焼部中央には支脚用の石が出土した。掘り方面には土坑が4基確認された。各々の規模は1、62×32cm、深さ95cm、2、73×60cm、深さ13cm、3、54×49cm、深さ9cm、4、105×65cm、深さ17cmを測る。出土遺物は須恵器碗、土師器甕等が出土している。



第141図 C区3号住居跡・竈・掘り方



第142図 C区3号住居跡出土遺物

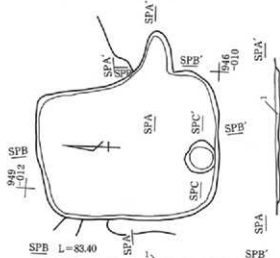
C区3号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	土胎器種	9.2	10YR3/3明輪
1	須恵器鉢				10YR6/4浅黄緑	2	土器	3	1.4 0.4 5YR6/8橙

C区4号住居跡 (第143・144図・P L45)

C区北部に位置し946～948・009～012の範囲にある。他の遺構との関係は14・37号住居跡と重複している。新旧関係は当4号住居跡が他の2軒より新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.07m、短軸2.36mを測る。主軸方位はN-77°-Eを指し、壁高は5～8cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅66cm、長さ71cmを測る。掘り方面に床下土坑が1基確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は52×49cm、深さ23cmを測る。出土遺物は土師器甕、羽釜等が出土している。

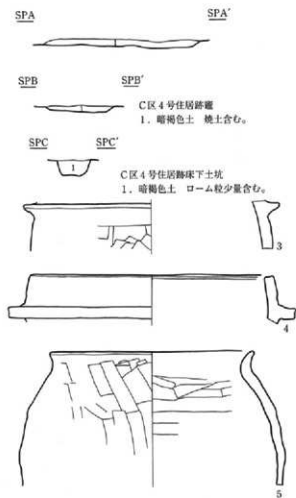
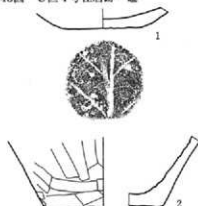
第3章 検出された遺構と遺物



C区4号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

第143図 C区4号住居跡・竈



第144図 C区4号住居跡出土遺物

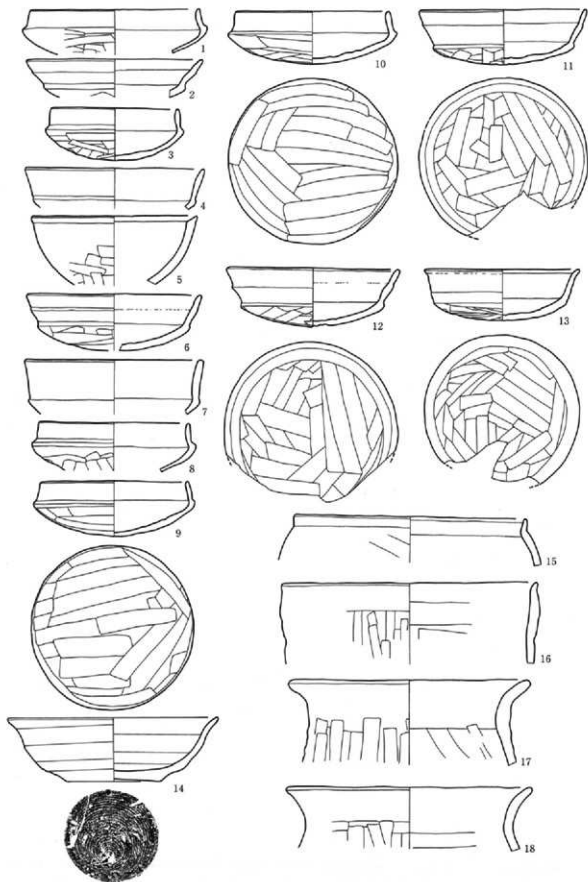
C区4号住居跡出土遺物

番号	部 種	口径	底径	器高	色 調	備考	3	羽釜			10YR7/4C~5Y黄褐色
1	土師器甕		6		7.5YR4/4褐		4	羽釜	19		5YR6/6黄
2	土師器甕		9.2		2.5YR5/6明赤褐		5	土師器甕	16		10YR5/4C~5Y黄褐色

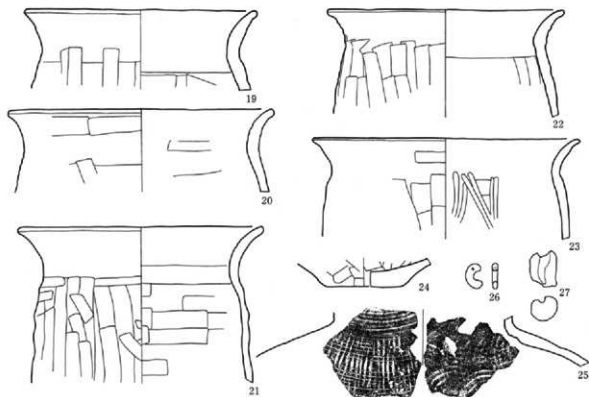
C区5号住居跡 (第145~147図・P.L.45・46・176・200)

C区北東部に位置し953~957・996~001の範囲にある。他の遺構との関係は18号住居跡と重複している。重複部はおおきくゴミ穴による攪乱を受けており、出土遺物等からも新旧関係は明確には判断できなかった。しかし壁周溝の残存状況などから5号住居跡が新しいと考えられる。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.17m、短軸4.06mを測る。主軸方位はN-44°-Eを指し、壁高は28~38cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は全周する。規模は幅6~37cm、深さ6~8cmを測る。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は75×47cm、深さ43cmを測る。柱穴は4基が確認された。各々の規模は1、41×37cm、深さ69cm、2、34×32cm、深さ68cm、3、39×35cm、深さ60cm、4、52×49cm、深さ50cmを測る。竈は東壁南よりに確認した。規模は焚き口幅54cm、長さ135cmを測る。掘り方面には楕円形を呈する床下土坑が確認された。他の住居跡例と同様ローム暗色帯を掘った土器の粘土採掘坑と考えられる。規模は76×70cm、深さ33cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕の他須恵器碗が混入している。

第3章 検出された遺構と遺物



第146図 C区5号住居跡出土遺物(1)



第147図 C区5号住居跡出土遺物(2)

C区5号住居跡出土遺物

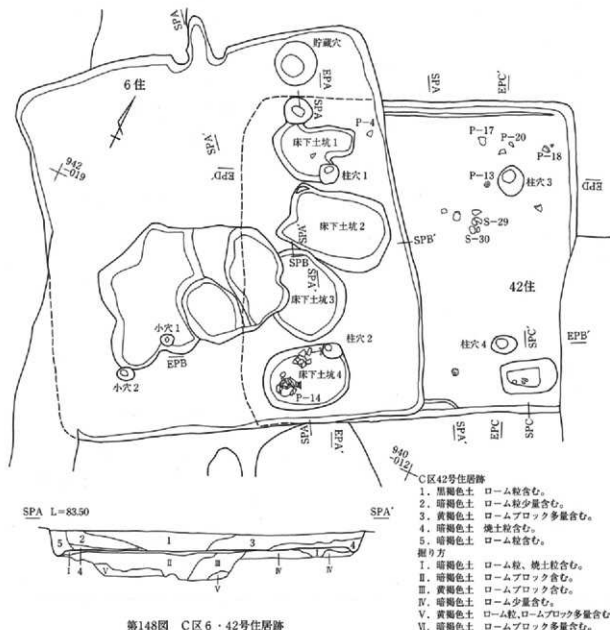
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	15	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	
1	土師器杯	13.2			10YR3/1黒褐		15	土師器鉢	18									
2	土師器杯	14			7.5YR4/3褐		16	土師器鉢	19									
3	土師器杯	10		4.1	2.5Y4/2暗灰黄		17	土師器鉢	20									
4	土師器杯	14			2.5YR4/6赤褐		18	土師器鉢	19									
5	土師器杯	13			5YR6/6明赤褐		19	土師器鉢	18									
6	土師器杯	13.6		4.5	5Y3/2オリーブ黒		20	土師器鉢	20.8									
7	土師器杯	14			5YR6/6橙		21	土師器鉢	19									
8	土師器杯	11.8			10YR3/1黒褐		22	土師器鉢	18.6									
9	土師器杯	11.6		4.3	5Y3/1オリーブ黒		23	土師器鉢	11									
11	土師器杯	13.1		4.4	7.5YR3/1黒褐		24	土師器鉢	6									
12	土師器杯	13.6		4.6	2.5YR3/1黒褐		25	須恵器鉢										
13	土師器杯	12.2		4	5YR7/6橙		26	勾玉	2	1.3	0.5	2g						
14	須恵器杯	16.4	7.4	5.1	7.5YR8/6浅黄橙		27	土製品	2.8	2.1	1.9							

C区6号住居跡(第148~152図・P.L50・51・176)

C区中央部に位置し939~945・012~020の範囲にある。他の遺構との関係は東部で42号・南部で23号住居跡、西部で1号溝と重複している。新旧関係は6号住居跡が23・42号住居跡より新しく、1号溝より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸6.24m、短軸5.74mを測る。主軸方位はN-35°-Wを指し、壁高は16~33cmを測る。床面は平坦をなし、貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は71×66cm、深さ48cmを測る。柱穴は明確に確認できなかったが、南西部隅に2基の小穴を確認した。規模は1、23×19cm、深さ44cm、2、29×23cm、深さ33cmを測る。竈は北壁に確認した。規模は焚き口幅46cm、長さ82cmを測る。出土遺物は土師器横俵杯、鉢、須恵器杯、縄文、焙烙が混じっている。掘り方面は複数の床下土坑が確認できた。当住居跡周辺は高台の上に整地した部分にあたり、ローム上面が削られていた。このため床面はローム暗色帯の部分にあたる。このためローム暗色帯の採掘坑は浅く複数確認できた。

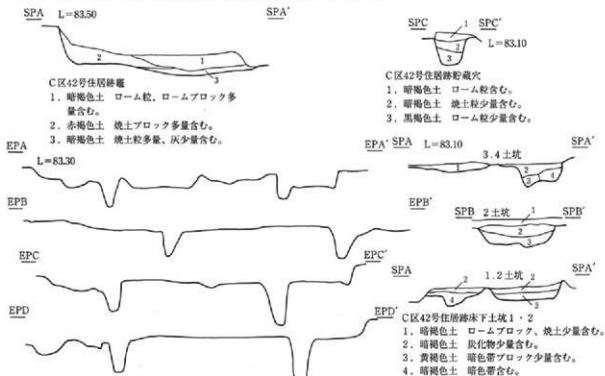
C区42号住居跡 (第148~150・153~155図・P L50・51・177)

C区中央部に位置し939~945・011~016の範囲にある。他の遺構との関係は西部で6号住居跡、東部では3・25号住居跡北部で14号住居跡と重複している。新旧関係は他の住居跡より42号住居跡が古い。平面形態は方形をなすと考えられ、規模は南北軸で5.2mを測る。主軸方位はN-62°-Eを指し、壁高は12~24cmを測る。床面は東半部が確認でき、ほぼ平坦をなす。貯蔵穴が南東隅に確認され、平面形態は長方形を呈する。規模は90×52cm、深さ45cmを測る。柱穴は4基確認された。各々の規模は1、径31cm、深さ52cm、2、30×24cm、深さ38cm、3、42×30cm、深さ50cm、4、42×48cm、深さ68cmを測る。竈は25号住居跡に壊されているものと思われ、確認されていない。掘り方は複数の掘りこみが確認できる。当住居跡周辺は6号住居跡同様、高台の表面を平らに削平した部分のため掘り方は暗色帯の部分にあたる。このため掘りこみの深さは浅いが粘土採掘穴が複数掘られていたと考えられる。このうち42号住居跡床下の北から4基の土層を確認した。規模は1、

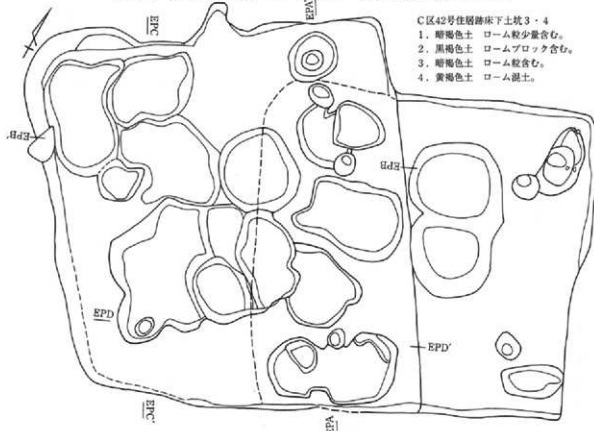


第148図 C区6・42号住居跡

128×88cm、深さ29cm、2、162×116cm、深さ34cm、3、134×120cm、深さ16cm、4、138×100cm、深さ38cmを測る。出土遺物は土師器横楕杯、甕、瓶等が出土している。

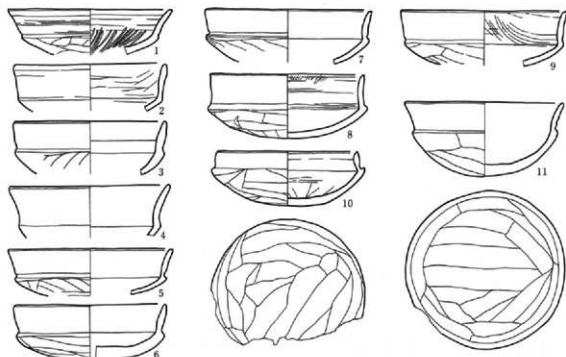
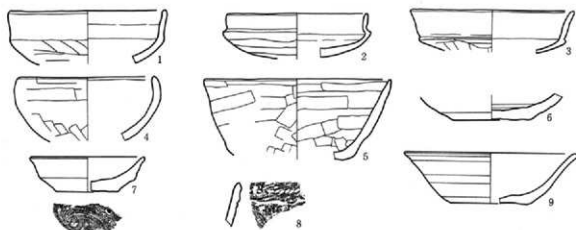
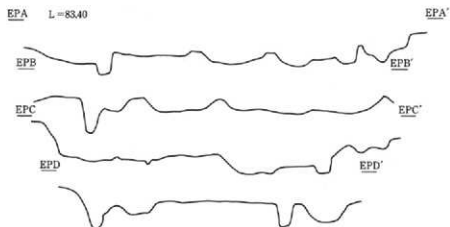


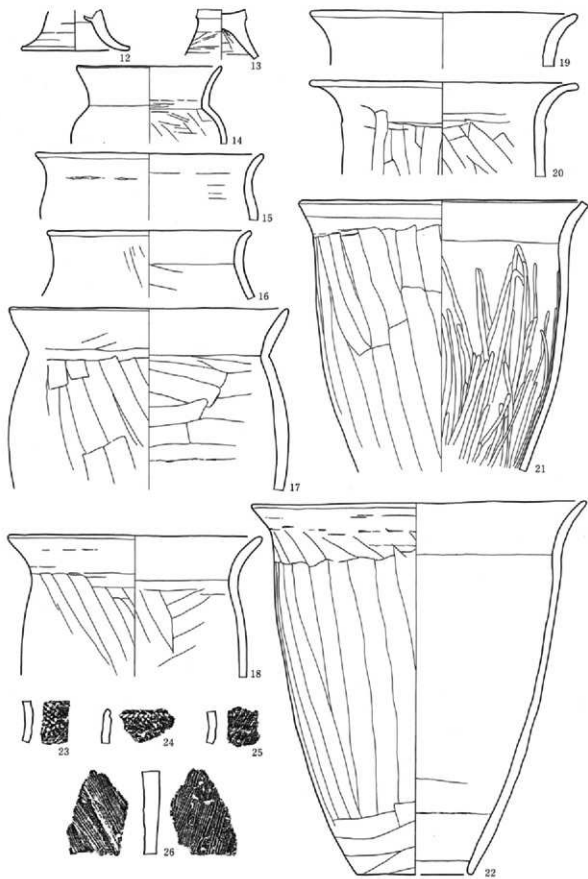
第149図 C区6号住居跡甕・エレベーション・42号住居跡貯蔵穴・床下土坑



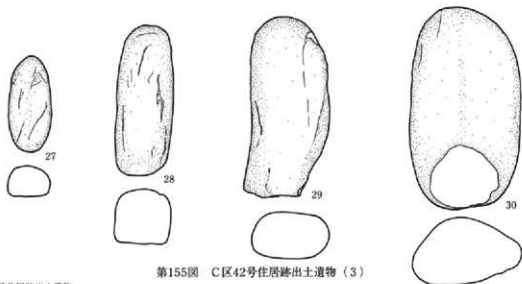
第150図 C区6・42号住居跡掘り方

第3章 検出された遺構と遺物





第154图 C区42号住居跡出土遺物(2)



第155図 C区42号住居跡出土遺物(3)

C区6号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	5	土師器鉢	14.8		10YR7/3に灰黄緑
1	土師器杯	12.5			5YR6/6緑	6	須恵器杯		6.2		2.5Y7/2灰黄
2	土師器杯	11			10YR5/2灰黄緑	7	須恵器杯	9	5	2.8	10YR5/1黒褐
3	土師器杯	13			7.5YR5/8明褐	8	縄文				10YR5/2灰黄緑
4	土師器杯	10.8			10YR5/6黄褐	9	須恵器杯	13.4	6.2	4	2.5Y6/2灰黄

C区42号住居跡出土遺物

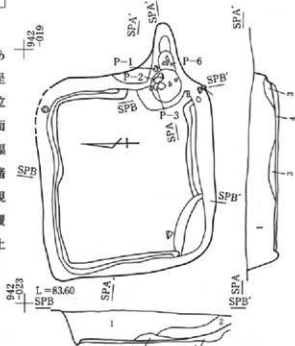
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	16	土師器鉢	16		10YR6/4に灰黄緑
1	土師器杯	13			5YR6/6明赤褐	17	土師器鉢	22			10YR7/3に灰黄緑
2	土師器杯	12			7.5YR5/2黒褐	18	土師器鉢	20			10YR5/4黄黄緑
3	土師器杯	12			5YR6/6明赤褐	19	土師器鉢	11			10YR5/3に灰黄緑
4	土師器杯	12.6			10YR4/2灰黄緑	20	土師器鉢	21			7.5YR4/1緑灰
5	土師器杯	13			5YR6/6明赤褐	21	土師器鉢	22			10YR6/4に灰黄緑
6	土師器杯	12			7.5YR6/4に灰黄緑	22	土師器鉢	26.2	29.4		10YR7/4に灰黄緑
7	土師器杯	13			7.5YR6/6緑	23	縄文				10YR5/3に灰黄緑
8	土師器杯	12			5YR6/6明赤褐	24	縄文				10YR6/4に灰黄緑
9	土師器杯	7			5YR6/6緑	25	縄文				10YR6/4に灰黄緑
10	土師器杯	11			4.3 7.5YR3/2黒褐	26	埴輪				10YR6/3に灰黄緑
11	土師器杯	12.5			5YR6/6緑	27	石	7.8	3.4	2.4	100g
12	土師器高杯		8.5		5YR6/6緑	28	石	11.8	4.5	4.3	400g
13	土師器高杯				7.5YR7/6緑	29	石	14.2	7	3.7	600g
14	土師器	11.4			2.5YR5/6明赤褐	30	石	15.9	8.6	0.3	1200g
15	土師器	18			7.5YR6/6緑						

C区7号住居跡(第156~158・P.L52・177)

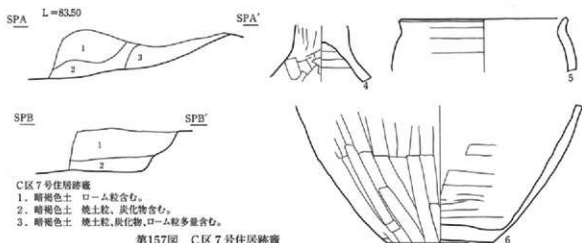
C区西部に位置し938~942・018~022の範囲にある。他の遺構との重複はない。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.42m、短軸2.77mを測る。主軸方位はN-85°-Eを指し、壁高は35~45cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝が四辺で確認された。規模は幅21~44cm、深さ5~9cmを測る。柱穴、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅48cm、長さ102cmを測る。当住居跡は覆土の検討から人為的に埋められたと考えられる。出土遺物は土師器甕、須恵器杯、管玉等が出土している。

C区7号住居跡

1. 明褐色土 ローム粒含む。
2. 暗褐色土 ロームブロック含む。
3. 暗褐色土
4. 暗褐色土 焼土含む。



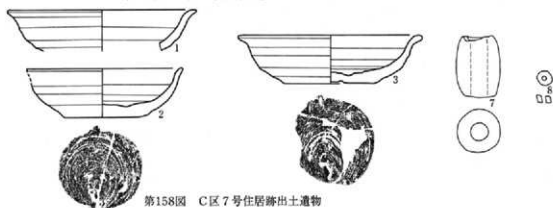
第156図 C区7号住居跡



C区7号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、炭化物含む。
3. 暗褐色土 焼土粒、炭化物、ローム粒多量含む。

第157図 C区7号住居跡



第158図 C区7号住居跡出土遺物

C区7号住居跡出土遺物

番号	器 種	口径	底径	器高	色 調	備考	5	土師部小型壺	13		5YR6/6橙	
1	灰志器杯	14.7			10YR8/4浅黄橙		6	土師器壺		8.3	10YR3/2黒褐	
2	灰志器杯	12.3	6.3	3.9	2.5YR7/3浅黄		7	土 罐	4.8	3.4	1.4	10YR6/4L赤・黄橙
3	灰志器杯	14.1	7.2	3.9	2.5YR7/3浅黄		8	白 玉	1.2	1.2	0.4	
4	土師器高杯				7.5YR5/6明褐							

C区8号住居跡 (第159・160・163・164図・P L46・47・48)

C区北部に位置し953～956・006～009の範囲にある。他の遺構との関係は東部で17号住居跡、北部では12号住居跡と重複している。新旧関係は8号住居跡が他の2軒より新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸2.65m、短軸1.98mを測る。主軸方位はN-103°-Eを指し、壁高は24～28cmを測る。床面は平坦をなし壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅27cm、長さ74cmを測る。出土遺物は須恵器椀、土師器壺、羽釜等が出土している。

C区12号住居跡 (第161・165図・P L47)

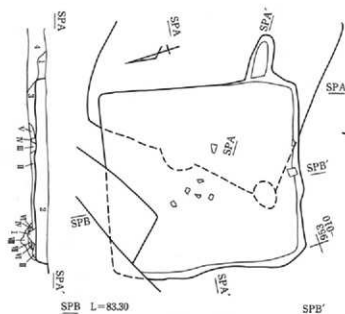
C区北部に位置し956～960・005～009の範囲にある。他の遺構との関係は南東部で8号住居跡と重複している。新旧関係は12号住居跡が新しい。平面形態は方形を呈し、規模はおおよそ一辺3.5mである。12号住居跡は現在の舗装道路の下で確認され、保存は極めて悪く、さらに水道管の付設による攪乱も受けていた。このため新旧関係は土層により判断した。また出土遺物が確認されているが攪乱土よりの検出である。遺物は模倣杯、高杯等である。

C区17号住居跡 (第162・163・166図・P L48)

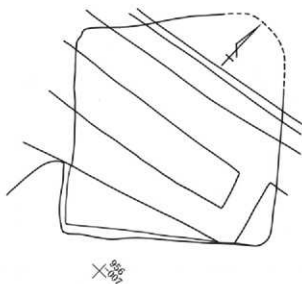
C区北部に位置し952～956・003～008の範囲にある。他の遺構との関係は西部で8号住居跡東部では18

第3章 検出された遺構と遺物

号住居跡より新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.39m、短軸3.17mを測る。主軸方位はN-40°-Wを指し、壁高は18~22cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝が四辺で確認された。規模は幅16~46cm、深さ8~18cmを測る。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は60×44cm、深さ45cmを測る。柱穴は4基確認された。規模は1、35×26cm、深さ32cm、2、27×25cm、深さ38cm、3、28×27cm、深さ16cm、4、28×27cm、深さ30cmを測る。竈は西壁に確認された。規模は焚き口幅60cm、長さ92cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、こもあみ石等が出土している。



第159図 C区8号住居跡



第161図 C区12号住居跡掘り方



C区8号住居跡

1. 暗褐色土 ロームブロック含む。
2. 黒褐色土 (横乱)
3. 黒色土 (横乱)
4. 暗褐色土 焼土多量含む。
5. 暗褐色土 ローム粒含む。

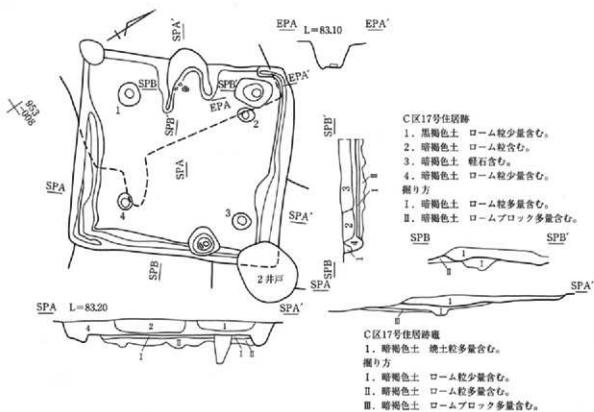
第160図 C区8号住居跡

C区8号住居跡

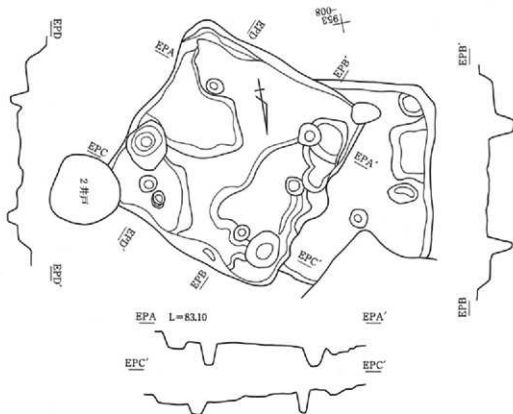
1. 暗褐色土 焼土粒、炭化物少量含む。
2. 暗褐色土 ロームブロック含む。
3. 暗褐色土 ローム粒含む。
4. 暗褐色土 ローム粒多量含む。

掘り方

- I. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
- II. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
- III. 明褐色土 ローム粒含む。
- IV. 黒褐色土 ロームブロック含む。
- V. 暗褐色土 焼土粒含む。
- VI. 黒褐色土 ローム粒少量含む。
- VII. 黄褐色土 ローム粒含む。
- VIII. 黄褐色土 ローム混土。

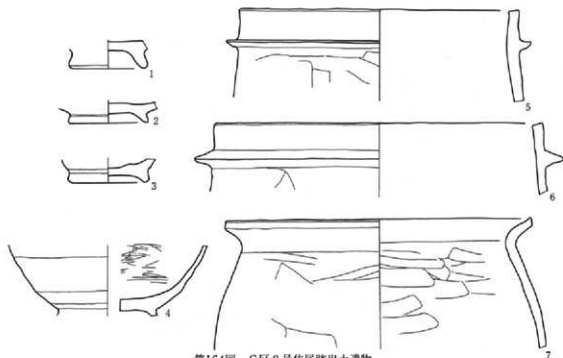


第162図 C区17号住居跡・竈



第163図 C区8・17号住居跡掘り方

第3章 検出された遺構と遺物



第164図 C区8号住居跡出土遺物



第165図 C区12号住居跡出土遺物



第166図 C区17号住居跡出土遺物

C区8号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	4	須恵器検			
1	須恵器軸		5.8		7.5YR7/4L・赤い埋		5	羽釜	27		5YR6/6橙
2	須恵器軸		6.1		5YR5/6明赤褐		6	羽釜	26		2.5YR4/2灰赤
3	須恵器軸		5.8		2.5Y7/4浅黄		7	土師器類	24		7.5YR7/4L・赤い埋

C区17号住居跡

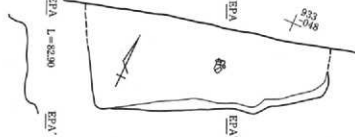
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	3	土師器杯	11.4			5YR6/6橙
1	土師器杯	12.8			7.5YR6/6橙		4	土師器杯	11.5		4.3	5YR6/6橙
2	土師器杯	11.2			7.5YR4/1褐灰		5	石	13.9	7.5	4.5	600 g

C区12号住居跡出土遺物

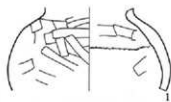
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	2 <th>土師器杯</th> <th>13.2</th> <th></th> <th></th> <th>5YR6/6橙</th>	土師器杯	13.2			5YR6/6橙
1	土師器杯	12.4			2.5YR5/8明赤褐		3	土師器高杯				7.5YR5/3L・赤い埋

C区9号住居跡 (第167・168図)

C区西北部に位置し930-932・046-050の範囲にある。他の遺構との重複はない。C区の西北部は人口の池が作られていた部分にあたりこのため9号住居跡の北半分はおおきく削り取られている。遺構は床面の一部が確認されたのみで規模、主軸方位等は不明である。出土遺物は土師器壺が1点出土している。



第167図 C区9号住居跡



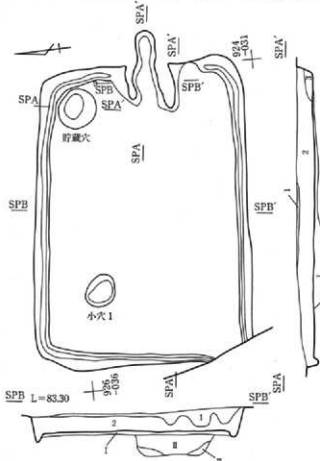
第168図 C区9号住居跡出土遺物

C区9号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器壺				7.5YR6/6橙	

C区10号住居跡 (第169・171図・P L53)

C区南西部に位置し923-926・030-035の範囲にある。他の遺構との重複はない。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸4.56m、短軸3.26mを測る。主軸方位はN-94°-Eを指し、壁高は10-37cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝が4辺に確認された。規模は幅10-32cm、深さ10-16cmを測る。貯蔵穴が北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は62×58cm、深さ28cmを測る。柱穴は検出されていないが小穴を1基確認した。規模は55×46cm、深さ35cmを測る。竈は東壁に確認した。規模は焚き口幅36cm、長さ120cmを測る。両袖部は暗色帯土を貼って作ってある。また床下土坑が1基確認された、ローム暗色帯採掘穴と考えられる。規模は132×124cm、深さ38cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、壺等が出土している。



第169図 C区10号住居跡



C区10号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

C区10号住居跡

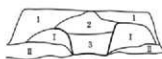
1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
 2. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
 3. 暗褐色土 ローム粒含む。
- 掘り方
- I. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。(貼り床)
 - II. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
 - III. 黄褐色土 ローム混土。

第3章 検出された遺構と遺物

SPA L=83.30



SPB



C区10号住居跡

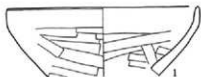
1. 褐色土 ローム粒含む。
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック、灰多量含む。

掘り方

- I. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック含む。
- II. 暗褐色土 ローム粒多量含む褐色帯土。

第170図 C区10号住居跡

SPA'



SPB'



C区10号住居跡出土遺物

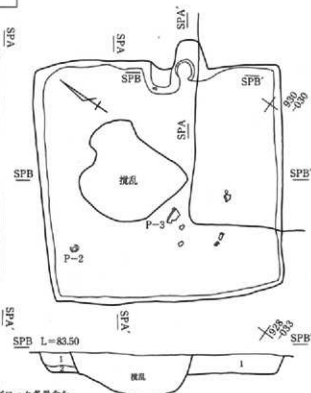
第171図 C区10号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	番号	6	土師器	15.6	5,7	5YR5/6明赤褐色
1	土師器鉢	15			7.5YR6/6橙	7	土師器	15.6			10YR6/4Cに赤・黄褐色
2	土師器杯	13			2.5Y4/2暗灰青	8	土師器	15.6	5,4		10YR5/4Cに赤・黄褐色
3	土師器杯	13.6		3.9	7.5YR7/6橙	9	土師器小片	14.6			10YR6/4浅黄褐色
4	土師器杯	13			5Y3/1ナリ・黒	10	土師器	20			10YR4/2灰黄褐色
5	土師器	13.8			10YR7/3に赤・黄褐色						

C区11号住居跡 (第172~174図 P.L54・178)

C区西部に位置し928~933・029~034

の範囲にある。他の遺構との関係は東部で31号住居跡と重複している。新旧関係は11号住居跡が新しい。また住居跡の真中にビニール袋等の混じった攪乱の穴があり床面に達していた。平面形態は方形を呈し規模は長軸3.95m、短軸3.64mを測る。主軸方位はN-44°-Eを指し、壁高は24~32cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴、貯蔵穴等の諸施設は確認されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅13cm、長さ62cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕、壺、砥石が出土している。



C区11号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
3. 暗褐色土 ローム混土。

第172図 C区11号住居跡

SPA L=83.50

SPA'

SPB L=83.50

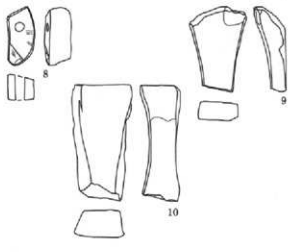
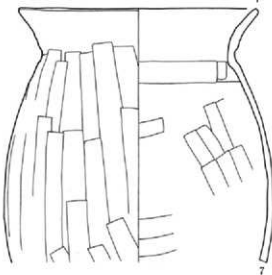
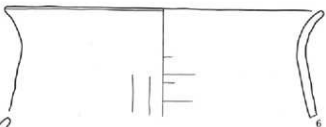
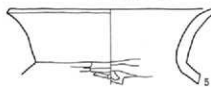
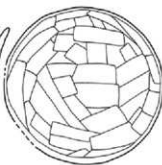
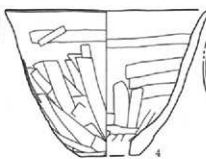
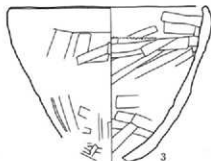
SPB'



C区11号住居跡概

1. 暗褐色土 焼土粒含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック含む。
3. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
4. 褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
5. 暗褐色土 ローム基盤層。
6. 暗褐色土 ロームブロック、焼土粒含む。
7. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
8. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック多量含む。

第173図 C区11号住居跡概



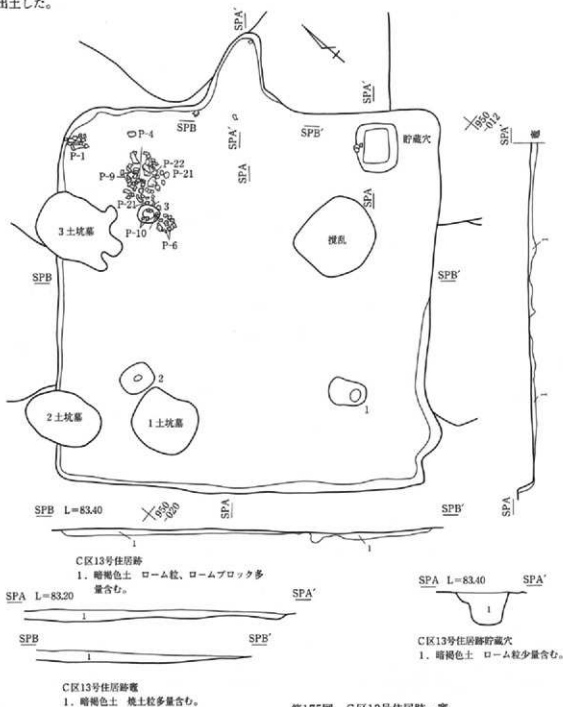
第174図 C区11号住居跡出土遺物

C区11号住居跡出土遺物

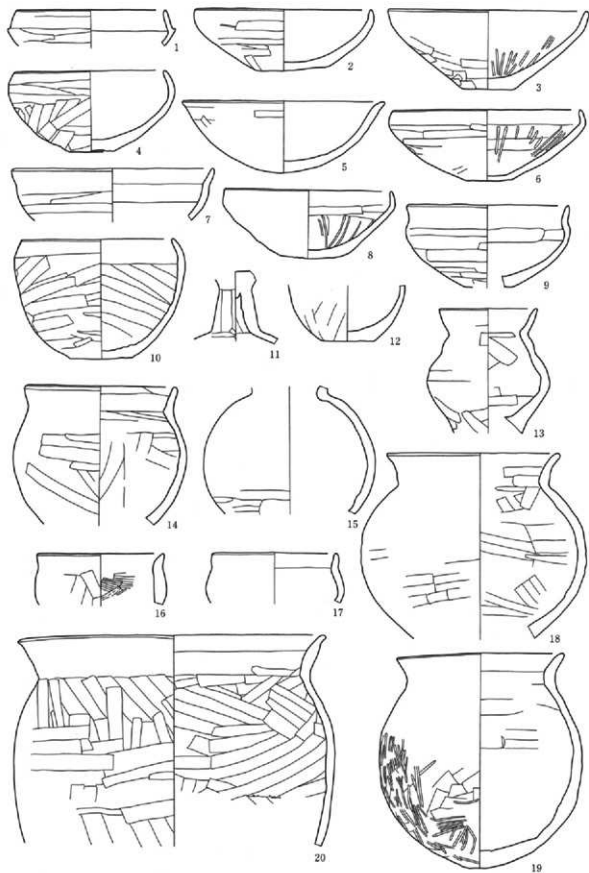
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	土師器量	25		10YR6/6程度
1	土師器杯	11.5		5	7.5YR5/4にふい焼		7	土師器量	18.6		10YR6/4にふい貴橙
2	土師器杯	12.4		4.8	5YR5/6明赤焼		8	砥石	4.7	2.2	2 28g
3	土師器瓶	15.5		12.2	2.5YR4/4にふい赤焼		9	砥石	6.7	4.5	1.5 62g
4	土師器瓶	16	4.6	11.5	7.5YR7/6程度		10	砥石	9	4.7	2.2 180g
5	土師器甕	16			10YR5/3にふい黄褐						

C区13号住居跡 (第175~177図・P.L55・178・179)

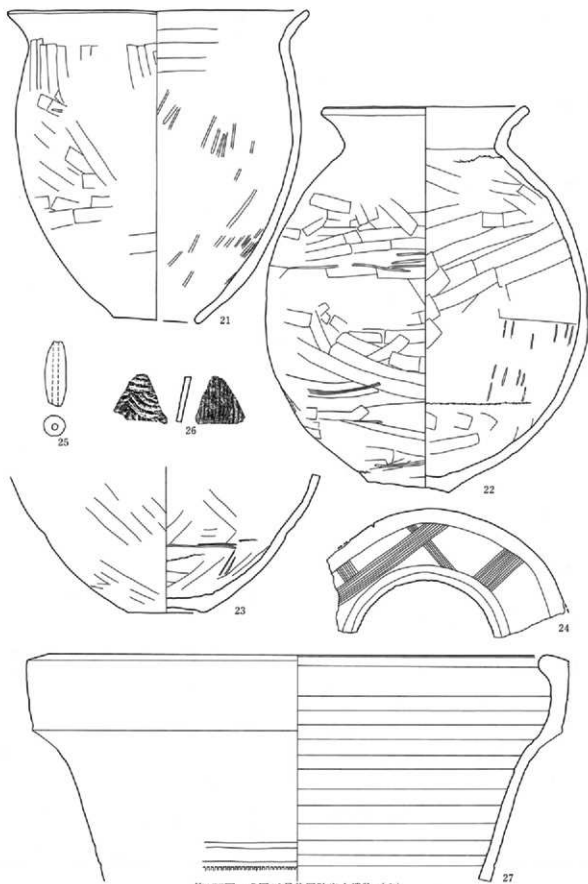
C区北部に位置し947~955・012~020の範囲にある。他の遺構との関係は北部で14号住居跡、南部で15・37号住居跡と重複している。新旧関係は13号住居跡が新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸6.16m、短軸6.12mを測る。主軸方位はN-50°-Eを指し、壁高は6~24cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴は3基が確認された。規模は1、60×40cm、深さ56cm、2、50×44cm、深さ70cm、3、34×28cmを測る。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は長方形を呈し、規模は78×64cm、深さ50cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅110cm、長さ112cmを測る。出土遺物は土師器杯、壺、甕、近世の火鉢等が混じって出土した。



第175図 C区13号住居跡・竈



第176图 C区13号住居跡出土遺物(1)



第177図 C区13号住居跡出土遺物（2）

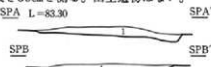
C区13号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	14	土師器小型甕	11.8		7.5YR4/3褐
1	土師器杯	11.8			7.5YR5/4にふい・黄		15	土師器壺			10YR5/4にふい・黄褐
2	土師器杯	14	5.7	4.9	7.5R6/6橙		16	土師器杯	10		5YR5/6明赤褐
3	土師器鉢	15.6	4	6.3	2.5YR4/6赤褐		17	土師器鉢	9.8		5YR5/6明赤褐
4	土師器杯	11.8	3.4	5.4	5YR6/6橙		18	土師器小型甕	13.4		10YR4/2灰黄褐
5	土師器鉢	16	5.7		10YR7/4にふい・黄褐		19	土師器小型甕	13.1	165	7.5R6/4にふい・橙
6	土師器杯	14.7	3.7	5.6	5YR5/4にふい・赤褐		20	土師器壺	24.2		5YR5/6明赤褐
7	土師器杯	15.8			2.5YR5/6明赤褐		21	土師器組	23.7	6.8	24.6
8	土師器杯	13.2	5.5		7.5YR7/6橙		22	土師器壺	15.8	6.5	30.4
9	土師器杯	12.6			2.5YR5/6明赤褐		23	土師器壺	6.2		10YR4/2灰黄褐
10	土師器鉢	12	5	9.4	10YR8/3淡黄橙		24	七輪	1.3		10YR7/4にふい・黄褐
11	土師器高杯				5YR6/6橙		25	土師	5.1	1.6	0.5
12	土師器鉢	4.2			5YR4/6赤褐		26	須恵器壺			5YR3/1オリーブ黒
13	土師器小型甕	7.6			5YR5/6明赤褐		27	須恵器火鉢	42.6		10YR5/3にふい・黄褐

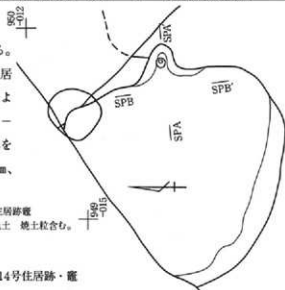
C区14号住居跡 (第178図・P L56)

C区北部に位置し946～949・012～016の範囲にある。他の遺構との関係は東部で4号住居跡、西部で13号住居跡と重複している。新旧関係は14号住居跡が他の2軒より古い。平面形態、規模は不明で、竈の主軸方位はN-104°-Eを指す。壁高は10～15cmを測る。床面は一部を確認した。竈は東壁に確認した。規模は焚き口幅60cm、長さ60cmを測る。出土遺物はない。

SPA L=83.30

C区14号住居跡竈
1. 暗褐色土 焼土粒含む。

第178図 C区14号住居跡・竈



C区15号住居跡 (第179図・P L56)

C区北部に位置し952～955・018～020の範囲にある。他の遺構との関係は南部では13号住居跡、西部は1号溝、2・3号土坑墓と重複している。新旧関係は15号住居跡が古いと考えられる。平面形態、規模、主軸方位等是不明である。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅70cmを測り、長さは攪乱により壊されている。出土遺物はない。

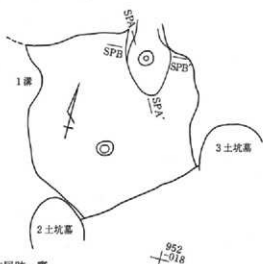
SPA L=83.30



C区15号住居跡竈

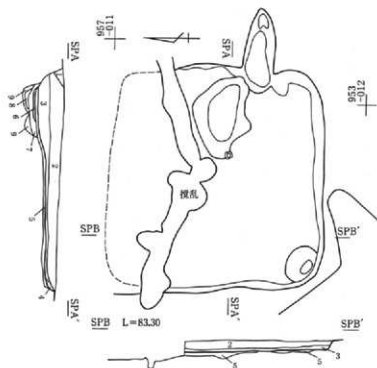
1. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック含む。

第179図 C区15号住居跡・竈



C区16号住居跡 (第180・181図・P L57)

C区北部に位置し952～957・012～015の範囲にある。他の遺構との重複関係はない。16号住居跡が検出された部分は遺跡内を東西に走る舗装道路下であったため一部攪乱を受けている。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.86m、短軸3.58mを測る。主軸方位はN-86°-Wを指し、壁高は16～40cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。また南西隅に小穴が確認された。

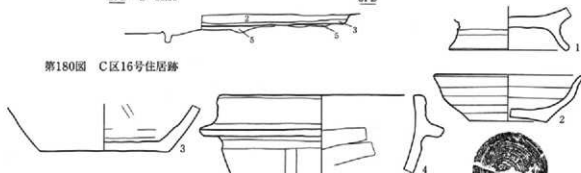


第180図 C区16号住居跡

平面形態は楕円形を呈し、規模は60×44cm、深さ60cmを測る。竈は東壁に確認した。規模は焚き口幅50cm、長さ134cmを測る。出土遺物は須恵器杯、碗、土師器甕、羽釜等が出土している。

C区16号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、灰化物少量含む。
3. 暗褐色土 ロームブロック含む。
4. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
5. 暗褐色土 ロームブロック、焼土粒多量含む。
6. 暗褐色土 ローム粒含む。
7. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
8. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
9. 黄褐色土 ローム混土。



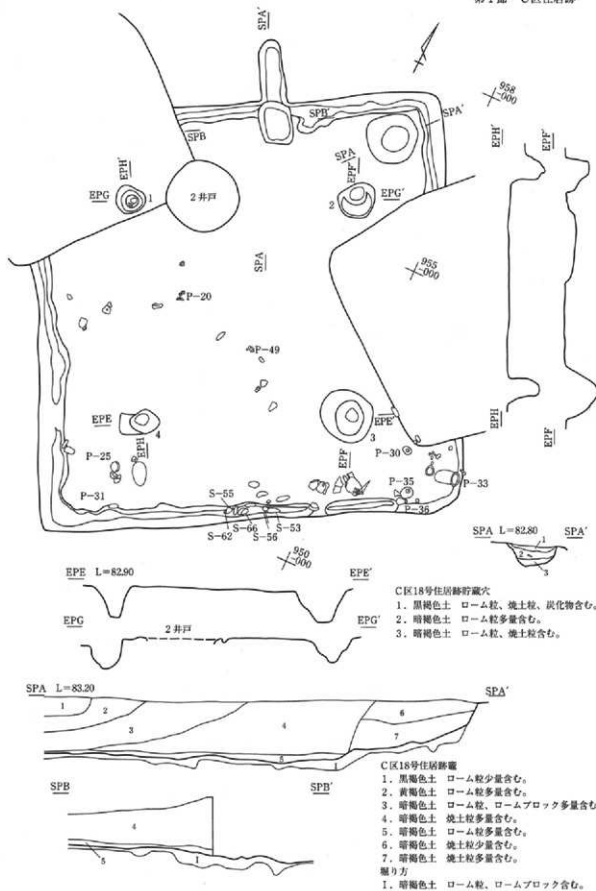
第181図 C区16号住居跡出土遺物

C区16号住居跡出土遺物

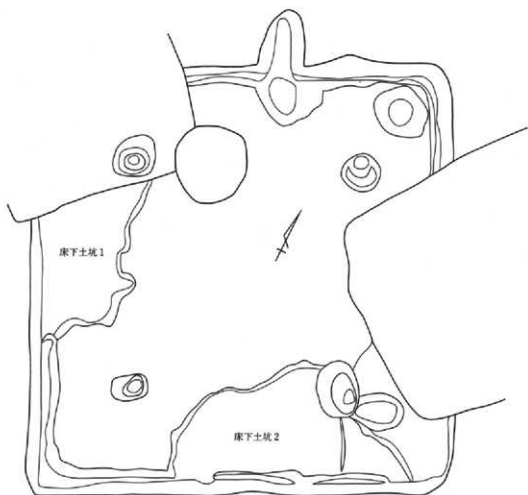
番号	部 種	口径	底径	器高	色 調	備考	3	土師器甕	10.2	2.5Y4/1黄灰
1	土師器碗	9.2			7.5YR6/6橙		4	羽釜	16	2.5Y4/2暗灰黄
2	須恵器杯	11.6	6	3.7	2.5Y7/2灰黄					

C区18号住居跡 (第182～188図・P L 48・49・179・180)

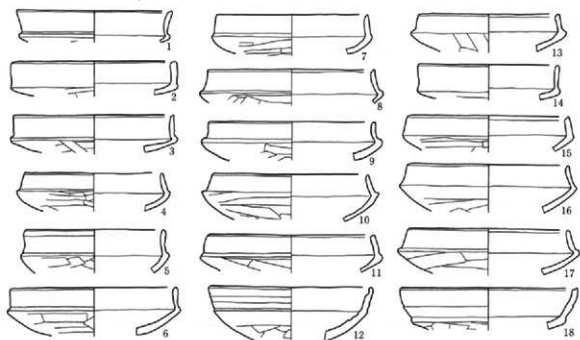
C区北部に位置し949～957・998～006の範囲にある。他の遺構との関係は5・17・61号住居跡、61・62・63号土坑、1号墓坑、2号井戸と重複している。新旧関係は61号住居跡より新しく他の全ての遺構より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸6.8m、短軸6.73mを測る。主軸方位はN-38°-Wを指し、壁高は39～48cmを測る。床面は平坦をなし、4壁際に周溝が確認された。規模は幅25～50cm、深さ6～18cmを測る。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は82×78cm、深さ32cmを測る。柱穴は4基検出された。規模は1、48×46cm、深さ42cm、2、59×56cm、深さ41cm、3、84×82cm、深さ48cm、4、46×40cm、深さ48cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅40cm、長さ162cmを測る。掘り方面には西壁と南壁に接する部分にほりこみが確認された。規模は1、216×166cm、深さ2～8cm、2、386×182cm、深さ2～18cmを測る。この2基の床下土坑は掘りこみの形状や状態から当遺跡に顕著な暗色帯採掘坑とは異なると考えられる。出土遺物は土師器模倣杯、甕、壺、こもあみ石等が出土している。杯の中には内面に段を持つ南東北系の栗円式(29～31)の影響を持つ個体が含まれる。



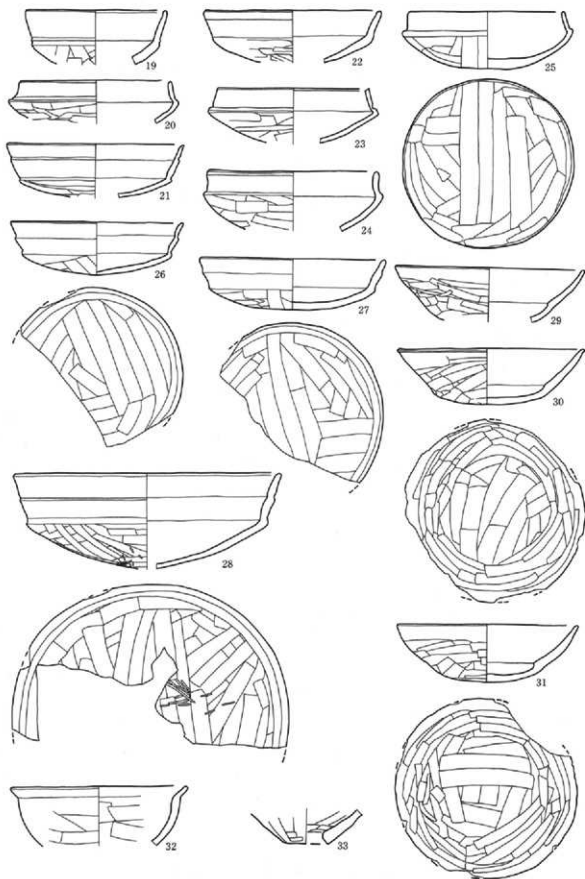
第182図 C区18号住居跡



第183図 C区18号住居跡掘り方

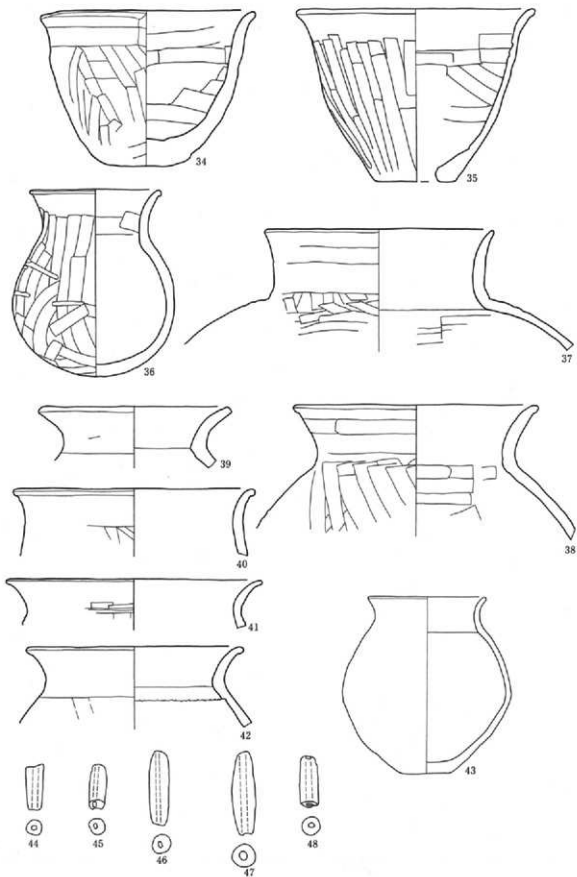


第184図 C区18号住居跡出土遺物(1)

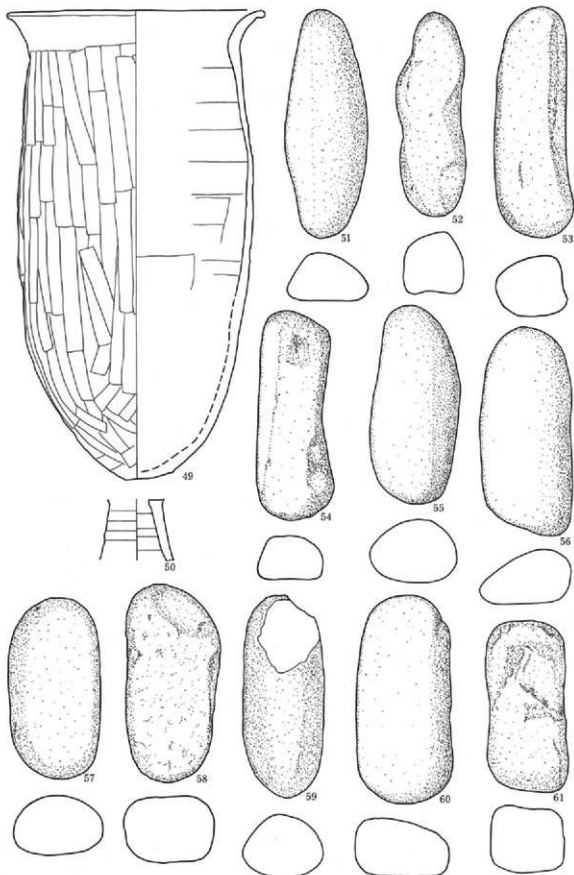


第185图 C区18号住居跡出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物

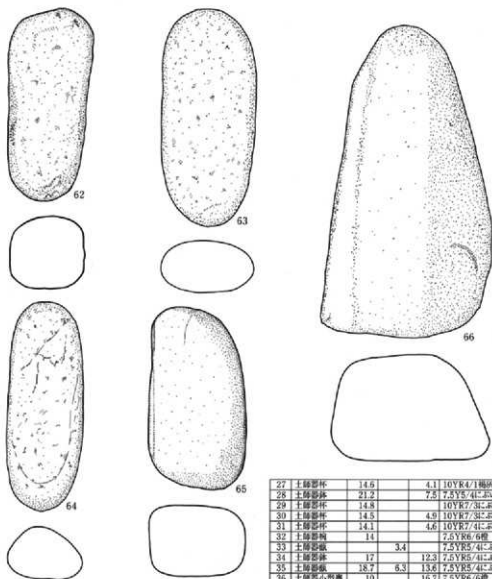


第186図 C区18号住居跡出土遺物(3)



第187图 C区18号住居跡出土遺物(4)

第3章 検出された遺構と遺物



第188図 C区18号住居跡出土遺物(5)

C区18号住居跡出土遺物

番号	形種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	12.3			5Y3/1#1-7黒	
2	土師器杯	12.9			10YR6/4に赤い黄緑	
3	土師器杯	12.7			10YR3/2黒色	
4	土師器杯	11			5YR6/6緑	
5	土師器杯	10.9			10YR6/4に赤い黄緑	
6	土師器杯	13			7.5YR7/6緑	
7	土師器杯	11.9			7.5YR4/3黒	
8	土師器杯	13.1			7.5YR3/1黒	
9	土師器杯	13			2.5Y4/1黒	
10	土師器杯	12.2			2.5YR5/6明赤褐	
11	土師器杯	13			7.5YR7/6緑	
12	土師器杯	12.8			7.5YR6/6緑	
13	土師器杯	11			10YR3/1黒	
14	土師器杯	11			10YR5/3に赤い黄緑	
15	土師器杯	12.7			7.5YR5/2灰褐	
16	土師器杯	12.6			10YR6/4に赤い黄緑	
17	土師器杯	12.6			10YR6/4に赤い黄緑	
18	土師器杯	13.9			10YR6/3に赤い黄緑	
19	土師器杯	11			10YR6/4に赤い黄緑	
20	土師器杯	11.8			2.5YR5/6明赤褐	
21	土師器杯	14			7.5YR5/4に赤い黄	
22	土師器杯	14			5YR5/6明赤褐	
23	土師器杯	11.9			5Y3/1#1-7黒	
24	土師器杯	13.2			10YR7/3に赤い黄	
25	土師器杯	12.7			4.6 7.5YR7/4に赤い黄	
26	土師器杯	13.8			4.2 7.5YR6/6緑	

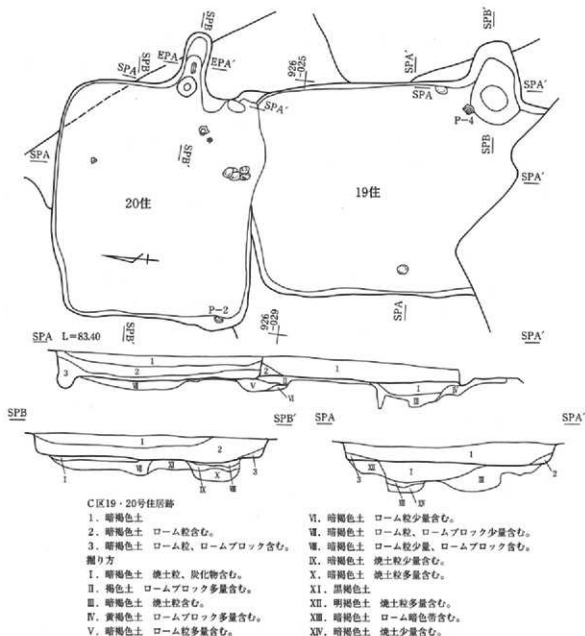
27	土師器杯	14.6			4.1 10YR4/1褐色	
28	土師器杯	21.2			7.5 7.5Y5/4に赤い黄	
29	土師器杯	14.8			10YR7/3に赤い黄緑	
30	土師器杯	14.5			4.9 10YR7/3に赤い黄緑	
31	土師器杯	14.1			4.6 10YR7/4に赤い黄緑	
32	土師器杯	14			7.5YR6/6緑	
33	土師器杯		3.4		7.5YR5/4に赤い黄	
34	土師器杯	17			12.3 7.5YR5/4に赤い黄	
35	土師器杯	18.7	6.3		13.4 7.5YR5/4に赤い黄	
36	土師器小形器	10			16.7 7.5YR6/6緑	
37	土師器	18			10YR8/4成黄緑	
38	土師器	19			10YR7/4に赤い黄緑	
39	土師器	14.6			7.5YR7/6緑	
40	土師器	19			7.5YR4/3黒	
41	土師器	20			2.5YR7/4成黄	
42	土師器	18.8			10YR4/2成黄褐	
43	土師器	18	7.5	27.8	7.5YR6/6緑	
44	土師		1.3	10.3-0.4	5YR6/6緑	
45	土師		1.2-1.3	10.2-0.4	7.5YR7/4に赤い黄	
46	土師	5.9	1.5	10.3-0.4	10YR7/3に赤い黄緑	
47	土師	5.6	1.8	0.7	7.5YR5/4に赤い黄	
48	土師		1.4	10.4-0.5	5YR6/6緑	
49	土師器	20.2		37	10YR8/4成黄緑	
50	須恵器高杯				2.5Y5/1赤灰	
51	石	18	6.6	3.8	600g	
52	石	16.1	5.4	4.8	650g	
53	石	18.3	6.2	4.8	850g	
54	石	16.6	6.1	3.5	600g	
55	石	15.7	7.1	5	800g	
56	石	16.5	7.3	4.4	800g	
57	石	14.3	7.2	4.7	700g	
58	石	15.6	7.6	5.3	1000g	
59	石	15.9	6.5	4.9	700g	
60	石	16.5	7.8	4.6	1000g	
61	石	13.6	6.4	5.4	800g	
62	石	15.2	6.7	5.8	900g	
63	石	17.2	7.4	4.1	800g	
64	石	16.5	6.1	4.1	600g	
65	石	38.6	20.9	14.9	20700g	
66	石	24.6	13.6	8.4	4500g	

C区19号住居跡 (第189~193図・P L58・181)

C区南西部に位置し921~926・024~028の範囲にある。他の遺構との関係は北部で20号住居跡、東部では22号住居跡と重複している。新旧関係は22号住居跡より新しく、20号住居跡より古い。平面形態は長方形を呈し、南東部は擾乱により壊されている。規模は東西長で3.3mを測る。主軸方位はN-98°-Eを指し、壁高は24~26cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅100cm、長さ132cmを測る。出土遺物は須恵器杯、椀、須恵器墨書片、土師器コノ字壺、灰軸陶器等が出土している。

C区20号住居跡 (第189・191・194図・P L58・181)

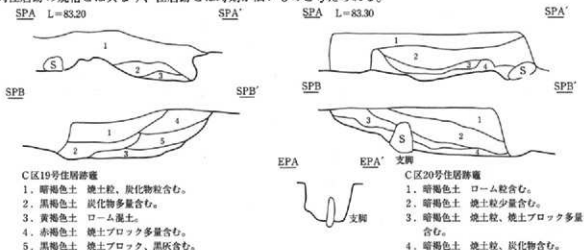
C区南西部に位置し926~930・024~028の範囲にある。他の遺構との関係は南部で19号・西北部では31号・北東部では34号住居跡と重複している。新旧関係は他の住居跡より当20号住居跡が新しい。平面形態は



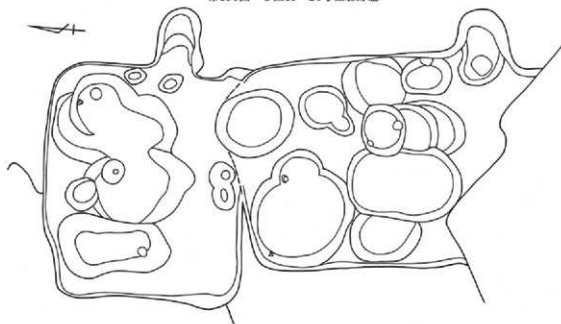
第189図 C区19・20号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物

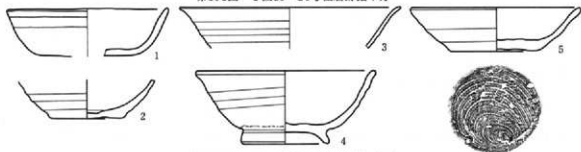
長方形を呈し、規模は長軸3.86m、短軸3.2mを測る。主軸方位はN-88°-Eを指し、壁高は10~36cmを測る。床面は平坦をなし壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認した。規模は焚き口幅70cm、長さ110cmを測る。出土遺物は須恵器杯、碗、土師器コの字竈、砥石の他打製石斧が混在していた。また19・20号住居跡の掘り方面では暗色帯の採掘の後とみられる掘りこみを確認した。掘りこみは両住居跡の規格とは異なり、住居跡とは時期が古いものと考えられる。



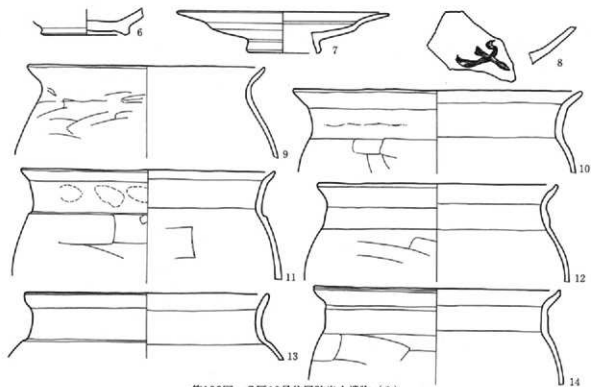
第190図 C区19・20号住居跡竈



第191図 C区19・20号住居跡掘り方



第192図 C区19号住居跡出土遺物 (1)



第193図 C区19号住居跡出土遺物(2)



第194図 C区20号住居跡出土遺物

C区19号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	8	9	10	11	12	13	14
1	土師器杯	12.5		3.7	2.5YR6/3橙								
2	須恵器杯		5.6		5Y5/1灰			18.5	22.4				
3	須恵器杯	17.2			2.5Y6/1黄灰			19.8					
4	須恵器杯	14	6.7	5.8	5Y8/1灰白			18.6					
5	須恵器杯	13.2	7	3.4	5Y7/1灰白			19					
6	須恵器杯		7		10YR6/4C・F・黄橙			19.6					
7	灰釉陶器皿	16.5	5.4	3.2	5Y6/1灰								

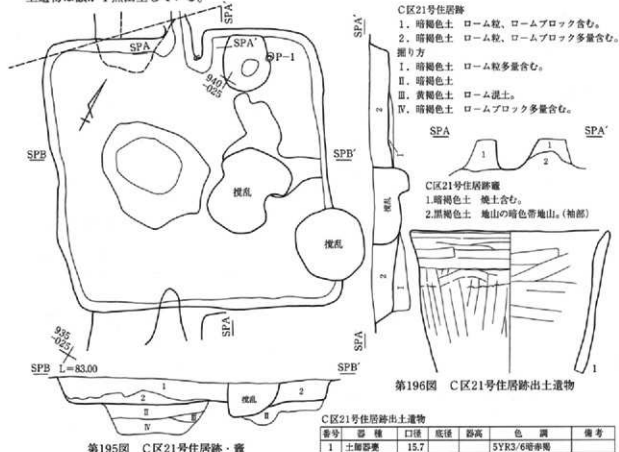
第3章 検出された遺構と遺物

C区20号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	5	土師器表	19			7.5YR5/4に似る
1	須恵器杯	12.8			5Y7/1灰白		6	土師器裏		3.5		7.5YR2/1黒
2	須恵器碗	14	6.9		2.5Y7/3淡黄		7	土師器裏		4		5YR6/6橙
3	須恵器碗	15.5	7.6	5.9	10Y7/1灰白		8	磁石	7.9	6	2.2	129g
4	土師器壺	19			5YR6/6橙		9	石器	10.4	6.2	1.8	140g

C区21号住居跡 (第195・196図・P L59・181)

C区西北部に位置し935～941・023～028の範囲にある。他の遺構との関係は33・36号住居跡、2号溝、2号土坑と重複している。新旧関係は33・36号住居跡より新しく、2号土坑、2号溝より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.45m、短軸4.38mを測る。主軸方位はN-37°-Eを指し、壁高は26～48cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、柱穴等の諸施設は検出されていない。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は88×76cm、深さ40cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は突き口幅28cm、長さ不明で、北半部は2号溝により壊されている。掘り方面には暗色帯探掘と思われる土坑が確認された。出土遺物は瓶が1点出土している。



C区22号住居跡 (第197～200図・P L61・181)

C区南西部に位置し922～927・018～024の範囲にある。他の遺構との関係は東部で35号住居跡、西部で19号住居跡、北部では34号住居跡と重複している。南半部は攪乱を受けている。新旧関係は35号住居跡より新しく、19・34号住居跡より古い。平面形態は不明で、規模は残存で東西幅約5.5m、南北幅約4.3mを測る。竈方位はN-61°-Eを指し、壁高は7～25cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝が確認された。規模は幅15～38cm、深さ8～11cmを測る。柱穴は2基確認された。規模は1、50×47cm、深さ51cm、2、52×50

第1節 C区住居跡

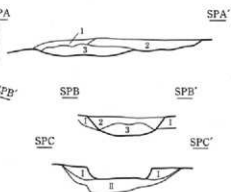


第197図 C区22号住居跡・竈

cm、深さ50cmを測る。貯蔵穴は確認されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅65cm、長さ100cmを測る。出土遺物は土師器杯、模倣杯、高杯、壺等が出土している。

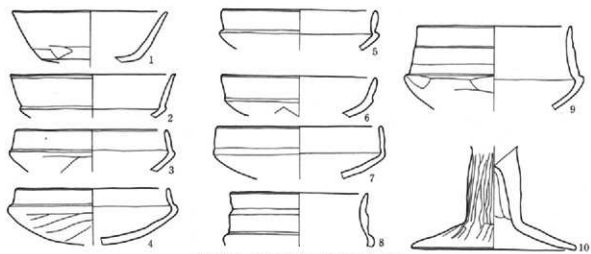
C区22号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
振り方
1. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
II. 暗褐色土 ロームブロック含む。
III. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
IV. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。



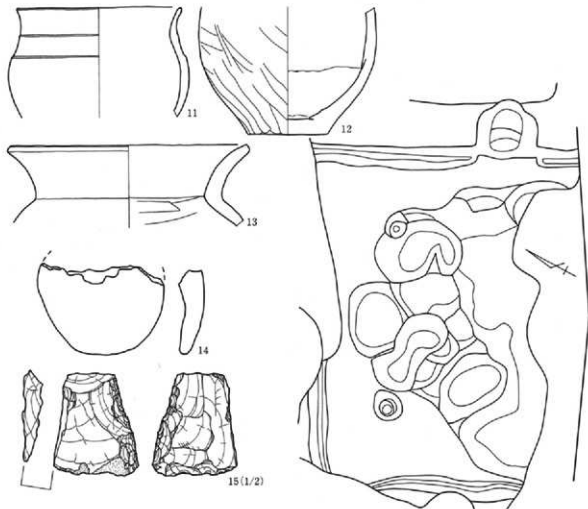
C区22号住居跡竈

1. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
2. 赤褐色土 焼土粒を多量含む。
3. 黒褐色土 炭化物多量、焼土粒少量含む。
振り方
I. 黒褐色土 竈の袖材に貼り付け使用した暗褐色帯土。
II. 黄褐色土 ローム粒多量含む。



第198図 C区22号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第199図 C区22号住居跡出土遺物(2)

第200図 C区22号住居跡掘り方

C区22号住居跡出土遺物

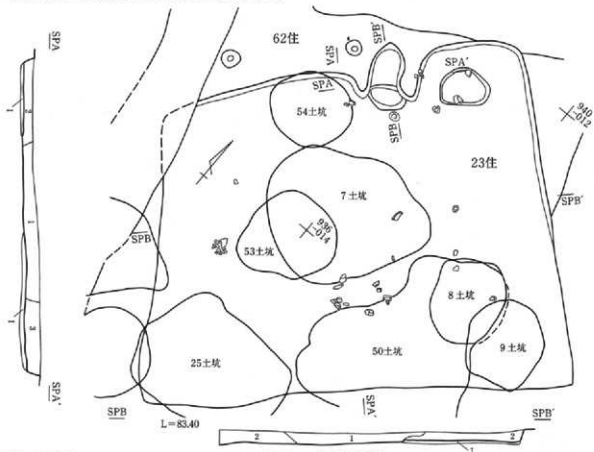
番号	器種	口径	底径	器高	色 質	備考	8	土師器鉢	10.8			5YR4/8赤褐色
1	土師器杯	12.1			7.5YR6/4Lに灰褐色		9	土師器鉢	12			10YR3/1黒褐色
2	土師器杯	12.8			5YR6/8褐色		10	土師器高杯		12.6		7.5YR6/6褐色
3	土師器杯	11.8			10YR7/4Lに灰褐色		11	土師器甕	12.8			7.5YR8/6浅黄褐色
4	土師器杯	12		4.5	2.5YR6/3明赤褐色		12	土師器甕		6.2		5Y7/6褐色
5	土師器杯	12			10YR6/3Lに灰褐色		13	土師器甕	18.4			5YR6/6褐色
6	土師器杯	12.2			10YR3/1黒褐色		14	粘土甕	10.1			7.5YR5/6明褐色
7	土師器杯	12.8			7.5YR6/6褐色		15	石器	3.5	4.5	1	40g

C区23号住居跡(第201~204図・P.L62・181)

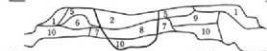
C区中央部に位置し933~940・010~017の範囲にある。他の遺構との関係は東部で26号住居跡、北部では6号住居跡、西部では1号溝と重複している。新旧関係は6・26号住居跡より新しく、1号溝より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸6.96m、短軸5.56mを測る。主軸方位はN-38°-Wを指し、壁高は20~28cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、柱穴は検出されていない。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は94×55cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅60cm、長さ108cmを測る。掘り方面には複数の暗色帯探掘坑が確認された。当住居跡の存在する周辺はローム上面が浅く住居跡床面部は暗色帯となる。このため他の隣接する住居跡を構築する以前に暗色帯を採掘したと考えられる。出土遺物は土師器模倣杯、高杯、鉢、甕、甕、こもあみ石等が出土している。

C区62号住居跡(第201図)

C区中央部に位置し937~938・016~017の範囲にある。他の遺構との関係は北、東部で各々6・23号住居跡と重複し、西部では1号溝と重複している。新旧関係は他の遺構より古い。このため床面の一部を確認した。規模、主軸方位等は不明で出土遺物もない。



SPA L=83.20



SPB



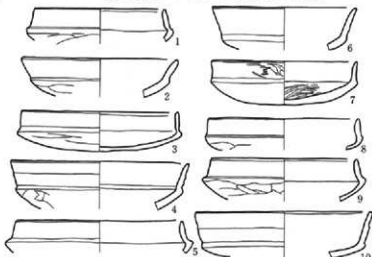
C区23号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、粘土粒含む。
3. 暗褐色土 ローム粒含む。
4. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
5. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
6. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
7. 暗褐色土 粘土含む。
8. 黄褐色土 ロームブロック。
9. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
10. 黄褐色土 ローム混土。
11. 暗褐色土 粘土ブロック多量含む。

第201図 C区23・62号住居跡・竈

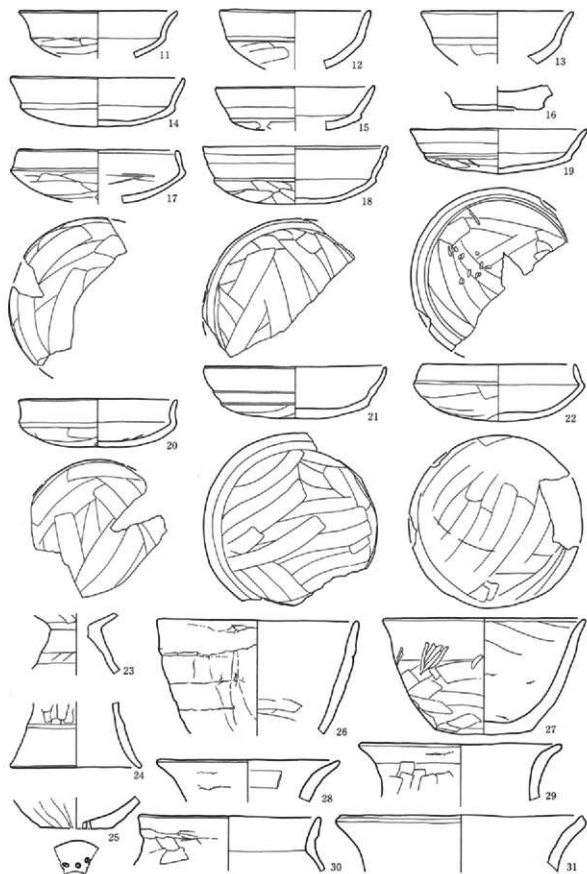
C区23号住居跡

1. 暗褐色土 炭化物少量含む。
 2. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
 3. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
- 掘り方
I. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。(掘り床)

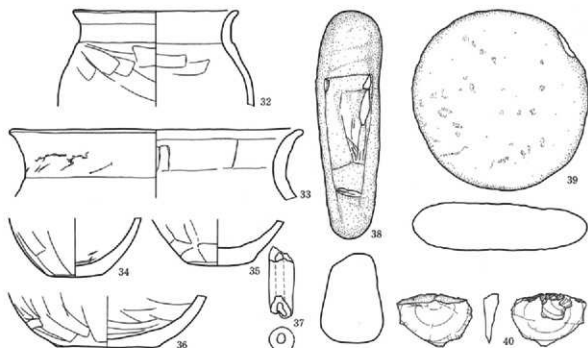


第202図 C区23号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第203図 C区23号住居跡出土遺物(2)



第204図 C区23号住居跡出土遺物(3)

C区23号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	21	土師器杯	14.1	4.1	2.5Y7/4黄		
1	土師器杯	102			7.5YR4/2灰褐		22	土師器杯	12	4.5	5YR7/6橙		
2	土師器杯	12.2			2.5YR6/8橙		23	土師器高杯			2.5YR6/8橙		
3	土師器杯	12.2	3.1		10YR2/1黒		24	土師器高杯	10		5YR6/8橙		
4	土師器杯	14			2.5YR6/6橙		25	土師器瓶	5.6		7.5YR2/1黒		
5	土師器杯	13			7.5YR2/1黒		26	土師器鉢	15.2		7.5YR6/4にふい橙		
6	土師器杯	11.2			2.5YR5/8明赤褐		27	土師器鉢	15.8	7.8	9.1	2.5YR6/4にふい橙	
7	土師器杯	11.3	3.5		7.5YR3/1黒褐		28	土師器壺	14.4		10YR5/2灰黄褐		
8	土師器杯	11.7			10YR7/3にふい黄橙		29	土師器壺	15.8		7.5YR7/6橙		
9	土師器杯	11.4			2.5YR6/6橙		30	土師器壺	14.1		2.5YR5/8明赤褐		
10	土師器杯	13.6			7.5YR7/6橙		31	土師器壺	19.6		5YR6/8橙		
11	土師器杯	12.4			7.5YR6/4にふい橙		32	土師器壺	13		7.5YR7/6橙		
12	土師器杯	12			5YR6/6橙		33	土師器壺	23		7.5YR4/2灰褐		
13	土師器杯	12			5YR6/6橙		34	土師器壺	4.4		7.5YR6/4にふい橙		
14	土師器杯	13.5	3.9		2.5YR6/6橙		35	土師器壺	5.2		5YR5/6明赤褐		
15	土師器杯	12.4			7.5YR6/4にふい橙		36	土師器壺	8		7.5Y7/4にふい橙		
16	土師器壺		7.3		5YR5/6明赤褐		37	土師	5.7	1.9	0.6-0.8	7.5Y7/4にふい橙	
17	土師器杯	12.4			2.5YR5/6明赤褐		38	石	17.9	5.3		7 900 g	
18	土師器杯	14.4			7.5YR7/4にふい黄橙		39	石	14.2	13.9	3.7	1100 g	
19	土師器杯	13.9			3.5 5YR6/6橙		40	石跡	4.1	5.8	1.1	18 g	
20	土師器杯	12.4			3.8 2.5YR3/1暗赤灰								

C区24号住居跡 (第205~210図・P L 63・64・182・183)

C区東部に位置し939~944・002~008の範囲にある。他の遺構との関係は北部で25号住居跡、南部で26号住居跡と重複している。新旧関係は24号住居跡が新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸5.6m、短軸3.42mを測る。主軸方位はN-57°-Eを指し、壁高は10~32cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝が北、西壁で確認された。規模は幅18~33cm、深さ10~25cmを測る。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は52×50cm、深さ36cmを測る。柱穴は検出されていない。出土遺物は土師器模倣杯、甕等が出土している。

C区25号住居跡 (第205~207・211・212図・P L 63・64・183)

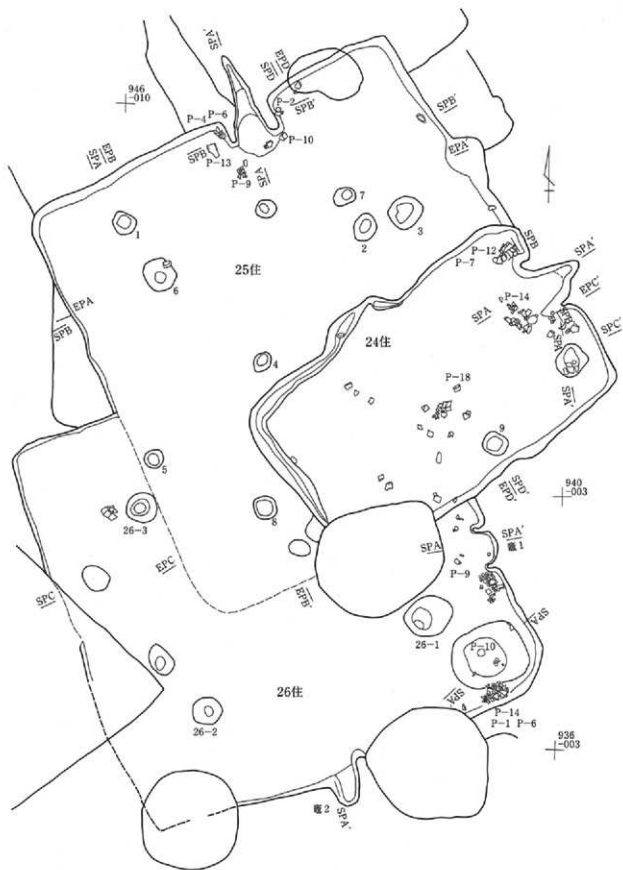
C区東部に位置し937~947・003~012の範囲にある。他の遺構との関係は南東部で24号住居跡、南西部

第3章 検出された遺構と遺物

で26号住居跡と重複している。新旧関係は24号住居跡より旧く、26号住居跡より新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸6.81m、短軸3.74mを測る。主軸方位はN-30°-Wを指し、壁高は2~20cmを測る。壁周溝、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。柱穴を含め小穴が9基検出された。各々の規模は1、37×36cm、深さ50cm、2、41×38cm、深さ30cm、3、55×50cm、深さ57cm、4、径28cm、深さ54cm、5、径30cm、深さ25cm、6、53×46cm、深さ57cm、7、37×27cm、深さ58cm、8、36×34cm、深さ32cm、9、45×35cm、深さ35cmを測る。竈は北壁に確認された。規模は焚き口幅60cm、長さ144cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、鉢、甕、瓶、須恵器壺等が出土している。また18号住居跡同様栗罎式土器が出土している。(1)

C区26号住居跡 (第205~207・213・214図・P L63・64・183・184)

C区中央部に位置し934~946・003~012の範囲にある。他の遺構との関係は3・23・24・25号住居跡と重複している。新旧関係は他の住居跡より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸7.08m、短軸6.72mを測る。主軸方位はN-65°-Eを指し、壁高は13~49cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は確認されていない。柱穴は3基確認され、規模は1、78×62cm、深さ32cm、2、48×45cm、深さ83cm、3、53×48cm、深さ68cmを測る。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は117×96cm、深さ51cmを測る。竈は東壁1と南壁2の2基確認された。規模は1、焚き口幅57cm、長さ30cm、2、焚き口幅47cm、長さ64cmを測る。出土遺物は土師器内斜口椀杯、模倣杯、甕、高杯等が出土し、羽釜が混じっている。



第205図 C区24~26号住居跡



SPA

SPA'

SPB

SPB'

SPC

SPC'

SPD

SPD'

SPB

SPB'

SPD

SPD'



C124号住居跡遺

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒含む。
3. 暗褐色土 灰を含む。
4. 暗褐色土 焼土粒多量、炭化物少量含む。
5. 暗褐色土 焼土粒、炭化物多量含む。
6. 暗褐色土 焼土粒、灰土粒少量含む。
7. 赤褐色土 焼土粒多量、炭化物少量含む。
8. 赤褐色土 焼土粒多量、炭化物多量含む。
9. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
10. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
11. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
12. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
13. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
14. 暗褐色土 ローム粒含む。
15. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
16. 暗褐色土 ローム粒少量含む。

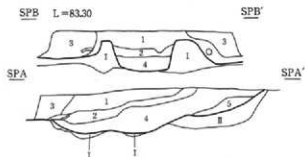
C124・25・26号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒、ロームアワロツク多量含む。
4. 黄褐色土 ロームアワロツク。
5. 黄褐色土 ローム粒少量含む。
6. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
7. 暗褐色土 白色砂含む。
8. 暗褐色土 ローム粒含む。
9. 暗褐色土 ロームアワロツク多量含む。
10. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
11. 暗褐色土 ローム粒多量、白色砂含む。
12. 暗褐色土 ロームアワロツク含む。
13. 暗褐色土 ローム粒、ロームアワロツク多量含む。
14. 赤褐色土 炭化物、焼土粒含む。
15. 暗褐色土 炭化物、焼土粒少量含む。
16. 暗褐色土 ロームアワロツク多量含む。
17. 暗褐色土 ローム粒、ロームアワロツク多量含む。
18. 黄褐色土 ローム粒、ロームアワロツク少量含む。
19. 暗褐色土 ローム粒、ロームアワロツク少量含む。
20. 暗褐色土 黒褐色土粒含む。
21. 暗褐色土 灰を含む。
22. 暗褐色土 ローム粒、ロームアワロツク含む。
23. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
24. 黄褐色土 ローム土。
25. 暗褐色土 焼土粒、灰多量含む。
26. 暗褐色土 ロームアワロツク多量含む。

第206図 発掘された住居跡の断面

第206図 C124・25・26号住居跡・24号住居跡遺

第1節 C区住居跡



C区25号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
4. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
5. 黒褐色土 焼土粒、炭化物、灰少量含む。

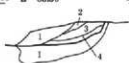
掘り方

- I. 黒褐色土 ローム粒多量含む。
- II. 黒褐色土 灰少量含む。



SPA'

SPA L=83.30



SPA'

C区26号住居跡

1. 黒褐色土 焼土粒少量含む。
2. 黒褐色土 焼土粒多量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒多量、粘土粒少量含む。
4. 黒褐色土 焼土粒多量、ローム粒含む。

掘り方

- I. 暗褐色土 焼土粒少量含む。

SPA L=83.00 SPA'



C区24号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒少量含む。
2. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

SPA L=83.20 SPA'

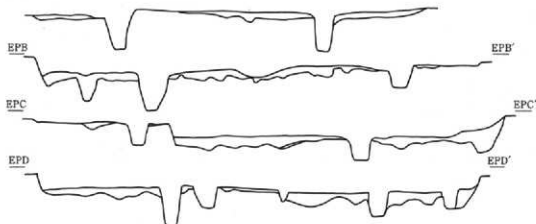


C区26号住居跡貯蔵穴

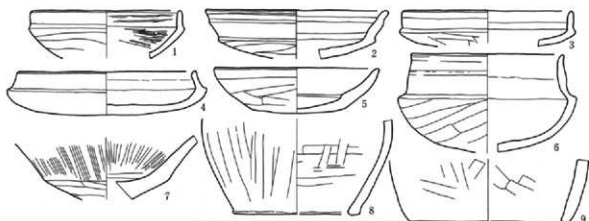
1. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒少量含む。
2. 黒褐色土 ロームブロック多量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

EPA L=83.30

EPA'

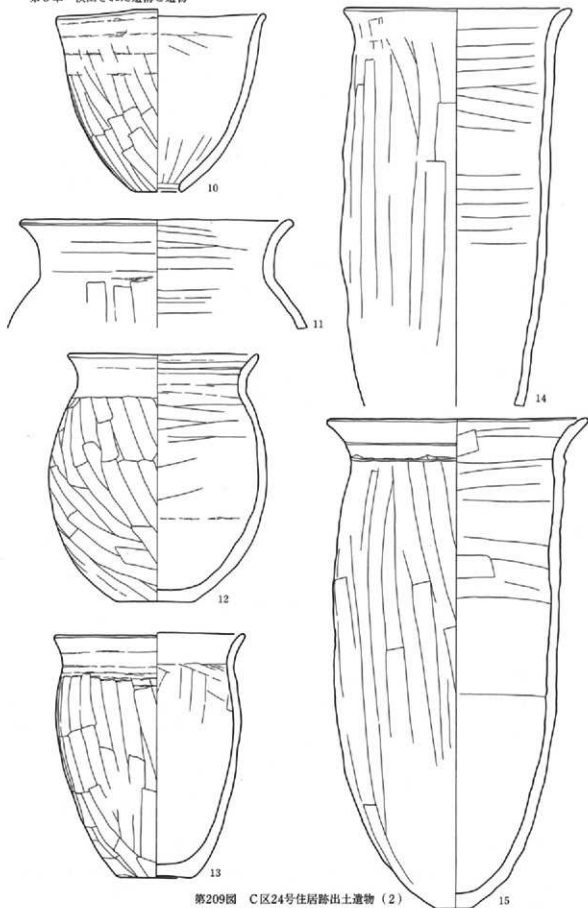


第207図 C区24~26号住居跡・貯蔵穴・エレベーション

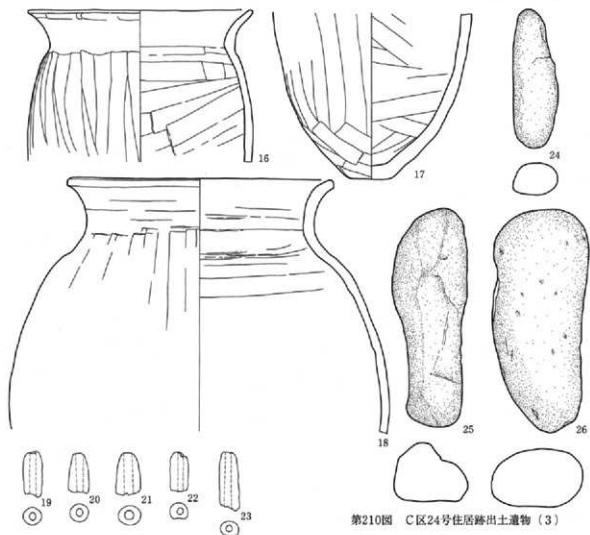


第208図 C区24号住居跡出土遺物 (1)

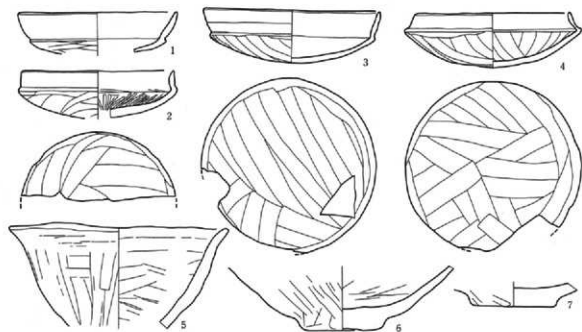
第3章 検出された遺構と遺物



第209図 C区24号住居跡出土遺物(2)

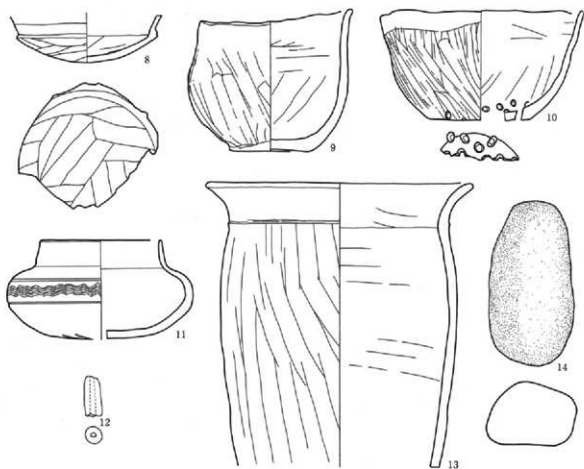


第210图 C区24号住居跡出土遺物(3)

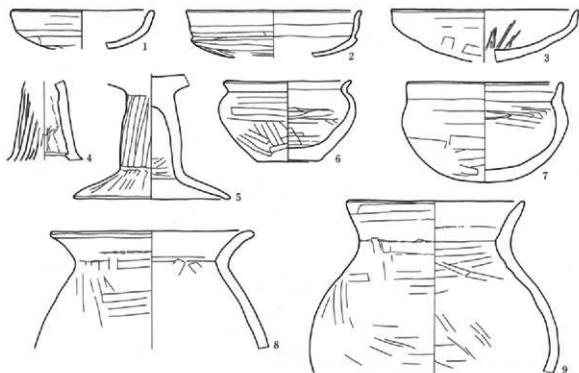


第211图 C区25号住居跡出土遺物(1)

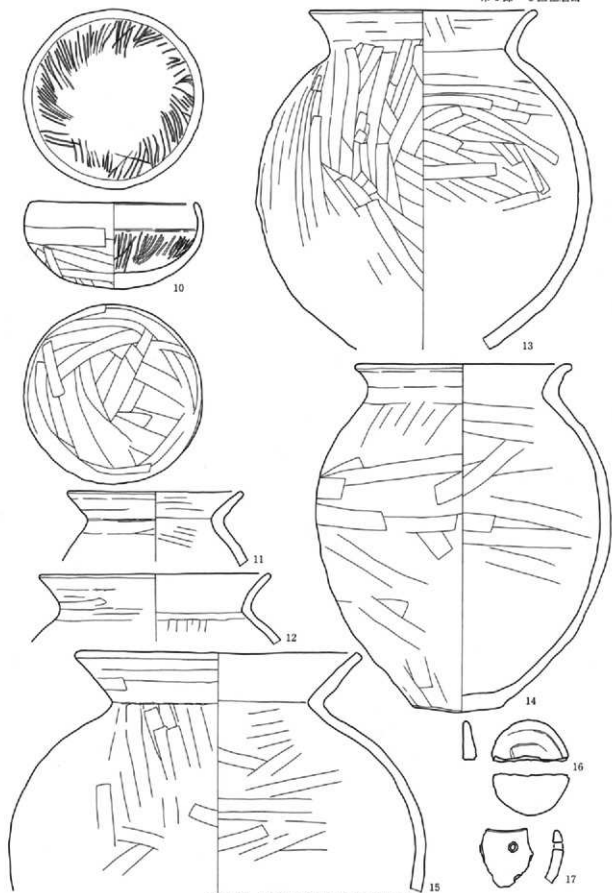
第3章 検出された遺構と遺物



第212図 C区25号住居跡出土遺物(2)

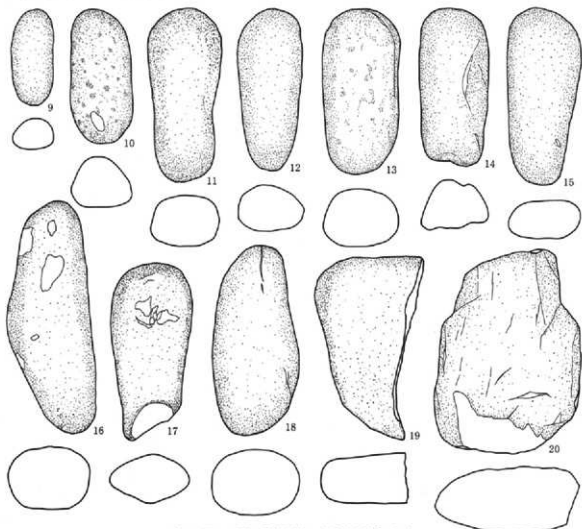


第213図 C区26号住居跡出土遺物(1)



第214图 C区26号住居跡出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物



第218図 C区27号住居跡・土坑出土遺物(3)

C区27号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	11 石	13.7	5.9	4 500 g
1	土砂	11.3	8	2.6	10YR7/4L・L・黄緑		12 石	12.8	5.2	3.7 300 g
2	土砂	11.6	7.1	2.4	7.5YR6/6黄		13 石	13.1	6	4.6 600 g
3	土砂	10.7	7.5	2.4	10YR7/4L・L・黄緑		14 石	12.5	5.5	3.8 380 g
4	土師器高杯				5YR4/6赤褐		15 石	14	5.8	2.9 350 g
5	石	13.9	11.2	5.2	1150 g		16 石	18.3	6.8	4.9 850 g
6	石	14.9	13.1	5.2	1450 g		17 石	13.9	6.5	3.8 460 g
7	石臼	29		7.5	1600 g		18 石	15	6.9	5.1 800 g
8	石皿	兼器17			1100 g		19 石	14.4	8.6	4 650 g
9	石	7.6	3.3	2.3	50 g		20 石	16	11.3	5.1 1250 g
10	石	10.6	4.8	4	230 g					

C区28号住居跡(第219・220図・P L 65・184)

C区南東部に位置し927～931・999～009の範囲にある他の遺構との関係は29・30号住居跡1・4号土坑と重複している。新旧関係は他の遺構より28号住居跡が古い。南側の大半は遺跡調査区域外に延びている。平面形態、主軸方位、規模は不明である。東西幅は8.7mを測り、壁高は36～94cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴、竈は確認されていない。西北隅に小穴を1基確認した。規模は78×62cm、深さ40cmを測る。出土遺物は土師器杯、内湾杯、甕等が出土している。

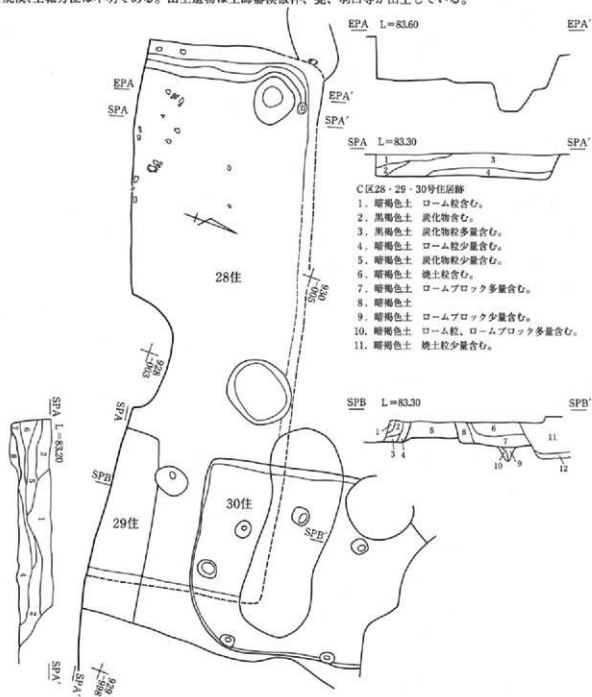
C区29号住居跡(第219・221図)

C区南東部に位置し928～929・999～002の範囲にある。他の遺構との関係は28号住居跡、24号溝と重複

する。新旧関係は28号住居跡より新しく、24号溝より古い。平面形態、規模、主軸方位は不明である。出土遺物は土師器模倣杯、甕等が出土した。

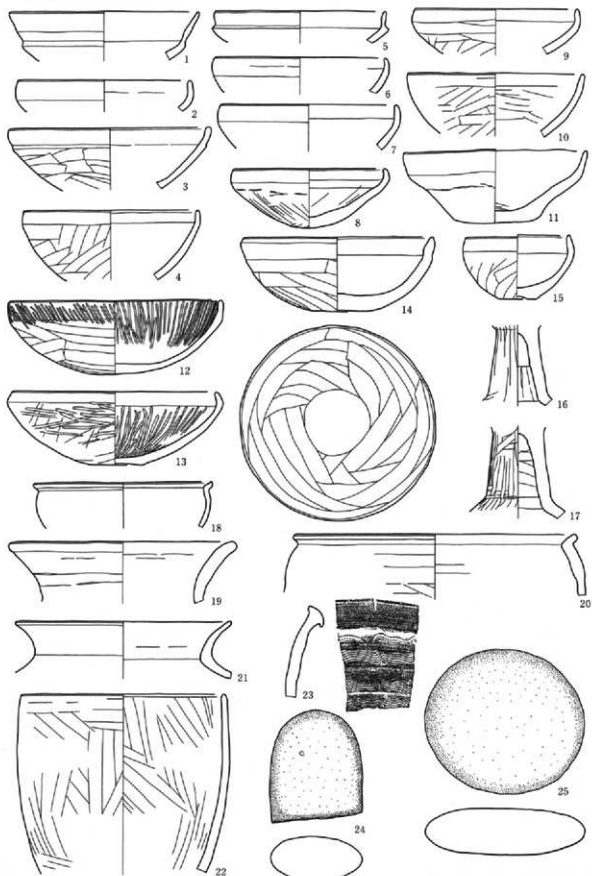
C区30号住居跡 (第219・222図・P L66・185)

C区南東部に位置し929～931・999～001の範囲にある。他の遺構との関係は28号住居跡、57号住居跡、1号土坑、24号土坑と重複している。新旧関係は28号住居跡より新しく、他の遺構より古い。平面形態、規模、主軸方位は不明である。出土遺物は土師器模倣杯、甕、羽口等が出土している。

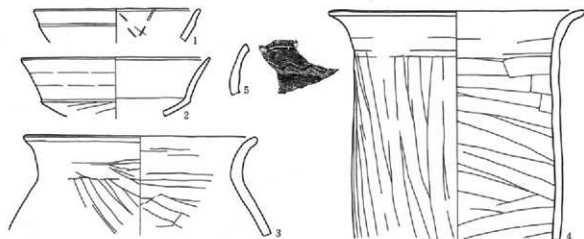


第219図 C区28～30号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物



第220图 C区28号住居跡出土遺物



第221圖 C区29号住居跡出土遺物



第222圖 C区30号住居跡出土遺物

C区28号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	13			5YR5.6明赤陶	13 土師器杯 16 5.8 2.5YR4/41.2赤~赤陶
2	土師器杯	13.6			7.5YR5.6明赤	14 土師器鉢 15 5 5.9 2.5YR5/41.2赤~赤陶
3	土師器杯	16			2.5YR4.6赤陶	15 土師器鉢 6.2 3.2 5 5YR6.6黄
4	土師器杯	13.8			10YR6/41.2赤~黄陶	16 土師器高杯 5YR4/41.2赤~赤陶
5	土師器杯	13.5			5YR4.7赤陶	17 土師器高杯 2.5YR4.6赤陶
6	土師器杯	13.6			5YR6.6黄	18 土師器杯 14 5YR5.6明赤陶
7	土師器杯	14			7.5YR6/41.2赤~黄	19 土師器鉢 17.5 10YR7/31.2赤~黄橙
8	土師器杯	12	4.7		7.5YR5/41.2赤~黄	20 土師器鉢 21.8 10YR7/41.2赤~黄橙
9	土師器杯	13			5YR4.6赤陶	21 土師器鉢 17 5YR5.6明赤陶
10	土師器杯	14			10YR6/41.2赤~黄陶	22 土師器鉢 16 5YR5.6明赤陶
11	土師器鉢	14.3		5.8	7.5Y6.6黄	23 煎室器蓋 7.5YR3/1黑陶
12	土師器鉢	16.5		5.8	5YR5.6明赤陶	24 瓦 8.7 7.3 3.5 300g
						25 瓦 11.4 12.5 3.7 690g

C区29号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	13			7.5YR6/31.2赤~黄	3 土師器鉢 18.4 7.5YR6/41.2赤~黄
2	土師器杯	14.8			7.5YR5/41.2赤~黄	4 土師器鉢 20 10YR7/31.2赤~黄橙
						5 煎室器蓋 2.5Y7/3浅黄

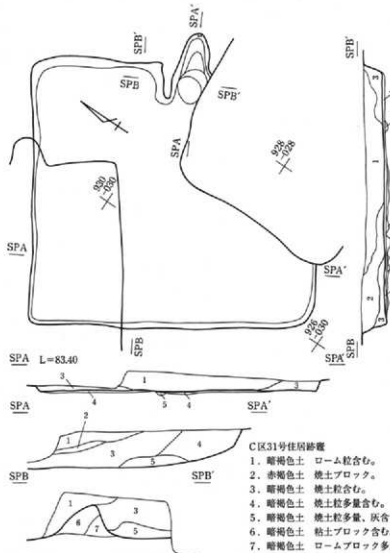
第3章 検出された遺構と遺物

C区30号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	9	土師器表	13			
1	土師器杯	12			7.5YR5/3に灰い陶		10	土師器表	17			10YR7/3に灰い黄緑
2	土師器杯	13			7.5YR6/6陶		11	土師器表	14.2			5YR5/4に灰い赤褐
3	土師器杯	13			7.5YR4/1黒灰		12	土師器表		7.2		10YR6/4に灰い黄緑
4	土師器杯	13			7.5YR3/3黒陶		13	須恵器表				5YR5/6明赤褐
5	土師器杯	12.8			7.5YR5/4に灰い陶		14	羽口	6.5	4.5	3	10YR3/1黒陶
6	土師器杯	13.4			5YR5/6明赤褐		15	土器粘土塊				5YR4/4に灰い赤褐
7	土師器杯	14			10YR6/3に灰い黄緑		16	土器粘土塊				7.5YR6/4に灰い黄
8	土師器表	12			5YR5/4に灰い赤褐							

C区31号住居跡 (第223・224図・P.L67)

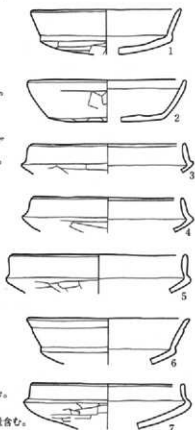
C区西部に位置し926～932・027～032の範囲にある。他の遺構との関係は東部で20号住居跡、西部で11号住居跡と重複している。新旧関係は他の2軒より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.52m、短軸4.26mを測る。主軸方位はN-32°-Eを指し、壁高は8～36cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に検出された。規模は焚き口幅50cm、長さ115cmを測る。掘り方面には中央部に暗色帯探掘坑と思われる小穴が確認されている。平面形態はほぼ円形で規模は径120cm、深さ30cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯が出土している。



第223図 C区31号住居跡・竈

C区31号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
2. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
3. 褐色土 ローム粒多量含む。
4. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
5. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。



C区31号住居跡竈

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 赤褐色土 焼土ブロック。
3. 暗褐色土 焼土粒含む。
4. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
5. 暗褐色土 焼土粒多量、灰含む。
6. 暗褐色土 粘土ブロック含む。
7. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。

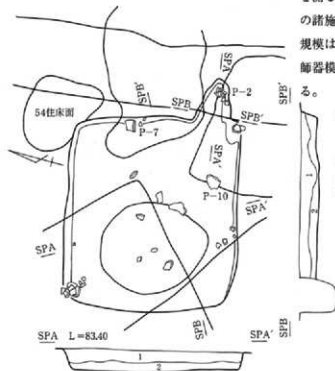
第224図 C区31号住居跡出土遺物

C区31号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	4	土師器杯	11.6		10YR6/6橙	
1	土師器杯	11.7		3.6	7.5YR6/6橙		5	土師器杯	13.6		10YR8/4浅黄橙	
2	土師器杯	12.4		3.3	7.5YR6/4(赤い)橙		6	土師器杯	12.8		5Y3/1(青い)黄	
3	土師器杯	12.2			7.5YR6/6橙		7	土師器杯	12		7.5YR6/4(赤い)橙	

C区32号住居跡 (第225～227図・P L 68・69・185)

C区西部に位置し933・934・016～020の範囲にある。他の遺構との関係は東部で1号溝、西半部では31号・33号住居跡と重複している。新旧関係は当32号住居跡が1号溝、31・33号住居跡より新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸3.02m、短軸2.7mを測る。主軸方位はN-79°-Eを指し、壁高は26～32cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅50cm、長さ70cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕、須恵器杯、椀、羽釜等が出土している。



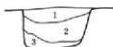
C区32号住居跡

1. 黒褐色土
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。

C区54号住居跡 (第225・228図・P L 200)

C区西部に位置し934・935・017の範囲にある。床面の存在を確認したのみである。出土遺物は須恵器長頸壺が出土している。

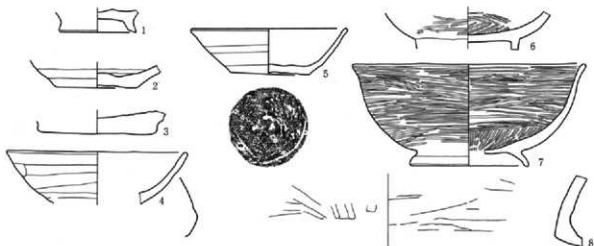
SPA SPA'



C区32号住居跡竈

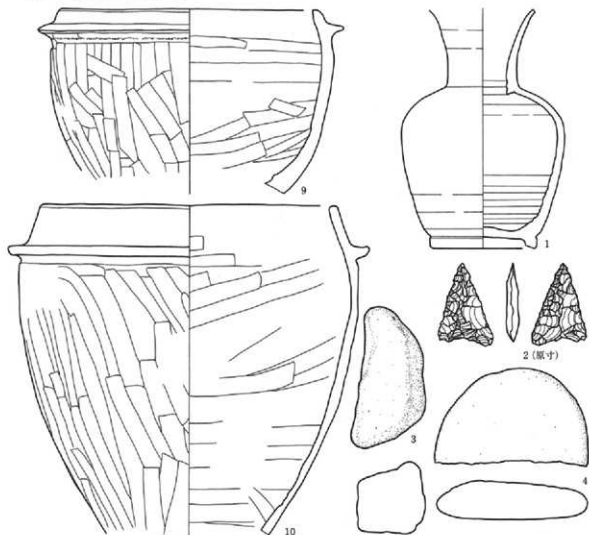
1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒含む。
3. 赤褐色土 焼土粒多量含む。

第225図 C区32・54号住居跡



第226図 C区32号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第227図 C区32号住居跡出土遺物(2)

第228図 C区54号住居跡出土遺物

C区32号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	須恵器甕		6		10YR6/3にふい黄褐色	6 土師器甕 10YR8/4浅黄褐色
2	須恵器杯	6.2			2.5Y7/3浅黄	7 土師器甕 18.2 9.2 8.1 2.5YR5/6明赤褐色
3	土師器甕	9.2			5YR6/6暗	8 須恵器甕 7.5Y6/1灰
4	土師器筒	14			5YR5/6明赤褐色	9 羽釜 20.3 10YR4/2灰黄褐色
5	須恵器杯	12.2	6.2	3.7	5Y5/1灰	10 羽釜 23.2 7.5Y4/4暗

C区54号住居跡出土遺物

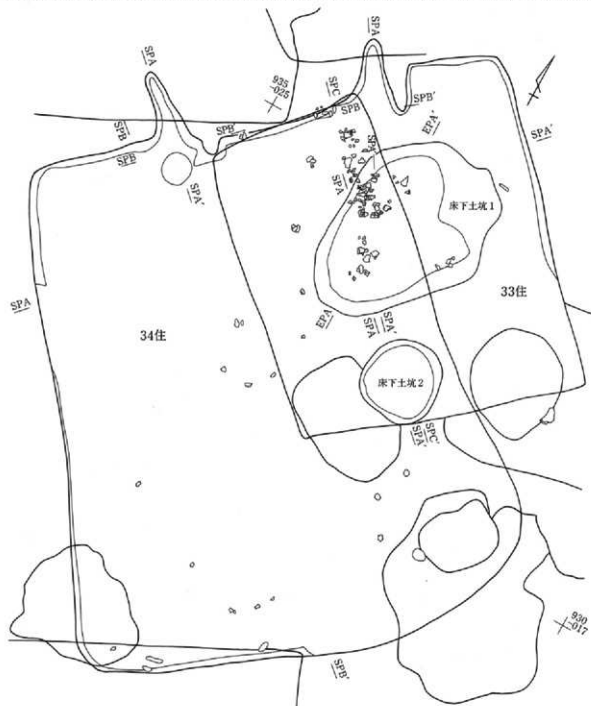
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	須恵器片断		8.2		2.5Y5/2暗灰黄	3 石 11.2 5.9 5.7 500g
2	黒曜石	2.2	1.4	0.3	0.7g	4 石 7.8 12.1 3.1 370g

C区33号住居跡 (第229～234図・P L 70・185)

C区西部に位置し930～937・018～025の範囲にある。他の遺構との関係は21・32・34号住居跡と重複している。新旧関係は34号住居跡より新しく、21・32号住居跡より古い。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸5.5m、短軸4.9mを測る。主軸方位はN-42°-Wを指し、壁高は20～30cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は西北壁に確認された。規模は焚き口幅72cm、長さ108cmを測る。掘り方面には2基の床下土坑が確認された。暗色帯採掘坑と考えられる。各々の規模は1、328×238cm、深さ52cm、2、径120cm、深さ39cmを測る。出土遺物は土師器模倣椀、甕、壺、須恵器盤等が出土している。

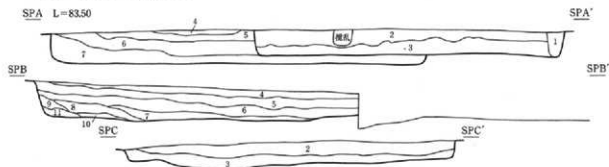
C区34号住居跡 (第229・230・235・236図・P L71・185・186)

C区西部に位置し926～934・017～028の範囲にある。他の遺構との関係は北東部では33号住居跡、南西部では22号住居跡、西北部で36号住居跡と重複している。新旧関係は33号住居跡より旧く、22・36号住居跡より新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸9.02m、短軸7.4mを測る。主軸方位はN-47°-Wを指し、壁高は20～52cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は西北壁に確認された。規模は焚き口幅48cm、長さ116cmを測る。掘り方面には暗色帯土採掘の床下土坑が確認された。規模は292×220cm、深さ32cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕、壺、高杯等が出土し



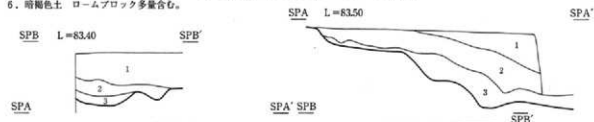
第229図 C区33・34号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物



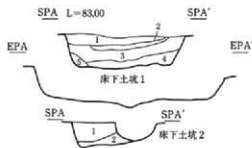
C区33・34号住居跡

- | | |
|----------------------|-----------------------------|
| 1. 暗褐色土 炭化物粒含む。 | 7. 暗褐色土 ロームブロック含む。 |
| 2. 暗褐色土 ローム粒含む。 | 8. 暗褐色土 炭化物粒少量含む。 |
| 3. 暗褐色土 ローム粒多量含む。 | 9. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒含む。 |
| 4. 黒褐色土 白色軽石含む。 | 10. 暗褐色土 焼土粒少量、ロームブロック多量含む。 |
| 5. 黒褐色土 ローム粒含む。 | 11. 暗褐色土 焼土粒少量、ロームブロック含む。 |
| 6. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。 | |



C区33号住居跡竈

1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒含む。
3. 暗褐色土 焼土粒多量、灰を含む。



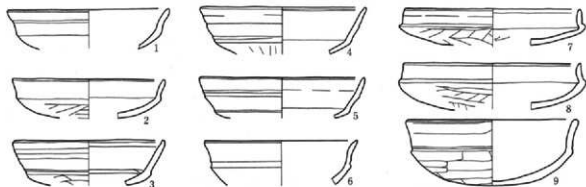
C区34号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒少量含む。
3. 赤褐色土 焼土粒多量含む。
4. 暗褐色土 焼土粒含む。
5. 暗褐色土 焼土粒、ロームブロック多量含む。

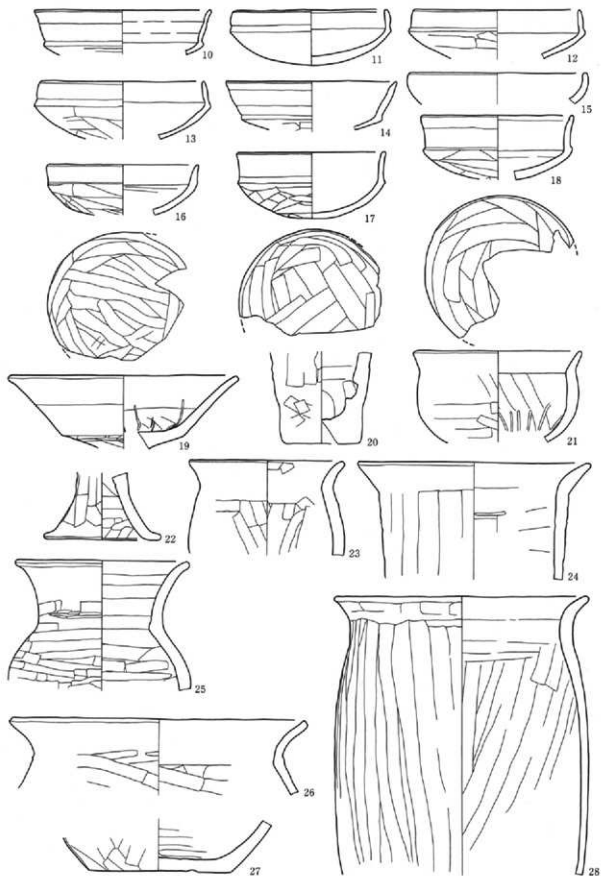
C区33号住居跡床下土坑1・2

1. 黒褐色土 焼土粒含む。
2. 黒褐色土 灰、焼土多量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒少量、ロームブロック多量含む。
4. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。
5. 黒褐色土 暗色帯ロームブロック多量含む。

第230図 C区33・34号住居跡・竈・床下土坑

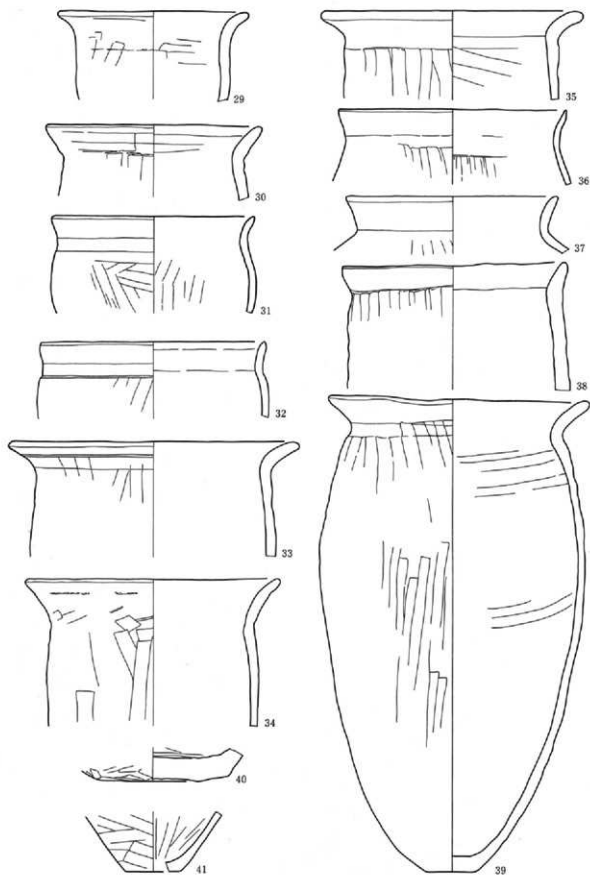


第231図 C区33号住居跡出土遺物(1)

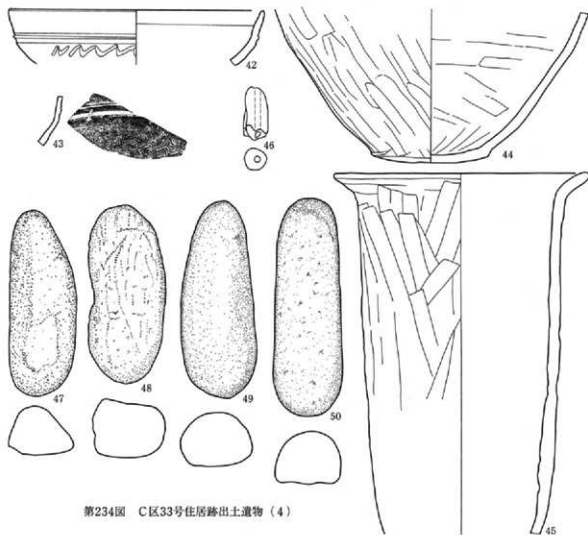


第232图 C区33号住居跡出土遺物(2)

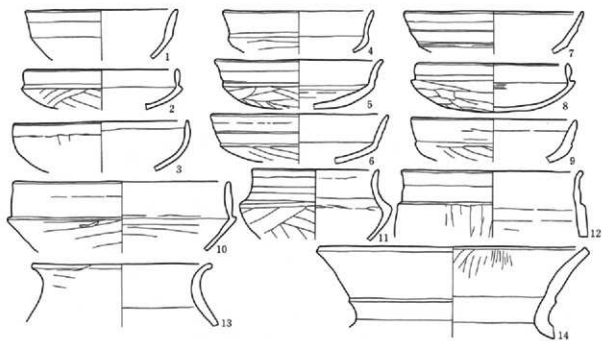
第3章 検出された遺構と遺物



第233図 C区33号住居跡出土遺物（3）



第234图 C区33号住居跡出土遺物(4)



第235图 C区34号住居跡出土遺物(1)

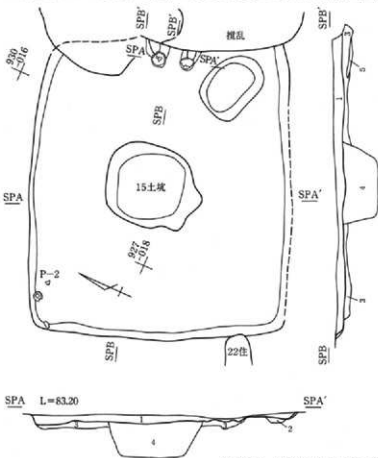
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	45	土師器	20.1		
40	土師器		7		7.5YR5/4C・赤・黒		46	土師	4.2	1.8	0.4
41	土師器		4.2		7.5YR5/6暗黒		47	石	14.6	5.3	3.9
42	須恵器	Φ0.2			5Y3/1オリーブ黒		48	石	14.1	6.2	4.5
43	須恵器高杯				5Y6/1R		49	石	16.5	6	4.3
44	土師器		9.2		10YR7/3Cに赤・黄褐色		50	石	17.2	5.4	4.2

C区34号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	14	土師器	21		
1	土師器杯	13			7.5YR6/6橙		15	土師器	13		7.5YR6/6橙
2	土師器杯	12			10YR3/2黒		16	土師器	16.8		10YR6/4Cに赤・黄褐色
3	土師器杯	13.8			5YR5/4Cに赤・赤黒		17	土師器	17		10YR7/4Cに赤・黄褐色
4	土師器杯	11.8			7.5YR7/4Cに赤・橙		18	土師	5.1	1.6	0.3
5	土師器杯	13.2			5YR6/6橙		19	石	14.8	8.2	2.5
6	土師器杯	14			10YR7/4Cに赤・黄褐色		20	石	15.8	6	4.4
7	土師器杯	14			7.5YR5/4Cに赤・黒		21	石	15.1	7.7	4.7
8	土師器杯	12	3.8		7.5YR3/1黒		22	石	7.3	6.4	2.8
9	土師器杯	13			7.5YR6/6橙		23	石	21.3	5.8	6.4
10	土師器杯	17			7.5YR4/2灰黒		24	石	20.4	15.4	4.2
11	土師器杯	10			7.5YR7/6橙		25	石	7.1	9.6	2.1
12	土師器	14			5YR5/4Cに赤・赤黒		26	黒曜石	1.4	2.3	0.3
13	土師器	14			7.5YR6/6橙						1.2

C区35号住居跡 (第237・238回・P L72・186・200)

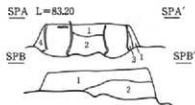
C区南西部に位置し924~929・014~019の範囲にある。他の遺構との関係は南西部で22号住居跡、東部では掘乱により竈が壊されている。また暗色帯土探掘坑と思われる土坑が確認された。新旧関係は探掘坑より新しく、22号住居跡より新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸4.76m、短軸4.2mを測る。主軸方位はN-68°-Eを指し、壁高は10~16cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、柱穴等の諸施設は検出されていない。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は106×78cm、深さ24cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅24cmを測り、東半部は掘乱により壊されている。竈の両袖には長巻が設置されていた。巻の1個体は紛失してしまった。掘り方面には中央部に暗色帯土の探掘坑が確認された。



覆土から土坑は一括して埋められており住居跡構築時に掘りこまれた可能性がある。平面形態は楕円形を呈し、規模は80×68cm、深さ38cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕等が出土している。

C区35号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
2. 暗褐色土 ロームブロック少量含む。
3. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
4. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
5. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒含む。

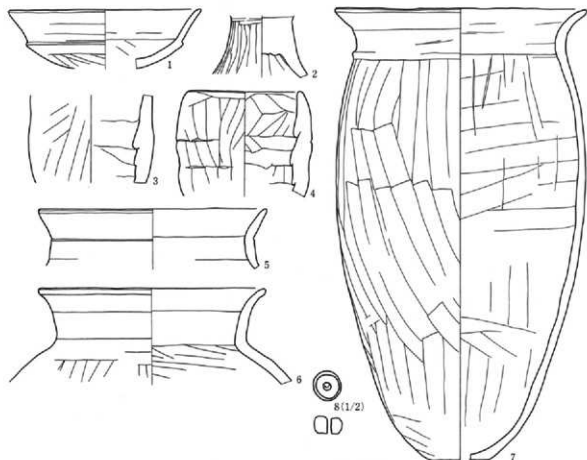


C区35号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 赤褐色土 焼土粒多量含む。
3. 暗褐色土 竈袖材に用いた暗色帯土。
4. 暗褐色土 焼土粒、ロームブロック多量含む。

第237回 C区35号住居跡・竈

第3章 検出された遺構と遺物



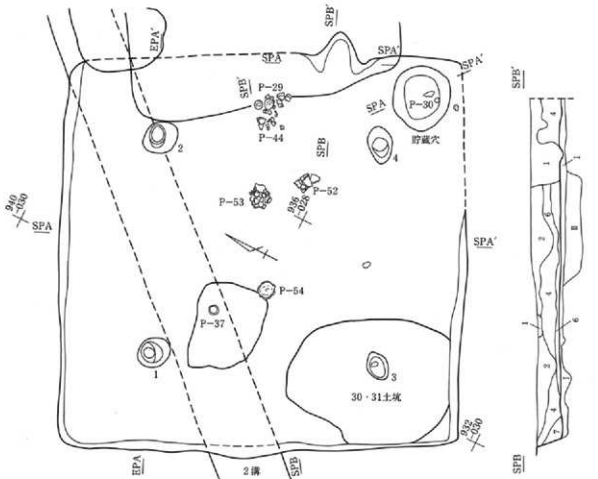
第238図 C区35号住居跡出土遺物

C区35号住居跡出土遺物

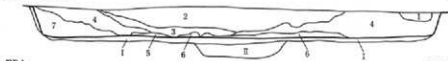
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	5	土師器	18		7.5YR5/4に赤・黄	
1	土師器杯	15			5YR5/6明赤陶		6	土師器	17.8		7.5YR5/4に赤・黄	
2	土師器高杯				10YR8/4に赤・黄橙		7	土師器	19.8	4.8	35.5	10YR6/4に赤・黄橙
3	土師器片形土器				5YR5/6明赤陶		8	玉	0.8	0.8	0.5	
4	土師器片形土器				5YR5/4に赤・赤陶							

C区36号住居跡 (第239~244図・P L59・60・186・187)

C区西部に位置し932~941・024~032の範囲にある。他の遺構との関係は東部で21号住居跡、北部では2号溝と重複している。新旧関係は21号住居跡、2号溝より古い。整理時の検討により30・31土坑は床下土坑、2・71号土坑は36号住居跡より新しいと考えられる。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.44m、短軸3.18mを測る。主軸方位はN-62°-Eを指し、壁高は36~38cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は確認されていない。柱穴は4基確認され、各々の規模は1、54×48cm、深さ72cm、2、56×50cm、深さ70cm、3、46×34cm、深さ54cm、4、60×38cm、深さ28cmを測る。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は106×92cm、深さ58cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅50cm、長さ68cmを測る。掘り方面の西北隅と南東隅はおおきく掘り込まれ、中央部にも楕円形の暗色帯土の探堀坑が確認されている。中央部の床下土坑は楕円形を呈し、規模は125×95cm、深さ35cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕、瓶が出土している。



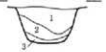
SPA L=83.60



EPA



EPA' SPA L=83.10 SPA'



C区36号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
3. 暗褐色土

C区36号住居跡

1. 暗褐色土 軽石含む。
2. 暗褐色土 ローム粒含む。
3. 黒褐色土 炭化物粒多量含む。
4. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
5. 黒褐色土 炭化物粒少量含む。
6. 暗褐色土 ローム粒少量含む。
7. 黄褐色土 ローム粒多量含む。

掘り方

- I. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
- II. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。

SPA L=83.20



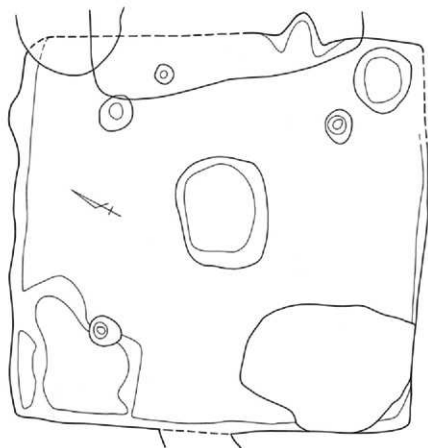
SPB



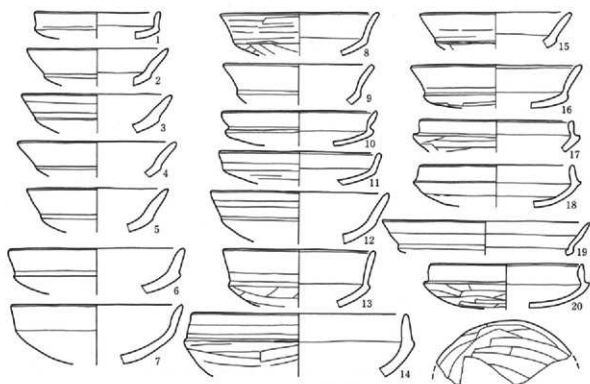
C区36号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒含む。
2. 赤褐色土 焼土粒多量、灰を含む。
3. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
4. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。

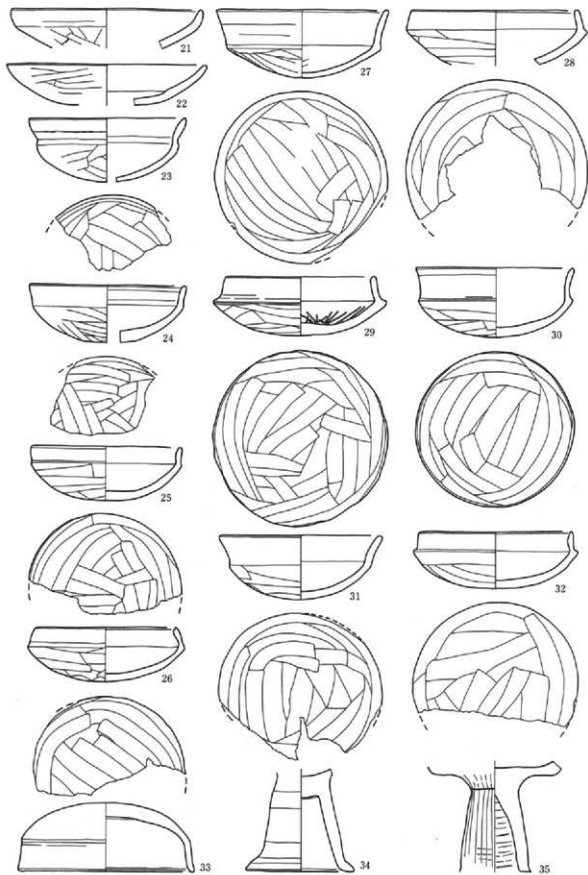
第239図 C区36号住居跡・竈



第240図 C区36号住居跡掘り方

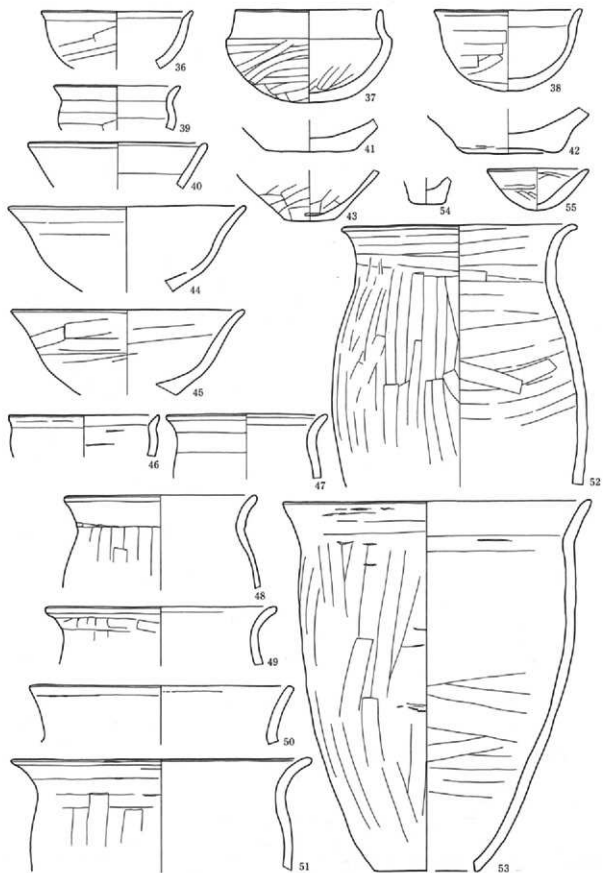


第241図 C区36号住居跡出土遺物(1)

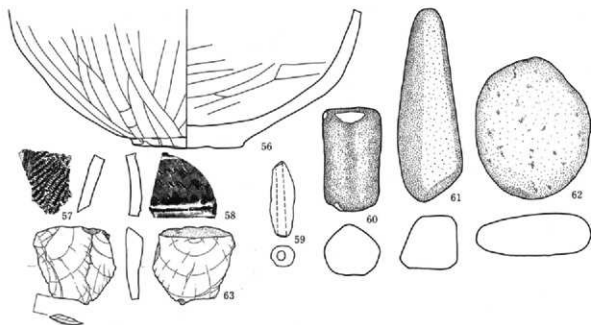


第242图 C区36号住居跡出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物



第243図 C区36号住居跡出土遺物(3)



第244図 C区36号住居跡出土遺物(4)

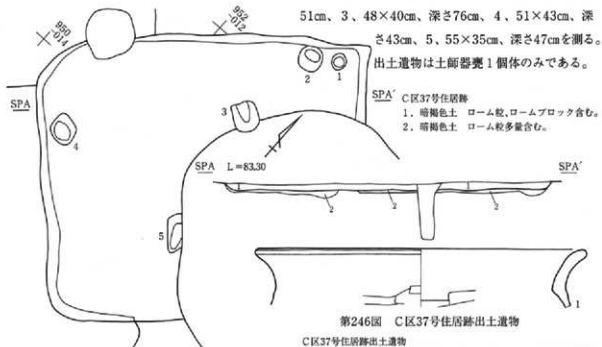
C区36号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	32	土師器杯	12.1	4.4	10YR4/3に赤・黄褐色
1	土師器杯	10			7.5YR7/3に赤い橙		33	須恵器蓋	13.8	5.4	10YR6/1褐色
2	土師器杯	11.2			5YR4/3に赤・赤褐色		34	土師器高杯	8.6		5YR6/8橙
3	土師器杯	11.9			5YR5/8明赤褐色		35	土師器高杯			5YR5/6明赤褐色
4	土師器杯	12.5			5YR5/8明赤褐色		36	土師器杯	12		5YR6/6橙
5	土師器杯	11.2			5YR5/8明赤褐色		37	土師器鉢	11.5	7.2	10YR7/4に赤・黄褐色
6	土師器杯	13.9			10YR7/4に赤・黄褐色		38	土師器杯	11.6	6.3	7.5YR4/3褐色
7	土師器杯	13.5			5YR6/6橙		39	土師器小型甕	10		5YR5/8明赤褐色
8	土師器杯	12.6			5YR6/6橙		40	土師器埴	14.1		5YR6/6橙
9	土師器杯	11.8			5YR6/6橙		41	土師器甕		7	7.5YR6/4に赤い橙
10	土師器杯	12.2			7.5YR3/3暗褐色		42	土師器甕		7.2	10YR8/3浅黄褐色
11	土師器杯	12.8			2.5YR4/3に赤・赤褐色		43	土師器甕		4.1	10YR5/4に赤・黄褐色
12	土師器杯	14			5YR6/6橙		44	土師器高杯	18.8		2.5YR5/6明赤褐色
13	土師器杯	12			7.5YR6/6橙		45	土師器高杯	18.4		2.5YR5/6明赤褐色
14	土師器杯	17			5YR6/6橙		46	土師器杯	12.8		5YR5/6明赤褐色
15	土師器杯	12			5YR5/8明赤褐色		47	土師器甕	12.7		5YR5/6明赤褐色
16	土師器杯	13.4			5YR6/6橙		48	土師器甕	15		7.5YR7/4に赤い橙
17	土師器杯	12			7.5YR3/4暗褐色		49	土師器甕	18.3		10YR6/4に赤・黄褐色
18	土師器杯	12			7.5YR5/4に赤い褐色		50	土師器甕	20.8		7.5YR7/4に赤い橙
19	土師器杯	16.2			5YR6/6橙		51	土師器甕	23.6		10YR7/2に赤・黄褐色
20	土師器杯	12			5YR4/1褐色		52	土師器甕	18.5		10YR7/4に赤・黄褐色
21	土師器杯	15			7.5YR6/4に赤い橙		53	土師器甕	24.2	8.2	29 7.5YR5/6明赤褐色
22	土師器杯	15.7			5YR4/6赤褐色		54	手捏		2.7	2.5YR4/6赤褐色
23	土師器杯	12.4			5YR5/6明赤褐色		55	手捏	8		5YR4/4に赤・赤褐色
24	土師器杯	12.4			5YR5/6明赤褐色		56	土師器甕		8.5	10YR7/4に赤・黄褐色
25	土師器杯	11.8			5YR5/4に赤い褐色		57	縄文			10YR7/4に赤・黄褐色
26	土師器杯	11			7.5YR5/4に赤い褐色		58	須恵器甕			5Y5/1灰
27	土師器杯	13.6	5.3		7.5YR6/6橙		59	土師	5.9	2	0.6 10YR2/3黒褐色
28	土師器杯	13.2			7.5YR6/4に赤い橙		60	石	18.1	4.6	0.4 190g
29	土師器杯	11.9	4.6		5YR5/2灰黄褐色		61	石	18.2	5	4.2 450g
30	土師器杯	12.4	5.5		5YR6/6橙		62	石	10.2	9	3.2 500g
31	土師器杯	12.9	5.1		5YR6/6橙		63	石	6.1	6.5	1.3 52g

C区37号住居跡(第245・246図・P.L73)

C区北東部に位置し948~954・008~013の範囲にある。他の遺構との関係は西部で13号住居跡、南西部では4・55号住居跡、東部では1号井戸と重複している。新旧関係は4号住居跡より新しく、13・55号住居跡、1号井戸より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸5.4m、短軸4.62mを測る。長軸の主軸方位はN-47°-Eを指し、壁高は14~21cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、壁周溝、柱穴、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていないが、小穴が5基確認された。各々の規模は1、28×24cm、深さ17cm、2、径40cm、深さ

第3章 検出された遺構と遺物



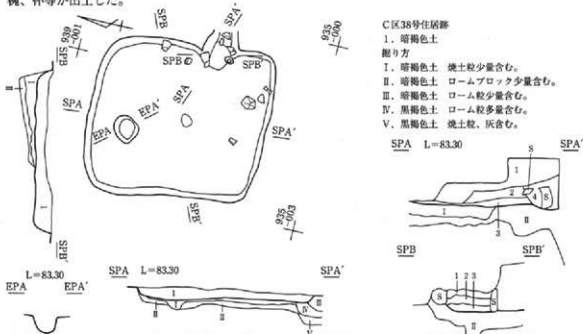
C区37号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器壺	26			10YR3/2黒褐	

第245図 C区37号住居跡

C区38号住居跡 (第247・248図・P L74・187・200)

C区東部に位置し935・000～002の範囲にある。他の遺構との関係は41～43号土坑と重なって重複している。新旧関係は住居跡が新しい。41～43号土坑は暗褐色土探掘坑と考えられる。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.37m、短軸2.7mを測る。主軸方位はN-84°-Eを指し、壁高は13～20cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴、柱穴等の諸施設は検出されていない。竈は東壁に確認された。煙道部は攪乱により壊されており、規模は不明であるが焚き口幅は27cmを測る。出土遺物は土師器椀、杯、須恵器壺、椀、杯等が出土した。



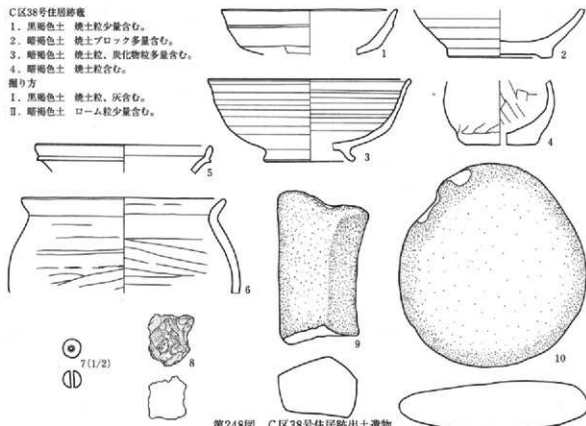
第247図 C区38号住居跡・竈

C区38号住居跡

1. 黒褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土ブロック多量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒多量含む。
4. 暗褐色土 焼土粒含む。

掘り方

1. 黒褐色土 焼土粒、灰含む。
2. 暗褐色土 ローム粒少量含む。



第248図 C区38号住居跡出土遺物

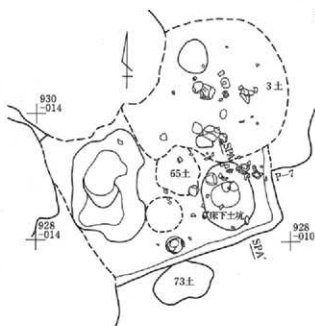
C区38号住居跡出土遺物

番号	器 種	口径	底径	器高	色 調	備考	6	土師器要	16	7.5YR6/6橙
1	土師器杯	14			10YR6/4に灰・黄橙		7	玉	0.9	0.2
2	灰煎器碗		8		10YR7/4に灰・黄橙		8	鉄塊	4	3.6 3.4
3	灰煎器碗	16	7	6.5	10YR2/1黒		9	鉄石	12	7.3 4.8 450g
4	土師器要		5.4		5YR5/4に灰・赤褐		10	石	16	14.8 3.8 1300g
5	灰煎器要	14			5Y6/1灰					

C区39号住居跡

(第249～252図・P.L75・187・200)

C区南西部に位置し927～931・010～014の範囲にある。調査前は屋敷林にあり、根攪乱が激しく調査直前のトレンチにより一部壊されたが、床面の一部と床面が焼けた部分を確認した。北部に当たる部分は3号土坑としたが他の住居跡の掘り方面で確認できる暗色帯土の採掘坑である。周辺からは羽口片、鉄滓、チップが多量に出土し、小鍛冶の可能性が高い。後段の3号土坑で詳細を報告する。住居跡の規模や主軸等は不明である。床下土坑は規模110×80cm、深さ80cmを測り、他の土坑同様採掘坑である。出土遺物は土師器杯、壺、羽口等が出土している。



第249図 C区39号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物

SPA L=83.30

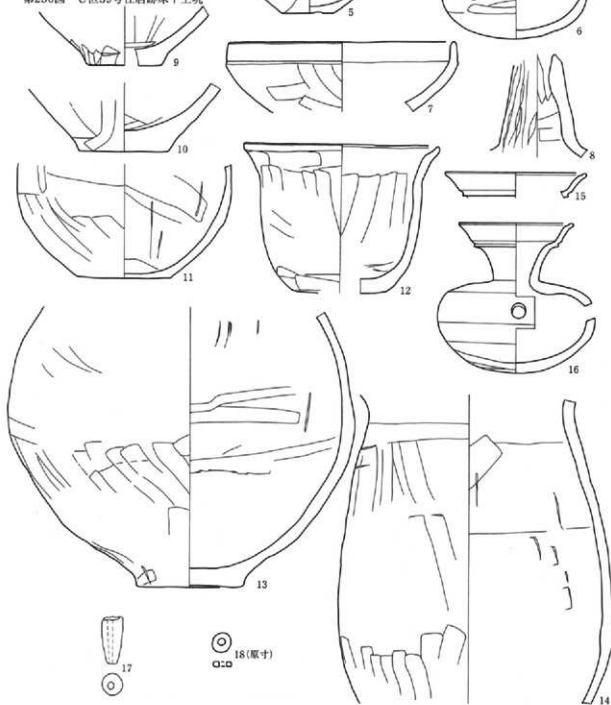
SPA'



C区39号住居跡床下土坑

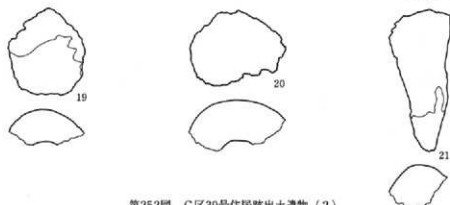
1. 黄褐色土 ローム粒含む。
2. 黒褐色土 ローム粒少量含む。
3. 黒褐色土
4. 黄褐色土

第250図 C区39号住居跡床下土坑



第251図 C区39号住居跡出土遺物 (1)

第1節 C区住居跡



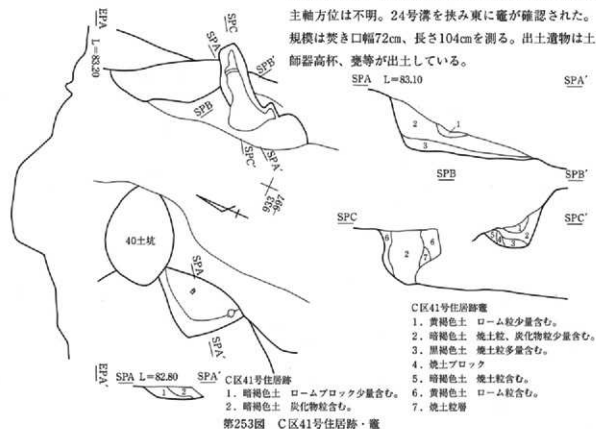
第252図 C区39号住居跡出土遺物(2)

C区39号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	11	土師器	7.4	5YR7/6橙		
1	土師器杯	12.3			5YR5/4に灰い赤地		12	土師器	15.2	7.4	11.7	10YR5/6赤
2	土師器杯	13.6			5YR6/6橙		13	土師器		8.4		7.5YR7/4に灰い橙
3	土師器杯	13.2		3.6	7.5YR7/6橙		14	土師器				5YR6/6橙
4	土師器杯	12			7.5YR6/6橙		15	須恵器杯	11			N3/0暗灰
5	土師器杯	9.2	4.1	4.2	2.5YR4/8赤褐色		16	須恵器	8.8		11.8	7.5Y5/1灰
6	土師器杯	11.8		5.9	2.5YR6/8橙		17	土師	3.8	1.6	0.5	10YR5/3Cに灰い黄褐色
7	土師器杯	17.6			2.5YR4/8赤褐色		18	白土	0.4	0.15	0.2	
8	土師器高杯				2.5YR5/1赤灰		19	頸口	6.9	6	2.8	
9	土師器			6	2.5YR6/6橙		20	頸口	6	7.6	4	
10	土師器			6.5	7.5YR6/3Cに灰い地		21	頸口	11.1	4.8	3.4	

C区41号住居跡(第253・254図・P.L76)

C区東部に位置し932~934・098~000の範囲にある。他の遺構との関係は西部を57号住居跡、西北部は40号土坑、中央部を南北に24号溝と重複している。新旧関係は57号住居跡より新しく、24号溝より古い。(24号溝は館の掘) 平面形態は方形を呈すると思われ、規模、主軸方位は不明。24号溝を挟み東に竈が確認された。規模は突き口幅72cm、長さ104cmを測る。出土遺物は土師器高杯、甕等が出土している。



C区41号住居跡竈

1. 黄褐色土 ローム粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒少量含む。
3. 黒褐色土 焼土粒多量含む。
4. 焼土ブロック
5. 暗褐色土 焼土粒含む。
6. 黄褐色土 ローム粒含む。
7. 焼土粒層

第253図 C区41号住居跡・竈

第3章 検出された遺構と遺物



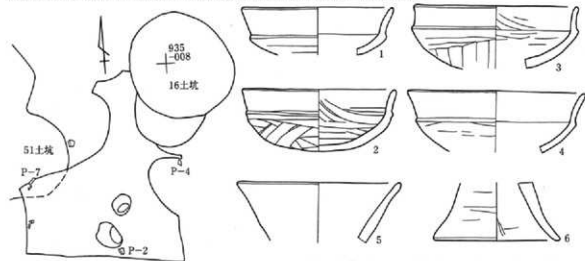
第254図 C区41号住居跡出土遺物

C区41号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	2	土師器			5YR5/4にふい赤褐色
1	土師器高杯				7.5YR6/6程度						

C区44号住居跡 (第255・256図・P L 188)

C区南部に位置し932~935・008~010の範囲にある。床面の一部を確認した。他の遺構との関係は16・51号土坑と重複している。新旧関係は51号土坑より新しく、16号土坑より古い。平面形態、主軸方位、規模等は不明である。出土遺物は土師器模倣椀、須恵器高杯等が出土している。



第255図 C区44号住居跡



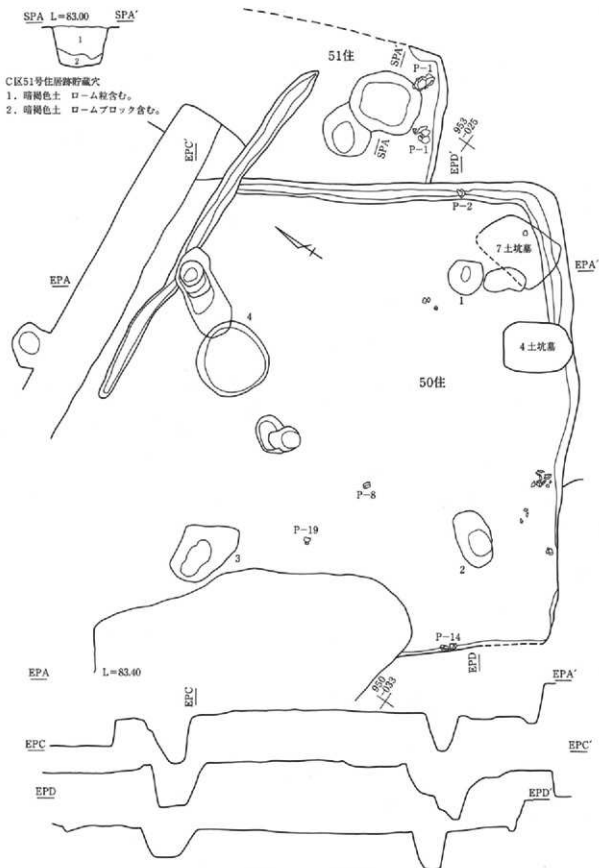
第256図 C区44号住居跡出土遺物

C区44号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	5	土師器	12.6		7.5YR4/6程度
1	土師器杯	12			5YR5/6明赤褐色		6	土師器器台		9.8	7.5YR6/4にふい黄
2	土師器杯	12		4.9	7.5YR6/6程度		7	土師器壺	21		10YR6/4にふい黄褐色
3	土師器杯	12.8			2.5YR3/6赤褐色		8	須恵器杯	16		5Y6/2灰ケリーブ
4	土師器杯	14			5YR5/6明赤褐色						

C区50号住居跡 (第257~259図・P L 77・78・188)

C区西北部に位置し949~956・025~032の範囲にある。他の遺構との関係は東部で51号住居跡と、南東部では4・7号土坑墓と重複する。新旧関係は50号住居跡が新しく、4・7号土坑墓より古い。住居跡



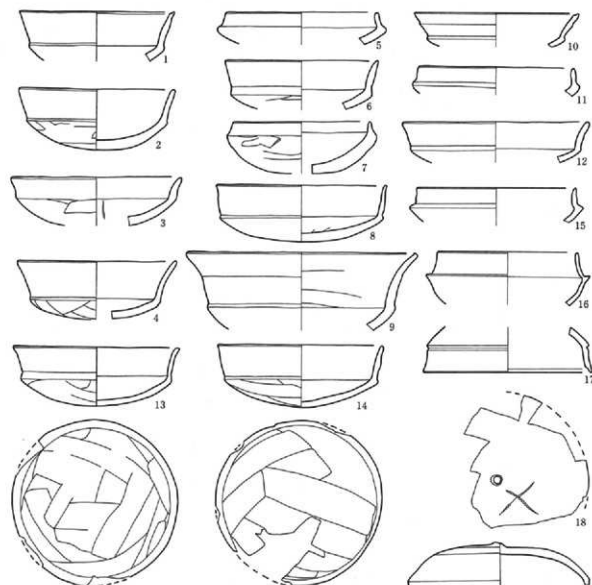
第257図 C区50・51号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物

の北部は現道があり、現道部は舗装のため比高50cm程度削平され、また道脇も斜めに地葉がなされていた。このため北側は明確にはできていない。平面形態は方形を呈すると思われ、規模は東西方向で約7.3mを測る。主軸方位は不明で、壁高は21~41cmを測る。床面はほぼ平坦をなし、東壁で周溝が確認された。規模は幅26~50cm、深さ11cmを測る。柱穴は4基が確認され多。各々の規模は1、101×80cm、深さ67cm、2、140×68cm、深さ80cm、3、56×54cm、深さ60cm、4、90×55cm、深さ44cmを測る。掘り方は暗色帯土の探掘痕が確認された。出土遺物は土器器模倣杯、甕、須恵器杯、壺等が出土している。

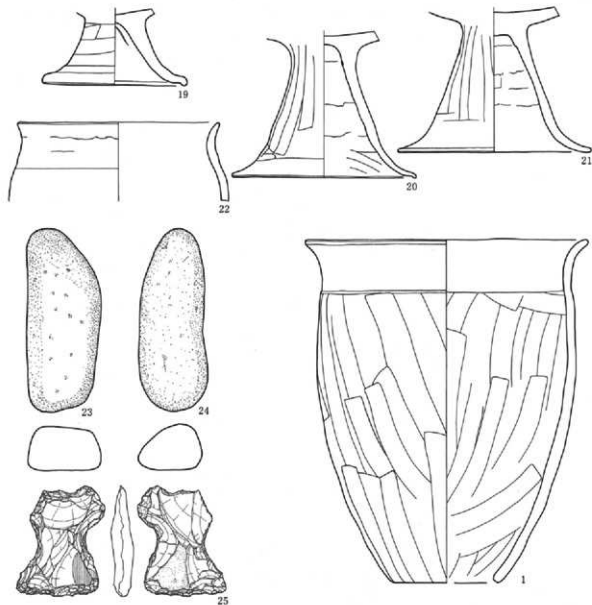
C区51号住居跡 (第257・260図・P L78)

C区西北部に位置し954~956・024~027の範囲にある。他の遺構との関係は西部で50号住居跡と重複している。新旧関係は51号住居跡が古い。北北部は現道部にあたり壊されている。このため北東部隅が確認され、壁高は最大31cmを測る。貯蔵穴が隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は112×95cm、深さ63cmを測る。出土遺物は甕が出土している。



第258図 C区50号住居跡出土遺物 (1)

第1節 C区住居跡



第259図 C区50号住居跡出土遺物(2)

第260図 C区51号住居跡出土遺物

C区50号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	12.1			2.5YR5/6明赤褐	13 土師器杯 13.8 4.7 5YR6/6橙
2	土師器杯	12	4.9		2.5YR5/8明赤褐	14 土師器杯 12.8 5 5YR6/6橙
3	土師器杯	13.3			10YR3/2黒褐	15 瓶底器杯 12.4 5Y6/2灰イリーブ
4	土師器杯	12.3	4.6		5YR6/8橙	16 瓶底器杯 10.9 N5/灰
5	土師器杯	11.8			5YR5/4C.灰赤褐	17 瓶底器蓋 13 5Y4/1灰
6	土師器杯	11.9			5YR6/6橙	18 瓶底器蓋 N5/灰
7	土師器杯	10.7			2.5YR5/8明赤褐	19 土師器高杯 11 2.5YR5/8明赤褐
8	土師器杯	13.2			5YR6/6橙	20 土師器高杯 14.3 5YR6/8橙
9	土師器杯	18			2.5YR5/6明赤褐	21 土師器高杯 15 2.5YR6/8橙
10	瓶底器杯	12.8			10YR3/1黒褐	22 土師器蓋 15.7 7.5YR5/4C.灰赤褐
11	土師器杯	12			5YR1.7/1黒	23 石 14.5 5.8 3.5 500g
12	土師器杯	14.6			2.5YR6/8橙	24 石 14.3 5.5 3.6 400g
						25 石片 8.7 7 1.8 90g

C区51号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器瓶	22	8	27	2.5YR5/8明赤褐	

C区53号住居跡(第261・262図・P.L.79)

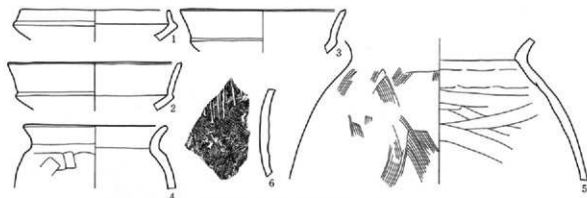
C区西北部に位置し944~951・033~037の範囲にある。他の遺構との重複はない。北部、西北部ともに

第3章 検出された遺構と遺物

現代の道や削平を受けている。このため南西隅の一部と貯蔵穴、2基の床下土坑を確認した。また東壁の一部に竈の痕跡と考えられる焼土を確認している。貯蔵穴は隅丸方形を呈し、101×93cm、深さ44cmを測る。床下土坑は1、164×115cm、深さ39cm、2、134×133cm、深さ38cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕が出土している。



第261図 C区53号住居跡・貯蔵穴・床下土坑



第262図 C区53号住居跡出土遺物

C区53号住居跡

番号	形種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	11.6			2.5YR4/8赤褐色	3 土師器杯 13 5YR6/8橙
2	土師器杯	13.5			7.5YR6/6橙	4 土師器甕 11 10YR7/3L赤・黄褐色
						5 土師器甕 6 5YR7/6橙
						6 土師器甕 10YR7/6黄褐色

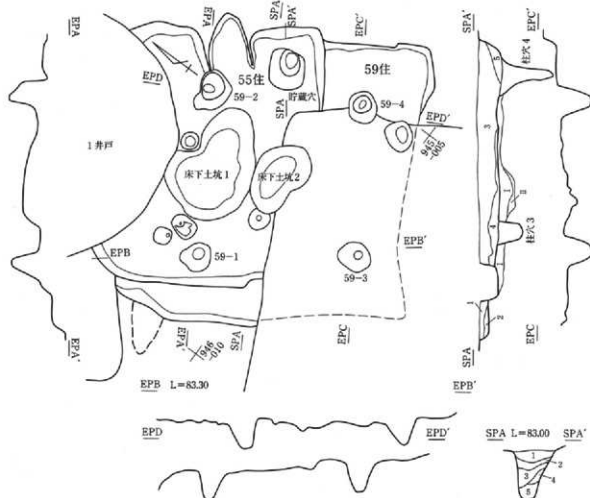
C区55号住居跡 (第263・264図・P L80・188)

C区北東部に位置し945~949・004~009の範囲にある。他の遺構との関係は南部で25・59号住居跡、北部では37号住居跡、1号井戸と重複している。新旧関係は25・37号住居跡、1号井戸より旧く、59号住居跡より新しい。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸4.4m、短軸3.4mを測る。主軸方位はN-60°-Eを指し、壁高は19~34cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝は確認されていない。貯蔵穴は南東隅に確認

された。平面形態は楕円形を呈し、規模は68×64cm、深さ80cmを測る。柱穴は3基確認された。各々の規模は1、径24cm、2、30×26cm、3、径35cm、深さ38cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕、須恵器高杯等が出土している。

C区59号住居跡 (第263・265図・P L80)

C区北東部に位置し944~948・004~010の範囲にある。他の遺構との関係は南西部で25号住居跡、北東部では55号住居跡、西北部で37号住居跡と重複している。新旧関係は59号住居跡が他の3軒の住居跡より古い。平面形態は方形と考えられ、規模は東西軸で4.84mを測る。主軸方位はN-32°-Eを測り、壁高は20~22cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、貯蔵穴は検出されていない。柱穴は4基確認された。各々の規模は1、径48cm、深さ47cm、2、65×50cm、深さ58cm、3、48×46cm、深さ41cm、4、50×48cm、深さ46cmを測る。竈は検出されていない。出土遺物は土師器模倣飯杯、高杯、甕、須恵器蓋等が出土している。



C区55・59号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒少量含む。(59号住居跡)
2. 暗褐色土 ローム粒多量含む。(59号住居跡)
3. 暗褐色土 白色軽石含む。
4. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒含む。
5. 暗褐色土 焼土粒多量含む。

掘り方

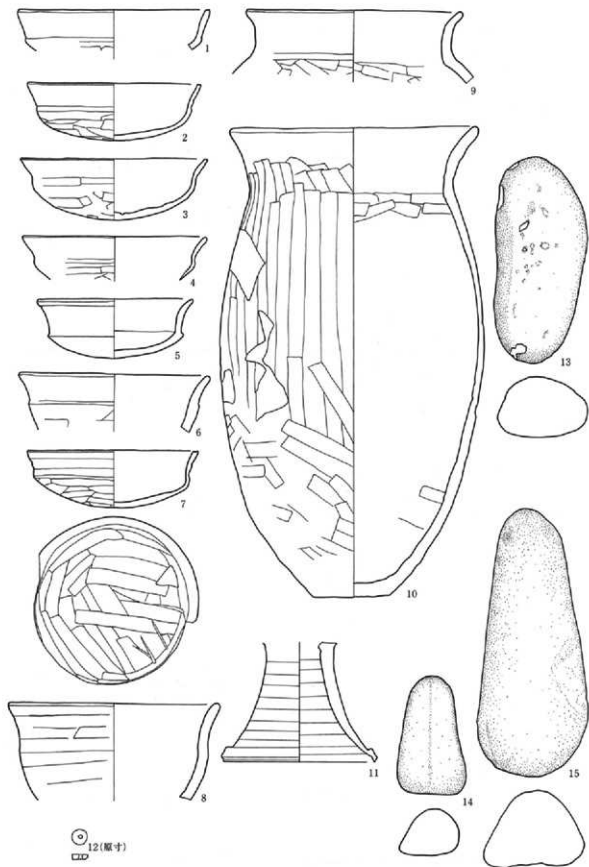
- I. 暗褐色土 ロームブロック多量含む。
- II. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。

C区55号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 焼土粒多量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
3. 黒褐色土 ローム粒少量含む。
4. 黒褐色土 ロームブロック多量含む。
5. 暗褐色土 ローム暗色帯土ブロック多量含む。

第263図 C区55・59号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物



第264図 C区55号住居跡出土遺物



第265図 C区59号住居跡出土遺物

C区59号住居跡出土遺物

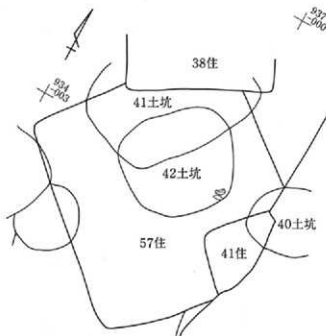
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	8	土師器量	16.7		7.5YR6/4Cに灰-燧
1	土師器杯	15		4.5	7.5YR6/6橙		9	土師器量	16.8		2.5YR5/6明赤燧
2	土師器杯	13.8		4.5	7.5YR7/6橙		10	土師器量	19.4	6.1	2.5Y6/4Cに灰-燧
3	土師器杯	14.7		4.8	7.5YR6/6橙		11	須恵器高杯	12		5YR6/2灰キリーブ
4	土師器杯	14.6			6YR6/6橙		12	石製品	1.2	0.3	0.45 1g
5	土師器杯	12.2		4.7	5YR6/8橙		13	石	16.1	7.4	4.8 800g
6	土師器鉢	15			7.5YR4/3黒		14	石	9.3	5.5	3.2 300g
7	土師器杯	13.4		4.5	7.5YR7/6橙		15	石	21	8.7	6.4 1300g

C区59号住居跡出土遺物

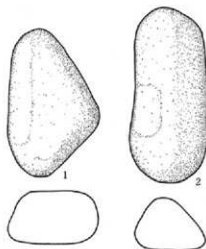
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	3	土師器高杯			7.5YR7/6橙
1	土師器杯	12.6			7.5YR3/2黒燧		4	土師器量	6		5YR5/6明赤燧
2	土師器杯	12			5YR5/6明赤燧		5	須恵器蓋	14		N3-0硝灰

C区57号住居跡 (第266・267図)

C区南東部に位置し931～935・998～002の範囲にある。他の遺構との関係は南部で57号住居跡、東部では41号住居跡、24号溝、他に23・38・40・41・42号土坑と重複している。新旧関係は41号住居跡より旧く、他の遺構より新しいものと考えられる。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.68m、短軸3.44mを測る。主軸方位はN-48°-Wを指し、壁高は確認されていない。床面は平坦をなし、柱穴、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物は石が2個体出土している。



第266図 C区57号住居跡



第267図 C区57号住居跡出土遺物

C区57号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	2	石	13.8	6	4.1	500g
1	石	12.6	7.2	4.2	500g							

C区60号住居跡 (第268図・P.L81)

C区北東部に位置し945~949・999~001の範囲にある。他の遺構との関係は北東部でD区4号住居跡、24号溝と重複している。新旧関係はD区4号住居跡、24号溝より古い。平面形態は不明で南北長は4.06mを測る。主軸方位は南北壁でN-11°-Wを指し、壁高は10~18cmを測る。床面は平坦をなし、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物はない。

C区60号住居跡

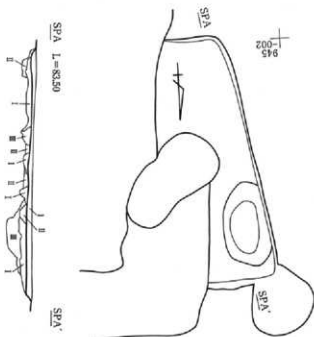
1. 褐色土 焼土粒少量含む。

掘り方

I. 暗褐色土 ローム粒多量含む。

II. 黒褐色土 ローム粒少量含む。

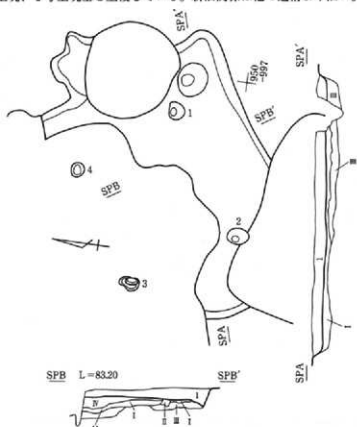
III. 黄褐色土 ローム粒多量含む。



第268図 C区60号住居跡

C区61号住居跡 (第269・270図・P.L82・188)

C区北東部に位置し948~952・997~001の範囲にある。他の遺構との重複はD区4号住居跡61~63号土坑、1号土坑墓と重複している。新旧関係は他の遺構より古い。平面形態、主軸方位等は不明である。壁高は24~31cmを測り、竈の主軸方位はN-56°-Eを指す。柱穴は4基確認した。各々の規模は1、32×20cm、深さ35cm、2、22×21cm、深さ35cm、3、30×25cm、深さ57cm、4、35×28cm、深さ65cmを測る。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は50×48cm、深さ42cmを測る。竈は東壁に確認された。南半部は1号土坑で壊されているが長さ100cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕等が出土している。



C区61号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒少量含む。

掘り方

I. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。

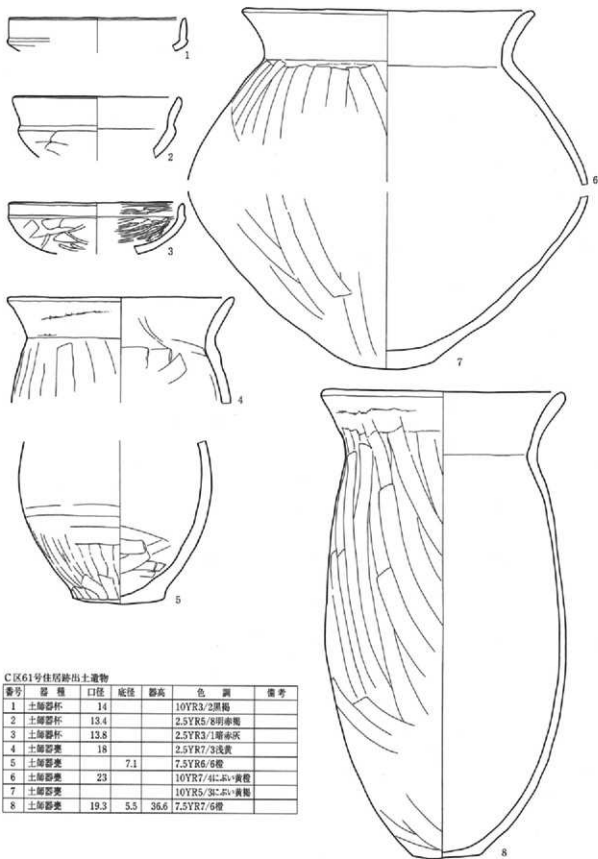
II. 暗褐色土 ローム粒含む。

III. 暗褐色土 ローム粒多量含む。

IV. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

V. 黄褐色土 炭化物粒少量含む。

第269図 C区61号住居跡



C区61号住居跡出土遺物

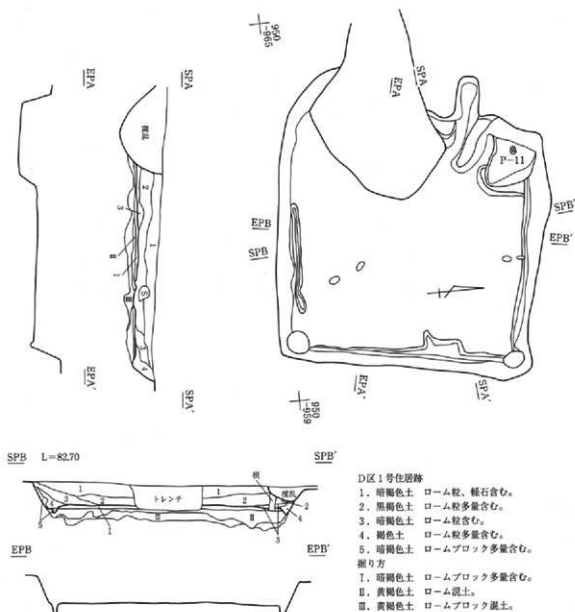
番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	14			10YR3/2黒粘	
2	土師器杯	13.4			2.5YR5/8明赤褐	
3	土師器杯	13.8			2.5YR3/1暗赤灰	
4	土師器类	18			2.5YR7/3浅黄	
5	土師器类		7.1		7.5YR6/6橙	
6	土師器类	23			10YR7/4C.Fi+黄粒	
7	土師器类				10YR5/3C.Fi+黄粒	
8	土師器类	19.3	5.5	36.6	7.5YR7/6橙	

第270図 C区61号住居跡出土遺物

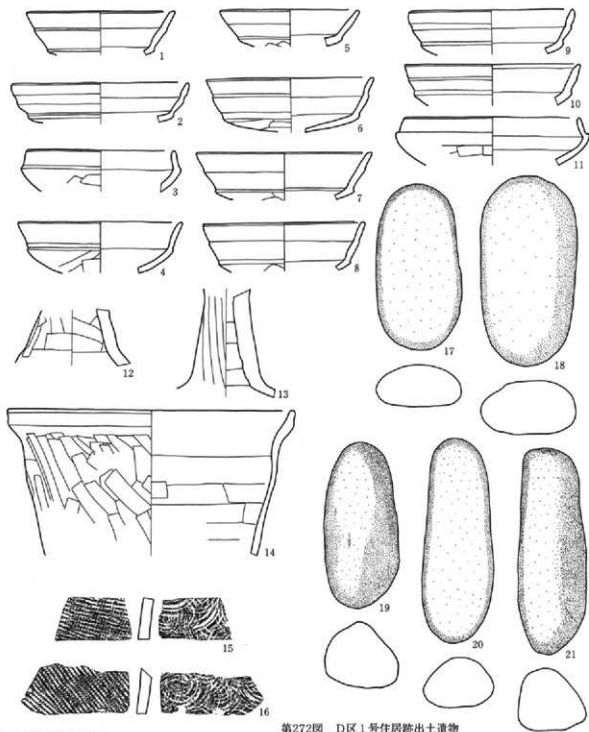
D区住居跡

D区1号住居跡 (第271～272図・P L 83・189)

D区中央部に位置し950～954・958～964の範囲にある。他の遺構との重複はない。東壁と西壁の一部は現代のゴミ穴により壊されている。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.58m、短軸4mを測る。主軸方位はN-87°-Wを指し、壁高は36～42cmを測る。床面は平坦をなし壁周溝が確認された。規模は幅22～42cm、深さ6～18cmを測る。柱穴、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。竈は西壁に確認された。規模は焚き口幅20cm、長さ116cmを測る。出土遺物は模倣杯、甕、須恵器亮破片等が出土している。



第271図 D区1号住居跡



第272図 D区1号住居跡出土遺物

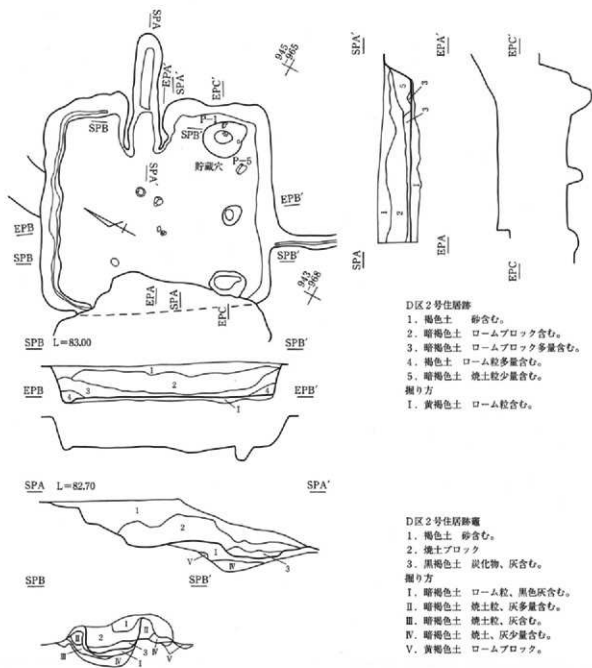
D区1号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	11	土師器杯	13.8			2.5Y3/2黒褐
1	土師器杯	11.7			7.5YR5/4(赤)・地	12	土師器台付壺					10YR5/4(赤)・黄褐
2	土師器杯	13.8			7.5YR5/6明褐	13	土師器高杯					2.5YR5/6明赤褐
3	土師器杯	11.6			5Y3/1オリーブ黒	14	土師器壺	23.6				7.5YR7/6橙
4	土師器杯	13			5YR5/6明赤褐	15	須恵器壺					5YR4/1黒灰
5	土師器杯	11			10YR4/1黒灰	16	須恵器壺					10YR5/1褐灰
6	土師器杯	13.2			10YR3/2黒褐	17	石	13.1	6.8	3.3	450g	
7	土師器杯	13.9			10YR3/2黒褐	18	石	15	7.7	4.2	780g	
8	土師器杯	12.8			2.5Y4/2暗灰黄	19	石	13	6	5.1	620g	
9	土師器杯	12.8			5YR5/6明赤褐	20	石	16	5.6	4	500g	
10	土師器杯	13.8			5Y3/1オリーブ黒	21	石	16.3	5.4	4.8	630g	

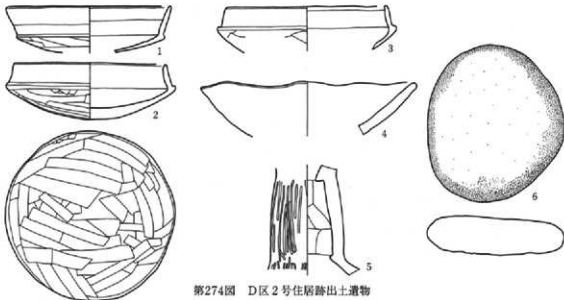
第3章 検出された遺構と遺物

D区2号住居跡 (第273~274図・P L 84・189)

D区中央部に位置し943~947・965~970の範囲にある。他の遺構との関係は南部で3号住居跡と重複している。南西部は現代のゴミ穴で壊されている。新旧関係は2号住居跡が新しい。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.65m、短軸3.38mを測る。主軸方位はN-28°-Eを指し、壁高は40~50cmを測る。床面は平坦をなし、北壁に壁周溝が確認された。規模は幅21~35cm、深さ3cmを測る。南東部に小穴を2基確認した。規模は1、37×26cm、深さ22cm、2、58×49cm、深さ17cmを測る。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は68×59cm、深さ34cmを測る。竈は北壁に確認された。規模は焚き口幅35cm、長さ194cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕、高杯、縄文片等が出土している。



第273図 D区2号住居跡・竈



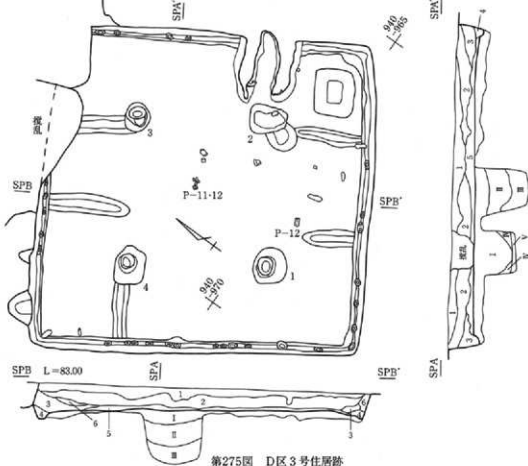
第274図 D区2号住居跡出土遺物

D区2号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	4	土師器高	17			10YR6/4に赤い黄緑
1	土師器杯	13			10YR6/6明赤褐			5				2.5YR5/6明赤褐
2	土師器杯	12.7			2.5Y3/1黒褐			6	12.4	10.8	3	558g
3	土師器杯	12		4.4	7.5YR4/3褐							

D区3号住居跡 (第275～278図・P L 85・86・189)

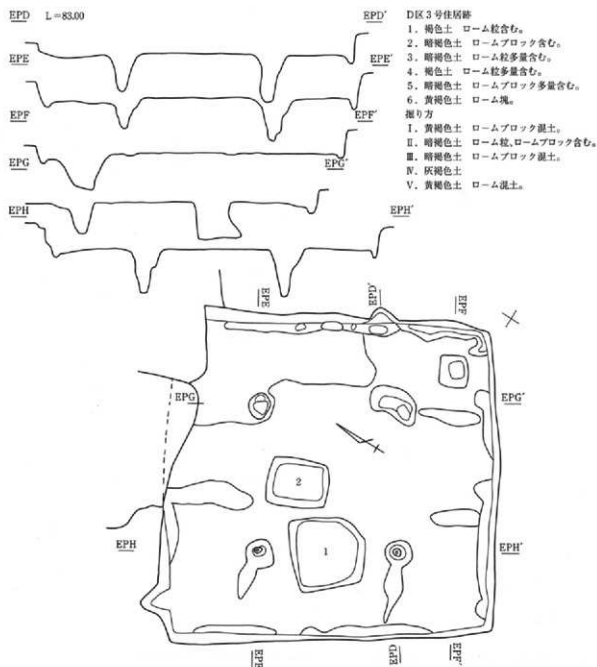
D区中央部に位置し937～943・965～972の範囲にある。他の遺構との関係は北東部で2号住居跡と重複している。新旧関係は3号住居跡が古い。また北壁の一部は現代のゴミ穴により壊されている。



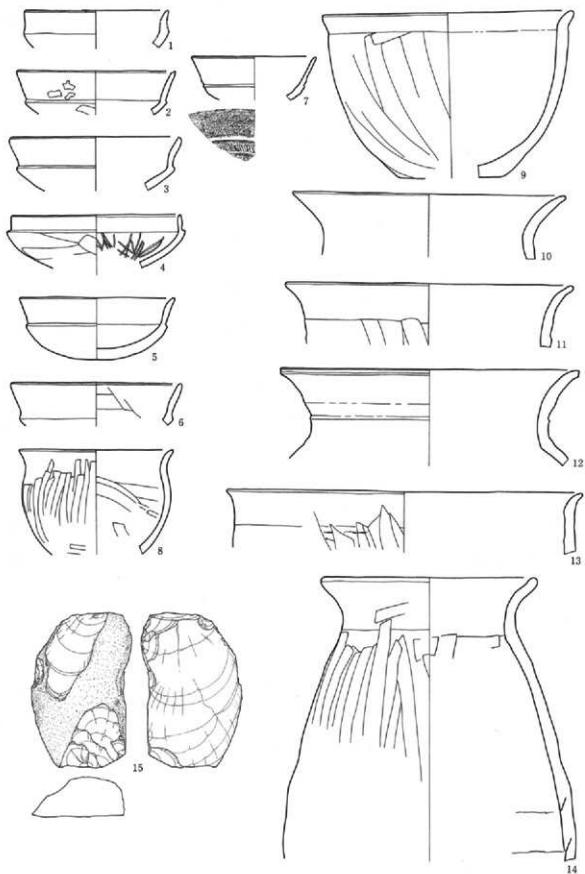
第275図 D区3号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物

平面形態は方形を呈し、規模は長軸5.26m、短軸4.98mを測る。主軸方位はN-55°-Eを指し、壁高は10~40cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝が確認された。規模は幅12~24cm、深さ12~20cmを測る。また壁周溝内には径約10cmの小穴列が多数検出された。柱穴は4基確認された。各々の規模は1、58×55cm、深さ78cm、2、62×48cm、深さ70cm、3、45×40cm、深さ56cm、4、60×44cm、深さ58cmを測る。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は方形を呈し、規模は75×64cm、深さ60cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅40cm、長さ110cmを測る。掘り方面には2基の床下土坑が確認された。規模は1、120×78cm、深さ68cm、2、98×78cm、深さ82cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、甕、鉢、須臾器高杯、石等が出土している。

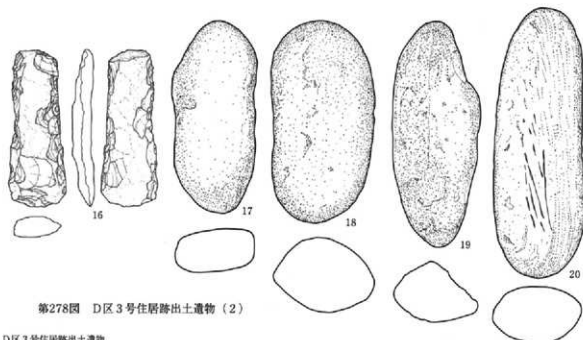


第276図 D区3号住居跡掘り方



第277图 D区3号住居跡出土物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



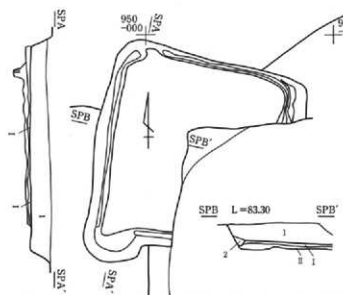
第278図 D区3号住居跡出土遺物(2)

D区3号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	11	土師形楽	22.3		5YR5/6明赤褐	
1	土師器杯	11.2			2.5YR5/6明赤褐		12	土師形楽	23.2		7.5YR6/6橙	
2	土師器杯	12.4			7.5YR4/2赤褐		13	土師形楽	27.7		10YR4/6赤	
3	土師器杯	13.2			2.5YR6/6橙		14	土師形楽	16		2.5YR6/6橙	
4	土師器杯	13.2			10YR3/1黒褐		15	石器	12.2	7.3	3.1	310g
5	土師器杯	12			2.5YR5/6明赤褐		16	石斧	12.3	4.5	1.6	100g
6	土師器杯	13.2			2.5YR5/8明赤褐		17	石	15.2	6.7	3.3	600g
7	須恵器高杯	9.7			5Y5/1灰		18	石	15.9	8.2	5.9	1000g
8	土師器鉢	12			2.5YR6/6橙		19	石	17.8	6.9	4.7	650g
9	土師器鉢	19.5	8	13	2.5YR7/3灰黄		20	石	21.1	7.2	4.4	1200g
10	土師形楽	21.2			7.5YR6/4L灰黄							

D区4号住居跡(第279・280図・P.L.86・190)

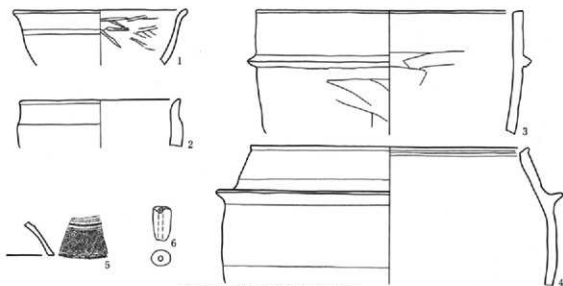
D区西部に位置し946・950・997・000の範囲にある。他の遺構との関係は南東部で24号溝、西南部では60号住居跡、北部では61号住居跡と重複している。新旧関係は2軒の住居跡より新しく、溝より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.66m、短軸3.36mを測る。主軸方位はN-7°-Eを指し、壁高は24~34cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝を確認した。規模は幅10~38cm、深さ4~18cmを測る。柱穴、貯蔵穴、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物は土師器杯、須恵器杯、羽釜等が出土している。



D区4号住居跡

1. 暗褐色土 焼土粒含む。
 2. 暗褐色土 ロームブロック含む。
- 掘り方
I. 黒褐色土 ロームブロック多量含む。
II. 黄褐色土 ローム混土。

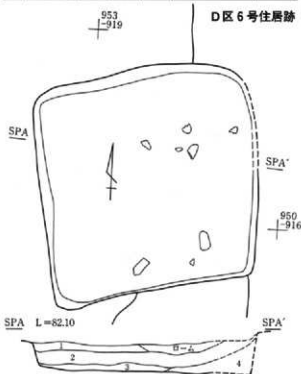
第279図 D区4号住居跡



第280図 D区4号住居跡出土遺物

D区4号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	4	羽釜	21.8		7.5YR3/3暗褐
1	土師器杯	13.5			7.5YR7/6橙		5	葉巻器杯			N3/暗灰
2	土師器杯	12.4			5YR3/3暗赤褐		6	土師	2.6	1.5	0.3-0.4
3	羽釜				7.5YR3/1黒褐						10YR6/3に多い黄橙



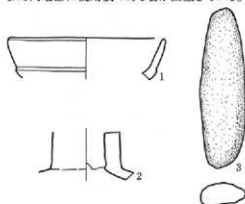
D区6号住居跡

1. 黒褐色土 軽石含む。
2. 黒褐色土 焼土粒含む。
3. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
4. 黒褐色土 焼土粒少量含む。

第281図 D区6号住居跡

D区6号住居跡 (第281・282図・P.L87)

D区東部に位置し948～952・916～921の範囲にある。他の遺構との関係は東部で16号溝と重複している。さらに東部は現代の舗装道路である。新旧関係は16号溝が新しいが、6号住居跡の床面には達していない。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.82m、短軸3.25mを測る。主軸方位はN-10°-Wを指し、壁高は39～50cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、柱穴、竈等の諸施設は検出されていない。出土遺物は模倣杯、高杯等が出土している。また両端部に使用痕のある石が出土している。



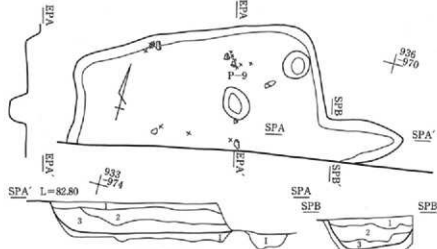
第282図 D区6号住居跡出土遺物

D区6号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	2	土師器高杯		2.5YR5/6明赤褐	
1	土師器杯	12.2			10YR6/4浅黄橙		3	石	12.6	3.6	1.8

D区7号住居跡 (第283~285図・P L88・190・200)

D区南西部に位置し933・936・969・974の範囲にある。他の遺構との重複はない。南半部は調査区域外へ延びている。平面形態、規模は不明であるが北壁の長さは4.0mを測る。床面は平坦をなし、小穴を2基確認した。竈は東壁に確認した。規模は焚き口幅68cm、長さ120cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、高杯、甕、石製模造品、円錐形に削り込まれた穴を持つ石等が出土し、羽釜が混入している。



D区7号住居跡竈

1. 暗褐色土 焼土粒、灰少量含む。

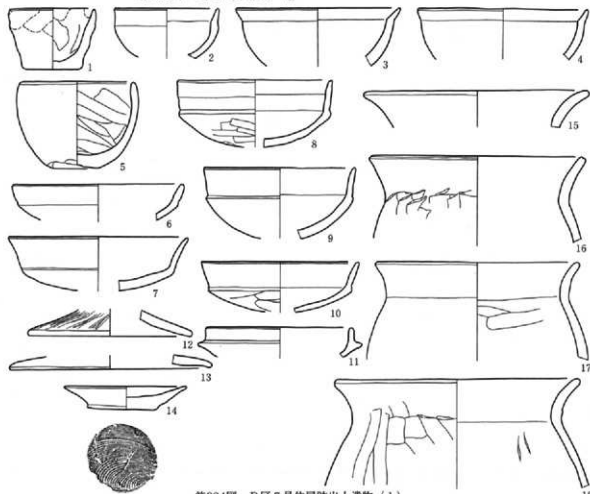
2. 暗褐色土 焼土粒、灰多量含む。

3. 暗褐色土 焼土粒多量含む。

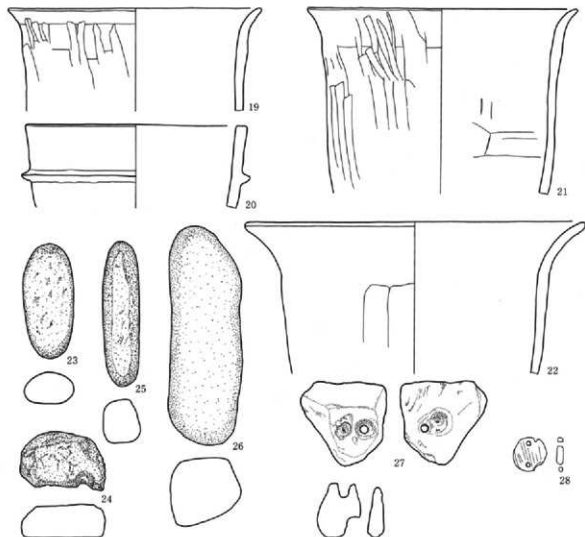
掘り方

1. 黄褐色土 ローム粒多量、焼土粒少量含む。

第283図 D区7号住居跡・竈



第284図 D区7号住居跡出土遺物(1)



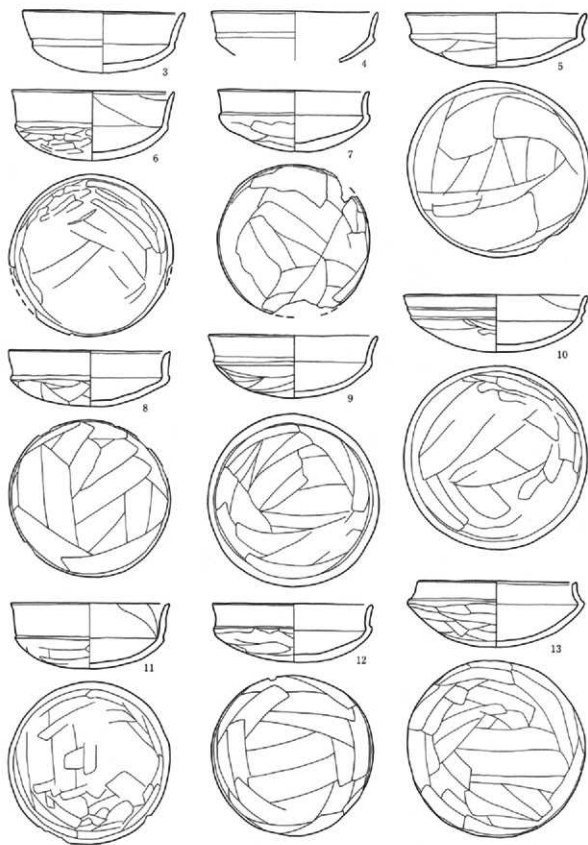
第285図 D区7号住居跡出土遺物(2)

D区7号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	15	土師器楽	17.2										
1	手皿	6.6	4.2	4.7	7.5YR7/31C・灰・橙	16	土師器楽	16.4											10YR7/41C・灰・黄橙
2	土師器杯	8			7.5YR7/41C・灰・橙	17	土師器楽	15.8											5YR5/41C・灰・赤褐
3	土師器杯	12.8			7.5YR5/41C・灰・褐	18	土師器楽	19											2.5YR5/6明赤褐
4	土師器杯	13.3			5YR6/6橙	19	土師器楽	19.8											5YR6/6橙
5	土師器鉢	8.8	3.5	6.8	7.5YR6/6橙	20	別差	17.2											10YR5/2灰黄褐
6	土師器杯	13.4			5Y2/1黒	21	土師器楽	21.1											5YR4/2灰黄褐
7	土師器杯	14			5YR6/6橙	22	土師器楽	26.4											10YR7/41C・灰・黄褐
8	土師器杯	12.2		5.3	5YR5/6明赤褐	23	こもあみ石	9.1	3.9	2.5	130g								10YR5/31C・灰・黄褐
9	土師器杯	11.8			10YR3/1黒褐	24	石	4.3	6.5	2.6	65g								
10	土師器杯	12.3			2.5YR5/6明赤褐	25	こもあみ石	11.5	2.8	3.4	200g								
11	須恵器杯	11.9			5Y5/1灰	26	石	17.2	5.9	5.4	680g								
12	土師器高杯		12.7		2.5YR5/6明赤褐	27	石	6.6	6.8	4.3	100g								
13	土師器高杯		15.7		2.5YR5/6明赤褐	28	石製模造品	2.6	2.6	0.5	8g								
14	土師	9.5	5.5	1.8	2.5YR4/6赤褐														

D区8号住居跡(第286～292図・P.L.89～91・190～192)

D区中央部に位置し936～942・979～987の範囲にある。他の遺構との重複はない。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.18m、短軸3.55mを測る。主軸方位はN-108°-Eを指し、壁高は58～65cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝が四壁で確認された。規模は幅14～34cm、深さ4～6cmを測る。床面には間仕切溝も2ヶ所確認した。規模は幅10～24cm、深さ8cmを測る。貯蔵穴は北東壁際に確認した。平面形態は隅丸方形を呈し、規模は88×82cm、深さ56cmを測る。柱穴は確認できなかったが、小穴を1基確認した規模

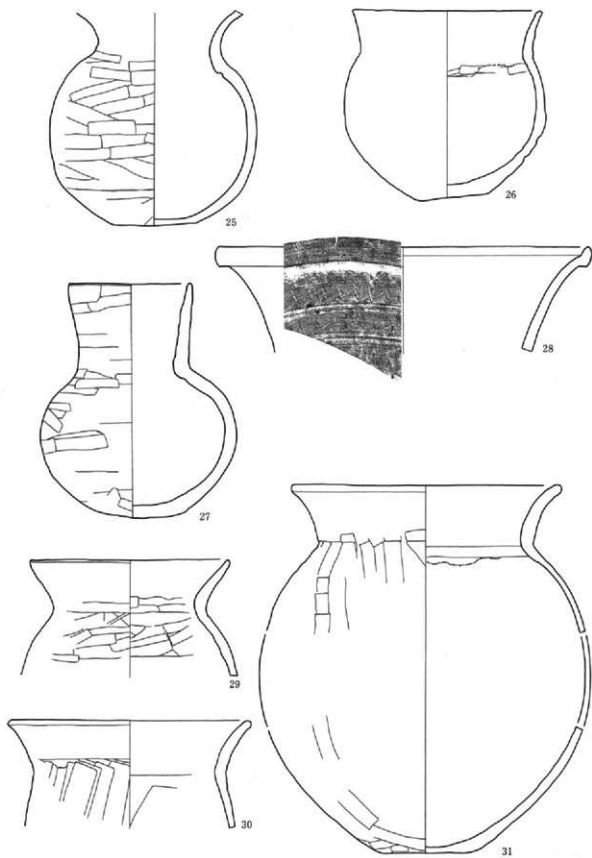


第288圖 D区8号住居跡出土遺物(2)

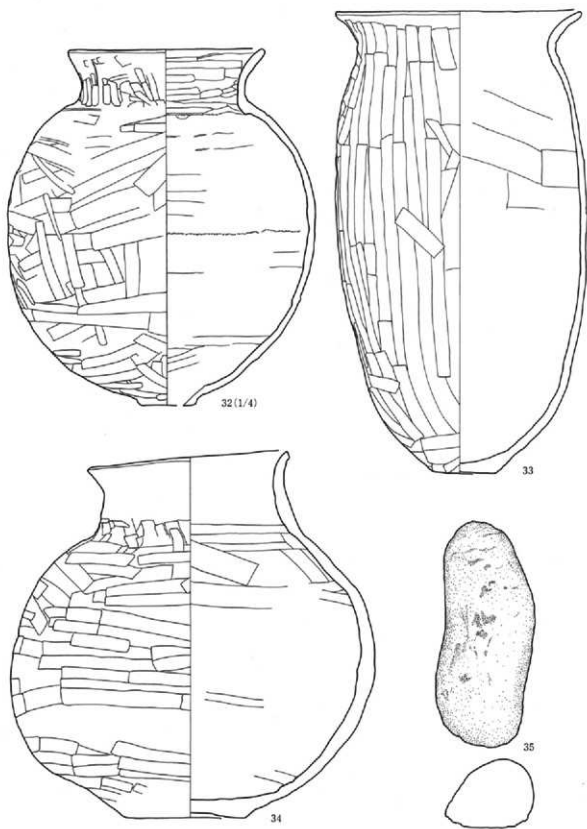
第3章 検出された遺構と遺物



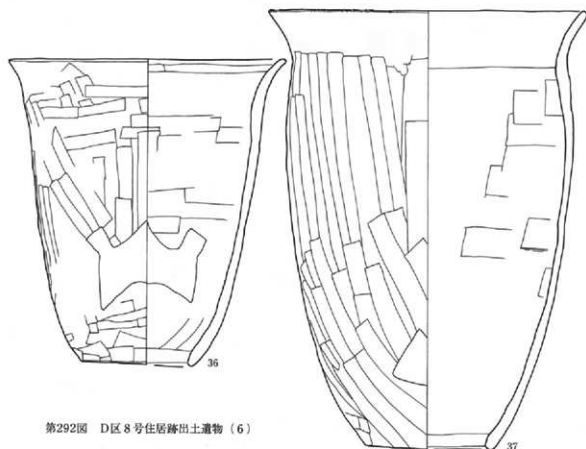
第289図 D区8号住居跡出土遺物(3)



第290圖 D区8号住居跡出土遺物(4)



第291図 D区8号住居跡出土遺物(5)



第292図 D区8号住居跡出土遺物(6)

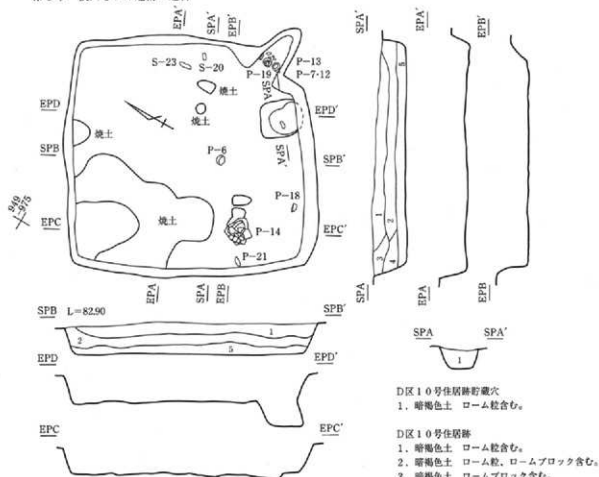
D区8号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考
1	土師器杯	12.2	4.4	5YR5/6明赤褐	19	土師器杯 12 4.5 10YR3/1黒褐
2	土師器杯	12.1	4.5	2.5YR5/6明赤褐	20	須恵器杯 12.1 4.7 7.5GY4/1暗緑灰
3	土師器杯	12.6	4.8	5YR5/6明赤褐	21	土師器台付壺 12.4 10YR6/3Cに灰黄褐色
4	土師器杯	13.2	5.2	2.5YR6/6橙	22	土師器台付壺 8.4 5YR4/3Cに灰黄褐色
5	土師器杯	14	4.2	5YR6/6橙	23	土師器小鉢 9.3 7.6 10YR7/3Cに灰黄褐色
6	土師器杯	12.7	5.5	2.5YR5/6明赤褐	24	土師器壺 15 5YR5/6明赤褐
7	土師器杯	11.9	4.8	5YR5/6明赤褐	25	土師器壺 6.8 5YR5/6明赤褐
8	土師器杯	12.5	4.4	5YR6/8橙	26	土師器小壺 15 5.8 2.5YR5/6明赤褐
9	土師器杯	13.2	4.9	5YR6/6橙	27	土師器壺 9.6 18.5 5YR6/6橙
10	土師器杯	14.3	4.5	5YR6/6橙	28	須恵器壺 29 7.5YR5/1灰
11	土師器杯	12.3	5.2	5YR6/6橙	29	土師器壺 15.6 5YR6/6橙
12	土師器杯	12.5	4.6	2.5YR5/6明赤褐	30	土師器壺 19 10YR8/4浅黄褐色
13	土師器杯	12.4	5.2	7.5YR6/6橙	31	土師器壺 21 6.8 29 7.5YR7/6橙
14	土師器杯	12.8	5.1	2.5YR5/6明赤褐	32	土師器壺 20.7 37.4 10YR7/6明赤褐
15	土師器杯	13.5	4.1	5YR6/6橙	33	土師器壺 19.2 4.9 36.3 10YR7/4Cに灰黄褐色
16	土師器杯	12	4.4	5YR3/1黒褐色	34	土師器壺 15.7 9.6 28.8 2.5YR5/6明赤褐
17	土師器杯	17.8	5	5YR6/6橙	35	石 17.8 7.8 5.4 1000g
18	土師器杯	12.7	3.8	10YR3/1黒褐	36	土師器瓶 21.8 8.7 24.2 5YR4/6赤褐
					37	土師器瓶 25 10 34.5 10YR8/4浅黄褐色

D区10号住居跡 (第293~295図・P.L.92・93・193)

D区中央部に位置し944~949・968~975の範囲にある。他の遺構との重複はない。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.02m、短軸3.81mを測る。主軸方位はN-91°-Eを指し、壁高は39~54cmを測る。床面は平坦をなし、西北部には焼土が散布し、床面が焼けている。壁周溝、柱穴は検出されていない。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は隅丸方形を呈し、規模は59×58cm、深さ34cmを測る。竈は南東隅に確認された。規模は焚き口幅48cm、長さ98cmを測る。出土遺物は土師器杯、壺、石、焼けた粘土塊、石等が出土している。

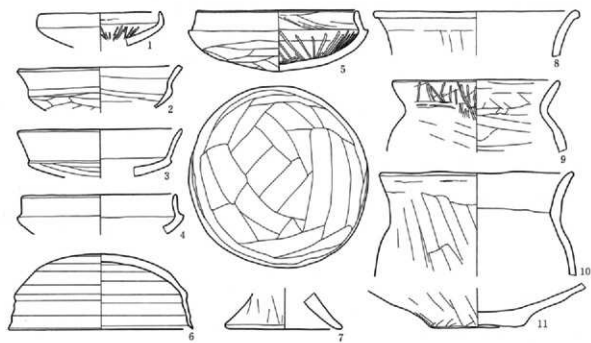
第3章 検出された遺構と遺物



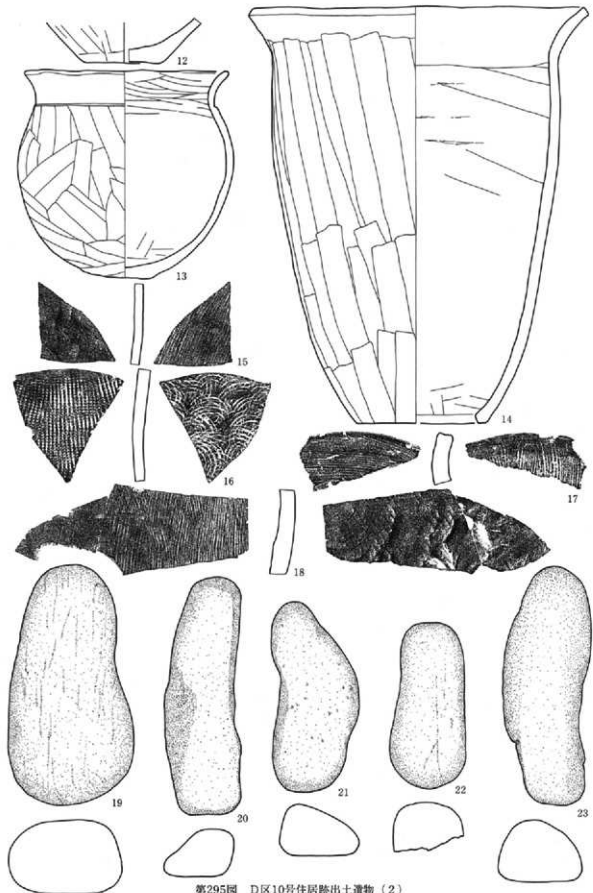
D区10号住居跡貯蔵穴
1. 暗褐色土 ローム粒含む。

D区10号住居跡
1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
3. 暗褐色土 ロームブロック含む。
4. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
5. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒含む。

第293図 D区10号住居跡



第294図 D区10号住居跡出土遺物 (1)



第295图 D区10号住居跡出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物

D区10号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	12	土師器	6	7.5YR6/3に灰・黄
1	土師器杯	9.8			7.5YR5/4に灰・黄		13	土師器	16	16.3
2	土師器杯	12.6			7.5YR6/4に灰・黄		14	土師器	26	10.3
3	土師器杯	13			7.5YR6/4に灰・黄		15	須恵器		2.5YR4/1灰
4	土師器杯	13			10YR2/2黄		16	須恵器		10YR4/1灰
5	土師器杯	12.5		4.8	10YR7/3に灰・黄		17	埴輪		5YR5/6明赤
6	須恵器蓋		14.5	5.9	2.5Y6/2灰黄		18	須恵器		10YR5/1褐
7	土師器			9	7.5YR5/4に灰・黄		19	石	18.8	9.7
8	土師器				10YR5/3に灰・黄		20	石	18.6	5.8
9	土師器				5YR5/4に灰・黄		21	石	14.9	6.3
10	土師器				10YR7/6明黄		22	石	13.1	5.9
11	土師器			7	10YR7/3に灰・黄		23	石	18.7	6.6

D区11号住居跡（第296～298図・P.L94・193）

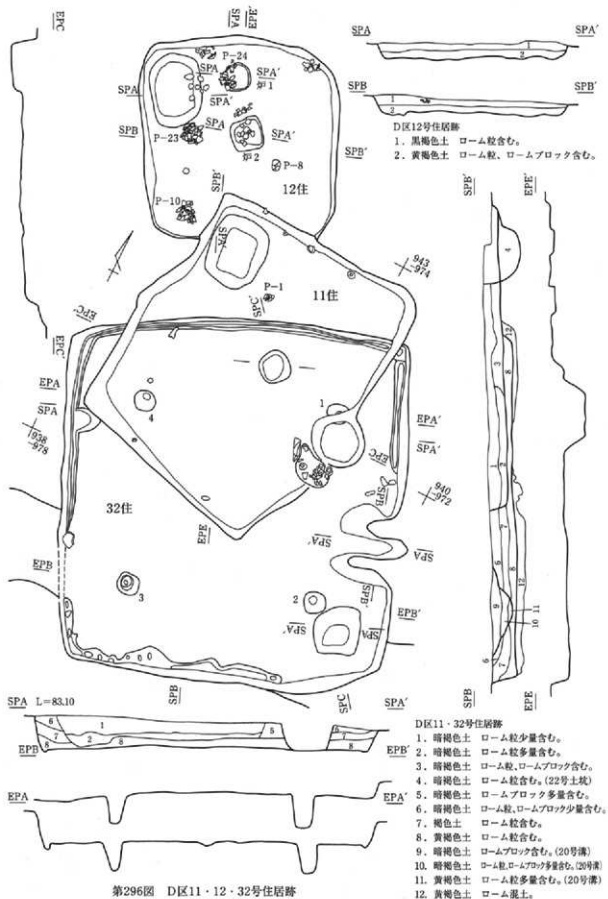
D区南西部に位置し937～942・972～978の範囲にある。他の遺構との関係は北部で12号住居跡、南部で32号住居跡と重複している。新旧関係は他の2軒より新しい。また当11号住居跡の竈の部分に18号土坑、西北隅に22号土坑が重複している。新旧関係は18・22号土坑が新しい。18号土坑のため竈は壊されている。平面形態は長方形を呈し、規模は長軸4.82m、短軸3.98mを測る。主軸方位はN-96°-Eを指し、壁高は22～48cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。出土遺物は内黒土器、土器、土師器、羽釜等が出土している。

D区12号住居跡（第296・299～301図・P.L95・193・194）

D区南西部に位置し942～945・975～978の範囲にある。他の遺構との関係は南部で11号住居跡、22号土坑と重複している。新旧関係は当住居跡が他の2遺構より古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.2m、短軸3.16mを測る。主軸方位はN-25°-Eを指し、壁高は15～20cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴、貯蔵穴等の諸施設は検出されていない。出土土器の検討から竈が存在しない可能性もある。または重複により壊されていることも考えられるが、床面上には炉が2基確認されおそらく竈はなかったと考えることができる。炉は北西部とほぼ中央部の2基が確認された。各々の平面形態、規模は1が楕円形を呈し、規模は44×42cm、焼土の厚さ8cmを測る。2は方形を呈し、規模は118×80cm、焼土の厚さ6cmを測る。貯蔵穴は西北隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は118×80cm、深さ12cmを測る。出土遺物は土師器、甕等が出土している。

D区32号住居跡（第296・302図・P.L110）

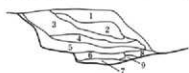
D区南西部に位置し935～942・971～978の範囲にある。他の遺構との関係は北部で11号住居跡、南部では20号住居跡と重複している。新旧関係は他の2遺構より住居跡が古い。平面形態は方形を呈し、規模は長軸3.2m、短軸3.16mを測る。主軸方位はN-25°-Eを指し、壁高は18～52cmを測る。床面は平坦をなし、北壁と東西壁の一部に壁周溝が確認された。規模は幅12～36cm、深さ4～9cmを測る。柱穴は4基が確認された。規模は1、36×32cm、深さ48cm、2、37×36cm、深さ51cm、3、39×36cm、深さ51cm、4、37×34cm、深さ47cmを測る。貯蔵穴は南東隅に確認された。平面形態は隅丸方形を呈し、規模は76×73cm、深さ68cmを測る。また西北壁に1基小穴を確認した。規模は53×51cm、深さ15cmを測る。竈は東壁に確認された。規模は焚き口幅38cm、長さ106cmを測る。出土遺物は土師器杯、甕等が出土している。



第296図 D区11・12・32号住居跡

第3章 検出された遺構と遺物

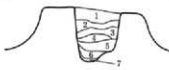
SPA L=82.90



D区32号住居跡概

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック少量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒、灰含む。
4. 黒褐色土 焼土粒、灰多量含む。
5. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック、灰多量含む。
6. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
7. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
8. 黄褐色土 焼土粒少量含む。
9. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。

SPA' SPB



D区32号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
2. 黄褐色土 ローム粒多量含む。
3. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック含む。
4. 黄褐色土 ロームブロック多量含む。

SPB' SPA L=82.50 SPA'



SPA L=83.10 SPA'



D区12号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 焼土粒少量含む。

SPA L=83.10 SPA'



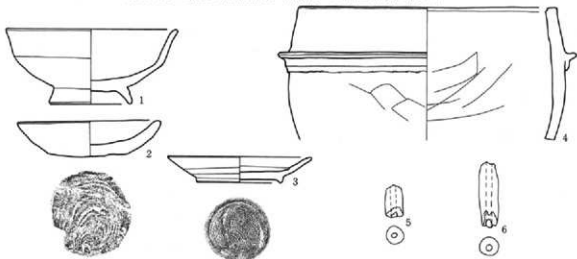
D区12号住居跡印1・2

1. 暗褐色土 焼土粒、灰多量含む。

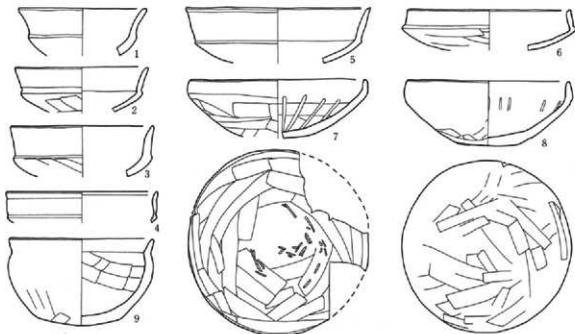
SPA L=83.10 SPA'



第297図 D区32号住居跡概・貯蔵穴・12号住居跡貯蔵穴・炉

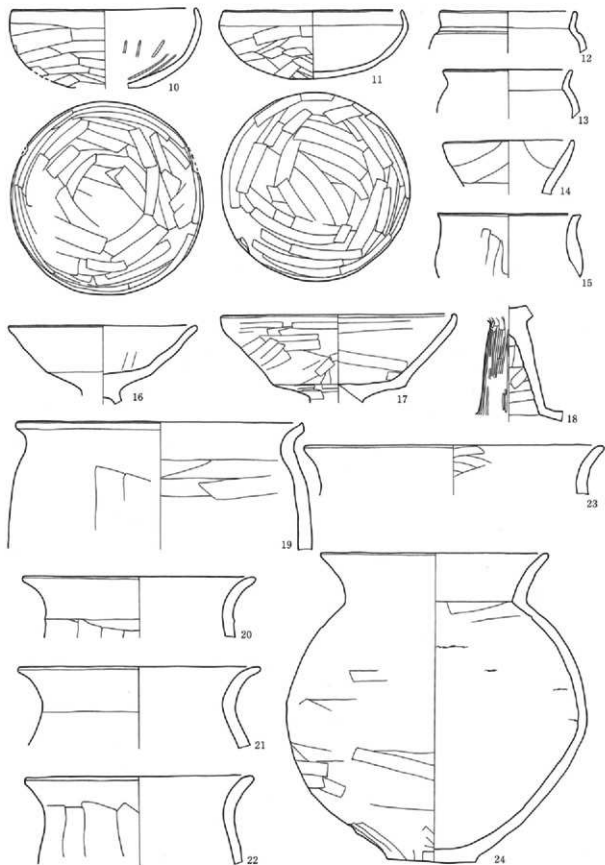


第298図 D区11号住居跡出土遺物



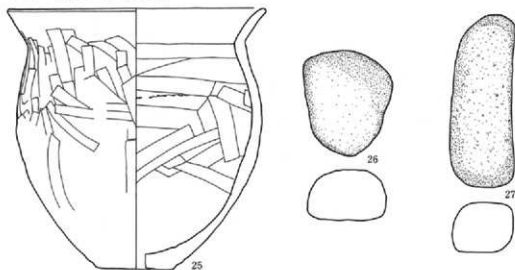
第299図 D区12号住居跡出土遺物(1)

第1節 D区住居跡

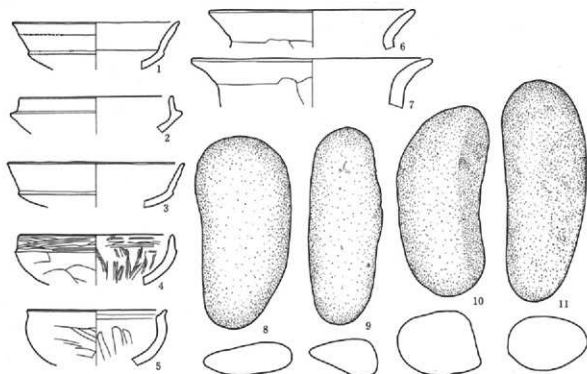


第300图 D区12号住居跡出土遺物(2)

第3章 検出された遺構と遺物



第301図 D区12号住居跡出土遺物(3)



第302図 D区32号住居跡出土遺物

D区11号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	4	羽釜	20.2		5YR6/6橙	
1	内皿	13.3	5.2	5.9	2.5Y7/4浅黄		5	土障	2.6	1.3	0.3-0.1	10YR6/4(に)黄橙
2	土障	10.8	6.3	2.8	5YR6/6橙		6	土障	5.2	1.5	0.4	7.5YR6/4(に)黄橙
3	灰釉陶器皿	11.3	6.4	2.1	2.5YR7/2灰黄							

D区12号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	12	土障器小型壺	10.6		7.5YR4/3褐
1	土障器杯	10			2.5YR5/6明赤褐		13	土障器小型壺	10		10YR4/2灰黄褐
2	土障器杯	10.4			5YR6/8橙		14	土障器壺	10.2		5YR6/6橙
3	土障器杯	11.1			2.5YR5/8明赤褐		15	土障器小型壺	11		2.5YR5/6明赤褐
4	赤褐色杯	12			5Y4/1灰		16	土障器高杯	14.8		7.5YR5/6明赤褐
5	土障器杯	14.4			5YR6/6橙		17	土障器高杯	18.4		2.5YR4/6赤褐
6	土障器杯	12.8			10YR2/2土		18	土障器高杯			7.5YR6/6橙
7	土障器杯	13.9			10YR5/4(に)黄橙		19	土障器壺	22.3		5YR7/6橙
8	土障器杯	12.8			5YR5/6明赤褐		20	土障器壺	18		10YR4/1暗赤灰
9	土障器杯		5.2		5YR5/6明赤褐		21	土障器壺	18.5		10YR7/4(に)黄橙
10	土障器杯	14.6		6.9	10YR6/4(に)黄橙		22	土障器壺	17.5		7.5YR6/4(に)黄橙
11	土障器杯	14.2			5YR5/6明赤褐		23	土障器壺	23		2.5Y7/3浅黄

24	土師器壺	17.8	6.9	24.4	7.5YR5/4に赤い帯	26	石	8.3	6.9	4.2	230g	
25	土師器壺	20.2	6	20.5	7.5YR5/4に赤い帯	27	石	13.6	5	3.9	460g	

D区32号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	6	土師器壺	16		2.5YR4/4に赤い帯	
1	土師器杯	13			10YR5/6赤	7	土師器壺	18.7			7.5YR6/6橙	
2	須恵器杯	11.8			5Y4/1灰	8	石	15.1	7.5	2.5	450g	
3	土師器杯	13.8			5YR5/4に赤い帯	9	石	15.6	5.7	3.1	300g	
4	土師器杯	12.1			5YR6/6橙	10	石	15	6.7	5.1	800g	
5	土師器小型鉢	10.8			5YR6/6橙	11	石	17.5	6.5	4.2	700g	

D区13号住居跡（第303・305～307図・P L96・194・199）

D区南西部に位置し932～938・976～983の範囲にある。他の遺構との関係は西部で14号住居跡、北部では20号溝が東西方向に走向している。新旧関係は14号住居跡より新しく、20号溝より古い。また南側の一部は調査区域外へ延びている。平面形態は方形を呈し、規模は長軸4.9m、短軸4.71mを測る。主軸方位はN-46°-Wを指し、壁高は34～42cmを測る。床面は平坦をなし、柱穴は3基確認された。規模は1、62×52cm、深さ51cm、2、52×46cm、深さ72cm、3、40×38cm、深さ36cmを測る。竈は北壁に確認された。規模は焚き口幅49cm、長さ58cmを測る。掘り方面に床下土坑が確認され、暗色帯土探掘坑と考えられる。土坑の規模は60×55cm、深さ48cmを測る。出土遺物は土師器杯、高杯、壺、砥石等が出土している。また床下土坑の出土品には土師器壺等とともに銅製鏡片が出土している。

D区14号住居跡（第303・304・308・309図・P L97）

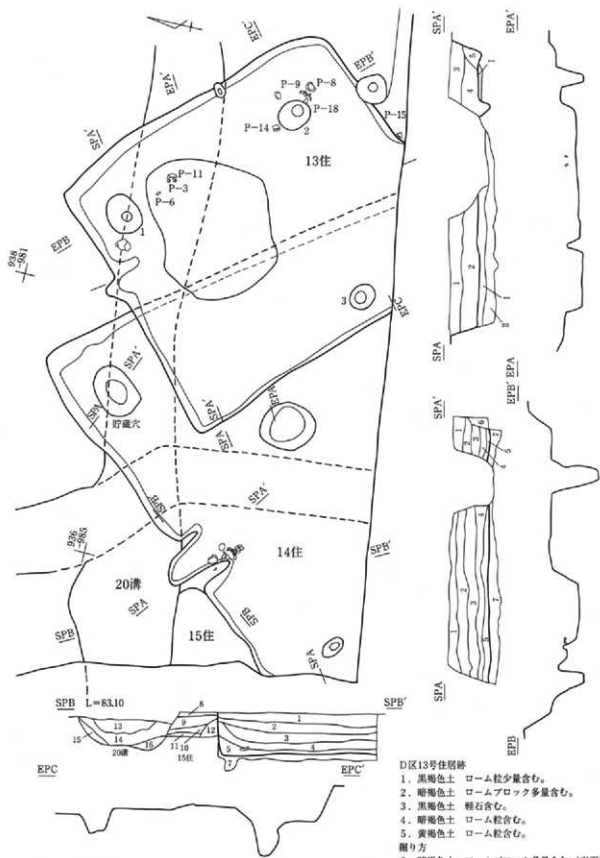
D区南西部に位置し931～937・978～987の範囲にある。他の遺構との関係は東部で13号住居跡、北部には東西走する20号溝、南北走する21号溝と重複している。新旧関係は13号住居跡より旧く、20・21号溝より新しい。14号住居跡の南大半部は調査区域外へと延びている。このため規模等は不明であるが残存の北壁長は6.18mを測る。主軸方位は竈軸でN-129°-Wを指し、壁高は59～70cmを測る。床面は平坦をなし、壁周溝、柱穴等の諸施設は検出されていない。貯蔵穴は北東隅に確認された。平面形態は楕円形を呈し、規模は84×63cm、深さ38cmを測る。竈は西北壁に確認された。規模は焚き口幅68cm、長さ96cmを測る。出土遺物は土師器模倣杯、壺、鉄製の鎌等が出土している。

D区15号住居跡（第303・310図）

D区南西部に位置し932～934・985～987の範囲にある。他の遺構との関係は南側を14号住居跡と北側では20号溝、西側を22号溝と重複している。新旧関係は15号住居跡が古い。このため他の3遺構の間に床面を確認したのみである。このため規模、方位等は不明である。出土遺物には高杯の口縁部の一部と考えられる初期須恵器が出土している。また15号住居跡を壊している20号溝内覆土から初期須恵器片が2点出土している。整理作業時にこのうち15号住居跡内出土片と20号溝内出土の須恵器片の接合を確認した。20号溝の構築時に15号住居跡を壊した際に20号溝覆土に混入したものと考えることができる。

D区20・21号溝

15号住居跡の西側を南北走する22号溝は当遺跡の命名になる屋敷掘りの一部であり、遺跡内の住居跡群とは年代差がおおきい。20・21溝は当初屋敷に関連する溝と考えられたが、出土遺物の検討から住居跡群の時期に近い段階の遺構と考えることができる。



第303図 D区13号住居跡

D区14・15号住居跡、20号溝

1. 暗褐色土 ローム粒含む。
2. 暗褐色土 ローム粒、焼土粒少量含む。
3. 暗褐色土 焼土粒含む。
4. 暗褐色土 ロームブロック、焼土粒少量含む。
5. 暗褐色土 ローム粒多量含む、焼土粒少量含む。
6. 暗褐色土 焼土粒、炭化物粒含む。
7. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
8. 暗褐色土 焼土粒、灰を含む。(15号住居跡)
9. 暗褐色土 焼土粒少量含む。(15号住居跡)
10. 暗褐色土 ローム粒少量含む。(15号住居跡)
11. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック少量含む。(15号住居跡)
12. 暗褐色土 ローム粒多量含む。(15号住居跡)
13. 褐色土 焼土粒、灰を含む。(20号溝)
14. 暗褐色土 ローム粒含む。(20号溝)
15. 黄褐色土 ローム粒多量含む。(20号溝)
16. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。(20号溝)

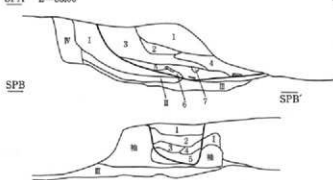
SPA L=82.50 SPA'



D区14号住居跡貯蔵穴

1. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
2. 暗褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
3. 暗褐色土 ローム暗色帯土ブロック多量含む。

SPA L=83.00

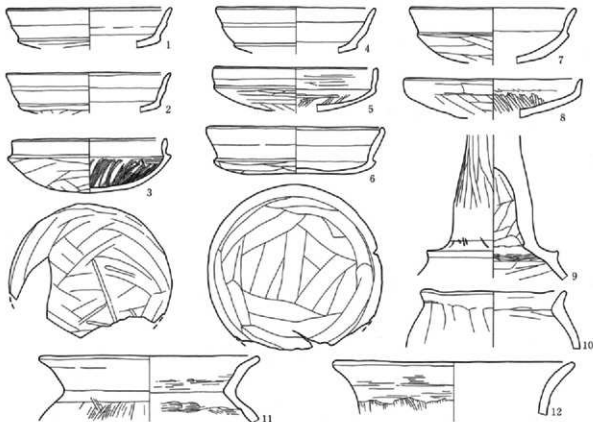


SPA'

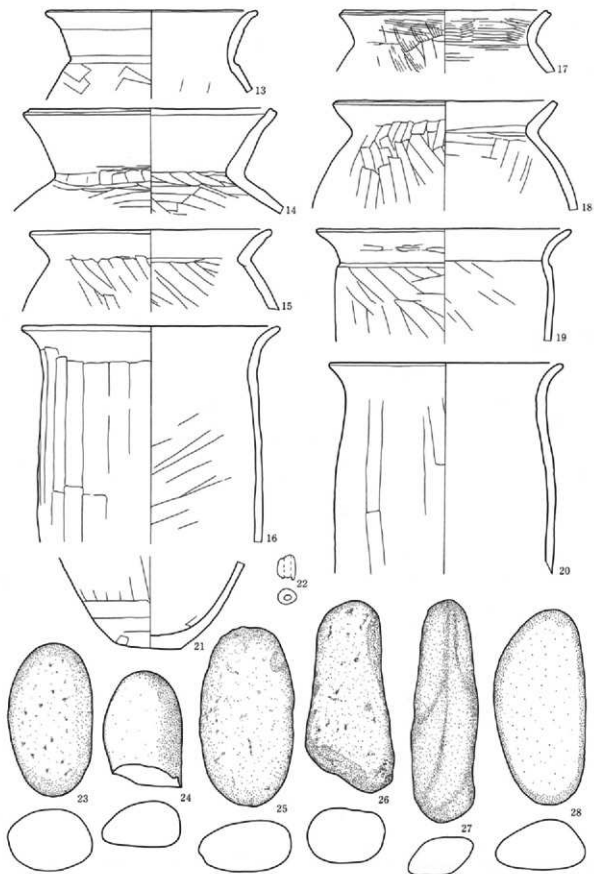
D区14号住居跡

1. 暗褐色土 ローム粒多量含む。
 2. 暗褐色土 焼土粒少量含む。
 3. 暗褐色土 焼土粒多量、灰少量含む。
 4. 暗褐色土 焼土粒、焼土ブロック、灰含む。
 5. 灰褐色土 焼土粒、炭化物粒少量含む。
 6. 赤褐色土 焼土層。
 7. 焼土ブロック
- 掘り方
- I. 赤褐色土 焼土、焼土粒、粘土粒含む。
 - II. 暗褐色土 焼土ブロック、炭化物ブロック含む。
 - III. 黄褐色土 ローム粒、ロームブロック多量含む。
 - IV. 暗褐色土 ローム粒少量含む。

第304図 D区14号住居跡貯蔵穴

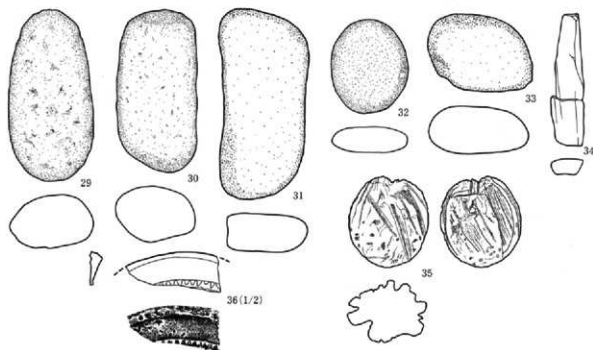


第305図 D区13号住居跡出土遺物(1)

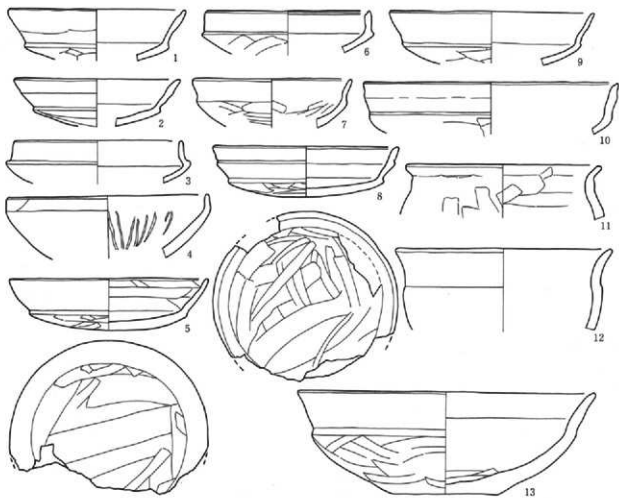


第306図 D区13号住居跡出土遺物（2）

第1節 D区住居跡

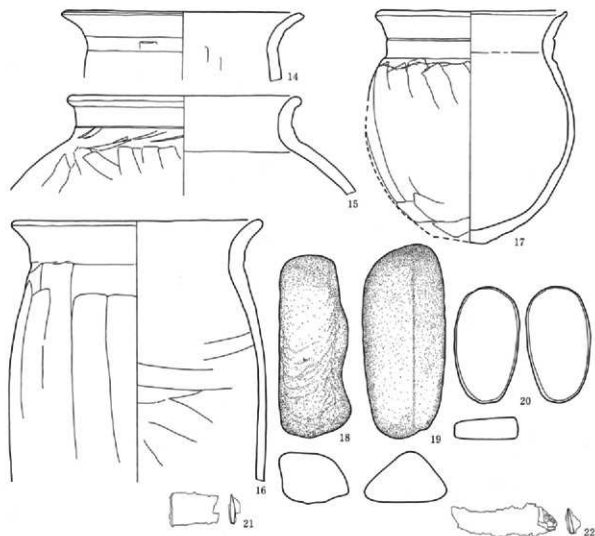


第307图 D区13号住居跡出土遺物(3)

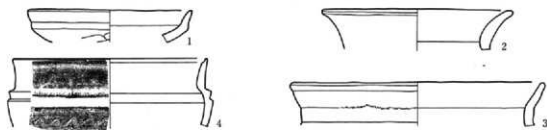


第308图 D区14号住居跡出土遺物(1)

第3章 検出された遺構と遺物



第309図 D区14号住居跡出土遺物(2)



第310図 D区15号住居跡出土遺物

D区13号住居跡出土遺物

番号	器種	口径	底径	器高	色調	備考	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22
1	土師器杯	13			2.5YR5/4C・赤・黄緑											
2	土師器杯	13			10YR7/2C・赤・黄緑											
3	土師器杯	12	4.2		5YR4/4C・赤・黄緑											
4	土師器杯	12.6			7.5YR4/2灰褐色											
5	土師器杯	13			5YR4/4C・赤・黄緑											
6	土師器杯	13.8	3.7		7.5YR5/4C・赤・黄緑											
7	土師器杯	13			5YR4/6赤褐色											
8	土師器杯	14			5YR5/6明赤褐色											
9	土師器高杯				5YR6/4C・赤・黄緑											
10	土師器甕	11.4			10YR7/3C・赤・黄緑											
11	土師器甕	17			10YR7/6明黄褐色											
12	土師器甕	19			10YR7/4C・赤・黄緑											
							2	1.2-1.4	0.4-0.5							
							12	6.6	4.9	580g						
							24	9.2	6.2	3.6	300g					
							25	14.2	7.4	3.9	550g					